

# 目 次

|                              |
|------------------------------|
| 工学部のディプロマポリシー・<br>カリキュラムポリシー |
|------------------------------|

|                    |
|--------------------|
| 東北大学工学部の教育目的及び教育目標 |
|--------------------|

|                                    |
|------------------------------------|
| 東北大学工学部における教育課程の到達点<br>及び到達度の評価・判定 |
|------------------------------------|

|  |  |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>● 教育課程 ..... 1           <ul style="list-style-type: none"> <li>1. 授業科目の区分等</li> <li>2. 授業、単位及び成績</li> <li>3. 早期卒業制度</li> <li>4. 必修科目、選択科目等の指定</li> <li>5. 履修計画</li> <li>6. クラス編成</li> <li>7. 大学院科目の先行履修について</li> </ul> </li> <br/> <li>● 授業科目表及び履修方法等 ..... 5           <ul style="list-style-type: none"> <li>1. 機械知能・航空工学科</li> <li>2. 情報知能システム総合学科</li> <li>3. 化学・バイオ工学科</li> <li>4. 材料科学総合学科</li> <li>5. 建築・社会環境工学科</li> <li>6. 工学共通科目</li> </ul> </li> <br/> <li>● 修学関連事項 ..... 109           <ul style="list-style-type: none"> <li>1. 学生の窓口案内等</li> <li>2. 揭示</li> <li>3. 履修登録・成績確認</li> <li>4. 学籍</li> <li>5. 留学</li> <li>6. 短期留学生受入プログラム<br/>授業科目の履修</li> <li>7. 学生による授業評価</li> <li>8. 各種単位の認定</li> <li>9. 教職免許・各種資格</li> <li>10. 学都仙台単位互換ネットワーク</li> <li>11. インターンシップ</li> </ul> </li> </ul> | <p>12. 日本技術者教育認定制度</p> <p>13. 学習等達成度記録簿制度</p><br><p>● 学生生活 ..... 148           <ul style="list-style-type: none"> <li>1. 授業料・奨学金</li> <li>2. 健康</li> <li>3. 事故防止</li> <li>4. 不正行為、防犯、犯罪行為等</li> <li>5. ハラスメント</li> <li>6. 施設利用案内</li> <li>7. その他</li> <li>8. 東北大学工明会・青葉工業会</li> </ul> </p><br><p>● 東北大学大学院工学研究科入学案内 ..... 175           <ul style="list-style-type: none"> <li>1. 工学研究科の概略</li> <li>2. 入学試験、入学手続等</li> </ul> </p><br><p>● 諸規程 ..... 177           <ul style="list-style-type: none"> <li>1. 東北大学学部通則</li> <li>2. 東北大学学部通則細則</li> <li>3. 東北大学工学部規程</li> <li>4. 東北大学工学部授業科目及び単位数内規</li> <li>5. 東北大学全学教育科目等規程（抜粋）</li> <li>6. 東北大学研究生規程</li> <li>7. 東北大学研究生規程細則</li> <li>8. 東北大学における入学料の免除<br/>及び徴収猶予に関する取扱規程</li> <li>9. 東北大学学生の授業料の免除並びに徴収<br/>猶予及び月割分納の取扱いに関する規程</li> </ul> </p><br><p>● 東北大学工学部概要・組織 ..... 215           <ul style="list-style-type: none"> <li>1. 概要</li> <li>2. 組織</li> </ul> </p><br><p>● 工学部教職員一覧 ..... 218</p><br><p>● 月別主要日程表</p> <p>● 構内略図</p> |
|--|--|

## 東北大学工学部の教育目的及び教育目標

工学部は、東北大学の伝統である「研究第一主義」・「門戸開放」・「実学尊重」を理念として掲げている。「研究第一主義」とは、真理の探究に向けて日夜研鑽する研究者の姿を平生から目のあたりにし、研究者とともに学生自らが努力を積み重ねることによって、学生も大きく成長できるという考え方である。また、「門戸開放」とは、多様な文化を持った人々を受け入れること、狭い専門分野にとらわれず広い視野を持つことを重視するという考え方であり、「実学尊重」とは、革新的な技術や新しい学問分野を開拓・展開することにより、安全安心で持続可能な社会の実現に貢献するという考え方である。

国際社会の一員として異なる文化を理解し、互いに尊重し、新しい学問分野や革新的な技術の開拓に向け日々研究に真摯に取り組むことが重要であり、それにより自らも大きく成長することが出来る。

工学部ではこの理念のもと、自然・人間・社会についての深い知識と、国際社会の一員としての広い視野を持ち、互いに尊重し合い、自ら考え行動する、創造性豊かな人材を育成すること、そして、世界を先導する研究者あるいは技術者としての基礎を身につけ、我が国ひいては世界の文明と産業を牽引し、人類の持続的発展に貢献することができる人材を育成することを教育目的とする。

この目的を実現するため、具体的には以下の知識と能力の涵養を教育目標とする。

1. 自然現象や人間社会に関する幅広い教養や基礎知識を身につける。
2. 工学共通の基礎知識と各専門分野に関する基盤知識を身につける。
3. 上記の知識を基礎として、社会の課題を工学的に解決するため、下記の能力を身につける。
  - ① 課題を正確に理解する能力
  - ② 課題に関連する情報や資料を収集し、要点を整理・把握する能力
  - ③ 課題解決のための実施計画を立案する能力
  - ④ 計画遂行のために必要な情報機器や科学機器を操作する能力
  - ⑤ 得られた結果を整理・分析し、論理的に記述し、結果に対し的確に対応する能力
  - ⑥ 課題の内容や結果を明確に発表する能力
  - ⑦ 発表内容に関する討論を行うためのコミュニケーション能力
  - ⑧ 他者と共同で課題に取り組むためのチームワーク能力
  - ⑨ 國際的な場で通用する基礎的な外国語能力
4. 国際社会の一員として、異なる文化を理解し、尊重する能力を身につける。
5. 研究者あるいは技術者として、工学と自然現象や人間社会との関わりを理解し、人類と社会に貢献する気概をもち、自発的に学習し、自ら考え行動する能力を身につける。

## 東北大学工学部における教育課程の到達点及び到達度の評価・判定

工学部の学生は、卒業時までに、「教育目的及び教育目標」に掲げた能力を身に着けることが求められます。これらの能力は、教室や実験室における講義、演習、実験、実習だけでなく、研究室、図書館、自宅などにおける自学・自習の積み重ねによって得られるものであるということは言うまでもありません。

授業科目の履修の成果に対する評価は、日々の授業に対する取り組みの姿勢、レポート、小テスト、定期試験などによって行われ、それらの集大成ともいえる卒業研修によって、総合的な到達度の評価が行われます。卒業の判定は、これらの評価に基づいて行われ、工学部規程に定める卒業要件を満たした場合には、学士の学位が授与されます。

また、工学部では、学修する意欲を高めることを目的とし、教育の付加価値を高めるため、レベル認定制度を導入しました。これは、進級や卒業を判定するものではありませんが、学修において自分の足りない点はどこかを認識させ、もし低い項目がある場合には、その項目を意識して再度勉強することを促すためのものです。

## ● 教育課程

### 1. 授業科目の区分等

#### (1) セメスター制

教育課程 (curriculum) は、1年を半年ごとの二つのセメスター (semester) に区切り、1年次から4年次までの8セメスターにわたり編成されています。

#### (2) 全学教育科目

全学教育は、実社会や高次の研究に生かせる専門的知識をもち、現代的で広い知見と豊かな人間性、国際性をもった学生を養成するという目的のもとに、専門教育及び大学院教育の基礎を形成するための基盤教育を実践し、以下の基本的教養や知識、技能を養うこととしています。

- ①現代人、国際人として社会生活を送るうえで基盤となる知識と技能
- ②人間形成の根幹となる、現代社会にふさわしい基本的教養や技法
- ③専攻する専門分野の理解を助けるための幅広い学問分野に関する知識と技能
- ④専攻分野を学ぶうえで基礎となる知識と技能

「全学教育科目」は、このような使命を果たすために「基幹科目」「展開科目」「共通科目」の3科目類からなる教育課程を設定し、科目群毎に構成された授業を実施して、以下の目標を達成します。

|       |  |
|-------|--|
| 基幹科目類 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「人間論」、「社会論」、「自然論」の科目群からなっています。</li> <li>・専門分野の如何を問わず、倫理、芸術、言語表現、ジェンダー、経済、社会、政治、歴史、生命、環境などの分野における現代的テーマに関する基本的な知識と技能を学び、人間・社会・自然の諸事象に関する幅広い知見と柔軟で多角的な視野を身につけ、豊かな教養と人間性に裏付けられた知的な探求を行う基盤となる知識と技能を養うことを目標としています。</li> </ul>   |
| 展開科目類 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「人文科学」、「社会科学」、「自然科学」6群（数学、物理学、化学、生物学、宇宙地球科学、理科実験）、「総合科学」の科目群からなっています。</li> <li>・基幹科目において習得した基盤となる知識と技能をもとに、人文科学・社会科学・自然科学等の諸科学に関する基礎的知見、学際的な解決を要する現代的諸課題に対応するための視点と知識を身につけるとともに、授業を通して研究者の学問的當為を知り、学問への意欲を高め、専門教育・大学院教育へと展開する学問的・人間的基盤を養うことを目標としています。</li> </ul>     |
| 共通科目類 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「転換・少人数科目（基礎ゼミ）」、「外国語」、「情報科目」、「保健体育」の各科目群及び外国人留学生のための「留学生対象科目」の科目群からなっています。</li> <li>・社会的倫理性に基づく主体的判断力・行動力とコミュニケーション能力、国際人としてのコミュニケーション能力と他文化理解力、情報に関わる基本的知識と技能、心身の健康維持・増進のための知識と技能など、現代人として生きるために必要不可欠な能力及び基本的素養と技能を養い、能力や技能の自己開発のための起点を形成することを目標としています。</li> </ul> |

#### (3) 専門教育科目

専門教育科目は、各学科の学問分野について、高度で専門的な知識を教授し、専門家としての素養を身につけさせるものです。また、将来、研究者を目指す者にとって、大学院での修学やその後の研究活動の基礎となるものです。

#### (4) 教職に関する科目

教職に関する科目は、中学校又は高等学校の教育職員免許状を取得しようとする者が履修する科目です。詳細は後掲のとおりですが、学部・学科により取得できる免許の教科が異なります。

なお、授業時間割表は、卒業するために必要な授業科目を中心に配置しているため、教職に関する科目の単位を揃えることは容易ではありません。したがって、教育職に就く強い志望動機を持っていない限り、教職に関する科目の履修は控えて下さい。

## 2. 授業、単位及び成績

### (1) 授業の方法

授業は、講義、演習、実験、実習又は実技のいずれかにより、若しくはこれらの併用により行われます。また、授業は週1回・2時間、セメスター当たり15回を標準として行われますが、1年間で完結する通年科目、短期間にまとめて実施される集中講義、セメスターの半分で完結するクォーター制の場合もあります。

### (2) 単位の構成

1単位の授業科目は、45時間の学修を必要とする内容をもって構成されることを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により定められています。（大学設置基準第21条）

単位は、授業科目を履修し、試験に合格することにより修得できます。

| 授業の種類・方法  | 授業による学修時間 | 授業以外の学修時間 | 備考              |
|-----------|-----------|-----------|-----------------|
| 講義及び演習    | 15～30時間   | 30～15時間   | 合計45時間の学修につき1単位 |
| 実験、実習及び実技 | 30～45時間   | 15～0時間    |                 |

- 備考 1. 卒業論文、卒業研究等については、これらに必要な学修等を考慮して、単位数が定められています。  
2. 通常、講義科目2単位を修得するためには、1回2時間の授業に15回出席し、当該授業に関する自学・自習を行うことになります。なお、各授業科目の目的、概要、達成目標、授業計画等は、授業概要（シラバス※）に掲載されます。  
※ 授業概要（シラバス）は、東北大学工学部ホームページ又は工学部・工学研究科ポータルサイトで確認出来ます。

### (3) 履修登録単位数の制限

各セメスター（学期）に履修登録できる単位数は、授業科目の適切な履修のため、卒業の要件に指定されている授業科目の中から、講義科目及び演習科目（実験、実習及び実技科目を除く。）については、24単位までとします。

よって、卒業の要件に関わらない自由聴講科目、教職に関する科目は過剰にならない範囲で履修を認めます。

参考：「履修登録単位数の制限」対象外の授業科目

<全学教育科目>

- 「基礎ゼミ」、「自然科学総合実験」、「スポーツA」、「スポーツB」ほか自由聴講科目となる科目

<工学部専門教育科目>

- 後掲する各学科の授業科目表「履修登録制限対象科目」欄の無印の科目

### (4) 履修登録単位数の制限の例外

#### • 再履修科目の履修

入学後、履修した授業の成績が「D（不合格）」の評価となった授業科目を、翌セメスター（学期）以降に再度履修した場合、その科目を「再履修科目」として扱い、前述(3)の履修登録単位数の制限の対象外の科目とします。

- 成績優秀者の履修登録単位数の制限解除

前のセメスターに修得したすべての成績のうち、成績の評価が「A A」「A」の科目数が5分の4以上の場合は、その次のセメスターでは、前述の(3)の履修登録できる単位数の上限を超えて履修登録することを認めます。各セメスターの授業開始時に制限を解除する学生を周知します。

成績優秀者の算出基準

$$\frac{\text{成績評価「A A」「A」の科目数}}{\text{成績評価「A A」「A」「B」「C」「D」の科目数}} \geq 80\%$$

補足：成績評価「合（合格）」「不（不合格）」による成績評価の科目は、算出対象外とします。

- 10月入学者、編入学者、再入学者の履修

10月入学者、編入学者、再入学者には履修登録単位数の制限を適用しません。

また、履修時期を指定しているセメスターを先行し、同学期に開講している上位セメスター開講授業科目を履修すること（先取り履修）は、できませんので注意してください。

なお、学期又は学年の途中から履修を開始することになりますので、所属学科教務委員の履修指導を受けた上で、履修するようにしてください。

- 成績優秀者の履修指定セメスター先取り履修

履修登録単位数の制限を解除された学生で、「早期卒業制度」による卒業を希望する学生には、先取り履修を認めます。

ただし、先取り履修は、所属学科の教務委員により履修指導を受け先取り履修を行う科目を選択し、授業担当教員の受講許可を得ている場合のみ認められます。

### 3. 早期卒業制度

“先取り履修”を重ねることにより、優秀な成績で卒業要件単位を修得し、各学科が定める基準（早期卒業適用基準）に達した場合には、修業年限に達していない場合でも3年以上の在学をもって卒業を認めることができます。

本学部の授業科目編成上、必修の授業科目や実験科目の履修を先取り履修していく必要がありますので、“早期卒業”を目指す学生は、所属学科教務委員と相談し、十分な履修計画を立てて履修を進めて下さい。

なお、この制度は、編入学者及び再入学者には適用されません。

### 4. 必修科目、選択科目等の指定

授業科目には、学科・コースごとに次のような指定があります。卒業までの間に“セメスター・バリア”として、所属コースの決定要件、特定科目の履修要件など、修得しなければならない科目や単位数がそれぞれ定められているので、それらの要件を満たしながら履修することが必要です。

|        |  |
|--------|--|
| 必修科目   | 必ず履修して単位を修得しなければならない科目。                    |
| 選択必修科目 | 指定された科目群の中から、指定された単位数以上を選択して修得しなければならない科目。 |
| 選択科目   | 必修、選択必修の指定はないが、卒業要件単位となる科目。                |
| 自由聴講科目 | 卒業要件単位とはならないが、興味や資格取得の必要に応じて修得する科目。        |

## 5. 履修計画

授業科目は、学科・コース別に1セメスターから8セメスターまでの学習上の効果及びバランスを考慮して配置されています。

履修計画は、学科ごとに後掲する授業科目編成表、履修方法の指示・説明、授業時間割表、授業概要（シラバス）に基づいて各自が立てることになります。全学教育科目については、この便覧とともに「全学教育科目履修の手引」を熟読し間違いのないように履修しなければなりません。

なお、次ページ以降に掲載されている授業科目表の開講セメスターは、年度によっては一部変更となることがあるので、毎年度配付する授業時間割表で確認して下さい。

## 6. クラス編成

工学部学生は、入学時に“16”のクラス（組）に配属されます。

平成24年度工学部新入学生は下記のとおり配属されています。

| クラス     | 学 科          |
|---------|--------------|
| 工1～5組   | 機械知能・航空工学科   |
| 工6～10組  | 情報知能システム総合学科 |
| 工11・12組 | 化学・バイオ工学科    |
| 工13・14組 | 材料科学総合学科     |
| 工15・16組 | 建築・社会環境工学科   |

各授業科目の履修においては、上記クラスを基準にした開講のほか、セメスターが進むにつれて、授業科目やコース配属等により別途履修クラスが指定される場合がありますので、ガイダンス等における説明に注意して下さい。

## 7. 大学院科目的先行履修について

工学部に在籍する7セメスター以上の学生で、大学院への入学を希望する者のうち、学業が優秀でありかつ先行履修をするにあたって相応しい学力を有するものは、指導教員及び所属学科長並びに履修する科目の授業担当教員の承認を得たうえで履修手続きを行うことができます。

聽講できる授業科目は研究科で開講する授業科目のうち6単位までです。

先行履修により修得した授業科目は、学生の申請に基づき、大学院入学前に修得した授業科目として、大学院入学後に単位を認定します。

# 1. 機械知能・航空工学科

(Department of Mechanical and Aerospace Engineering)

機械システムデザインコース  
(Mechanical Systems and Design)

航空宇宙コース  
(Aerospace Engineering)

バイオロボットシステムコース  
(Bioengineering and Robot Systems)

国際機械工学コース  
(International Mechanical and Aerospace Engineering)

ナノメカニクスコース  
(Nanomechanics)

量子サイエンスコース  
(Quantum Science and Energy Engineering)

エネルギー環境コース  
(Environment and Energy Engineering)

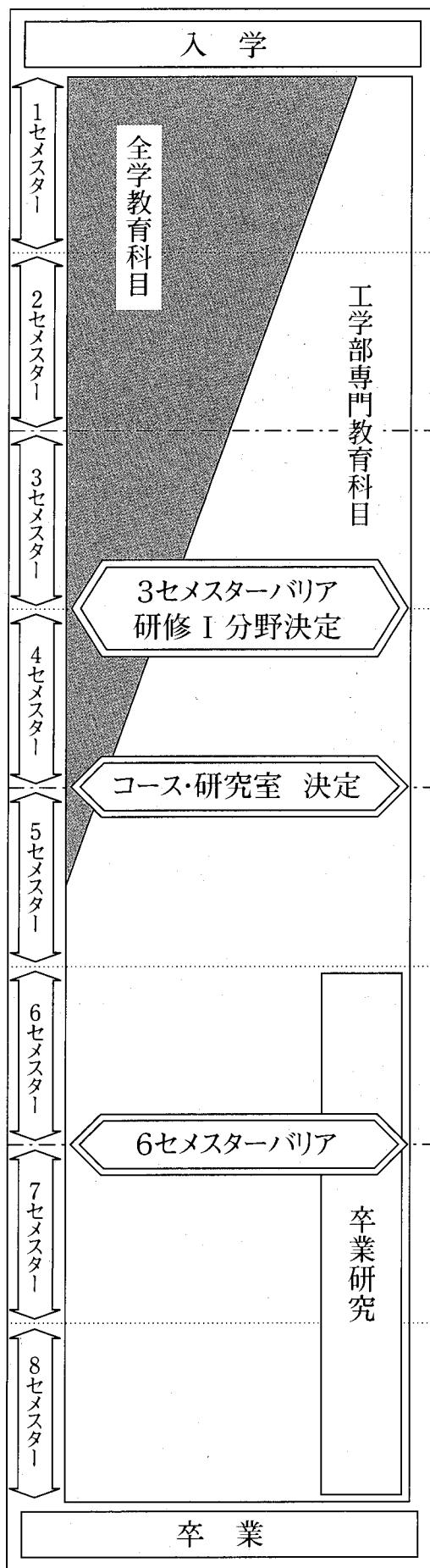
## 授業科目表及び履修方法等

### ・全学教育科目

### ・専門教育科目

## 専門教育科目授業要旨

## 機械知能・航空工学科 卒業までの履修過程



### 【卒業要件科目について】

全学教育科目：学生便覧 7～9 ページを参照。  
工学部専門教育科目：次ページ以降を参照。

### 【セメスター バリアー】

- 3セメスター及び6セメスター終了時にそれぞれ機械知能・航空研修I（4セメ）及び卒業研究（6・7・8セメ）履修のための要件を設けている。（詳細は後述。）

### 【研修 I 分野決定】

- 機械知能・航空工学科で開設される専門科目を、キーワードで5つのグループにまとめたもので、これから学ぶ専門領域の道案内としての役割を果たす。
- 3セメスター終了時に『研修 I 分野』を決定する。

### 【コース・研究室決定】

- 4セメスター終了時に、『研究室』を決定する。
- 学生は、研究室決定と同時に、研究室が属する『コース』に自動的に配属される（国際機械工学コースを除く※）。

※国際機械工学コースには、国際学士コース入試で入学した学生のみが配属される。

- 大学院進学を視野に入れ、工学の先端分野を探求していくために必要かつ十分な学力が身に付けられるようにコースが設定されている。
- 工学部専門教育科目の卒業要件科目は、『コース』により異なるので注意すること。

## 授業科目表および履修方法等

### 全学教育科目

| 類<br>別<br>基<br>幹<br>科<br>目 | 群      | 科 目 名      | 単位数 | 開講セメスター<br>週当たり授業時間数 |     |     |   | 機械知能・航空工学科<br>履修方法<br>(詳細は後述) |  |
|----------------------------|--------|------------|-----|----------------------|-----|-----|---|-------------------------------|--|
|                            |        |            |     | 1年次                  |     | 2年次 |   |                               |  |
|                            |        |            |     | 1                    | 2   | 3   | 4 |                               |  |
| 基<br>幹<br>科<br>目           | 人間論    | 思想と倫理の世界   | 2   | * 2                  |     |     |   | 選択必修（左記より1科目2<br>単位を修得すること。）  |  |
|                            |        | 文学の世界      | 2   | * 2                  |     |     |   |                               |  |
|                            |        | 言語表現の世界    | 2   | * 2                  |     |     |   |                               |  |
|                            |        | 芸術の世界      | 2   | * 2                  |     |     |   |                               |  |
|                            |        | 人間と文化      | 2   | * 2                  |     |     |   |                               |  |
|                            | 社会論    | 歴史と人間社会    | 2   | * 2                  |     |     |   |                               |  |
|                            |        | 経渓と社会      | 2   | * 2                  |     |     |   |                               |  |
|                            |        | 法・政治と社会    | 2   | * 2                  |     |     |   |                               |  |
|                            |        | 社会の構造      | 2   | * 2                  |     |     |   |                               |  |
|                            |        | ジェンダーと人間社会 | 2   | * 2                  |     |     |   |                               |  |
| 展<br>開<br>科<br>目           | 自然論    | 自然界の構造     | 2   | * 2                  |     |     |   | 選択必修（左記より1科目2<br>単位を修得すること。）  |  |
|                            |        | 科学技術とエネルギー | 2   | * 2                  |     |     |   |                               |  |
|                            |        | 生命と自然      | 2   | * 2                  |     |     |   |                               |  |
|                            |        | 自然と環境      | 2   | * 2                  |     |     |   |                               |  |
|                            |        | 科学と情報      | 2   | * 2                  |     |     |   |                               |  |
|                            | 人文科学   | 論理学        | 2   |                      |     | * 2 |   |                               |  |
|                            |        | 哲学・倫理学     | 2   |                      |     | * 2 |   |                               |  |
|                            |        | 文学         | 2   |                      |     | * 2 |   |                               |  |
|                            |        | 宗教学        | 2   |                      |     | * 2 |   |                               |  |
|                            |        | 教育学        | 2   |                      |     | * 2 |   |                               |  |
| 展<br>開<br>科<br>目           | 社会科学   | 歴史学        | 2   |                      |     | * 2 |   | 選択2                           |  |
|                            |        | 言語学        | 2   |                      |     | * 2 |   |                               |  |
|                            |        | 社会学        | 2   |                      |     | * 2 |   |                               |  |
|                            |        | 心理学        | 2   |                      |     | * 2 |   |                               |  |
|                            |        | 法学         | 2   |                      |     | * 2 |   |                               |  |
|                            | 自然科学   | 日本国憲法      | 2   |                      |     | * 2 |   | 選択2                           |  |
|                            |        | 政治学        | 2   |                      |     | * 2 |   |                               |  |
|                            |        | 経済学        | 2   |                      |     | * 2 |   |                               |  |
|                            |        | 文化人類学      | 2   |                      |     | * 2 |   |                               |  |
|                            |        | 人文地理学      | 2   |                      |     | * 2 |   |                               |  |
| 展<br>開<br>科<br>目           | 数学     | 解析学A       | 2   | 2                    |     |     |   | 必修                            |  |
|                            |        | 解析学B       | 2   |                      | 2   |     |   | 必修                            |  |
|                            |        | 解析学C       | 2   |                      |     | 2   |   | 必修                            |  |
|                            |        | 解析学D       | 2   |                      |     |     | 2 | 選択1                           |  |
|                            |        | 線形代数学A     | 2   | 2                    |     |     |   | 必修                            |  |
|                            |        | 線形代数学B     | 2   |                      | 2   |     |   | 選択1                           |  |
|                            |        | 数理統計学      | 2   |                      |     | 2   |   | 選択1                           |  |
|                            | 物理学    | 物理学A       | 2   | 2                    |     |     |   | 必修                            |  |
|                            |        | 物理学B       | 2   |                      | 2   |     |   | 必修                            |  |
|                            |        | 物理学C       | 2   |                      |     | 2   |   | 選択1                           |  |
|                            |        | 物理学D       | 2   | 2                    |     |     |   | 選択1                           |  |
| 展<br>開<br>科<br>目           | 化学     | 化学A        | 2   | 2                    |     |     |   | 選択1                           |  |
|                            |        | 化学B (※1)   | 2   |                      |     | 2   |   | 必修                            |  |
|                            |        | 化学C (※1)   | 2   |                      | 2   |     |   | 選択1                           |  |
|                            | 生物学    | 生命科学A      | 2   | 2                    |     |     |   | 選択1                           |  |
|                            |        | 生命科学B      | 2   |                      | 2   |     |   | 自由聴講科目                        |  |
|                            |        | 生命科学C      | 2   |                      | 2   |     |   | 自由聴講科目                        |  |
|                            | 宇宙地球科学 | 地球システム科学   | 2   |                      | * 2 |     |   | 自由聴講科目                        |  |
|                            |        | 地球物質科学     | 2   |                      | * 2 |     |   | 選択1                           |  |
|                            |        | 自然地理学      | 2   |                      | * 2 |     |   | 自由聴講科目                        |  |
|                            |        | 天文学        | 2   |                      | * 2 |     |   | 自由聴講科目                        |  |
|                            |        | 地球惑星物理学    | 2   |                      | * 2 |     |   | 自由聴講科目                        |  |

機械知能  
航空工学科

| 類    | 群           | 科 目 名                      | 単位数             | 開講セメスター<br>週当たり授業時間数 |    |     |                    | 機械知能・航空工学科<br>履修方法<br>(詳細は後述)       |  |
|------|-------------|----------------------------|-----------------|----------------------|----|-----|--------------------|-------------------------------------|--|
|      |             |                            |                 | 1年次                  |    | 2年次 |                    |                                     |  |
|      |             |                            |                 | 1                    | 2  | 3   | 4                  |                                     |  |
| 展開科目 | 自然科学        | 理科実験                       | 自然科学総合実験(※2)    | 2                    | 4  |     |                    | 必修                                  |  |
|      | 総合科学        | 総合科目                       | 総合科目(※3)        | 各2                   |    | *2  |                    |                                     |  |
|      | カレントトピックス科学 | カレントトピックス科目(※3)            | カレントトピックス科目(※3) | 各2                   |    | *2  |                    | 選択2                                 |  |
|      |             | 現代学問論                      | 現代学問論           | 各2                   |    | *2  |                    |                                     |  |
| 共通科目 | 転換・少人数科目    |                            | 基礎ゼミ            | 2                    | 2  |     |                    | 選択3                                 |  |
|      | 英語          | 英語A 1                      | 1               | 2                    |    |     |                    |                                     |  |
|      |             | 英語A 2                      | 1               |                      | 2  |     |                    |                                     |  |
|      |             | 英語B 1                      | 1               | 2                    |    |     |                    |                                     |  |
|      |             | 英語B 2                      | 1               |                      | 2  |     |                    |                                     |  |
|      |             | 英語C 1                      | 1               |                      |    | 2   |                    |                                     |  |
|      |             | 英語C 2                      | 1               |                      |    |     | 2                  |                                     |  |
|      | 外国語         | Practical English Skills 1 | 1               |                      |    | 2   |                    | 選択必修(履修方法を確認すること。)                  |  |
|      |             | Practical English Skills 2 | 1               |                      |    |     | 2                  |                                     |  |
|      |             | 基礎ドイツ語I                    | 2               | 4                    |    |     |                    |                                     |  |
|      |             | 基礎ドイツ語II                   | 2               |                      | 4  |     |                    |                                     |  |
|      |             | 基礎フランス語I                   | 2               | 4                    |    |     |                    |                                     |  |
|      |             | 基礎フランス語II                  | 2               |                      | 4  |     |                    |                                     |  |
|      |             | 基礎ロシア語I                    | 2               | 4                    |    |     |                    |                                     |  |
|      |             | 基礎ロシア語II                   | 2               |                      |    | 4   |                    |                                     |  |
|      |             | 基礎スペイン語I                   | 2               | 4                    |    |     |                    |                                     |  |
|      |             | 基礎スペイン語II                  | 2               |                      |    | 4   |                    |                                     |  |
| 情報科目 | 初修語         | 基礎中国語I                     | 2               | 4                    |    |     |                    | 選択必修(左記の中から1外國語を選択し、2科目4単位を修得すること。) |  |
|      |             | 基礎中国語II                    | 2               |                      | 4  |     |                    |                                     |  |
|      | 情報科目        | 基礎朝鮮語I                     | 2               | 4                    |    |     |                    |                                     |  |
|      |             | 基礎朝鮮語II                    | 2               |                      | 4  |     |                    |                                     |  |
|      |             | 情報基礎A                      | 2               | 2                    |    |     |                    |                                     |  |
| 保健体育 | 情報基礎B       | 情報基礎B                      | 2               | 2                    |    |     |                    | 自由聴講科目                              |  |
|      |             | スポーツA                      | 1               |                      |    | 2   |                    | 必修                                  |  |
|      | スポーツB       | 1                          |                 |                      |    | 2   |                    | 必修                                  |  |
|      | 体と健康        | 2                          |                 | 2                    |    |     |                    | 自由聴講科目                              |  |
|      | 留学生対象科目     | 日本語A～J                     | 各1              |                      | *2 |     | 外国人留学生のための授業科目である。 |                                     |  |

備考1：上記掲載の全学教育科目は、工学部学生が卒業要件を満たすために必要な授業科目を抜粋して掲載しています。上記掲載以外の全学教育科目は「自由聴講科目」として修得することが出来る場合があります。

備考2：「開講セメスター週当たり授業時間数」欄の\*印は、いずれか又はそれぞれのセメスターで開講することを示します。上記掲載される開講セメスターより前に他組に開講されるクラスで授業を履修する場合は、先取り履修となります。

※1 「化学B」および「化学C」は、第2セメスターでは履修を指定(自組開講)するクラスの学生のみ履修できます。履修を指定していないクラスの学生は、特別の履修許可が無い限り、第2セメスターにおいて他組履修により第3セメスター開講予定の科目を修得できません。

<参考>

B 4 TB 機械知能・航空工学科(工1～5組)は、第2セメスターに「化学C」、第3セメスターに「化学B」が自組開講となります。

※2 「自然科学総合実験」は、指定(自組開講)するクラスにて履修をして下さい。

<参考>

B 4 TB 機械知能・航空工学科(工1～5組)は、第1セメスターに自組開講となります。

※3 総合科学群の「総合科目」、「カレントトピックス科目」の開設する授業科目は毎年定めます。全学教育科目の手引きを参照して下さい。

<履修方法（卒業に必要な全学教育科目の修得科目・単位数）>

| 区分   | 授業科目名  | 修得方法・必要単位数  |
|------|--|---|
| 必修   | 解析学A, 解析学B, 解析学C, 線形代数学A<br>物理学A, 物理学B, 化学B<br>自然科学総合実験<br>情報基礎B, スポーツA        | 左記14科目23単位を修得すること。  |
|      | 外国語 英語A 1, 英語A 2, 英語B 1, 英語B 2   |   |
|      | (「人間論」群)<br>(「社会論」群)<br>(「自然論」群)   | 左記の各群において、それぞれ1科目2単位、計6単位修得すること。  |
| 選択必修 | 英語C 1, 英語C 2<br><br>外国語 Practical English Skills 1, Practical English Skills 2 | 英語C 1と英語C 2<br>英語C 1とPractical English Skills 2<br>Practical English Skills 1と英語C 2<br>Practical English Skills 1とPractical English Skills 2のいずれかの組み合わせで2単位を修得すること。 |
|      | 「初修語」群（ドイツ語、フランス語、ロシア語、スペイン語、中国語、朝鮮語）  | 1外国語選択し、2科目4単位修得すること。   |
| 選択1  | 解析学D, 線形代数学B, 数理統計学, 物理学C<br>物理学D, 化学A, 化学C, 生命科学A<br>地球物質科学                   | 左記の科目の中から、数学を重視して8単位以上を修得すること。  |
| 選択2  | (「人文科学」群)<br>(「社会科学」群)<br>「総合科学」群（「総合科目」「カレントトピックス科目」「現代学問論」）                  | 左記3群の中から、2群を選択し、それぞれ1科目2単位、計4単位を修得すること。   |
| 選択3  | 基礎ゼミ、体と健康  | 左記の中から1科目2単位を修得すること。  |

○外国人留学生の外国語履修について

留学生対象科目群の授業科目は、外国人留学生が履修する科目で、次のとおりとします。

|        |  |  |   |  |
|--------|--|--|---|--|
| 外国語の履修 | 国際機械工学コース                                |  | Basic Japanese 1, 2及びIntermediate Japanese の計10単位を修得すること。 |  |
|        | (1) 日本人学生と同程度の日本語能力を有する場合 <sup>(*)</sup> |  | 日本人学生と同様な履修。ただし、初修語として母国語を選択することは出来ません。                   |  |
|        | 国際機械工学コース以外                              |  | 母国語が英語の場合   | 日本語の科目から6単位、英語以外の外国語（ドイツ語、フランス語、ロシア語、スペイン語、中国語、朝鮮語）から4単位、計10単位を修得すること。 |
|        | (2) それ以外の場合                              |  | 母国語が英語以外の場合   | 日本語の科目から6単位、英語から4単位（英語A 1, 英語A 2, 英語B 1, 英語B 2）、計10単位修得すること。           |

(\*) 履修登録前にクラス担任と相談のうえ、工学部・工学研究科教務課学部教務係窓口で手続きを行うこと。

○外国語・日本語技能検定試験等による単位認定について

外国語・日本語技能検定試験（英検、TOEFL、TOEIC、仏検、独検、日本語能力試験、日本留学試験など）において、所定の認定又は得点を得た者は、本学における外国語科目の履修とみなされ、単位を与えられます。

# 専門教育科目

## (1) 授業科目表

| 開講学科<br>(※1) | 科 目 名       | 履修セメスター | 週当たり授業時間数 | 単位数 | 履修登録制限対象科目 | 科 目 分類<br>(※2) | 分野推奨科目   |  | コ ー ス   |  |  |  |  |  | 履修方法<br>〔左記コース欄〕<br>☆印：必修科目<br>⊕印：コース推奨科目(※3)<br>○印：選択科目<br>無印：自由聽講科目 |
|--------------|-------------|---------|-----------|-----|------------|----------------|--|--|---|--|--|--|--|--|---|
|              |             |         |           |     |            |                | 熱：熱と流れ<br>材：材料と評価<br>設：設計と創成<br>シ：システムと制御<br>情：情報とデバイス |  | 機械システム<br>ナノメカニクス<br>航 空 宇 宙<br>量 子 サイエンス<br>バイオロボットシステム<br>エネルギー環境 |  |  |  |  |  |   |
| 工            | 数学物理学演習Ⅰ    | 1       | 2         | 1   | ○          | 共通             |  |  | ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆   |  |  |  |  |  |   |
| 工            | 数学物理学演習Ⅱ    | 2       | 2         | 1   | ○          | 共通             |  |  | ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆   |  |  |  |  |  |   |
| 工            | 情報処理演習      | 2       | 2         | 1   | ○          | 共通             |  |  | ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆   |  |  |  |  |  |   |
| 工            | 創造工学研修      | 2       | 4         | 2   |            | 共通             |  |  | ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○   |  |  |  |  |  |   |
| 機            | 国際機械工学コース概論 | 2       | 2         | 2   |            | コース選択科目        |  |  |   |  |  |  |  |  | ⊕   |
| 機            | 数学Ⅰ         | 3       | 2         | 2   | ○          | 基礎Ⅰ            |  |  | ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○   |  |  |  |  |  |   |
| 機            | 数学Ⅱ         | 3       | 2         | 2   | ○          | 基礎Ⅰ            |  |  | ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○   |  |  |  |  |  |   |
| 機            | 数理解析学       | 3       | 2         | 2   | ○          | 基礎Ⅰ            |  |  | ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○   |  |  |  |  |  |   |
| 機            | 力学          | 3       | 2         | 2   | ○          | 基礎Ⅰ            |  |  | ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○   |  |  |  |  |  |   |
| 機            | 情報科学基礎論     | 3       | 2         | 2   | ○          | 基礎Ⅰ            |  |  | ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○   |  |  |  |  |  |   |
| 機            | 流体力学Ⅰ       | 3       | 2         | 2   | ○          | 基礎Ⅰ            |  |  | ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○   |  |  |  |  |  |   |
| 機            | 材料力学Ⅰ       | 3       | 2         | 2   | ○          | 基礎Ⅰ            |  |  | ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○   |  |  |  |  |  |   |
| 機            | 機構システム学     | 3       | 2         | 2   | ○          | 基礎Ⅰ            |  |  | ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○   |  |  |  |  |  |   |
| 機            | 電磁気学Ⅰ       | 4       | 2         | 2   | ○          | 基礎Ⅰ            |  |  | ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○   |  |  |  |  |  |   |
| 機            | 量子力学        | 4       | 2         | 2   | ○          | 基礎Ⅰ            |  |  | ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○   |  |  |  |  |  |   |
| 機            | 回路・システム基礎   | 4       | 2         | 2   | ○          | 基礎Ⅰ            |  |  | ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○   |  |  |  |  |  |   |
| 機            | 機械力学Ⅰ       | 4       | 2         | 2   | ○          | 基礎Ⅰ            |  |  | ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○   |  |  |  |  |  |   |
| 機            | 熱力学         | 4       | 2         | 2   | ○          | 基礎Ⅰ            |  |  | ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○   |  |  |  |  |  |   |
| 機            | 材料力学Ⅱ       | 4       | 2         | 2   | ○          | 基礎Ⅰ            |  |  | ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○   |  |  |  |  |  |   |
| 機            | 材料科学        | 4       | 2         | 2   | ○          | 基礎Ⅰ            |  |  | ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○   |  |  |  |  |  |   |
| 機            | システム工学      | 4       | 2         | 2   | ○          | 基礎Ⅰ            |  |  | ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○   |  |  |  |  |  |   |
| 機            | コンピュータ実習    | 4       | 3         | 1   |            | 共通             |  |  | ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆   |  |  |  |  |  |   |
| 機            | 機械知能・航空研修Ⅰ  | 4       | 4         | 2   |            | 共通             |  |  | ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆   |  |  |  |  |  |   |
| 工            | 電気工学実験      | 4       | 3         | 1   |            | 共通             |  |  | ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆   |  |  |  |  |  |   |
| 機            | 計算機工学       | 5       | 2         | 2   | ○          | 基礎Ⅰ            |  |  | ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○   |  |  |  |  |  | 〔選択必修②〕   |
| 機            | 電磁気学Ⅱ       | 5       | 2         | 2   | ○          | 基礎Ⅱ            |  |  | ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○   |  |  |  |  |  | 〔選択必修③及び必修〕   |
| 機            | 基礎核物理学      | 5       | 2         | 2   | ○          | 基礎Ⅱ            |  |  | ○ ○ ○ ○ ⊕ ○ ○   |  |  |  |  |  |   |
| 機            | 溶液化学        | 5       | 2         | 2   | ○          | 基礎Ⅱ            |  |  | ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○   |  |  |  |  |  |   |
| 機            | 環境地球科学      | 5       | 2         | 2   | ○          | 基礎Ⅱ            |  |  | ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○   |  |  |  |  |  |   |
| 機            | 流体力学Ⅱ       | 5       | 2         | 2   | ○          | 基礎Ⅱ            | 熱  |  | ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○   |  |  |  |  |  |   |
| 機            | 伝熱学Ⅰ        | 5       | 2         | 2   | ○          | 基礎Ⅱ            | 熱  |  | ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○   |  |  |  |  |  |   |
| 機            | 計測工学        | 5       | 2         | 2   | ○          | 基礎Ⅱ            | 熱材設シ情  |  | ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○   |  |  |  |  |  | 量子サイエンス、エネルギー環境のコースは、左記⊕○の科目から16単位以上修得すること。                           |
| 機            | 制御工学Ⅰ       | 5       | 2         | 2   | ○          | 基礎Ⅱ            | 熱 設シ情  |  | ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○   |  |  |  |  |  |   |
| 機            | 材料機能設計学     | 5       | 2         | 2   | ○          | 基礎Ⅱ            | 材 設 情  |  | ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○   |  |  |  |  |  |   |

| 開<br>講<br>学<br>科<br>(※1) | 科<br>目<br>名   | 履<br>修<br>セ<br>メ<br>ス<br>タ<br>ー | 週<br>当<br>た<br>り<br>授<br>業<br>時<br>間<br>数 | 単<br>位<br>数 | 履<br>修<br>登<br>録<br>制<br>限<br>対<br>象<br>科<br>目 | 科<br>目<br>分<br>類<br>(※2) | 分野推奨科目   |     | コ<br>一<br>ス  |                                    |   |   |   |   | 履修方法<br>[左記コース欄]<br>☆印：必修科目<br>⊕印：コース推奨<br>科目(※3)<br>○印：選択科目<br>無印：自由聽講<br>科目 |
|--------------------------|---------------|---------------------------------|---|-------------|--|--------------------------|--|-----|--|------------------------------------|---|---|---|---|---|
|                          |               |                                 |   |             |  |                          | 熱：熱と流れ<br>材：材料と評価<br>設：設計と創成<br>シ：システムと制御<br>情：情報とデバイス |     | 機<br>械<br>シ<br>ス<br>テ<br>ム<br>デ<br>ザ<br>イ<br>ン<br>ナ<br>ノ<br>メ<br>カ<br>ニ<br>ク<br>ス<br>航<br>空<br>宇<br>宙<br>量<br>子<br>サ<br>イ<br>エ<br>ン<br>ス<br>バイ<br>オ<br>ロ<br>ボ<br>ッ<br>ト<br>シ<br>ス<br>テ<br>ム<br>エ<br>ネ<br>ル<br>ギ<br>ー<br>環<br>境 | 国<br>際<br>機<br>械<br>工<br>学<br>(※4) |   |   |   |   |   |
| 機                        | 計算機ソフトウェア工学   | 5                               | 2   | 2           | ○  | 基礎II                     |  | シ 情 | ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○  |                                    |   |   |   |   |   |
| 機                        | 弾性力学          | 5                               | 2   | 2           | ○  | 分野選択                     |  | 材   | ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○  |                                    |   |   |   |   |   |
| 機                        | 創成学           | 5                               | 2   | 2           | ○  | 分野選択                     |  | 材 設 | ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○  |                                    |   |   |   |   |   |
| 機                        | メカトロニクス       | 5                               | 2   | 2           | ○  | 分野選択                     |  | シ   | ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○  |                                    |   |   |   |   |   |
| 機                        | 電子デバイス        | 5                               | 2   | 2           | ○  | 分野選択                     |  | シ 情 | ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○  |                                    |   |   |   |   |   |
| 機                        | 機械知能・航空実験 I   | 5                               | 3   | 1           |  | 共通                       |  |     | ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆  |                                    |   |   |   |   |   |
| 機                        | 計画及び製図 I      | 5                               | 3   | 1           |  | 共通                       |  |     | ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆  |                                    |   |   |   |   | [選択必修③及び必修]   |
| 機                        | 機械知能・航空研修 II  | 5                               | 3   | 1           |  | 共通                       |  |     | ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆  |                                    |   |   |   |   |   |
| 機                        | 機械工作実習        | 5                               | 3   | 1           |  | 共通                       |  |     | ☆ ☆ ☆ ○ ☆ ○ ☆  |                                    |   |   |   |   |   |
| 機                        | フォートラン演習      | 5                               | 2   | 1           | ○  | 共通                       |  |     | ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○  |                                    |   |   |   |   |   |
| 機                        | 機械システムデザイン入門  | 5                               | 2   | 2           | ○  | コース<br>選択科目              |  |     | ☆  |                                    |   |   |   |   |   |
| 機                        | ナノメカニクス入門     | 5                               | 2   | 2           | ○  | コース<br>選択科目              |  |     | ☆  |                                    |   |   |   |   |   |
| 機                        | 航空宇宙入門        | 5                               | 2   | 2           | ○  | コース<br>選択科目              |  |     |  | ☆                                  |   |   |   |   |   |
| 機                        | 量子サイエンス入門     | 5                               | 2   | 2           | ○  | コース<br>選択科目              |  |     |  |                                    | ☆ |   |   |   |   |
| 機                        | バイオロボットシステム入門 | 5                               | 2   | 2           | ○  | コース<br>選択科目              |  |     |  |                                    |   | ☆ |   |   |   |
| 機                        | エネルギー環境入門     | 5                               | 2   | 2           | ○  | コース<br>選択科目              |  |     |  |                                    |   |   | ☆ |   |   |
| 機                        | 国際機械工学コース入門   | 5                               | 2   | 2           | ○  | コース<br>選択科目              |  |     |  |                                    |   |   |   | ☆ |   |
| 機                        | 反応速度論         | 6                               | 2   | 2           | ○  | 基礎II                     |  |     | ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○  |                                    |   |   |   |   |   |
| 機                        | 界面物理化学        | 6                               | 2   | 2           | ○  | 基礎II                     |  |     | ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○  |                                    |   |   |   |   |   |
| 機                        | 環境生物学         | 6                               | 2   | 2           | ○  | 基礎II                     |  |     | ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○  |                                    |   |   |   |   |   |
| 機                        | エネルギー変換工学     | 6                               | 2   | 2           | ○  | 基礎II                     |  |     | ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○  |                                    |   |   |   |   |   |
| 機                        | 数値流体力学        | 6                               | 2   | 2           | ○  | 分野選択                     | 熱  |     | ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○  |                                    |   |   |   |   |   |
| 機                        | 伝熱学 II        | 6                               | 2   | 2           | ○  | 分野選択                     | 熱  |     | ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○  |                                    |   |   |   |   |   |
| 機                        | 空気力学          | 6                               | 2   | 2           | ○  | 分野選択                     | 熱  |     | ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○  |                                    |   |   |   |   |   |
| 機                        | 計算力学          | 6                               | 2   | 2           | ○  | 分野選択                     | 材  |     | ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○  |                                    |   |   |   |   |   |
| 機                        | 破壊力学          | 6                               | 2   | 2           | ○  | 分野選択                     | 材  |     | ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○  |                                    |   |   |   |   |   |
| 機                        | トライボロジー       | 6                               | 2   | 2           | ○  | 分野選択                     | 設  |     | ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○  |                                    |   |   |   |   |   |
| 機                        | 機械設計工学        | 6                               | 2   | 2           | ○  | 分野選択                     | 設  |     | ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○  |                                    |   |   |   |   |   |
| 機                        | 制御工学 II       | 6                               | 2   | 2           | ○  | 分野選択                     | シ  |     | ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○  |                                    |   |   |   |   |   |
| 機                        | ロボット工学        | 6                               | 2   | 2           | ○  | 分野選択                     | シ  |     | ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○  |                                    |   |   |   |   |   |
| 機                        | デジタル回路        | 6                               | 2   | 2           | ○  | 分野選択                     | シ 情  |     | ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○  |                                    |   |   |   |   |   |
| 機                        | 機械知能・航空実験 II  | 6                               | 3   | 1           |  | 共通                       |  |     | ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆  |                                    |   |   |   |   |   |
| 機                        | 計画及び製図 II     | 6                               | 3   | 1           |  | 共通                       |  |     | ☆ ☆ ☆ ○ ☆ ○ ☆  |                                    |   |   |   |   |   |
| 機                        | 航空機設計学        | 6                               | 2   | 2           | ○  | コース<br>選択科目              |  |     | ○ ○ ○ ⊕ ○ ○ ○ ○  |                                    |   |   |   |   |   |
| 機                        | 応用核物理学        | 6                               | 2   | 2           | ○  | コース<br>選択科目              |  |     | ○ ○ ○ ⊕ ○ ○ ○ ○  |                                    |   |   |   |   |   |

機械知能・  
航空工学科

| 開<br>講<br>学<br>科<br>(※<br>1) | 科<br>目<br>名  | 履<br>修<br>セ<br>メ<br>ス<br>タ<br>ー | 週<br>当<br>た<br>り<br>授<br>業<br>時<br>間<br>数 | 単<br>位<br>数 | 履<br>修<br>登<br>録<br>制<br>限<br>対<br>象<br>科<br>目 | 科<br>目<br>分<br>類<br>(※<br>2) | 分野推奨科目   |                  | コ<br>ー<br>ス                     |   |                                 |  |   | 履修方法<br>[左記コース欄]<br>☆印：必修科目<br>⊕印：コース推奨<br>科目(※3)<br>○印：選択科目<br>無印：自由聽講<br>科目 |           |
|------------------------------|--------------|---------------------------------|---|-------------|--|------------------------------|--|------------------|---------------------------------|---|---------------------------------|--|---|---|-----------|
|                              |              |                                 |   |             |  |                              | 機<br>械<br>シ<br>ス<br>テ<br>ム<br>デ<br>ザ<br>イ<br>ン<br>ク<br>ス | 航<br>空<br>宇<br>宙 | 量<br>子<br>サ<br>イ<br>エ<br>ン<br>ス | バ<br>イ<br>オ<br>ロ<br>ボ<br>ット<br>シ<br>ス<br>テ<br>ム | エ<br>ネ<br>ル<br>ギ<br>ー<br>環<br>境 | 国<br>際<br>機<br>械<br>工<br>学<br>(※<br>4) |   |   |           |
| 機                            | 放射化学         | 6                               | 2   | 2           | ○  | コース<br>選択科目                  |  |                  | ○                               | ○   | ○                               | ⊕                                      | ○ | ○   | [選択必修③]   |
| 機                            | 中性子輸送学       | 6                               | 2   | 2           | ○  | コース<br>選択科目                  |  |                  | ○                               | ○   | ○                               | ⊕                                      | ○ | ○   |           |
| 機                            | バックエンド基礎     | 6                               | 2   | 2           | ○  | コース<br>選択科目                  |  |                  | ○                               | ○   | ○                               | ⊕                                      | ○ | ○   |           |
| 機                            | 国際機械工学コース研修  | 6                               | 2   | 2           | ○  | コース<br>選択科目                  |  |                  |                                 |   |                                 |  | ⊕ |   |           |
| 機                            | プラズマ基礎物理学    | 7                               | 2   | 2           | ○  | 分野選択                         | 熱  |                  | ○                               | ○   | ○                               | ○                                      | ○ | ○   |           |
| 機                            | エネルギー・システム工学 | 7                               | 2   | 2           | ○  | 分野選択                         | 熱  |                  | ○                               | ○   | ○                               | ○                                      | ○ | ○   | [選択④及び必修] |
| 機                            | 構造力学         | 7                               | 2   | 2           | ○  | 分野選択                         | 材  |                  | ○                               | ○   | ○                               | ○                                      | ○ | ○   |           |
| 機                            | 精密加工学        | 7                               | 2   | 2           | ○  | 分野選択                         | 設  |                  | ○                               | ○   | ○                               | ○                                      | ○ | ○   |           |
| 機                            | 材料強度学        | 7                               | 2   | 2           | ○  | 分野選択                         | 材  | 設                | ○                               | ○   | ○                               | ○                                      | ○ | ○   |           |
| 機                            | 微小機械加工学      | 7                               | 2   | 2           | ○  | 分野選択                         | 設  | 情                | ○                               | ○   | ○                               | ○                                      | ○ | ○   |           |
| 機                            | 機械力学II       | 7                               | 2   | 2           | ○  | 分野選択                         | シ  |                  | ○                               | ○   | ○                               | ○                                      | ○ | ○   |           |
| 機                            | コンピュータビジョン   | 7                               | 2   | 2           | ○  | 分野選択                         | シ  |                  | ○                               | ○   | ○                               | ○                                      | ○ | ○   |           |
| 機                            | 固体物理学        | 7                               | 2   | 2           | ○  | 分野選択                         | 情  |                  | ○                               | ○   | ○                               | ○                                      | ○ | ○   |           |
| 機                            | メカノプラティクス    | 7                               | 2   | 2           | ○  | 分野選択                         | 情  |                  | ○                               | ○   | ○                               | ○                                      | ○ | ○   |           |
| 機                            | 信号処理工学       | 7                               | 2   | 2           | ○  | 分野選択                         | 情  |                  | ○                               | ○   | ○                               | ○                                      | ○ | ○   |           |
| 機                            | 環境の科学と工学     | 7                               | 2   | 2           | ○  | 共通                           |  |                  | ○                               | ○   | ○                               | ○                                      | ○ | ○   |           |
| I.                           | 工業化学概論       | 7                               | 2   | 2           | ○  | 共通                           |  |                  | ○                               | ○   | ○                               | ○                                      | ○ | ○   |           |
| I.                           | 電子工学概論       | 7                               | 2   | 2           | ○  | 共通                           |  |                  | ○                               | ○   | ○                               | ○                                      | ○ | ○   |           |
| I.                           | 材料理工学概論      | 7                               | 2   | 2           | ○  | 共通                           |  |                  | ○                               | ○   | ○                               | ○                                      | ○ | ○   |           |
| I.                           | 環境工学概論       | 7                               | 2   | 2           | ○  | 共通                           |  |                  | ○                               | ○   | ○                               | ○                                      | ○ | ○   |           |
| I.                           | 知的財産権入門      | 7                               | 1   | 1           | ○  | 共通                           |  |                  | ○                               | ○   | ○                               | ○                                      | ○ | ○   |           |
| I.                           | 技術・社会システム論   | 7                               | 2   | 2           | ○  | 共通                           |  |                  | ○                               | ○   | ○                               | ○                                      | ○ | ○   |           |
| I.                           | 生体医工学入門      | 7                               | 2   | 2           | ○  | 共通                           |  |                  | ○                               | ○   | ○                               | ○                                      | ○ | ○   |           |
| I.                           | 工学倫理         | 7                               | 1   | 1           | ○  | 共通                           |  |                  | ○                               | ○   | ○                               | ○                                      | ○ | ○   |           |
| I.                           | 工学英語         | 7                               | 2   | 2           | ○  | 共通                           |  |                  | ○                               | ○   | ○                               | ○                                      | ○ | ○   |           |
| 機                            | 表面・界面工学      | 7                               | 2   | 2           | ○  | コース<br>選択科目                  |  |                  | ○                               | ⊕   | ○                               | ○                                      | ○ | ○   |           |
| 機                            | 航空機学         | 7                               | 2   | 2           | ○  | コース<br>選択科目                  |  |                  | ○                               | ○   | ⊕                               | ○                                      | ○ | ○   |           |
| 機                            | 宇宙工学         | 7                               | 2   | 2           | ○  | コース<br>選択科目                  |  |                  | ○                               | ○   | ⊕                               | ○                                      | ○ | ○   |           |
| 機                            | 燃焼工学         | 7                               | 2   | 2           | ○  | コース<br>選択科目                  |  |                  | ○                               | ○   | ⊕                               | ○                                      | ○ | ○   |           |
| 機                            | 推進工学         | 7                               | 2   | 2           | ○  | コース<br>選択科目                  |  |                  | ○                               | ○   | ⊕                               | ○                                      | ○ | ○   |           |
| 機                            | 高エネルギー材料工学   | 7                               | 2   | 2           | ○  | コース<br>選択科目                  |  |                  | ○                               | ○   | ○                               | ⊕                                      | ○ | ○   |           |
| 機                            | 量子機械学        | 7                               | 2   | 2           | ○  | コース<br>選択科目                  |  |                  | ○                               | ○   | ○                               | ⊕                                      | ○ | ○   |           |
| 機                            | 原子炉安全・設計学    | 7                               | 2   | 2           | ○  | コース<br>選択科目                  |  |                  | ○                               | ○   | ○                               | ⊕                                      | ○ | ○   |           |
| 機                            | 放射線安全工学      | 7                               | 2   | 2           | ○  | コース<br>選択科目                  |  |                  | ○                               | ○   | ○                               | ⊕                                      | ○ | ○   |           |
| 機                            | バックエンド基礎実験   | 7                               | 3   | 1           | ○  | コース<br>選択科目                  |  |                  | ○                               | ○   | ○                               | ⊕                                      | ○ | ○   |           |
| 機                            | 環境地殻工学       | 7                               | 2   | 2           | ○  | コース<br>選択科目                  |  |                  | ○                               | ○   | ○                               | ○                                      | ⊕ | ○   |           |

| 開講学科<br>※1 | 科目名                   | 履修セメスター | 週当たり授業時間数 | 単位数 | 履修登録制限対象科目 | 科目分類<br>※2 | 分野推奨科目            |                    | コース                  |                  |          |   | 履修方法      |  |
|------------|-----------------------|---------|-----------|-----|------------|------------|-------------------|--------------------|----------------------|------------------|----------|---|-----------|--|
|            |                       |         |           |     |            |            | 機械システム<br>ナノメカニクス | 航空宇宙<br>エネルギー・デザイン | 量子サイン<br>バイオロボットシステム | 国際機械工学<br>環境(※4) | 〔左記コース欄〕 | ☆印：必修科目<br>④印：コース推奨科目(※3)<br>○印：選択科目<br>無印：自由聴講科目 |           |  |
| 機          | ジオメカニクス               | 7       | 2         | 2   | ○          | コース選択科目    | ○                 | ○                  | ○                    | ○                | +        | ○   |           |  |
| 機          | 地図移動現象論               | 7       | 2         | 2   | ○          | コース選択科目    | ○                 | ○                  | ○                    | ○                | +        | ○   |           |  |
| 機          | 化学エネルギー変換工学           | 7       | 2         | 2   | ○          | コース選択科目    | ○                 | ○                  | ○                    | ○                | +        | ○   | 〔選択④及び必修〕 |  |
| 機          | エネルギー・資源論             | 7       | 2         | 2   | ○          | コース選択科目    | ○                 | ○                  | ○                    | ○                | +        | ○   |           |  |
| 機          | 国際機械工学コース特論           | 7       | 2         | 2   | ○          | コース選択科目    |                   |                    |                      |                  | +        |   |           |  |
| 機          | 塑性力学基礎                | 8       | 2         | 2   | ○          | 共通         | ○                 | ○                  | ○                    | ○                | ○        | ○   |           |  |
| 機          | 飛行力学                  | 8       | 2         | 2   | ○          | コース選択科目    | ○                 | ○                  | +                    | ○                | ○        | ○   |           |  |
| 機          | 核環境工学                 | 8       | 2         | 2   | ○          | コース選択科目    | ○                 | ○                  | +                    | ○                | ○        | ○   |           |  |
| 機          | 学外見学(補足1)             |         |           |     |            | 共通         | ☆                 | ☆                  | ☆                    | ○                | ☆        | ○   |           |  |
| 機          | 学外実習                  |         |           |     |            | 共通         |                   |                    |                      | ○                |          | ○   |           |  |
| 機          | 機械知能・航空特別講義I<br>(補足2) |         |           |     |            | 共通         | ○                 | ○                  | ○                    | ○                | ○        | ○   |           |  |
| 機          | 機械知能・航空特別講義II         |         |           |     |            | 共通         | ○                 | ○                  | ○                    | ○                | ○        | ○   |           |  |
| I          | 国際工学研修I～IV(補足3)       |         |           |     |            | 共通         | ○                 | ○                  | ○                    | ○                | ○        | ○   |           |  |
| I          | 工学教育院特別講義             |         |           |     |            | 共通         | ○                 | ○                  | ○                    | ○                | ○        | ○   |           |  |
| 機          | 卒業研究                  | 6       | 3         | 計6  | 共通         |            | ☆☆☆☆☆☆☆☆          |                    |                      |                  |          |   |           |  |
|            |                       | 7       | 6         |     |            |            |                   |                    |                      |                  |          |   |           |  |
|            |                       | 8       | 9         |     |            |            |                   |                    |                      |                  |          |   |           |  |

※1 「開講学科」欄：「工」は工学共通科目、「機」は機械知能・航空工学科開講科目を示す。

※2 「科目分類」欄：「基礎I」は機械知能・航空工学科の学生にとって修得することが望ましい基礎的な科目(演習を含む)、「基礎II」は「基礎I」に基づく発展的な基礎科目であり、分野において推奨される科目が指定されている科目、「共通」は機械知能・航空工学科の学生に共通に開講される実験や研修等、「分野選択」は各分野において修得することが望ましい科目、「コース選択」は各コースで修得することを推奨している科目を示す。

※3 「コース推奨科目」は各コースで修得することを推奨している科目を示す。

この科目において、受講希望学生が多数の場合は、④印のコース所属学生の受講を優先することがある。

※4 国際機械工学コースには、国際学士コースで入学した学生のみが配属される。英語で開講する科目、及びその履修セメスターは別冊子で指定する。

補足1 機械システムデザイン、ナノメカニクス、航空宇宙、バイオロボットシステムの各コースでは近郊見学を含み、卒業研修の一環とする。

補足2 「自動車工学」等。

補足3 機械知能・航空工学科においては、「国際工学研修I～IV」として認定された単位のうち、合計1単位までを卒業要件単位として認め、他は自由聴講科目とする。

## (2) 全学教育科目のコース別履修推奨科目

各コースの専門教育科目履修を前に、修得しておくことを推奨する全学教育科目です。

- ・エネルギー環境コース：「自然と環境(地球環境の科学)(基幹科目－自然論)」
- ・バイオロボットシステムコース：「生命科学B(展開科目－自然科学群)」「生命科学C(展開科目－自然科学群)」

(3) 卒業に要する最低取得単位数

|               | 全学教育科目 |     |      |      |      |      |      |       |      |      |     | 小計 | 専門教育科目                                    |  | 合計   |     |    |
|---------------|--------|-----|------|------|------|------|------|-------|------|------|-----|----|---|--|--|-----|----|
|               | 基幹科目   |     | 展開科目 |      |      | 共通科目 |      |       | 小計   | 対象科目 | コース |    | 小計  | 合計   |  |     |    |
|               | 人間論    | 社会論 | 自然   | 人文科学 | 社会科学 | 総合科学 | 自然科学 | 転換少人数 | 保健体育 | 英語   | 初修語 |    |   |  |  |     |    |
| 必修科目          | 0      | 0   | 0    | 0    | 0    | 0    | 16   | 0     | 1    | 4    | 0   | 2  | 23  | 授業科目表の☆印の科目  | 機械システムデザイン<br>ナノメカニクス<br>航空宇宙<br>バイオロボットシステム<br>国際機械工学 | 21  | 44 |
|               |        |     |      |      |      |      |      |       |      |      |     |    |   | 量子サイエンス<br>エネルギー環境                                     | 19   | 42  |    |
| 選択科目(選択必修を含む) | 2      | 2   | 2    | 4    |      | 8    | 2    | 2     | 4    | 0    | 26  |    | 授業科目表の創造工学研修及び履修方法欄の[選択必修①,②,③], [選択④]の科目 | 機械システムデザイン<br>ナノメカニクス<br>航空宇宙<br>バイオロボットシステム<br>国際機械工学 | 60   | 86  |    |
| 計             | 6      |     | 28   |      |      | 15   |      | 49    |      |      |     |    |   |  | 量子サイエンス<br>エネルギー環境                                     | 62  | 88 |
|               |        |     |      |      |      |      |      |       |      |      |     |    |   |  | 81   | 130 |    |

注意：授業科目表の「履修方法欄」に記載されている〔選択必修科目①～③〕の単位数の合計はコースにより38～40単位である。これは卒業に要する専門教育科目的選択科目単位数（コースにより60～62）より22単位少ないので、各自の興味により専門教育科目から22単位以上修得すること。このときコースによっては自由聽講科目（無印）の科目があるので注意すること。

(4) 3セメスター終了時の履修要件

原則として、3セメスター終了時に、以下の条件を満たしていることを「機械知能・航空研修Ⅰ」の履修要件とします。「機械知能・航空研修Ⅰ」を履修し単位を修得していないと、4セメスター終了後に研究室に配属されず、5セメスター開講の「機械知能・航空研修Ⅱ」を受講することができません。

- ① 全学教育科目内の自然科学群、情報科目群及び1・2セメスター開講の工学共通科目（「数学物理学演習Ⅰ・Ⅱ」、「情報処理演習」及び「創造工学研修」）の中から24単位以上を修得していること。
- ② ①の中で「自然科学総合実験」を修得していること。
- ③ 全学教育科目及び工学共通科目のうち3セメスター終了時までの必修科目及び英語C1またはPractical English Skills 1から15単位以上を修得していること。
- ④ 外国語群から合計4単位以上を修得していること。
- ⑤ 〔選択必修①〕の要件を満たしていること。

なお、①及び④の単位数には、自由聽講科目の単位を含めることはできません。

## (5) 6セメスター終了時の履修要件

6セメスター終了時において、以下の条件を満たしていない者は、原則として、7・8セメスターに割当てられている「卒業研究」を履修できません。

- ① 6セメスター終了時までの全ての必修単位を修得していること。
- ② 英語C1と英語C2、英語C1とPractical English Skills 2、Practical English Skills 1と英語C2、Practical English Skills 1とPractical English Skills 2のいずれかの組み合わせで2単位を修得していること。(P9. 外国人留学生の外国語履修について(2)該当学生は除く。)
- ③ 全学教育科目の中の基幹科目類6単位、外国語群10単位のうち、14単位以上を修得していること。
- ④ [選択必修②] の要件を満たしていること。
- ⑤ [選択必修③] の要件を満たしていること。

## (6) 早期卒業制度

早期卒業制度の適用を受ける者は、3年若しくは3.5年の早期卒業時に修得科目の全科目の加重平均点が80点以上であること、及び以下の事項を満たしている必要があります。

(6-1) 3年早期卒業制度の適用を希望する者は、以下の全ての条件を満たして「卒業研究」を5・6セメスターで履修し、かつ修得する必要があります。

- ① 4セメスター終了時において、それまでに修得した単位の成績のうち、評価A以上(80点以上)の科目の数が、通算で5分の4以上であること。
- ② 4セメスター終了時において、それまでに修得した単位の成績のうち、評価AA(90点以上)の科目の数が、通算で2分の1以上であること。
- ③ 5・6セメスターにおいて、講義、実験、演習、卒業研究などが無理なく履修でき、かつ7・8セメスター開講科目を5・6セメスターで先取り履修するために、以下の全ての科目を先取り履修により修得していること。

<先取り科目>

- (a) 3セメスター時に、5セメスター開講の「計画及び製図Ⅰ」
- (b) 4セメスター時に、6セメスター開講の「基礎Ⅱ」科目および「分野選択」科目から2科目以上

(6-2) 3.5年早期卒業制度の適用を希望する者は、以下の全ての条件を満たして「卒業研究」を6・7セメスターで履修し、かつ修得する必要があります。

- ① 5セメスター終了時において、それまでに修得した単位の成績のうち、評価A以上(80点以上)の科目の数が、通算で5分の4以上であること。
- ② 5セメスター終了時において、それまでに修得した単位の成績のうち、評価AA(90点以上)の科目の数が、通算で2分の1以上であること。
- ③ 6・7セメスターにおいて、講義、実験、演習、卒業研究などが無理なく履修でき、かつ7・8セメスター開講科目を5・6セメスターで先取り履修するために(6-1)の先取り科目を先取り履修により修得していることが望ましい。さらに7・8セメスターの専門教育科目を5・6セメスターに先取り履修により修得していることが望ましい。

## (7) その他の

- 教職科目の履修については、教職科目の項を参照すること。
- 授業科目表中の開講セメスターは、変更することがある。

## (8) 専門科目授業要旨

|   |                   |   |                   |
|---|-------------------|---|-------------------|
| <b>数学 I</b><br>Mathematics I  | 2 単位<br>選択 3セメスター | <b>数学 II</b><br>Mathematics II  | 2 単位<br>選択 3セメスター |
| ベクトル解析および偏微分方程式の基礎を講義する。<br>スカラー場、ベクトル場、偏微分方程式を工学に利用するための計算力・応用力を訓練する。  |                   | 理工学における様々な現象の解析に用いられている方法として、フーリエ解析およびラプラス変換を取り上げ、それらの数学的考え方および具体的な問題に現れる理論と応用の結びつきについて講義する。具体的には、(1) 周期関数のフーリエ級数、一般的な非周期関数のフーリエ積分、フーリエ変換について学び、フーリエ解析の理論体系を習得する。(2) フーリエ級数／変換を利用した偏微分方程式の境界値問題の解法やスペクトル解析について学び、得られた解の物理的意味を理解する。(3) 微分方程式の初期値問題を解く手段としてのラプラス変換を習熟し、実例への適用を学ぶ。 |                   |
| <b>数理解析学</b><br>Numerical Analysis  | 2 単位<br>選択 3セメスター | <b>力学</b><br>Mechanics  | 2 単位<br>選択 3セメスター |
| 線形代数の基礎的な考え方と代表的な数値解析法を講義し、設計・計画・推定等への応用を述べる。<br>1. 内積と距離<br>2. 連立一次方程式とその解法<br>3. 三次形式とその応用<br>4. 最小二乗法<br>5. 線形計画法、ゲーム理論の入門<br>6. 設計・計画・推定等への応用                                 |                   | 本講義は全学教育科目展開科目の物理学 A, B で既に学んだ力学に関する内容を基礎として、それらを機械・知能系における工学の諸分野により具体的に応用出来るものへと発展させるための基礎学力を養うことを目的とする。講義の主な内容：1. 質点の運動、2. 質点系の運動、3. 解析力学、4. 質点の振動、5. 剛体内の力のつり合い、6. 剛体の平面運動。  |                   |
| <b>情報科学基礎論</b><br>The Basics of Information Sciences  | 2 単位<br>選択 3セメスター | <b>流体力学 I</b><br>Fluid Mechanics I  | 2 単位<br>選択 3セメスター |
| 本講義では、以下に示す機械・知能系において必要となる情報科学の基礎理論を習得し、問題解決への応用能力を養うことを目的とする。<br>1. デジタル信号処理の基礎<br>2. ベイズ理論とその応用<br>3. ニューラルネットワーク<br>4. 遺伝的アルゴリズム<br>5. 計算科学シミュレーション                            |                   | 流体運動の基本的性質を、流動現象の説明に重点をおいて、総合的かつ普遍的に把握する方法や考え方について講義を行う。<br>1. 流体の性質<br>2. 静水力学<br>3. 流動現象の基礎<br>4. ベルヌーイの式<br>5. 運動量の定理<br>6. 次元解析と相似則<br>7. 管路内の流れ<br>8. 物体まわりの流れ<br>9. 流れの工学的応用  |                   |
| <b>材料力学 I</b><br>Mechanics of Materials I   | 2 単位<br>選択 3セメスター | <b>機構システム学</b><br>Mechanism   | 2 単位<br>選択 3セメスター |
| 材料力学は機械や構造物の強さ、変形に関する事項を取扱う学問であり、ここでは講義と演習を一体として以下の項目について授業する。1. 序論 2. 単純応力 3. 組合せ応力 4. 軸のねじり   |                   | 機械の動きを知る上で、その基礎となる機構の運動を理解することは重要である。ここでは、運動の解析を中心としつつ設計者がいかなる選択をすべきかというシンセシスの立場も考慮して下記の項目について講義する。<br>1. 自由度と運動<br>2. リンク機構<br>3. カム機構<br>4. 摩擦伝達機構<br>5. 齧車機構<br>6. 立体機構  |                   |
| <b>電磁気学 I</b><br>Electromagnetics I   | 2 単位<br>選択 4セメスター | <b>量子力学</b><br>Quantum Mechanics  | 2 単位<br>選択 4セメスター |
| 電磁気学はセンサ、アクチュエータまたエネルギー変換利用など機械・知能系の研究分野に深い関わり合いをもっている。本講義は電磁気学の基礎的学習を通じ、各分野への応用を行うための基礎を身につけることを目標とする。同時にベクトル数学の応用や物理的考察で重要な場の考え方について学習する。静的な電場・磁場と電磁誘導現象を主体とし、電磁波の基礎等についても講義する。 |                   | 原子、原子核の世界での電子および陽子・中性子の運動は、粒子の運動を記述するニュートン力学ではなく、粒子を波として取り扱う量子力学によって説明される。ミクロの世界の現象およびそのエネルギーを利用して利用する最先端科学・工学の基礎知識として不可欠な量子力学の基本を理解する。前期量子論、不確定性原理、粒子性と波動性、波動方程式と波動関数の理解、パウリの排他律と多粒子系の波動関数などについて学び、調和振動子及び水素原子の内殻電子の運動、粒子のポテンシャル散乱などの問題の解き方を学ぶ。                                |                   |

|  |                   |   |                   |
|--|-------------------|---|-------------------|
| <b>回路・システム基礎</b><br>Fundamentals of Electronic Circuit and Systems   | 2 単位<br>選択 4セメスター | <b>機械力学 I</b><br>Mechanical Vibration I   | 2 単位<br>選択 4セメスター |
| 電気回路を中心として線型システムの性質と工学的取扱いについて講義する。<br>1. 線型システムと電気回路, 2. 抵抗回路, 3. 正弦波とインピーダンス, 4. 線型システムの性質と応答, 5. 交流回路, 6. 複素スペクトルと周波数領域, 7. システムの表現   |                   | 機械およびそれらの部品に生じる動的問題の基礎を習得する。具体的には機械をモデル化して得られる1自由度系, 2自由度系, 多自由度系および基本的な連続体の動的特性を示し, 併せて得られた知見を考慮した機械の設計法について述べる。   |                   |
| <b>熱力学</b><br>Thermodynamics   | 2 単位<br>選択 4セメスター | <b>材料力学 II</b><br>Mechanics of Materials II   | 2 単位<br>選択 4セメスター |
| 熱力学の基本概念と基礎原理を理解し, 工学への応用力を養成することを目的とする。特に, 近年重要となってきた, 地球規模の環境問題に関するエネルギーの有効利用や省エネルギーの基本概念を理解する。また, エンジンや発電所などの熱流体機器の動作原理の理解を通して, 人類が限られたエネルギー資源を有効に利用する基本原理を学ぶ。<br>つまり, 热力学の基本原理である系・物質・エネルギーの基本概念から始まり, 热力学第1法則と第2法則を学び, 物質の状態変化を定量的に学ぶ。さらに, ビストンエンジン・ジェットエンジン・蒸気サイクル・冷凍機などの熱機関の動作原理と効率を理解すると共に, エネルギーの有効利用についての基本概念を講述する。さらに, 物質の状態量変化に関する一般的な関係やエクセルギー(行動エネルギー)も理解する。 |                   | 材料力学 I に続き, 機械や構造物を設計する際の基礎となる以下の項目について授業する。6. はりの応力 7. はりの変形 8. 不静定はり 9. ひずみエネルギーとエネルギー法 10. 柱の圧縮 11. 厚肉円筒と回転円板  |                   |
| <b>材料科学</b><br>Materials Science   | 2 単位<br>選択 4セメスター | <b>システム工学</b><br>Systems Engineering  | 2 単位<br>選択 4セメスター |
| 本講義においては, 金属を中心とする構造材料について, 結晶構造, 欠陥, 転位, 強度, 扩散, 状態図, 相変化など材料の基本的物性ならびにそれらの実用上の重要性について説明する。<br>種々の機器・構造物を高い信頼性と経済性を有しつつ所定の機能を発揮できるように設計, 製作, 運転, 保全していく上で, 材料の物性を理解し, その工学的応用の手法を理解することが必要である。  |                   | システム工学は, 複雑大規模で多様な問題に対し, それをできる限り合理的に定式化し解決していくための, 工学全般に共通する方法論である。本講義では, その基礎として, 問題の構造同定と要因分析, 億値評価と多目的意思決定, システム信頼性評価, 最適化技法と数理計画法などの考え方とそれらの代表的な手法について講述する。  |                   |
| <b>コンピュータ実習</b><br>Computer Seminar  | 1 単位<br>必修 4セメスター | <b>機械知能・航空研修 I</b><br>Mechanical and Aerospace Engineering Seminar I  | 2 単位<br>必修 4セメスター |
| 本実習では, C言語によるプログラミング技法を中心学び, それに必要なLinuxオペレーティングシステムの概要やTeXによる科学技術文書の作成方法に加え, 描画ツールや電子メールの使い方などに関する基礎的知識について学習する。さらに, アルゴリズムの設計とプログラミングに関する総合的な演習課題に取り組むことで, 問題解決支援ツールとしてコンピュータを有効活用するための基礎的手法の習得を目指す。   |                   | 選択した専門分野に分かれて受講する。始めに研修課題の説明を受けたのち, 与えられた課題について各自調査研究を行なう。さらに成果発表会にて発表し, 内容に関して討論を行なう。この過程で, 自主的に調査研究する能力を養い, 発表準備, 発表, 質疑応答の仕方を学ぶとともに, 自身が選んだ専門分野の諸課題に対する理解を深める。 |                   |
| <b>計算機工学</b><br>Fundamentals of Computer Engineering   | 2 単位<br>選択 5セメスター | <b>電磁気学 II</b><br>Electromagnetics II   | 2 単位<br>選択 5セメスター |
| 機械・知能系における計算機の重要性から, 計算機の基本原理を学びつつ, 本系での用途を指向した計算機の利用のため基本的技法を学ぶことを本講義の目的とする。内容としては, 1. 計算機全体の基本構造とその動作原理, 2. ゲートレベルからプロセッサレベルに亘るハードウェア, 3. オペレーティング・システム, 4. プログラミング言語とコンパイラ, 5. 入出力装置, 6. 応用   |                   | 電磁気学 I の内容をさらに発展させ, 時間変動を含む電場, 磁場, 電磁波の工学的な利用を踏まえた解析手法, 数値解析法および電磁場と物質の相互作用について講義する。さらに, 半導体, 超伝導, 光応用回路, 電磁波利用など電磁気学の工学的実用例について解説を行う。                            |                   |

|   |                   |   |                   |
|---|-------------------|---|-------------------|
| <b>基礎核物理学</b><br>Basic Nuclear Physics  | 2 単位<br>選択 5セメスター | <b>溶液化学</b><br>Solution Chemistry               | 2 単位<br>選択 5セメスター |
| 人工太陽である核融合炉、原子核のもつエネルギーを電力に変える原子炉、超大規模集積回路（超LSI）をつくる加速器、放射性同位元素によるがんの診断・治療などの高度な技術の基礎知識である原子核物理学を理解する。素粒子の構造と基本的性質、相互作用と力、初等場の量子論、多粒子系の量子力学、振動計算、粒子の散乱、原子核の基本的性質、核力、原子核の構造、原子核の安定性、クォークと原子核などについて学ぶ。                        |                   |   |                   |
| <b>環境地球科学</b><br>Environmental Geosciences  | 2 単位<br>選択 5セメスター | <b>流体力学Ⅱ</b><br>Fluid Mechanics II              | 2 単位<br>選択 5セメスター |
| 地質学を中心に、地球物理学、地球化学の成果に基づく地球地殻の科学を学ぶ。地質構造、地殻の運動、資源の形成と分布、地質年代の計測法の原理と実際を通じ、地球環境の成り立ちを中心として物質科学的な観点から学ぶとともに、地球を対象とした工学からのアプローチをはかる。   |                   |   |                   |
| <b>伝熱学 I</b><br>Heat Transfer I   | 2 単位<br>選択 5セメスター | <b>計測工学</b><br>Instrumentation                  | 2 単位<br>選択 5セメスター |
| 伝熱は温度差によるエネルギーの移動現象であり、機械、化学、原子力、資源、環境等の広い分野の工学の基礎である。本講義では、その基本概念と応用について、1. 伝熱の基本概念、2. 熱伝導、3. 対流熱伝達、4. 相変化のある伝熱（沸騰・凝縮、凝固・融解）、5. 放射伝熱、6. 热交換器、に重点を置いて講義する。  |                   |   |                   |
| <b>制御工学 I</b><br>Control Engineering I  | 2 単位<br>選択 5セメスター | <b>材料機能設計学</b><br>Design for Materials Function | 2 単位<br>選択 5セメスター |
| 自動制御理論の重要な道具であるラプラス変換の概要を説明し、これを用いて自動制御系の特性を表す伝達関数の基本形を示す。次いで、系の周波数特性を知るための周波数伝達関数や各種図式表現法を説明する。さらに、フィードバック制御系の安定判別法、フィードバック制御系の設計法などについて講義する。  |                   |   |                   |
| <b>計算機ソフトウェア工学</b><br>Computer Software Engineering   | 2 単位<br>選択 5セメスター | <b>弾性力学</b><br>Theory of Elasticity             | 2 単位<br>選択 5セメスター |
| 計算機でシミュレーションを行ったり、アプリケーションを作成するには、効率の良いソフトウェアを作成できる能力が必要である。本講では以下のようなソフトウェア工学の基礎について講述する。<br>1. アルゴリズムとデータ構造<br>2. 計算のモデル<br>3. 計算量の評価   |                   |   |                   |
| 物体を連続体という数学的モデルでとらえ、物体が外力を受けるときの変形と応力を数理的に明らかにする弾性力学の基礎について述べる。主な内容は 1. 変位、ひずみ、適合方程式 2. 応力、平衡方程式 3. ひずみエネルギー、最小ポテンシャルエネルギーの定理 4. 線形弾性体の構成方程式、等方弾性体 5. 弾性理論の基礎式 6. ねじり問題、曲げ問題の解析、三次元問題の解析 である。これは、アドバンス・コースの固体力学の基礎となるものである。 |                   |   |                   |

**創成学**

Creation and Production

2単位

選択 5セメスター

創成とは、物をはじめて作り上げること。工業界においてそれを可能にするのは新しい物を考え出す想像力とそれを現実に作り出すための新しい製作技術である。両者は互いに補完し合う。新しい素材は新しい機械・機器・センサーを可能にし、新しい製作技術はそれらの構成要素の製作を可能にする。本講義は人類がこれまでに示した創成のための想像力と到達した製作技術を説明し、次の創成のための基礎知識を与える。

**メカトロニクス**

Mechatronics

2単位

選択 5セメスター

機械と電子回路およびソフトウェアの有機的結合により、小型軽量化、メカニズムの簡素化と高機能化などを図った機械を扱う分野をメカトロニクスという。本講では、メカトロニクス機器を設計する上において必要となる基礎事項を学ぶとともに、移動ロボットの構築例を通してメカトロニクス的考え方を学習する。

**電子デバイス**

Electronic Devices

2単位

選択 5セメスター

電子物性の主要な点も含めながら半導体素子の動作、性質を中心に講義する。增幅回路等簡単な回路についても説明する。ダイオードやトランジスタばかりではなく、フォトトランジスタ、その他を含め、半導体素子を用いたデバイスについての普遍的な概念が把握できるように講義する。

**機械知能・航空実験 I**

Laboratory Experiment I

1単位

必修 5セメスター

機械・知能系に関する分野の中で、基本的事象の実験、観察を行い、講義によって修得した知識を具体例により体得するとともに、専門的実験を行うための基礎的技法、実験結果に対する考察法、実験結果のプレゼンテーション手法などを学ぶ。学生は専門教員の直接的な指導のもとに実験を行い、専門教員との議論を通して報告書を仕上げ提出する。

**計画及び製図 I**

Design and Drawing I

1単位

必修 5セメスター

機械を設計するためには、それを構成する部品の材料選定、強度評価、製造・組立法の検討が必要である。また、ねじ等の機械要素を、要求仕様を満たすように適切に選定する必要もある。得られた設計情報は「図面」によって伝達され、図面を作成する作業を「製図」という。情報を正しく伝えるために、製図に関する種々の規則が定められている。製図規則の修得と数課題の製図実習を通して、実際の機械部品と図面の関連を理解できるようにする。

**機械知能・航空研修 II**

Mechanical and Aerospace

1単位

必修 5セメスター

Engineering Seminar II

卒業研究のテーマに関連した文献の調査、整理を行い、論文内容をまとめた要旨を作成する。さらに、課題論文について各自調査・学習した内容を研究発表・討論会にて発表しその内容に関して討論を行なう。この過程で、文献調査の方法、最新の研究方法、論文の書き方、自主的な調査研究、講演発表・質疑応答の方法を修得する。

**機械工作実習**

Manufacturing Process Training

1単位

必修(機シ・ナノ・航空・ロボ) 5セメスター  
選択(量子・工環)

設計された機械を現実のものとするためには、製造工程を経なければならない。機械は多くの部品より構成されており、図面に示された設計情報を読み取り、適切な製造方法を選択する必要がある。本実習では、各種加工方法と工作機械の概要を説明した後に、旋盤、フライス盤などの汎用機械加工、さらには最新鋭のナノ精度切削加工、MEMS 加工を体験する。各加工方法の特長、加工精度、工具と工作物の性質などについて理解できるようにする。

**機械システムデザイン入門**

Introduction to Systems Design 必修(機シ) 5セメスター

2単位

Engineering

本講義では機械システムデザインコースにおいて、卒業までにはどのような知能、能力を身につけることが教育の目的および目標になっているかという点について解説を受けるとともに、コース所属の各教員によりコースにおいて習得すべき各学問分野の入門的解説を受ける。

**フォートラン演習**

Exercise in Fortran

1単位

選択 5セメスター

ワークステーション上でFORTRANを用いたプログラミング演習を行い、科学技術計算の基礎手法を習得する。

1. プログラム書法
2. FORTRAN プログラミングの基本と応用

**ナノメカニクス入門**

Introduction to Nanomechanics 必修(ナノ) 5セメスター

2単位

本講義では、コース全体で卒業までに習得できる共通基盤技術として、1) ナノスケールでの材料の設計と評価、2) 薄膜プロセスと加工、3) センサやMEMS等各種デバイス、及び4) 計測と制御につき体系的に学ぶ。ナノメカニクスコースに所属する各研究室の教員が、研究の目的や最先端技術の動向等を紹介する。また、企業の技術者から、製品の生産活動におけるナノメカニクスの位置付けも紹介頂く。

|   |                       |  |                        |
|---|-----------------------|--|------------------------|
| <b>航空宇宙入門</b><br>Introduction to Aerospace Engineering  | 2 単位<br>必修(航空) 5セメスター | <b>量子サイエンス入門</b><br>Introduction to Quantum Science 必修(量子) 5セメスター and systems  | 2 単位<br>必修(量子) 5セメスター  |
| 本講義では航空宇宙コースにおいて、卒業までにどのような知識、能力を身につけることが教育の目的および目標になっているかという点について解説を受けるとともに、コース所属の各教員によりコースにおいて習得すべき各学問分野の入門的解説を受ける。   |                       | 電子、原子核、原子がおりなす量子現象の応用技術は、日常生活から、医療、宇宙開発まであらゆる分野で用いられ、昔空想だったものが今は実現している。宇宙からヒトまでが、量子現象とその応用と密接に関係している。さらに、原子力開発、宇宙開発などの巨大科学は、これらの知識のもとに展開される。本講義では、空想を実現へと導く工学である量子サイエンスを理解するために必要な基礎知識を得る。             |                        |
| <b>バイオロボットシステム入門</b><br>Introduction to Bio-robot System  | 2 単位<br>必修(ロボ) 5セメスター | <b>エネルギー環境入門</b><br>Introduction to Energy and Environment Technology  | 2 単位<br>必修 (工環) 5セメスター |
| 本講義ではバイオロボットシステムコースにおいて、卒業までにどのような知識、能力を身につけることが教育の目的および目標になっているかという点について解説を受けるとともに、コース所属の各教員によりコースにおいて習得すべき各学問分野の入門的解説を受ける。  |                       | 本講義は、コース所属の各教員による「エネルギー環境コースで習得すべき各学問分野の入門的解説である。受講生は、エネルギー環境コースの教育の目的を理解し、エネルギーと環境に関わる基礎知識を学ぶ。  |                        |
| <b>反応速度論</b><br>Kinetics in Reactions   | 2 単位<br>選択 6セメスター     | <b>界面物理化学</b><br>Physical Chemistry of Interface   | 2 単位<br>選択 6セメスター      |
| 物質の変換を伴う諸現象を理解し、人類の福祉に役立つ技術とするのも工学の役割である。そこでは諸現象の進展する速度は極めて重要な因子である。本講義では、反応速度を支配する諸因子を化学量論、素過程と反応機構、反応次数、活性化エネルギー、律速過程、拡散と反応、などに基づいて理解を促し、工学的応用について講義する。   |                       | 環境化学の各分野、ナノマテリアル合成および利用に不可欠な固相・液相・気相界面における様々な物理化学現象の基礎と応用について学ぶ。<br>1 界面物理化学概論<br>2 粒子分散系の分散・凝集<br>3 界面活性と界面活性剤<br>4 ぬれ<br>5 吸着現象<br>6 界面物理化学の応用、Topic   |                        |
| <b>環境生物学</b><br>Environmental Biology   | 2 単位<br>選択 6セメスター     | <b>エネルギー変換工学</b><br>Energy Conversion System Engineering   | 2 単位<br>選択 6セメスター      |
| 生物圏は地球を構成する主要サブシステムの一つであり、地球環境を考える際には、生物圏で生じている現象を理解する必要がある。本講義では、生物圏の構成要素である生物とそこで起きる生命現象を理解するために、生物学、生態学、生化学の基礎として、生物の分類と進化、生体を構成する物質とその性質、生体内外で生じる化学反応、遺伝と情報伝達など生命現象に関わる基礎を講義する。また、生命が関与する地球における物質循環を理解し、今日の環境問題と生物圏との関連、環境問題に対する生物の寄与や生物による環境浄化についても言及する。 |                       | 電気を中心としたエネルギーについて、エネルギー使用量の推移、石炭、石油、天然ガスなどのエネルギー資源の埋蔵量、消費形態などについて概要を学ぶ。また火力、水力、原子力発電、地熱発電、太陽光発電・燃料電池などの主要な発電方式におけるエネルギー変換プロセス、さらにはそれらと環境問題との関係、電気の発生・輸送・消費にいたるエネルギー工学全般について学ぶ。また、講義の一環として発電設備の見学も実施する。 |                        |
| <b>数値流体力学</b><br>Computational Fluid Dynamics   | 2 単位<br>選択 6セメスター     | <b>伝熱学 II</b><br>Heat Transfer II  | 2 単位<br>選択 6セメスター      |
| まず偏微分方程式の基礎について解説し、次いで、代表的な数値解法である差分法の基礎理論、偏微分方程式の差分解法、そして非圧縮性ナビエ・ストークス方程式の差分解法等について講義する。<br>1. 偏微分方程式の基礎<br>2. 差分法の基礎<br>3. 偏微分方程式の差分解法<br>4. 非圧縮性ナビエ・ストークス方程式の差分解法  |                       | 伝熱学 I で習得した伝熱現象の基礎知識をふまえ、より複雑な熱現象、物質移動、界面現象のメカニズムと現象を講義する。   |                        |

|  |                  |   |  |
|--|------------------|---|--|
| <b>空気力学</b><br>Compressible Fluid Dynamics   | 2単位<br>選択 6セメスター | <b>計算力学</b><br>Computational Mechanics  | 2単位<br>選択 6セメスター                           |
| 圧縮性流れの基礎を習得することを目的として、理想気体に関する等エントロピ流れ、衝撃波、超音速流れ、ならびにノズル流れについて講義する。  |                  |   |  |
| <b>破壊力学</b><br>Fracture Mechanics  | 2単位<br>選択 6セメスター | <b>トライボロジー</b><br>Tribology   | 2単位<br>選択 6セメスター                           |
| 破壊力学は、き裂の発生・成長過程を予測・評価するための学問であり、構造物の設計・健全性評価、さらには複合材料などの材料開発分野に役立てられている。破壊力学パラメータに関する解説をした後、特に破壊力学の工学的応用に焦点をあてた講義を行う。   |                  |   |  |
| 1. 脆性破壊の特徴と破壊力学の必要性<br>2. 線形および非線形破壊力学入門<br>3. 破壊力学と安全設計<br>4. 破壊力学と複合材料開発   |                  | 機械・機器の性能と信頼性の多くはそれぞれの要素の内部と表面及び要素間の接触面の特性により決定される。本講義は、現代の高性能な機械・機器の設計に必要な表面と接触面の基本的特性としての摩擦・摩耗特性及びそれらの制御技術を概説する。 |  |
| <b>機械設計工学</b><br>Machine Design Engineering  | 2単位<br>選択 6セメスター | <b>制御工学 II</b><br>Control Engineering II  | 2単位<br>選択 6セメスター                           |
| 機械設計は、設計目標を達成する方法を見出し、それが正しく機能することを確認する一連の知的作業である。このために、機械構造の加工・組立や機械要素の性能評価などに関する広範な知識と多くの情報を総合することが必要となる。  |                  |   |  |
| ここでは、設計工学の特質を知り、機械設計における精度・強度・信頼度の確保、代表的な機械要素の機能と性能評価、設計情報の処理などについて講義する。   |                  |   |  |
| <b>ロボット工学</b><br>Robotics  | 2単位<br>選択 6セメスター | <b>デジタル回路</b><br>Digital Circuit  | 2単位<br>選択 6セメスター                           |
| 本講義は、ロボットシステムの概要と、その機構設計や運動制御の基礎を習得することを目的とする。具体的には、ロボットの運動記述法、ロボットアームの運動学や動力学などのモデリング手法、軌道生成法、ロボットアームの軌道制御や力制御など運動制御の考え方とそれらの代表的な制御手法、実世界での様々なアプリケーションについて講義する。 |                  |   |  |
| <b>機械知能・航空実験 II</b><br>Laboratory Experiment II  | 1単位<br>必修 6セメスター | <b>計画及び製図 II</b><br>Design and Drawing II   | 1単位<br>必修(機シ・ナノ・航空・ロボ) 6セメスター<br>選択(量子・工環) |
| 機械知能・航空工学科各コースにおける専門的な実験を、各学科の研究室において研究現場の雰囲気に接しつつ、専門教員の直接的な指導のもとに行う。これにより、各専門科目の講義により修得した知識を実例により体得し、卒業研究の研究実験の素地を養う。   |                  |   |  |
| 計画及び製図 I で学んだ基礎に基づいて、2つの機器について計画し、構造、機能・性能、強度などを吟味し、加工・組立法を考慮しながら、組立図、部品図、設計書にまとめあげる。  |                  |   |  |
| 設計の対象としては、機械工学に関連の深い機器を取り上げる。  |                  |   |  |

|  |                   |  |                   |
|--|-------------------|--|-------------------|
| <b>航空機設計学</b><br>Aircraft Design   | 2 単位<br>選択 6セメスター | <b>応用核物理学</b><br>Applied Nuclear Physics                                   | 2 単位<br>選択 6セメスター |
| 航空機の設計には総合工学としての様々な知識を必要とする。本講義では、航空機に関する空気力学、飛行力学、推進工学などの航空工学概論を交えながら、航空機概念設計の基本的な方法論について述べる。   |                   |  |                   |
| 1. 航空機概説<br>2. 翼および機体形状<br>3. 航空機の性能<br>4. 推進器とその装着<br>5. 航空機概念設計法   |                   |  |                   |
| <b>放射化学</b><br>Radiochemistry  | 2 単位<br>選択 6セメスター | <b>中性子輸送学</b><br>Introduction to Nuclear Engineering and Neutron Transport | 2 単位<br>選択 6セメスター |
| 核現象は、元素・宇宙の創成はもとより太陽エネルギーを生み出すなど根源的現象である。本講義では、自然界における核現象の理解を基に、人類の文化・文明との関係、そのエネルギー、材料科学、医学、生物学、宇宙開発、考古学など科学・技術への応用について講義し、新世紀を迎える人類社会への適用について詳解する。<br>また、本講では放射線取扱主任者、原子炉主任技術者の国家試験の化学分野の基礎の一部を提供する。 |                   |  |                   |
| 中性子がどのように物質と相互作用し体系の中で振る舞うかを知ることは、核エネルギー・システムの設計や運転の基本である。本講義では、中性子と物質の相互作用、核分裂鎖反応と原子炉の動作原理、中性子拡散方程式による中性子の巨視的振る舞いの記述について学習し原子炉、核融合炉、加速器システムなどの動作特性を理解する基礎知識を習得する。                                     |                   |  |                   |
| この講義は原子炉主任技術者資格獲得を目指す者には必修科目である。   |                   |  |                   |
| <b>バックエンド基礎</b><br>Fundamentals on Backend of Nuclear Fuel Cycle   | 2 単位<br>選択 6セメスター | <b>プラズマ基礎物理学</b><br>Plasma Physics   | 2 単位<br>選択 7セメスター |
| 放射性廃棄物に関連する処理処分の分野をバックエンド分野と呼称する。本講義では、バックエンド分野における特に放射性廃棄物の処分について、その安全評価の基礎を講義する。放射性廃棄物の処分システムは地図環境における人工バリアと天然バリアとのマルチバリアからなる。本講義ではこれらのバリアにおける移動現象（核種の移動および崩壊熱の放出による熱移動）についての定量化手法の基礎を理解する。          |                   |  |                   |
| 本講義は、将来の人類の有力なエネルギー源としての核融合の最も重要な問題である炉心プラズマの基本的な性質を理解出来るよう構成している。まず、核融合反応の初步から始め、核融合炉の点火条件について述べる。その後は主として、超高温プラズマの電磁界中での振舞と、プラズマの安定閉じ込めに関連したプラズマの平衡、不安定性、波動現象、プラズマの輸送過程等の基礎的な内容について講述する。             |                   |  |                   |
| <b>エネルギー・システム工学</b><br>Energy Systems Engineering  | 2 単位<br>選択 7セメスター | <b>構造力学</b><br>Structural Mechanics  | 2 単位<br>選択 7セメスター |
| 人類のエネルギー需要は、発展途上国を中心に今後益々増加すると考えられている。一方で、温室効果などの地球規模の環境破壊を最小限に食い止める必要に迫られている。このために、太陽エネルギー・水素エネルギーなどの再生可能エネルギー利用システムの研究が進められている。本講義では、再生可能エネルギー源を中心とした各種エネルギー源を有効利用するためのエネルギー変換技術について解説する。            |                   |  |                   |
| 航空宇宙機、宇宙構造物等の薄肉構造に関する応力解析、変形・座屈理論を詳述するとともに、軽量構造の構造解析法と構造設計法を講義する。  |                   |  |                   |
| 1. 航空宇宙機に作用する荷重<br>2. 翼・胴体の構造様式と材料<br>3. 薄肉構造の曲げ・せん断・捩り<br>4. 複合材料構造<br>5. 平板の曲げと座屈<br>6. 有限要素法による応力解析   |                   |  |                   |
| <b>精密加工学</b><br>Precision Machining  | 2 単位<br>選択 7セメスター | <b>材料強度学</b><br>Strength of Materials                                      | 2 単位<br>選択 7セメスター |
| 素材に形状を付与することによって部品としての付加価値を与える工業用的手段を加工という。加工は、除去加工、変形・成形加工、付加加工に大別される。  |                   |  |                   |
| 本稿では、このうち除去加工に属する切削加工、研削加工、研磨加工、特殊加工などいわゆる「ものつくり」の基幹をなす機械加工技術について、その基礎を教授し、実際の加工における諸問題に対応できる能力を養成する。  |                   |  |                   |
| 構造設計の考え方の歴史的変遷（進歩）は材料強度学の発展に負うところが大きい。破壊の制御、予知保全、安全性の確保の観点より材料強度のミクロ的及びマクロ的発現機構、破壊機構を原子論的レベルから巨視的連続体力学のレベルにわたって講義し、対象を先進材料について強靭材料、超耐熱材料、高耐食性材料を中心に講義する。さらに実用上重要な材料の経年劣化・寿命予測についても講義する。                |                   |  |                   |

**微小機械加工学**

Micromachine Forming

2 単位

選択 7セメスター

固体・液体などの素材に流動・変動をうける成型加工により、多数の部品を集積化する方法や複雑な形状を持つ微小機械を作成する方法について講義する。

1. モノづくりにおける微小機械加工の歴史と役割
2. 微小機械材料の種類と特徴
3. 微小機械材料の成形加工技術の種類と特徴
4. 微小機械部品の集積化技術の種類と特徴
5. 金属材料の精密成形加工技術
6. セラミックス材料の精密成形加工技術
7. プラスチック材料の精密成形加工技術
8. 複合材料の精密成形加工技術
9. 精密成形加工技術における摩擦と潤滑の役割
10. 精密成形加工技術における成形表面の評価技術

**コンピュータビジョン**

Computer Vision

2 単位

選択 7セメスター

画像・パターンのコンピュータによる解析・認識手法、画像を応用した計測・制御の手法、画像による3次元環境の認識・理解の理論について講義し、ロボットの視覚、医用画像の解析、画像の合成やコンピュータグラフィクスへの応用を述べる。

また、このような画像解析理論のより広い分野での情報解析への適用、多次元信号の解析理論、人工知能の実現などの、関連の話題についても講義する。

**機械力学 II**

Mechanical Vibration II

2 単位

選択 7セメスター

機械の動力学について習得する。具体的には連続弾性体(弦、棒、はり)、回転機械、および往復機関について、それらの動力学やつりあいの取り方、設計法等について述べる。

**メカノプティクス**

Mechanoptics

2 単位

選択 7セメスター

メカノプティクス (Mechanoptics) とは光学 (Optics) と機械工学 (Mechanics) を融合させた分野である。身近な機器としてコンパクトディスクやレーザプリンタなどが挙げられる。本講義では、基礎となる光学の原理、機械との融合を考慮した光学系の設計、機械量の光計測法の原理などについて解説する。

**固体物理学**

Solid State Physics

2 単位

選択 7セメスター

固体が材料として応用されるためには、その機械的性質を知る必要があることはいうまでもないが、そのような性質をもたらす物理的原因についても理解しているならば、より良い材料の開発や応用が可能となるであろう。このような観点から本講義では、広範な固体物理学の課題の中でもとくに工学的に重要と思われる、結晶構造、粒子線による構造解析、結合機構、バンド理論、半導体の基礎的事項について解説する。

**信号処理工学**

Signal Processing

2 単位

選択 7セメスター

音声や画像の認識、各種計測データの処理、ディジタル情報通信などの根幹をなす信号処理工学の基礎を学ぶ。確定的な離散時間信号の処理を中心として、離散フーリエ変換、z変換、離散時間システム、ディジタルフィルタ、及びこれらを実現するための計算機の構成を扱う。

**環境の科学と工学**

Environmental Science and Technology

2 単位

選択 7セメスター

地球環境の成り立ち、地下資源の形成と分布、元素の循環、大気・水環境の化学など、環境科学の主要トピックスを取り上げる。まず、化学結合論、分子構造論、熱力学、溶液内化学平衡論など必要不可欠な化学理論を概説し、各トピックスの解説に展開する。

この講義を通じ、環境を化学的に捉え理解する能力、および環境問題の解決に積極的に関わる工学的素養を身につける。

**表面・界面工学**

Surface Science and Engineering

2 単位

選択 7セメスター

材料物質の諸特性は物質内部の性質に依存するとともに、物質の表面・界面の性質にも大きく依存する。本講義では、まず、物質の表面・界面の性質を記述する基礎的概念について説明する。次に、よく規定された環境の下（超高真空中など）で現れる物質の表面・界面の性質を概観する。また、それらの性質を調べる計測方法について講義する。

**航空機学**

Aircraft Technologies

2 単位

選択 7セメスター

講義は集中講義形式で2回に分けて行い、1回は航空機の飛行力学基礎および開発・設計の現場における空力・構造設計の実学を示す。他の回は航空機全般にわたる整備・運航について、その基本的方法、管理法等を具体的事例を交えて説明する。

**宇宙工学**

Space Engineering

2 単位

選択 7セメスター

人工衛星、宇宙ステーション、宇宙探査機などの宇宙システムを設計、開発、運用するために必要な科学技術について、基礎的な事項を講義する。内容は以下の通り。

1. 宇宙開発の歴史
2. 宇宙環境および宇宙システム
3. ロケット推進、ツィオルコフスキイの式
4. ケプラー運動、軌道の摂動
5. 人工衛星の姿勢運動と制御
6. 姿勢センサ、ジャイロ

|  |                   |   |                   |
|--|-------------------|---|-------------------|
| <b>推進工学</b><br>Propulsion Engineering  | 2 単位<br>選択 7セメスター | <b>燃焼工学</b><br>Combustion Engineering   | 2 単位<br>選択 7セメスター |
| 航空宇宙用推進機関についての基礎、並びにその応用技術について、近年の開発の動向と合せて講述する。   |                   | 現代の基盤的エネルギー変換法である燃焼とその制御法を講述する。はじめに、燃料と燃焼形態の分類、生成エンタルピーと火炎温度、燃焼反応機構の基礎を述べる。続いて、層流および乱流予混合燃焼のメカニズムを述べ、デトネーションや爆発現象を解説する。さらに、気体燃料噴流および燃料液滴の拡散燃焼について述べ、最後に、環境負荷物質の生成過程と抑制法に触れる。  |                   |
| 1. ロケット及びジェットエンジンの基礎と歴史<br>2. ターボジェットの構造と性能<br>3. ラムジェットの構造と性能<br>4. 固体ロケットの構造と燃焼<br>5. 液体ロケットエンジンサイクルと構造及び燃焼<br>6. 宇宙推進の動向  |                   |   |                   |
| <b>高エネルギー材料工学</b><br>High Energy Materials Engineering   | 2 単位<br>選択 7セメスター | <b>量子機械学</b><br>Mechanics for Quantum Engineering and Energy Systems  | 2 単位<br>選択 7セメスター |
| 電子、イオンおよび中性子などの高エネルギー粒子線と固体表面および内部との相互作用について基礎を学ぶ。それに基づいて、粒子線を照射した場合に材料に生成する種々の微視的構造・組織と、その結果もたらされる材料特性の変化について基本的機構を学び、さらにイオン注入を利用した材料の改質や加工について解説する。これらの知見は先進核分裂炉や核融合炉等の高エネルギー負荷材料開発やイオンビームの工学応用の基礎となる。 |                   | 先進核分裂炉、核融合炉、粒子加速器などの量子エネルギー・システムにおけるミクロ・マクロの物理に関わる熱、流体、電磁現象、及びそれらの応用について講義する。   |                   |
| 1. 量子エネルギー・システム概要<br>2. エネルギー・システム論<br>3. 热流体のミクロ・マクロ境界領域の現象<br>4. 高熱流束現象<br>5. 電磁流体现象<br>6. 先進量子エネルギー・システム  |                   |   |                   |
| <b>原子炉安全・設計学</b><br>Nuclear Reactor Safety and Design  | 2 単位<br>選択 7セメスター | <b>放射線安全工学</b><br>Radiation Protection and Safety Engineering   | 2 単位<br>選択 7セメスター |
| 原子炉の安全性に関する運転制御、熱構造を中心とした原子炉設計に関する講義を行う。   |                   | 基礎科学から医療までの広い分野において利用されている放射線を安全で有效地に利用するために、放射線の性質と人体への影響を理解し、放射線や放射性同位元素の安全取扱手法を学ぶ。そのため、放射線の起源と物質との相互作用、放射線の人体への影響、放射線の計測と防護について、物理学、生物学、医学の立場から述べる。放射線防護に関する法令についても述べる。この講義は、放射線取扱主任者資格取得を目指す者には必修科目である。               |                   |
| 1. 原子炉の動特性<br>2. 発電用原子炉と反応度フィードバック<br>3. 原子炉の運転制御<br>4. 燃料棒周りの熱流動<br>5. 热システム<br>6. 構造設計   |                   |   |                   |
| <b>バックエンド基礎実験</b><br>Laboratory Experiment on the Backend of Nuclear Fuel Cycle  | 1 単位<br>選択 7セメスター | <b>環境地殻工学</b><br>Environmental Crustal Engineering  | 2 単位<br>選択 7セメスター |
| 放射性廃棄物に関する処理・分野をバックエンド分野と呼称する。本実験では、量子サイエンスコースにおける特にバックエンド分野の専門知識について実践的な理解を得るために、全学RI講習会、工学研究科RI実験室講習の内容を再度確認し、また、講義「バックエンド基礎」等を発展させ、岩石等試料への放射性核種の収着挙動の評価、有機および無機溶離剤を用いた核種分離手法についての実験を行う。               |                   | 建設現場・汚染土壤修復現場等で使用される機械や建設副産物リサイクル処理機械の基本的な構造について講義する。   |                   |
| 1. 開発機械序論<br>2. 開発機械各論（1）<br>3. 開発機械各論（2）<br>4. 上の力学的性質<br>5. 主要構成要素の特性<br>6. 作業ツールと地盤との相互作用力（1）<br>7. 作業ツールと地盤との相互作用力（2）<br>8. 走行の力学（1）   |                   | 9. 走行の力学（2）<br>10. 油圧機器<br>11. 環境対応建機<br>12. 環境リサイクル機械総論<br>13. 環境リサイクル機械各論（1）<br>14. 環境リサイクル機械各論（2）<br>15. まとめ   |                   |
| <b>ジオメカニクス</b><br>Geomechanics   | 2 単位<br>選択 7セメスター | <b>地圈移動現象論</b><br>Geosphere Transport Phenomena   | 2 単位<br>選択 7セメスター |
| 様々な地殻環境技術における工学的設計の基礎となる岩石・岩盤の物理的性質や変形と破壊、ならびにき裂の力学的挙動について学ぶ。  |                   | 地圈における化学反応を伴う移動現象を対象に反応工学および移動現象論の基礎から応用までを論ずる。反応としては、特に異相反応系において、反応速度、移動現象、触媒反応を考慮した反応機構を検討し、それに基づく反応モデルおよび総括反応速度について論じる。さらに、それらを地圈における、より大きなスケールの移動現象に連成することにより地下利用の設計法に言及する。それらの適用例としては、地下水汚染修復、油層解析、廃棄物の地層処分場の設計等がある。 |                   |
| 1. ジオメカニクスと工学<br>2. 岩石の物理的性質<br>3. 岩盤と岩盤分類<br>4. 圧縮応力下と引張応力下における岩石の変形と破壊<br>5. せん断試験、原位置試験および不連続面の力学的挙動  |                   |   |                   |

|  |                   |
|--|-------------------|
| <b>化学エネルギー変換工学</b><br>Chemical Energy Conversion Engineering | 2 単位<br>選択 7セメスター |
|--|-------------------|

社会生活の基盤として必要不可欠なエネルギーについて製造と利用の両面から講義する。講義では、様々な利用可能な1次エネルギーについて概説し、その利用するための手段として他の形態のエネルギーへの変換技術、さらにそれらの技術が克服すべき課題について解説する。

|  |                   |
|--|-------------------|
| <b>エネルギー・資源論</b><br>Earth Resources and Energy | 2 単位<br>選択 7セメスター |
|--|-------------------|

華々しく発展してきた技術文明は、多量の資源・エネルギーの供給によって支えられている。しかし、その発展があまりにも急激であったためにさまざまなひずみが現れ、種々の問題が起こっている。地球上に存在する資源・エネルギーはどのくらいと見積もられるか、いつまで供給が可能かを論じ、最適需給システムを考える。

|   |                   |
|---|-------------------|
| <b>塑性力学基礎</b><br>Basic Theory of Plasticity | 2 単位<br>選択 8セメスター |
|---|-------------------|

弾性力学を基礎として塑性変形を数学的に記述する方法の基礎を講義する。講義の目的は、機器の成形など機械工学の根幹を成す塑性加工の基礎理論を習得することにある。

具体的な内容は、降伏条件、ひずみ増分理論、加工硬化則と例題を解く。4年8セメスターであるので、英語での授業となる。

|                                |                   |
|--------------------------------|-------------------|
| <b>飛行力学</b><br>Flight Dynamics | 2 単位<br>選択 8セメスター |
|--------------------------------|-------------------|

大気中を飛行する航空機の運動は、翼に働く空気力によって支配される。本講義では、空気力学を航空機に応用した翼理論を講述し、航空機の飛行性能と安定性に関連した現象及び理論的取り扱いの基礎を述べる。

1. 翼の空気力学
2. 安定性と制御

|   |                   |
|---|-------------------|
| <b>核環境工学</b><br>The Chemistry of Nuclear Fuel Cycle | 2 単位<br>選択 8セメスター |
|---|-------------------|

核エネルギーを利用するためには、原子力発電において発生する放射性物質を安全に取り扱う技術が不可欠である。本講義では、核燃料サイクルの構成と内容について概説した後、特にサイクルのダウンストリームに位置する（原子力発電所で利用された後の）使用済核燃料の再処理、放射性廃棄物の処理処分の技術について講義する。

|                            |                                     |
|----------------------------|-------------------------------------|
| <b>学外見学</b><br>Plant Visit | …単位<br>必修（機シ・ナノ・航空・ロボ）<br>選択（量子・工環） |
|----------------------------|-------------------------------------|

各種の企業・機関・施設を見学することによって機械・知能系の工学と社会との関連について認識を深め、また機械・知能系の工学が実際の生産過程において機能する実態を観察体得する。学外見学における印象は、卒業後の進路を考える参考となろう。

|                                    |           |
|------------------------------------|-----------|
| <b>学外実習</b><br>Industrial Practice | …単位<br>選択 |
|------------------------------------|-----------|

学内における講義、実験、実習で得ることができない実践的な知識や技術をわずかながらでも修得し、学生各自のその後の勉学の意義に資することを目的とする。夏季休業期間などに実施するので、学外実習を希望する学生は、担当教員と相談の上、必要な手続きを取るものとする。

実習終了後に報告書を提出し、認定された場合は実習期間に応じて単位を取得することができる。

|  |           |
|--|-----------|
| <b>機械知能・航空特別講義 I</b><br>Special Lectures I | …単位<br>選択 |
|--|-----------|

1. 専門知識の修得
2. 講演会出席
3. 機械知能・航空工学科における工学に関する特別の学習

|  |           |
|--|-----------|
| <b>機械知能・航空特別講義 II</b><br>Special Lectures II | …単位<br>選択 |
|--|-----------|

1. 専門知識の修得
2. 講演会出席
3. 機械知能・航空工学科における工学に関する特別の学習

|                                  |                        |
|----------------------------------|------------------------|
| <b>卒業研究</b><br>Graduation Thesis | 6 単位<br>必修 6・7・8 セメスター |
|----------------------------------|------------------------|

本科目は卒業研究である。3年次の前期に決定した所属研究室において、指導教員の提示した研究課題について調査研究を行い、それをまとめる。文献調査、実験あるいは計算などを通して、問題解決の能力を養うとともに、研究成果をまとめて発表する方法を修得することを目的とする。



## 2. 情報知能システム総合学科

(Department of Information and Intelligent Systems)

### エネルギーインテリジェンスコース

(Energy Intelligence Course)

### コミュニケーションネットワークコース

(Communication Network Course)

### 情報ナノエレクトロニクスコース

(Information Nanoelectronics Course)

### 応用物理学コース

(Applied Physics Course)

### コンピュータサイエンスコース

(Computer Science Course)

### 知能コンピューティングコース

(Intelligent Computing Course)

### メディカルバイオエレクトロニクスコース

(Medical Bioelectronics Course)

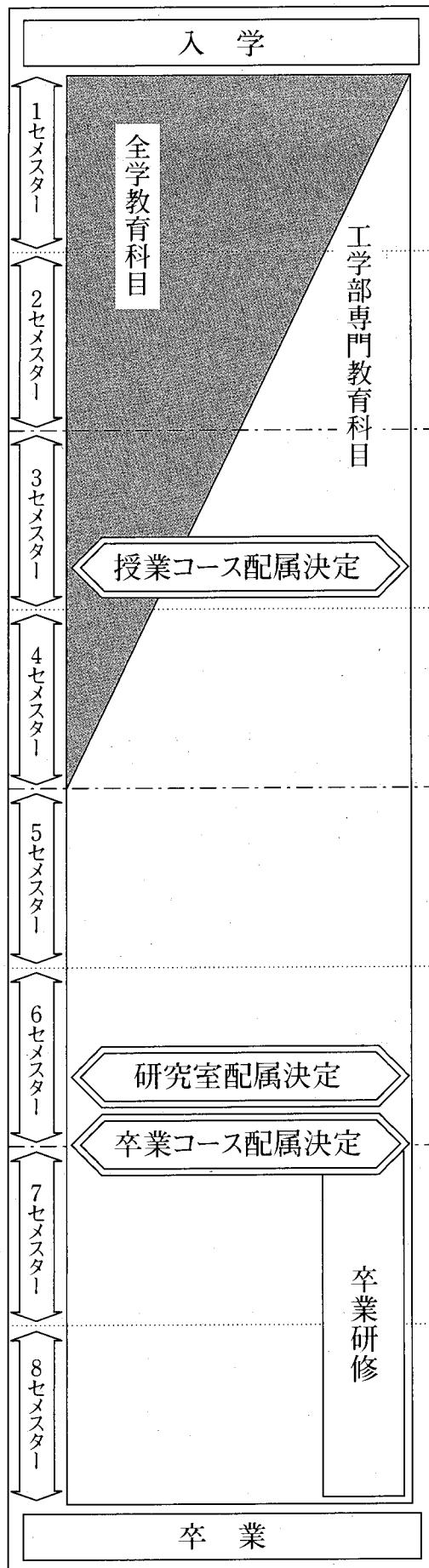
## 授業科目表及び履修方法等

- 全学教育科目

- 専門教育科目

## 専門教育科目授業要旨

## 情報知能システム総合学科 卒業までの履修過程



### 【卒業要件科目について】

全学教育科目：学生便覧29～31ページを参照。  
工学部専門教育科目：次ページ以降を参照。

### 【セメスターbarrier】

- ・3セメスター専門教育科目を履修できる条件
  - ・研究室配属のための履修条件
  - ・卒業研修を履修できる条件
- の3つのbarrierが設けられている。(詳細は36ページを参照)

### 【授業コース配置決定】

第3セメスター7月下旬までに、希望調査結果などに基づき、エネルギーインテリジェンスコース、コミュニケーションネットワークコース、情報ナノエレクトロニクスコース、応用物理学コース、コンピュータサイエンスコースへの配置を決定する。(注)

各コースには推奨カリキュラムが設定されている。他コースにしかない講義科目も自由に受講できるが、単位として認定できるかどうかは32～35ページを参考すること。

### 【研究室配置決定】

第6セメスター12月下旬までに希望及び研究室ごとの評価指標で算出された成績評点に基づき、研究室配属を決定する。研究室では卒業研修などを行う。

### 【卒業コース配属決定】

第6セメスター終了時に希望調査結果などに基づき、情報ナノエレクトロニクスコースの一部をメディカルバイオエレクトロニクスコースに、コンピュータサイエンスコースの一部を知能コンピューティングコースにそれぞれ分離する。

その他の授業コースは原則としてそのまま卒業コースとする。

(注) 卒業コースとしてメディカルバイオエレクトロニクスコースを希望するものは情報ナノエレクトロニクスコースを希望すること。また、知能コンピューティングコースを希望する者はコンピュータサイエンスコースを希望すること。

## 授業科目表および履修方法等

### 全学教育科目

| 類<br>別           | 群      | 科 目 名      | 単位数 | 開講セメスター<br>週当たり授業時間数 |     | 情報知能システム総合学科<br>履修方法<br>(詳細は後述) |
|------------------|--------|------------|-----|----------------------|-----|---------------------------------|
|                  |        |            |     | 1年次                  | 2年次 |                                 |
|                  |        |            |     | 1 2                  | 3 4 |                                 |
| 基<br>幹<br>科<br>目 | 人間論    | 思想と倫理の世界   | 2   | * 2                  |     | 選択必修<br>(左記より1科目2単位以上を修得すること。)  |
|                  |        | 文学の世界      | 2   | * 2                  |     |                                 |
|                  |        | 言語表現の世界    | 2   | * 2                  |     |                                 |
|                  |        | 芸術の世界      | 2   | * 2                  |     |                                 |
|                  |        | 人間と文化      | 2   | * 2                  |     |                                 |
|                  | 社会論    | 歴史と人間社会    | 2   | * 2                  |     | 選択必修<br>(左記より1科目2単位以上を修得すること。)  |
|                  |        | 経済と社会      | 2   | * 2                  |     |                                 |
|                  |        | 法・政治と社会    | 2   | * 2                  |     |                                 |
|                  |        | 社会の構造      | 2   | * 2                  |     |                                 |
|                  |        | ジェンダーと人間社会 | 2   | * 2                  |     |                                 |
| 展<br>開<br>科<br>目 | 自然論    | 自然界の構造     | 2   | * 2                  |     | 選択必修<br>(左記より1科目2単位以上を修得すること。)  |
|                  |        | 科学技術とエネルギー | 2   | * 2                  |     |                                 |
|                  |        | 生命と自然      | 2   | * 2                  |     |                                 |
|                  |        | 自然と環境      | 2   | * 2                  |     |                                 |
|                  |        | 科学と情報      | 2   | * 2                  |     |                                 |
|                  | 人文科学   | 論理学        | 2   |                      | * 2 | 選択1                             |
|                  |        | 哲学・倫理学     | 2   |                      | * 2 |                                 |
|                  |        | 文学         | 2   |                      | * 2 |                                 |
|                  |        | 宗教学        | 2   |                      | * 2 |                                 |
|                  |        | 教育学        | 2   |                      | * 2 |                                 |
| 展<br>開<br>科<br>目 | 社会科学   | 歴史学        | 2   |                      | * 2 | 選択2                             |
|                  |        | 言語学        | 2   |                      | * 2 |                                 |
|                  |        | 社会学        | 2   |                      | * 2 |                                 |
|                  |        | 心理学        | 2   |                      | * 2 |                                 |
|                  |        | 法学         | 2   |                      | * 2 |                                 |
|                  | 自然科学   | 日本国憲法      | 2   |                      | * 2 | 選択2                             |
|                  |        | 政治学        | 2   |                      | * 2 |                                 |
|                  |        | 経済学        | 2   |                      | * 2 |                                 |
|                  |        | 文化人類学      | 2   |                      | * 2 |                                 |
|                  |        | 人文地理学      | 2   |                      | * 2 |                                 |
| 展<br>開<br>科<br>目 | 数学     | 解析学A       | 2   | 2                    |     | 必修                              |
|                  |        | 解析学B       | 2   |                      | 2   | 必修                              |
|                  |        | 解析学C       | 2   |                      |     | 必修                              |
|                  |        | 解析学D       | 2   |                      |     | 自由聴講科目                          |
|                  |        | 線形代数学A     | 2   | 2                    |     | 必修                              |
|                  |        | 線形代数学B     | 2   |                      | 2   | 必修                              |
|                  |        | 数理統計学      | 2   |                      | 2   | 選択3                             |
|                  | 物理学    | 物理学A       | 2   | 2                    |     | 必修                              |
|                  |        | 物理学B       | 2   |                      | 2   | 必修                              |
|                  |        | 物理学C       | 2   |                      |     | 選択3                             |
|                  |        | 物理学D       | 2   | 2                    |     | 自由聴講科目                          |
|                  | 化学     | 化学A        | 2   | 2                    |     | 必修                              |
|                  |        | 化学B (※1)   | 2   |                      | 2   | 選択3                             |
|                  |        | 化学C (※1)   | 2   |                      | 2   | 選択3                             |
|                  | 生物学    | 生命科学A      | 2   | 2                    |     | 選択3                             |
|                  |        | 生命科学B      | 2   |                      | 2   | 自由聴講科目                          |
|                  |        | 生命科学C      | 2   |                      | 2   | 自由聴講科目                          |
|                  | 宇宙地球科学 | 地球システム科学   | 2   |                      | * 2 | 自由聴講科目                          |
|                  |        | 地球物質科学     | 2   |                      | * 2 | 選択3                             |
|                  |        | 自然地理学      | 2   |                      | * 2 | 自由聴講科目                          |
|                  |        | 天文学        | 2   |                      | * 2 | 自由聴講科目                          |
|                  |        | 地球惑星物理学    | 2   |                      | * 2 | 選択3                             |

情報知能  
システム  
総合学科

| 類    | 群           | 科目名<br>(※1)                | 単位数 | 開講セメスター<br>週当たり授業時間数 |   |     |   | 情報知能システム総合学科<br>履修方法<br>(詳細は後述)     |  |
|------|-------------|----------------------------|-----|----------------------|---|-----|---|-------------------------------------|--|
|      |             |                            |     | 1年次                  |   | 2年次 |   |                                     |  |
|      |             |                            |     | 1                    | 2 | 3   | 4 |                                     |  |
| 総合科学 | 理科実験        | 自然科学総合実験(※2)               | 2   | 4                    |   |     |   | 必修                                  |  |
|      | 総合科目        | 総合科目(※3)                   | 各2  | *2                   |   |     |   | 選択4                                 |  |
|      | カレントトピックス科目 | カレントトピックス科目(※3)            | 各2  | *2                   |   |     |   |                                     |  |
|      | 現代学問論       | 現代学問論                      | 各2  | *2                   |   |     |   |                                     |  |
| 共通科目 | 転換・少人数科目    | 基礎ゼミ                       | 2   | 2                    |   |     |   | 選択4                                 |  |
|      | 英語          | 英語A 1                      | 1   | 2                    |   |     |   | 必修<br><br>選択必修（履修方法を確認すること。）        |  |
|      |             | 英語A 2                      | 1   |                      | 2 |     |   |                                     |  |
|      |             | 英語B 1                      | 1   | 2                    |   |     |   |                                     |  |
|      |             | 英語B 2                      | 1   |                      | 2 |     |   |                                     |  |
|      |             | 英語C 1                      | 1   |                      |   | 2   |   |                                     |  |
|      |             | 英語C 2                      | 1   |                      |   |     | 2 |                                     |  |
|      | 外国語         | Practical English Skills 1 | 1   |                      |   | 2   |   | 選択必修（左記の中から1外國語を選択し、2科目4単位を修得すること。） |  |
|      |             | Practical English Skills 2 | 1   |                      |   |     | 2 |                                     |  |
|      |             | 基礎ドイツ語 I                   | 2   | 4                    |   |     |   |                                     |  |
|      |             | 基礎ドイツ語 II                  | 2   |                      | 4 |     |   |                                     |  |
|      |             | 基礎フランス語 I                  | 2   | 4                    |   |     |   |                                     |  |
|      |             | 基礎フランス語 II                 | 2   |                      | 4 |     |   |                                     |  |
|      |             | 基礎ロシア語 I                   | 2   | 4                    |   |     |   |                                     |  |
|      |             | 基礎ロシア語 II                  | 2   |                      | 4 |     |   |                                     |  |
|      |             | 基礎スペイン語 I                  | 2   | 4                    |   |     |   |                                     |  |
|      |             | 基礎スペイン語 II                 | 2   |                      | 4 |     |   |                                     |  |
|      |             | 基礎中国語 I                    | 2   | 4                    |   |     |   |                                     |  |
|      |             | 基礎中国語 II                   | 2   |                      | 4 |     |   |                                     |  |
|      | 情報科目        | 基礎朝鮮語 I                    | 2   | 4                    |   |     |   | 自由聴講科目<br><br>必修                    |  |
|      |             | 基礎朝鮮語 II                   | 2   |                      | 4 |     |   |                                     |  |
|      |             | 日本語 A～J                    | 各1  | *2                   |   |     |   |                                     |  |
|      | 保健体育        | スポーツA                      | 1   |                      |   | 2   |   | 必修                                  |  |
|      |             | スポーツB                      | 1   |                      |   | 2   |   | 自由聴講科目                              |  |
|      |             | 体と健康                       | 2   |                      | 2 |     |   | 選択4                                 |  |

備考1 上記掲載の全学教育科目は、工学部学生が卒業要件を満たすために必要な授業科目を抜粋して掲載しています。  
上記掲載以外の全学教育科目は「自由聴講科目」として修得することが出来る場合があります。

備考2 「開講セメスター週当たり授業時間数」欄の\*印は、いずれか又はそれぞれのセメスターで開講することを示します。上記掲載される開講セメスターより前に他組に開講されるクラスで授業を履修する場合は、先取り履修となります。

※1 「化学B」および「化学C」は、第2セメスターでは履修を指定（自組開講）するクラスの学生のみ履修できます。  
履修を指定していないクラスの学生は、特別の履修許可が無い限り、第2セメスターにおいて他組履修により第3セメスター開講予定の科目を修得できません。

<参考>

B 4 TB 情報知能システム総合学科(工6～10組)は、第2セメスターに「化学B」、第3セメスターに「化学C」が自組開講となります。

※2 「自然科学総合実験」は、指定（自組開講）するクラスにて履修をして下さい。

<参考>

B 4 TB 情報知能システム総合学科(工6～10組)は、第1セメスターに自組開講となります。

※3 総合科学群の「総合科目」、「カレントトピックス科目」の開設する授業科目は毎年定めます。全学教育科目の手引きを参照して下さい。

【全学教育科目の履修方法について (B 4 TB 情報知能システム総合学科)】

|      |  |   |
|------|--|---|
| 必修   | 解析学A, 解析学B, 解析学C,<br>線形代数学A, 線形代数学B,<br>物理学A, 物理学B, 化学A,<br>自然科学総合実験, 情報基礎B, スポーツA | 左記15科目25単位  |
|      | 外国語 英語A 1, 英語A 2, 英語B 1, 英語B 2   |   |
| 選択必修 | (「人間論」群)   | 1科目2単位以上修得すること。(注:選択1)  |
|      | (「社会論」群)   | 1科目2単位以上修得すること。(注:選択2)  |
|      | (「自然論」群)   | 1科目2単位以上修得すること。(注:選択3)  |
|      | 英語C 1, 英語C 2<br><br>外国語 Practical English Skills 1, Practical English Skills 2     | 英語C 1と英語C 2<br>英語C 1とPractical English Skills 2<br>Practical English Skills 1と英語C 2<br>Practical English Skills 1とPractical English Skills 2 のいずれかの組み合わせで2単位を修得すること。                        |
| 選択1  | (「人文科学」群)  | 1科目2単位を修得すること。<br>なお、「基幹科目:人間論」群で4単位以上修得した場合、そのうち2単位を「選択1」の修得として扱う。   |
| 選択2  | (「社会科学」群)  | 1科目2単位を修得すること。<br>なお、「基幹科目:社会論」群で4単位以上修得した場合、そのうち2単位を「選択2」の修得として扱う。   |
| 選択3  | 数理統計学, 物理学C,<br>化学B, 化学C,<br>生命科学A,<br>地球物質科学, 地球惑星物理学                             | 左記科目より6単位を修得すること。<br>なお、「基幹科目:自然論」群で4単位以上修得した場合、そのうち2単位を「選択3」の修得として扱う。<br>また、「選択4」で4単位以上修得した場合、そのうち2単位を「選択3」の修得として扱う。<br>※2年次でコミュニケーションネットワークコースまたはコンピュータサイエンスコースを希望する者は、数理統計学を履修することが望ましい。 |
| 選択4  | 基礎ゼミ, 体と健康, 「総合科学」群(「総合科目」「カレントトピックス科目」「現代学問論」)                                    | 左記の中から1科目2単位を修得すること。<br>(注:選択3)   |

【外国人留学生の外国語履修について】

留学生対象科目群の授業科目は、外国人留学生が履修する科目で、次のとおりとします。

|        |  |   |   |
|--------|--|---|---|
| 外国語の履修 | (1) 日本人学生と同程度の日本語能力を有する場合 <sup>(*)</sup> | 日本人学生と同様な履修。ただし、初修語として母国語を選択することは出来ません。 |   |
|        | (2) それ以外の場合                              | 母国語が英語の場合                               | 日本語の科目から6単位、英語以外の外国語(ドイツ語、フランス語、ロシア語、スペイン語、中国語、朝鮮語)から4単位、計10単位を修得して下さい。 |
|        |  | 母国語が英語以外の場合                             | 日本語の科目から6単位、英語から4単位(英語A 1, 英語A 2, 英語B 1, 英語B 2), 計10単位を修得して下さい。         |

(\*):履修登録前にクラス担任と相談のうえ、工学部・工学研究科教務課学部教務係窓口で手続きを行うこと。

【外国語技能検定試験等による単位認定について】

外国語技能検定試験(英検、TOEFL、TOEIC、仮検、独検など)において、所定の認定又は得点を得た者は、本学における外国語科目の修得とみなされ、単位が与えられます。この制度の詳細については、全学教育実施係へ照会して下さい。

## 専門教育科目

### (1) 授業科目表

| 開<br>講<br>学<br>科 | 科<br>目<br>名       | 履<br>修<br>セ<br>メ<br>ス<br>タ<br>ー | 週<br>当<br>た<br>り<br>授<br>業<br>時<br>間<br>数 | 単<br>位<br>数 | 履<br>修<br>登<br>録<br>制<br>限<br>対<br>象<br>科<br>目 | コ<br>ー<br>ス   |   |  |                       |   | 履<br>修<br>方<br>法<br>(左記コース欄)                    |                                    |
|------------------|-------------------|---------------------------------|---|-------------|--|---|---|--|-----------------------|---|---|------------------------------------|
|                  |                   |                                 |   |             |  | エ<br>ネ<br>ル<br>ギ<br>ー<br>イ<br>ン<br>テ<br>リ<br>ジ<br>エ<br>ン<br>ス | コ<br>ミ<br>ュ<br>ニ<br>ケ<br>ー<br>シ<br>ョ<br>ン<br>ネ<br>ッ<br>ト<br>ワ<br>ー<br>ク | 情<br>報<br>ナ<br>ノ<br>エ<br>レ<br>ク<br>ト<br>ロ<br>ニ<br>ク<br>ス | 応<br>用<br>物<br>理<br>学 | コン<br>ピ<br>ュ<br>ー<br>タ<br>サイ<br>エン<br>ス | 知<br>能<br>コン<br>ピ<br>ュ<br>ー<br>テ<br>イ<br>ン<br>グ |                                    |
| 工                | 数学物理学演習 I         | 1                               | 2   | 1           | ○  | ○   | ○   | ○  | ○                     | ○                                       | ○   | 必印：必修科目                            |
| 工                | 情報処理演習            | 2                               | 2   | 1           | ○  | 必   | 必   | 必  | 必                     | 必                                       | 必   | ◎印：選択必修                            |
| 工                | 数学物理学演習 II        | 2                               | 2   | 1           | ○  | ○   | ○   | ○  | ○                     | ○                                       | ○   | ○印：選択推奨                            |
| 工                | 創造工学研修            | 2                               | 4   | 2           |  | ○   | ○   | ○  | ○                     | ○                                       | ○   | 空欄：選択科目                            |
|                  | 電磁気学基礎論           | 3                               | 2   | 2           | ○  | 必   | 必   | 必  | 必                     | 必                                       | 必   | /印：コース対象外<br>(自由聴講科目)              |
|                  | 電気回路学基礎論          | 3                               | 2   | 2           | ○  | 必   | 必   | 必  | 必                     | 必                                       | 必   |                                    |
|                  | 計算機学              | 3                               | 2   | 2           | ○  | 必   | 必   | 必  | 必                     | 必                                       | 必   |                                    |
|                  | 応用数学 A            | 3                               | 2   | 2           | ○  | 必   | 必   | 必  | 必                     | 必                                       | 必   |                                    |
|                  | 電磁気学基礎演習          | 3                               | 2   | 1           |  | 必   | 必   | 必  | 必                     | 必                                       | 必   |                                    |
|                  | 電気回路学基礎演習         | 3                               | 2   | 1           |  | 必   | 必   | 必  | 必                     | 必                                       | 必   |                                    |
|                  | プログラミング演習 A       | 3                               | 4   | 2           |  | 必   | 必   | 必  | 必                     | 必                                       | 必   |                                    |
|                  | 電磁気学 I            | 4                               | 2   | 2           | ○  | 必   | 必   | 必  | 必                     | ○                                       | ○   | 必                                  |
|                  | 電気回路学 I           | 4                               | 2   | 2           | ○  | 必   | 必   | 必  | ○                     | ○                                       | ○   | 必                                  |
|                  | 電気計測学             | 4                               | 2   | 2           | ○  | 必   | ○   | ○  | ○                     | ○                                       | ○   | ○                                  |
|                  | 応用数学 B            | 4                               | 2   | 2           | ○  | ○   | 必   | ○  | 必                     | ○                                       | ○   | ○                                  |
|                  | 情報通信理論            | 4                               | 2   | 2           | ○  | ○   | 必   | ○  | ○                     | ○                                       | ○   | ○                                  |
|                  | 量子力学 A            | 4                               | 2   | 2           | ○  | ○   | 必   | 必  |                       |   |   | 必                                  |
|                  | 解析力学              | 4                               | 2   | 2           | ○  | ○   | ○   | 必  |                       |   |   | ○                                  |
|                  | 情報数学              | 4                               | 2   | 2           | ○  | ○   | ○   | ○  | ○                     | 必                                       | 必   | ○                                  |
|                  | オートマトン・言語理論       | 4                               | 2   | 2           | ○  |   |   |  |                       | 必                                       | 必   |                                    |
|                  | 情報基礎演習            | 4                               | 2   | 1           |  |   |   |  |                       | 必                                       | 必   |                                    |
|                  | ディジタルコンピューティング    | 4                               | 2   | 2           | ○  |   | ○   | ○  | 必                     | 必                                       | ○   | 選択必修                               |
|                  | アルゴリズムとデータ構造      | 4                               | 2   | 2           | ○  | ○   | ○   | ○  | ○                     | 必                                       | 必   | 4セメスター～8セメスターまでの○科目から20単位以上を修得すること |
|                  | 熱力学               | 4                               | 2   | 2           | ○  |   |   |  | 必                     |   |   |                                    |
|                  | 電磁気学 I 演習         | 4                               | 2   | 1           |  | 必   | 必   | 必  | ○                     |   |   | 必                                  |
|                  | 電気回路学 I 演習        | 4                               | 2   | 1           |  | 必   | 必   | 必  |                       |   |   | 必                                  |
|                  | 数学演習              | 4                               | 2   | 1           | ○  |   |   |  | ○                     |   |   |                                    |
|                  | 物理数学演習            | 4                               | 2   | 1           | ○  |   |   |  | ○                     |   |   |                                    |
|                  | 電気・通信・電子・情報工学実験 A | 4                               | 3   | 1           |  | 必   | 必   | 必  | /                     | 必                                       | 必   | 必                                  |
|                  | 応用物理学実験 A         | 4                               | 3   | 1           |  | /   | /   | /  | 必                     | /                                       | /   | /                                  |
|                  | 電磁気学 II           | 5                               | 2   | 2           | ○  | ○   | ○   | ○  | ○                     |   |   | ○                                  |
|                  | 電気回路学 II          | 5                               | 2   | 2           | ○  | 必   | ○   | 必  |                       | ○                                       | ○   | 必                                  |
|                  | システム制御工学 A        | 5                               | 2   | 2           | ○  | 必   | ○   | ○  | ○                     | ○                                       | ○   | 必                                  |
|                  | 電磁エネルギー変換 A       | 5                               | 2   | 2           | ○  | 必   |   |  |                       |   |   | ○                                  |
|                  | 電気エネルギー発生工学       | 5                               | 2   | 2           | ○  | 必   |   |  |                       |   |   |                                    |

| 開<br>講<br>学<br>科 | 科<br>目<br>名      | 履<br>修<br>セ<br>メ<br>ス<br>タ<br>ー | 週<br>当<br>た<br>り<br>授<br>業<br>時<br>間<br>数 | 単<br>位<br>数 | 履<br>修<br>登<br>録<br>制<br>限<br>対<br>象<br>科<br>目 | コ<br>ー<br>ス   |  |  |                       |   |   | 履<br>修<br>方<br>法<br>(左記コース欄)   |  |
|------------------|------------------|---------------------------------|---|-------------|--|---|--|--|-----------------------|---|---|--|--|
|                  |                  |                                 |   |             |  | エ<br>ネ<br>ル<br>ギ<br>ー<br>イ<br>ン<br>テ<br>リ<br>ジ<br>エ<br>ン<br>ス | コ<br>ミ<br>ュ<br>ニ<br>ケ<br>シ<br>ョ<br>ン<br>ネ<br>ッ<br>ト<br>ワ<br>ー<br>ク | 情<br>報<br>ナ<br>ノ<br>エ<br>レ<br>ク<br>ト<br>ロ<br>ニ<br>ク<br>ス | 応<br>用<br>物<br>理<br>学 | コン<br>ピ<br>ュ<br>ー<br>タ<br>サイ<br>エン<br>ス | 知<br>能<br>コン<br>ピ<br>ュ<br>ー<br>テ<br>イ<br>ン<br>グ | メ<br>ディ<br>カ<br>ル<br>バ<br>イ<br>オ<br>エ<br>レ<br>ク<br>ト<br>ロ<br>ニ<br>ク<br>ス |  |
|                  | 電子回路A            | 5                               | 2   | 2           | ○  | ○   | 必  | 必  | ○                     | ○                                       | ○   | 必  |  |
|                  | ディジタル信号処理        | 5                               | 2   | 2           | ○  | ○   | 必  | 必  | ○                     | ○                                       | 必   | 必  |  |
|                  | コミュニケーション工学A     | 5                               | 2   | 2           | ○  | ○   | 必  | 必  |                       | ○                                       | ○   |  |  |
|                  | 熱力学・統計力学A        | 5                               | 2   | 2           | ○  | ○   | ○  | 必  |                       |   |   | ○  |  |
|                  | 統計力学A            | 5                               | 2   | 2           | ○  |   |  |  | 必                     |   |   |  |  |
|                  | 電子物性             | 5                               | 2   | 2           | ○  | ○   |  | 必  |                       |   |   | ○  |  |
|                  | 計算機ソフトウェア工学      | 5                               | 2   | 2           | ○  |   | ○  |  |                       | 必                                       | 必   |  |  |
|                  | プログラミング演習B       | 5                               | 2   | 1           |  |   | ○  |  |                       | 必                                       | 必   |  |  |
|                  | 解析力学統論           | 5                               | 2   | 2           | ○  |   |  |  | ○                     |   |   |  |  |
|                  | 量子力学B            | 5                               | 2   | 2           | ○  | ○   |  | ○  | 必                     |   |   |  |  |
|                  | 物性物理基礎論          | 5                               | 2   | 2           | ○  |   |  | ○  |                       |   |   | ○  |  |
|                  | 人工知能             | 5                               | 2   | 2           | ○  |   |  |  |                       | 必                                       | 必   |  |  |
|                  | システムソフトウェア工学     | 5                               | 2   | 2           | ○  |   |  |  |                       | 必                                       | ○   |  |  |
|                  | 情報論理学            | 5                               | 2   | 2           | ○  |   | ○  | ○  |                       | ○                                       | ○   | ○  |  |
|                  | コンピュータシミュレーション科学 | 5                               | 2   | 2           | ○  |   |  |  | ○                     |   |   | ○  |  |
|                  | 電子デバイス基礎         | 5                               | 2   | 2           | ○  | ○   |  | ○  | ○                     |   |   | ○  |  |
|                  | 生命システム情報学        | 5                               | 2   | 2           | ○  |   |  |  |                       | ○                                       | ○   | ○  |  |
|                  | 基礎磁気工学           | 5                               | 2   | 2           | ○  | ○   |  | ○  |                       |   |   |  |  |
|                  | 量子力学演習           | 5                               | 2   | 1           | ○  |   |  |  | ○                     |   |   |  |  |
| I.               | 環境工学概論           | 5・7                             | 2   | 2           | ○  | ○   | ○  | ○  | ○                     | ○                                       | ○   | ○  |  |
| I.               | 機械工学概論           | 5・7                             | 2   | 2           | ○  | ○   | ○  | ○  | ○                     | ○                                       | ○   | ○  |  |
| I.               | 工業化学概論           | 5・7                             | 2   | 2           | ○  | ○   | ○  | ○  | ○                     | ○                                       | ○   | ○  |  |
| I.               | 材料理工学概論          | 5・7                             | 2   | 2           | ○  | ○   | ○  | ○  | ○                     | ○                                       | ○   | ○  |  |
| I.               | 工学倫理             | 5・7                             | 1   | 1           | ○  | ○   | ○  | ○  | ○                     | ○                                       | ○   | ○  |  |
|                  | 情報社会論            | 5・7                             | 2   | 2           | ○  |   |  |  | /                     |   |   |  |  |
|                  | 情報化社会と職業         | 5・7                             | 2   | 2           | ○  |   |  |  | /                     |   |   |  |  |
|                  | 電気・通信・電子・情報工学実験B | 5                               | 3   | 1           |  | 必   | 必  | 必  | /                     | 必                                       | 必   | 必  |  |
|                  | 応用物理学実験B         | 5                               | 3   | 1           |  | /   | /  | /  | 必                     | /                                       | /   | /  |  |
|                  | 電気電子材料           | 6                               | 2   | 2           | ○  | 必   | ○  | ○  |                       |   |   | ○  |  |
|                  | プラズマ理工学          | 6                               | 2   | 2           | ○  | ○   |  | ○  |                       |   |   |  |  |
|                  | 電子回路B            | 6                               | 2   | 2           | ○  | ○   | 必  | 必  |                       | ○                                       | ○   | ○  |  |
|                  | コミュニケーション工学B     | 6                               | 2   | 2           | ○  |   | 必  |  |                       | ○                                       | ○   |  |  |
|                  | 半導体デバイス          | 6                               | 2   | 2           | ○  | ○   | ○  | 必  |                       | ○                                       | ○   | 必  |  |
|                  | 熱力学・統計力学B        | 6                               | 2   | 2           | ○  | ○   |  | ○  | ○                     |   |   | ○  |  |
|                  | 応用物理計測学          | 6                               | 2   | 2           | ○  |   |  |  | ○                     |   |   |  |  |
|                  | 統計力学B            | 6                               | 2   | 2           | ○  |   |  |  | ○                     |   |   |  |  |
|                  | 物性物理原論A          | 6                               | 2   | 2           | ○  |   |  |  | 必                     |   |   |  |  |
|                  | 物性物理原論A演習        | 6                               | 2   | 1           | ○  |   |  |  | ○                     |   |   |  |  |

| 開<br>講<br>学<br>科 | 科<br>目<br>名      | 履<br>修<br>セ<br>メ<br>ス<br>タ<br>ー | 週<br>当<br>た<br>り<br>授<br>業<br>時<br>間<br>数 | 単<br>位<br>数 | 履<br>修<br>登<br>録<br>制<br>限<br>対<br>象<br>科<br>目 | コ<br>ー<br>ス   |  |  |                       |   | 履<br>修<br>方<br>法<br>(左記コース欄)  |   |
|------------------|------------------|---------------------------------|---|-------------|--|---|--|--|-----------------------|---|---|---|
|                  |                  |                                 |   |             |  | エ<br>ネ<br>ル<br>ギ<br>ー<br>イ<br>ン<br>テ<br>リ<br>ジ<br>エ<br>ン<br>ス | コ<br>ミ<br>ュ<br>ニ<br>ケ<br>シ<br>ョ<br>ン<br>ネ<br>ッ<br>ト<br>ワ<br>ー<br>ク | 情<br>報<br>ナ<br>ノ<br>エ<br>レ<br>ク<br>ト<br>ロ<br>ニ<br>ك<br>س | 応<br>用<br>物<br>理<br>学 | 知<br>能<br>コン<br>ピ<br>ュ<br>ー<br>タ<br>サイ<br>エン<br>س | メ<br>ディ<br>カ<br>ル<br>バ<br>イ<br>オ<br>エ<br>レ<br>ك<br>ت<br>ر<br>و<br>ن<br>ك<br>س |   |
|                  | 数理最適化            | 6                               | 2   | 2           | ○  | ◎   |  |  | ○                     | ○   |   |   |
|                  | 電磁エネルギー変換B       | 6                               | 2   | 2           | ○  | ○   |  |  |                       |   | ○   |   |
|                  | 光エレクトロニクス        | 6                               | 2   | 2           | ○  | ○   | ○  | ○  |                       |   | ○   |   |
|                  | 集積回路工学           | 6                               | 2   | 2           | ○  |   | ○  | ○  | ○                     | ○   | ○   |   |
|                  | ネットワークコンピューティング  | 6                               | 2   | 2           | ○  |   | ○  |  | ○                     | ○   | ○   |   |
|                  | コミュニケーション符号理論    | 6                               | 2   | 2           | ○  |   | ○  |  | ○                     | ○   | ○   |   |
|                  | 光波・電波伝送工学        | 6                               | 2   | 2           | ○  |   | ○  |  |                       |   |   |   |
|                  | 材料・プロセス工学        | 6                               | 2   | 2           | ○  | ○   |  | ○  |                       |   |   |   |
|                  | コンピュータグラフィックス    | 6                               | 2   | 2           | ○  | ○   | ○  | ○  | ○                     | ○   | ○   |   |
|                  | 数値コンピューティング      | 6                               | 2   | 2           | ○  | ○   | ○  | ○  | ○                     | ○   | ○   |   |
|                  | 画像情報処理工学         | 6                               | 2   | 2           | ○  | ○   | ○  | ○  | ○                     | ○   | ○   |   |
|                  | コンパイラ            | 6                               | 2   | 2           | ○  |   |  |  |                       | ○   | ○   |   |
|                  | データベース           | 6                               | 2   | 2           | ○  |   |  |  |                       | ○   | ○   |   |
|                  | 生体情報工学           | 6                               | 2   | 2           | ○  | ○   | ○  | ○  | ○                     | ○   | ○   |   |
|                  | 知覚感性工学           | 6                               | 2   | 2           | ○  |   | ○  | ○  |                       |   |   |   |
|                  | 量子力学C            | 6                               | 2   | 2           | ○  |   |  | ○  | ○                     |   | ○   |   |
|                  | 結晶解析学            | 6                               | 2   | 2           | ○  |   |  |  | ○                     |   |   |   |
|                  | 統計力学演習           | 6                               | 2   | 1           | ○  |   |  |  | ○                     |   |   |   |
|                  | 電気・通信・電子・情報工学実験C | 6                               | 6   | 2           |  | 必   | 必  | 必  | /                     | 必   | 必   | 必 |
|                  | 応用物理学実験C         | 6                               | 6   | 2           |  | /   | /  | /  | 必                     | /   | /   | / |
|                  | システム制御工学B        | 7                               | 2   | 2           | ○  | ○   | ○  |  |                       | ○   | ○   | ○ |
|                  | 生体電子計測           | 7                               | 2   | 2           | ○  | ○   | ○  | ○  |                       | ○   | ○   | ○ |
|                  | パワーエレクトロニクス基礎    | 7                               | 2   | 2           | ○  | ○   |  |  |                       |   |   |   |
|                  | 高電圧エネルギー工学       | 7                               | 2   | 2           | ○  | ○   |  |  |                       |   |   |   |
|                  | 電気エネルギーシステム工学基礎  | 7                               | 2   | 2           | ○  | ○   |  |  |                       |   |   |   |
|                  | 電気エネルギー応用工学      | 7                               | 2   | 2           | ○  | ○   |  |  |                       |   |   |   |
|                  | ワイヤレス伝送工学        | 7                               | 2   | 2           | ○  | ○   | ○  |  |                       |   |   |   |
|                  | 音響工学             | 7                               | 2   | 2           | ○  |   | ○  | ○  |                       | ○   | ○   | ○ |
|                  | パターン認識論          | 7                               | 2   | 2           | ○  |   | ○  |  |                       | ○   | ○   | ○ |
|                  | 電波法              | 7                               | 1   | 1           | ○  |   | ○  |  | /                     |   |   |   |
|                  | 表面物性             | 7                               | 2   | 2           | ○  |   |  | ○  |                       |   |   | ○ |
|                  | 物性物理原論B          | 7                               | 2   | 2           | ○  |   |  | ○  | 必                     |   |   | ○ |
|                  | 物性物理原論B演習        | 7                               | 2   | 1           | ○  |   |  | ○  |                       |   |   |   |
|                  | 物性物理原論C          | 7                               | 2   | 2           | ○  |   |  | ○  | ○                     |   |   | ○ |
|                  | 物性材料学            | 7                               | 2   | 2           | ○  |   |  | ○  |                       |   |   |   |
|                  | 光物理工学            | 7                               | 2   | 2           | ○  |   |  | ○  |                       |   |   |   |
|                  | 低温物理工学           | 7                               | 2   | 2           | ○  |   |  | ○  |                       |   |   |   |
|                  | 生体分子機械           | 7                               | 2   | 2           | ○  |   |  | ○  |                       |   |   |   |

選択必修  
4セメスター～8セメスターまでの○科目から20単位以上を修得すること

情報知能  
システム  
総合学科

| 開<br>講<br>学<br>科 | 科<br>目<br>名          | コ<br>ー<br>ス |           |      |            |               |                 |              |       | 履修方法<br>(左記コース欄) |             |                  |
|------------------|----------------------|-------------|-----------|------|------------|---------------|-----------------|--------------|-------|------------------|-------------|------------------|
|                  |                      | 履修セメスター     | 週当たり授業時間数 | 単位数  | 履修登録制限対象科目 | エネルギーインテリジェンス | コミュニケーションネットワーク | 情報ナノエレクトロニクス | 応用物理学 | コンピュータサイエンス      | 知能コンピューティング | メディカルバイオエレクトロニクス |
|                  | 集積回路設計演習             | 7           | 2         | 2    | ○          |               |                 | ○            | ○     | ○                | ○           |                  |
|                  | ウェブコンピューティング         | 7           | 2         | 2    | ○          |               |                 |              | ○     | ○                |             |                  |
|                  | ロボット知能システム           | 7           | 2         | 2    | ○          |               |                 |              | ○     | ○                |             |                  |
|                  | メディカルバイオセンシング        | 7           | 2         | 2    | ○          |               |                 |              |       |                  | ○           |                  |
|                  | システム生理学              | 7           | 2         | 2    | ○          |               |                 |              |       |                  | ○           |                  |
| 工                | 知的財産権入門              | 7           | 1         | 1    | ○          | ○             | ○               | ○            | ○     | ○                | ○           |                  |
| 工                | 技術・社会システム論           | 7           | 2         | 2    | ○          | ○             | ○               | ○            | ○     | ○                | ○           |                  |
| 工                | 工学英語                 | 7           | 2         | 2    | ○          | ○             | ○               | ○            | ○     | ○                | ○           |                  |
| 工                | 生体医工学入門              | 7           | 2         | 2    | ○          | ○             | ○               | ○            | ○     | ○                | ○           |                  |
|                  | 電気・通信・電子・情報工学実験D     | 7           | 6         | 2    |            | 必             | 必               | 必            | /     | 必                | 必           |                  |
|                  | 応用物理学実験D             | 7           | 6         | 2    |            | /             | /               | /            | 必     | /                | /           |                  |
|                  | 応用物理学研修              | 7・8         | 2         | 2    |            | /             | /               | /            | 必     | /                | /           |                  |
|                  | エネルギーインテリジェンスセミナー    | 7           | 3         |      | 必          | /             | /               | /            | /     | /                | /           |                  |
|                  | コミュニケーションネットワークセミナー  | 7           | 3         |      | /          | 必             | /               | /            | /     | /                | /           |                  |
|                  | 情報ナノエレクトロニクスセミナー     | 7           | 3         |      | /          | /             | 必               | /            | /     | /                | /           |                  |
|                  | 応用物理学セミナー            | 7           | 3         |      | /          | /             | /               | 必            | /     | /                | /           |                  |
|                  | コンピュータサイエンスセミナー      | 7           | 3         |      | /          | /             | /               | /            | 必     | /                | /           |                  |
|                  | 知能コンピューティングセミナー      | 7           | 3         |      | /          | /             | /               | /            | /     | 必                | /           |                  |
|                  | メディカルバイオエレクトロニクスセミナー | 7           | 3         |      | /          | /             | /               | /            | /     | /                | 必           |                  |
|                  | 情報知能システム総合学卒業研修      | 7・8         | 6         | 6    |            | 必             | 必               | 必            | 必     | 必                | 必           |                  |
|                  | 電気機器設計法              | 8           | 2         | 2    | ○          | ○             |                 |              | /     |                  |             |                  |
|                  | 電気法規・電気施設管理          | 8           | 2         | 2    | ○          | ○             |                 |              | /     |                  |             |                  |
|                  | 原子核工学                | 8           | 2         | 2    | ○          | ○             |                 |              |       |                  |             |                  |
|                  | データコミュニケーション工学       | 8           | 2         | 2    | ○          |               | ◎               |              | ○     | ○                |             |                  |
| 工                | 国際工学研修Ⅰ～Ⅳ            |             |           | ...  |            |               |                 |              |       |                  |             |                  |
| 工                | 工学教育院特別講義            |             |           | ...  |            |               |                 |              |       |                  |             |                  |
|                  | インターンシップ             |             |           | 1又は2 | /          |               |                 |              |       |                  |             |                  |
|                  | 情報知能システム総合学特別講義      |             |           |      |            |               |                 |              |       |                  |             |                  |
|                  | 学外見学                 |             |           |      |            |               |                 |              |       |                  |             |                  |

別注：(1) 選択推奨科目（○印の科目）については、各コースとも、当該コース卒業生として学んでおくべき科目として推奨するものである。

(2) コース対象外科目（/印）以外の他コースの科目は、全て卒業要件単位として認定される。

(3) インターンシップは応用物理学コースでは1単位と認定される場合もある。

(2) 卒業に要する最低取得単位数

|      | 全 学 教 育 科 目 |             |                  |                  |                  |                  |                       |                  |             |        | 専門教育科目      |                  |   |   |    |     | 合 計 |    |
|------|-------------|-------------|------------------|------------------|------------------|------------------|-----------------------|------------------|-------------|--------|-------------|------------------|---|---|----|-----|-----|----|
|      | 基幹科目        |             | 展開科目             |                  | 共 通 科 目          |                  |                       |                  |             |        | 工学共通科目      |                  | 系<br>専<br>門<br>科<br>目   | 小 計   |    |     |     |    |
|      | 人<br>間<br>論 | 社<br>会<br>論 | 自<br>然<br>科<br>学 | 人<br>文<br>科<br>学 | 自<br>然<br>科<br>学 | 總<br>合<br>科<br>学 | 転<br>換<br>少<br>人<br>數 | 保<br>健<br>体<br>育 | 外<br>国<br>語 | 英<br>語 | 初<br>修<br>語 | 情<br>報<br>科<br>目 | 小<br>計  |   |    |     |     |    |
|      |             |             |                  |                  |                  |                  |                       |                  |             |        |             |                  |   |   |    |     |     |    |
| 必修科目 | 0           | 0           | 0                | 0                | 0                | 18               | 0                     | 0                | 1           | 4      | 0           | 2                | 25  | エネルギーインテリジェンス・<br>メディカルバイオエレクトロニクス<br>コミュニケーションネットワーク・<br>情報ナノエレクトロニクス・<br>応用物理学<br>コンピュータサイエンス・<br>知能コンピューティング | 1  | 45  | 46  | 71 |
| 選択必修 | 2           | 2           | 2                | 2                | 2                | 6                | 2                     | 2                | 2           | 4      | 0           | 24               | エネルギーインテリジェンス・<br>メディカルバイオエレクトロニクス<br>コミュニケーションネットワーク・<br>情報ナノエレクトロニクス・<br>応用物理学<br>コンピュータサイエンス・<br>知能コンピューティング | 0   | 47 | 48  | 73  |    |
| 選択推奨 |             |             |                  |                  |                  |                  |                       |                  |             |        |             |                  |   | 43  | 44 | 69  |     |    |
| 選択科目 |             |             |                  |                  |                  |                  |                       |                  |             |        |             |                  |   | 29  | 29 | 53  |     |    |
| 計    | 6           |             |                  |                  |                  | 43               |                       |                  |             | 49     |             |                  |   | 75  |    | 124 |     |    |

注意：4セメスター～8セメスターまでの選択必修科目（授業科目表の◎印の科目）から20単位以上修得すること。

自由聴講科目（授業科目表の／印の科目）は卒業要件単位とはならない。

(3) 履修条件 I (3セメスターでの専門教育科目履修条件)

2セメスター（1年次後期）終了時点において、全学教育科目と専門教育科目の中の工学共通科目（情報処理演習、数学物理学演習I及びII、創造工学研修）とあわせて18単位以上を修得した者は、3セメスターの専門教育科目の履修が認められます。

(4) 履修条件 II (研究室配属のための履修条件)

各コースセミナーは、配属された研究室で履修します。

5セメスター（3年前期）終了時点において、以下の条件を満たしている者は、6セメスターで研究室配属が認められます。

- ① 全学教育科目：42単位以上（ただし、そのうち必修科目について22単位以上）を修得
- ② 専門教育科目：自由聴講科目を除き29単位以上を修得（ただし、情報処理演習、プログラミング演習A、実験A・Bの全てを修得し、かつ、電磁気学基礎論、電磁気学基礎演習、電気回路学基礎論、電気回路学基礎演習、計算機学、応用数学Aのうち6単位以上修得していること）

(5) 履修条件 III (卒業研修履修条件)

情報知能システム総合学卒業研修は、6セメスター（3年後期）終了時点において、以下の条件を満たしている者に認められます。

- ① 全学教育科目：49単位以上（ただし、そのうち必修科目について25単位以上）を修得
- ② 専門教育科目：必修科目+選択必修について42単位以上を修得（ただし、情報処理演習、プログラミング演習A、実験A・B・Cの全てを修得し、かつ、電磁気学基礎論、電磁気学基礎演習、電気回路学基礎論、電気回路学基礎演習、計算機学、応用数学Aのうち8単位以上修得していること）

※ただし、留学をした場合には、履修条件の一部が緩和される場合があります。

(6) 早期卒業制度

(1) 情報知能システム総合学卒業研修の先取りの要件

前のセメスターまでに修得した単位の成績のうち、評価A又は80点以上の科目の数が通算で5分の4以上であること。

(2) 早期卒業適用要件

卒業要件単位をすべて修得し、成績優秀な者（修得した全科目の成績が原則として平均で80点以上である者）に対し、早期卒業を認める。

## (7) 専門教育科目授業要旨

### 電磁気学基礎論

Fundamental Electromagnetics

2 単位

必修 3セメスター

電磁気学は電気・物理関連の分野を学ぶ者にとって基礎的かつ必須の科目である。本講義及び電磁気学 I, II を受講することにより、統一的に電磁気学を学習することができる。本講義では電気・情報・物理関連分野を学ぶ者に必要な電磁気学の基礎として以下の講義を行う。

1. ベクトル解析
2. 真空中の静電界
3. 定常電流による真空中の静磁界
4. 真空中のマクスウェルの方程式
5. 真空中の平面電磁波

### 計算機学

Fundamentals of Computer

2 単位

必修 3セメスター

計算機で実行される計算の原理をハードウェアとソフトウェアの両面から学習する。はじめに、0-1の2値処理を実現する論理関数、論理式、論理回路、ブール代数を学び、論理設計を行う際の基礎を演習する。次いで、計算機の内部構造、演算器の構造、プログラムの実行機構を学び、アルゴリズム設計のためのデータ構造、特にスタックとその利用法を学習する。また、アルゴリズムの複雑さ、FFTなどの数値計算の基礎を学ぶ。

### 電磁気学基礎演習

Exercises in Fundamental Electromagnetics

1 単位

必修 3セメスター

本演習は電気・情報・物理関連分野を学ぶ者に必要な電磁気学基礎論の講義内容にそって、基礎的問題から応用的具体例についての練習問題を扱い、受講者全員に毎時間解かせる。これにより、講義内容の理解を深め、確実なものにするとともに応用力の養成を図る。

### 電気回路学基礎論

Basic Circuit Theory

2 単位

必修 3セメスター

電気回路学、過渡現象論の基礎として、複素記号演算法を学ぶ。正弦交流の電圧、電流のフェーザ表示によって、電気回路はインピーダンスあるいはアドミタンスで表現できることを示す。このとき、交流回路に拡張されたオームの法則およびキルヒホフの法則に準拠して回路式をたてれば、代数方程式を解く演算になり、複雑な回路でもより容易に解き得ることを示す。

### プログラミング演習 A

Programming A

2 単位

必修 3セメスター

本演習の目的は、系統的なアルゴリズム設計法の基礎、および、アルゴリズムを実装するための基本的なプログラミング技法を修得することにある。演習では、与えられた課題に対し、各自が、アルゴリズムの設計・C言語によるプログラミング・レポートの作成を行い、レポート提出時には面接員による試問を行う。これらの過程を通して、上記目的の達成を図るとともに、各自の「問題解決能力」と「自分の考えを他人に説明する技術」の向上を目指す。

### 電磁気学 I

Electromagnetics I

2 単位

応物 必修 4セメスター

本講義では物質中における電磁気現象を講義する。また講義内容にそって基礎的問題から応用的具体例についての演習を行う。講義内容は以下の通りである。

1. 真空中の電磁場
2. 真空中のマクスウェルの方程式
3. 静電およびベクトルポテンシャルの多重極展開
4. 物質（導体、誘電体、磁性体）と電磁場
5. 物質中のマクスウェルの方程式

### 応用数学 A

Applied Mathematics A

2 単位

必修 3セメスター

工学に必要とされる応用数学の中で、フーリエ解析と複素解析を学習する。とくに、フーリエ級数、フーリエ変換、デルタ関数、複素変数の関数、等角写像、コーネー・リーマンの方程式、正則関数、コーネーの積分定理・積分公式、留数定理、ローラン級数、一致の定理、解析接続、複素積分とその実定積分への応用等について、工学への応用を意識しながら学習する。

### 電気回路学基礎演習

Exercises in Basic Circuit Theory

1 単位

必修 3セメスター

本演習は、電気回路学基礎論の講義内容の理解を確実にし、深めることを目的とする。基礎的問題から応用問題まで数多く解き、計算力、応用力を高めるとともに、回路設計・解析のための基本的能力を体得する。

### 電磁気学 I

Electromagnetics I

2 単位

エネ・コ・エ・メ 必修 4セメスター  
情報・知能 選択

電磁気学は電気・物理関連の分野を学ぶ者にとって基礎的かつ必須の科目である。電磁気学基礎論、本講義及び電磁気学 II を受講することにより、統一的に電磁気学を学習することができる。電磁気学 I の講義内容は以下の通りである。

1. 誘電体中の静電界
2. 磁性体中の静磁界
3. 電磁誘導とインダクタンス
4. 物質中のマクスウェルの方程式と平面波
5. 媒質の境界平面における平面波の反射と透過

### 電気回路学 I

Circuits I

2 単位

エネ・コ・エ・メ 必修 4セメスター  
情報・応物・知能 選択

等価電源の定理や補償定理などの回路に関する諸定理、供給電力最大の法則、二端子対回路とそのアドミタンス行列、インピーダンス行列、縦続行列による表現、二端子対回路の伝送的性質、分布定数線路と波の伝搬・反射、など線形・受動の電気回路の基礎を学習する。

**電気計測学**

Electrical Measurement

2 単位

エネ 必修 4セメスター  
コミ・エレ・情報・応物・メデ・知能 選択

1. 電気計測の基本概念, 2. 誤差論・計測値の取り扱い, 誤差評価など, 3. 雑音, 4. 電気標準(絶対測定, 単位, 標準), 5. 計測用センサ, 6. アナログ量とディジタル量, 7. 電圧と電流の測定, 8. インピーダンスの測定, 9. 周波数と位相の測定, 10. 電力の測定, 11. 磁気測定, 12. 記録計と波形測定, 13. 電気計測応用

**情報通信理論**

Information and Communication Theory

2 単位

コミ 必修 4セメスター  
エネ・エレ・応物・情報・メデ・知能 選択

情報通信システムにおいては情報の効率的かつ正確な伝送が要請される。効率的伝送の限界, 正確な伝送のための伝送速度の限界などの評価の基礎となる情報理論, すなわち, 情報源モデル, 情報量とエントロピー, 情報の符号化, 通信路の通信容量と情報伝送速度, 通信路符号化について講述する。さらに, 信号と雑音など連続的通信システムの情報理論についても若干の解説を行う。

**解析力学**

Analytical Mechanics

2 単位

応物 必修 4セメスター  
エネ・コミ・エレ・情報・知能・メデ 選択

Newton の運動方程式から Lagrange の運動方程式を導出する過程, 及び Lagrange の方法を理解し, Lagrangian の性質とエネルギー・運動量・角運動量保存則との関係, 質点の運動と安定性を学習する。さらに, 強制振動, 減衰振動, 結合振動などの微小振動を学ぶ。Hamilton の正準運動方程式について, その概略を理解する。

**オートマトン・言語理論**

Automata and Formal Languages

2 単位

情報・知能 必修 4セメスター  
エネ・コミ・エレ・応物・メデ 選択

プログラム言語等の人工的に定義された言語である形式言語には, 記号の並びとしての側面とそれが持つ意味としての側面がある。前者に焦点をあて形式言語を, 計算機械の数学モデルであるオートマトンと記号系列生成機構である形式文法により規定し, 次の事項について講義する。1. 有限オートマトンと正規文法。2. ブッシュダウンオートマトンと文脈自由文法。3. チューリング機械。4. 計算量理論。

**ディジタルコンピューティング**

Digital Computing

2 単位

情報・知能 必修 4セメスター  
エネ・コミ・エレ・応物・メデ 選択

マイクロプロセッサなど現在のほとんどの計算機は, デジタルコンピューティングに基づいて動作している。デジタルコンピューティングシステムの構成要素である, 組合せ回路, フリップフロップ, レジスタ, カウンタ, メモリ, 順序回路, 演算回路などの構成法について学習する。さらに, これらを基本ブロックとした, レジスタトランസファ論理に基づく計算機の基本的设计法を習得し, デジタルコンピューティングシステムの動作原理を理解することとする。

**応用数学B**

Applied Mathematics B

2 単位

コミ・応物 必修 4セメスター  
エネ・エレ・情報・メデ・知能 選択

工学に必要とされる応用数学のなかで, ラプラス変換, 2, 3の特殊関数, 偏微分方程式の基礎を学習する。特に, ラプラス変換, ラプラス逆変換, それらを用いた偏微分方程式や積分方程式の解法, ガンマ関数, ベータ関数, ルジャンドル関数とベッセル関数の基本的な性質, ラプラスの方程式, 扩散方程式, 波動方程式などの2階線形偏微分方程式における変数分離を用いる解法, 境界条件の扱い方とフーリエ級数・フーリエ変換による解の表現について工学への応用を意識しながら学習する。

**量子力学A**

Quantum Mechanics A

2 単位

エレ・応物・メデ 必修 4セメスター

エネ・コミ・情報・知能 選択

量子力学の誕生を促した光の粒子性, 電子の波動性を述べた後, 初等量子力学について講義する。内容は, 量子力学の形成, シュレーディンガー方程式, 固有エネルギーと固有関数, 波動関数とその物理的解釈, 量子井戸, 調和振動子, トンネル効果等である。

**情報数学**

Information Mathematics

2 単位

情報・知能 必修 4セメスター

エネ・コミ・エレ・応物・メデ 選択

離散数学の基礎として次の事項を講義する。

1. 集合論
2. 組合せ論
3. グラフ理論
4. 代数系

**情報基礎演習**

Exercises in Foundations for Computer Science

1 単位

情報・知能 必修 4セメスター

エネ・コミ・エレ・メデ・応物 選択

本演習は, 情報数学およびオートマトン・言語理論の講義内容の理解を確実にし, 深めることを目的とする。集合や論理, グラフ, オートマトンに関する演習問題を解き, 情報工学を学ぶための基本的素養を身につける。

**アルゴリズムとデータ構造**

Algorithms and Data Structures

2 単位

情報・知能 必修 4セメスター

エネ・コミ・エレ・応物・メデ 選択

アルゴリズムの解析と設計について講義する。普遍的な計算モデルを定義し解析の基礎となる計算量の理論を解説する。処理対象データの表現とその操作を決定する基本的なデータ構造(リスト, 探索木, スタックなど)について詳細を示し, 分割統治法, 動的計画法などのアルゴリズム設計の基本的技法について理解を深める。また, ソート, 探索, 最短路問題などに関する具体的なアルゴリズムも講義する。

|                              |              |
|------------------------------|--------------|
| <b>熱力学</b><br>Thermodynamics | 2 単位         |
| エネ・コミ・エレ・情報・知能・メデ 選択         | 応物 必修 4セメスター |

エネルギー保存則(第一法則)とエントロピー増大則(第二法則)に基づいて、カルノーの定理に基づいて、絶対温度とエントロピーおよび熱力学ポテンシャルを導入し、熱力学量のあいだに成り立つ一般的な関係式や平衡状態の安定性といった基礎的な概念を講義する。熱機関、冷却器、ヒートポンプ、ジャル・トムソン効果、相平衡などの具体的な問題も扱う。

|   |                                      |
|---|--------------------------------------|
| <b>電磁気学 I 演習</b><br>Exercises in Electromagnetics I | 1 単位                                 |
| エネ・コミ・エレ・メデ 必修 4セメスター<br>応物・情報・知能 選択                | エネ・コミ・エレ・メデ 必修 4セメスター<br>応物・情報・知能 選択 |

電気・物理学関連の分野を学ぶ者にとって基礎的かつ必須の科目である電磁気学 I の講義内容にそって、基礎的問題から応用的具体例についての練習問題を扱い、受講者全員に毎時間解かせる。これにより、講義内容の理解を深め、確実なものにするとともに応用力の養成を図る。

|  |                                      |
|--|--------------------------------------|
| <b>電気回路学 I 演習</b><br>Exercises in Circuit Theory I | 1 単位                                 |
| エネ・コミ・エレ・メデ 必修 4セメスター<br>応物・情報・知能 選択               | エネ・コミ・エレ・メデ 必修 4セメスター<br>応物・情報・知能 選択 |

本演習は、電気回路学 I の講義内容の理解を確実にし、深めることを目的とする。基礎的問題から応用問題まで数多く解き、計算力、応用力を高めるとともに、回路設計・解析のための基本的能力を体得する。

|   |           |
|---|-----------|
| <b>数学演習</b><br>Exercises in Mathematics | 1 単位      |
| 選択 4セメスター                               | 選択 4セメスター |

応用数学 A, B (フーリエ解析、複素解析、特殊関数、ラプラス変換、偏微分方程式) の講義内容の理解を確実にし、深めるとともに、応用力、計算力を養う。この目的のために、基礎的な問題から応用的な問題まで、毎時間出題し、各自に解かせ、結果を提出させる。演習を通じて、物理学、工学に数学がどのように応用されているかを実感させる。

|   |           |
|---|-----------|
| <b>物理数学演習</b><br>Exercises in physics and mathematics | 1 単位      |
| 選択 4セメスター   | 選択 4セメスター |

これまでに履修した「物理学」・「電磁気学」でよく現れた Taylor 展開、極座標での積分・ベクトル解析、Gauss の定理・Stokes の定理などの数学の復習と量子力学で使う行列・固有値・固有ベクトルなどの数学に習熟することを目的とする。

|  |                             |
|--|-----------------------------|
| <b>電気・通信・電子・情報工学実験 A</b><br>Laboratory A | 1 単位                        |
| エネ・コミ・エレ・情報・メデ・知能 必修 4セメスター              | エネ・コミ・エレ・情報・メデ・知能 必修 4セメスター |

電気・情報系工学の基礎を実験を通して学ぶ。電気・電子回路素子、真空電子工学や固体・半導体工学、信号処理技術などの基礎実験を通して工学における実験の関わり合いの重要さを学ぶ。また、報告会を行い、各自の発表能力の向上を図る。

|  |              |
|--|--------------|
| <b>応用物理学実験 A</b><br>Experiments of Applied Physics A | 1 単位         |
| 応物 必修 4セメスター   | 応物 必修 4セメスター |

応用物理学に関する研究を行うために、共通的に最低限知っておく必要のある実験に関する基礎的項目について学習する。各種機器の原理、測定法、データの取り方、解析方法等を修得するとともに、実験に対するセンスを養う。

|                                       |                             |
|---------------------------------------|-----------------------------|
| <b>電磁気学 II</b><br>Electromagnetics II | 2 単位                        |
| エネ・コミ・エレ・情報・メデ・知能 選択 5セメスター           | エネ・コミ・エレ・情報・メデ・知能 選択 5セメスター |

電磁気学は電気・物理関連分野を学ぶ者にとって基礎的かつ必須的な科目である。電磁気学基礎、電磁気学 I 及び本講義を受講することにより、統一的に電磁気学を学習することができる。電磁気学 II の主な講義内容は以下の通りである。

1. マクスウェル方程式
2. 平面電磁波
3. 導波路
4. 電磁波の放射

|                                       |                    |
|---------------------------------------|--------------------|
| <b>電磁気学 II</b><br>Electromagnetics II | 2 単位               |
| 応物 選択 5セメスター                          | エネ・エレ・メデ 必修 5セメスター |

- 真空中の電磁波
- 誘電体中の電磁波の伝搬
- 导体中の電磁波の伝搬
- 電磁波の反射・屈折
- 导波管内の電磁波の伝搬
- 以上に関する演習

|                                      |                    |
|--------------------------------------|--------------------|
| <b>電気回路学 II</b><br>Circuit Theory II | 2 単位               |
| エネ・エレ・メデ 必修 5セメスター                   | エネ・エレ・メデ 必修 5セメスター |

線形回路について、入力信号と出力信号の関係とその解析方法を学ぶ。時間領域と周波数領域における考え方と基礎的な解析方法を修得することを目標とする。具体的には、線形回路の過渡応答や伝達特性を自在に解析できるようラプラス変換およびフーリエ変換を理解し修得する。

**システム制御工学 A** 2 単位  
Control Systems Engineering A エネ・メデ 必修 5セメスター  
コミ・エレ・情報・応物・知能 選択

本講義は、連続時間フィードバック制御系の解析と設計の基礎理論を修得させることを目的とする。まず動的システムの時間領域と周波数領域における数学的モデルについて、回路理論と関連させつつ解説する。以後、伝達関数、周波数特性に基づき古典制御理論を中心に移し、制御系の安定性、応答速度、定常特性等について述べ、最後にサーボ系設計の実例を示して制御工学の概念を理解させる。

**電気エネルギー発生工学** 2 単位  
Electric Power Generation エネ 必修 5セメスター  
Engineering コミ・エレ・情報・応物・メデ・知能 選択

現在の電力システムで実用化されている発電方式を中心には、発電原理の基礎と特徴を学ぶ。

- エネルギー資源と電力発生の概要
- 水力発電の原理と揚水発電の役割
- 発電機の周波数・出力制御
- 火力発電における各種熱サイクルと環境対策
- 原子力発電の原理・基本構成と発電用商業炉
- 各種の新発電方式
- 電源計画のベストミックス

**デジタル信号処理** 2 単位  
Digital Signal Processing コミ・メデ・知能 必修 5セメスター  
エネ・エレ・応物・情報 選択

本講義は情報通信技術の基幹技術であるデジタル信号処理の基礎を修得することを目的とする。

その内容は次のとおりである。

離散時間信号、離散フーリエ変換、高速フーリエ変換、ディジタルフィルタの基礎と解析、 $z$  変換、周波数選択性ディジタルフィルタ、FIR フィルタの設計、2 次元信号とフーリエ変換、2 次元ディジタルフィルタ。

**熱力学・統計力学 A** 2 単位  
Thermodynamics and Statistical Mechanics A エレ 必修 5セメスター  
エネ・コミ・応物・情報・メデ・知能 選択

熱に関する現象の基本的な理解を得るために、熱力学の基本法則、エントロピー、自由エネルギーについて講述する。統いて、熱力学の、粒子統計的な解釈である統計力学の基礎として、エントロピーと温度の概念、マクスウェル・ボルツマン分布則、フェルミ・ディラック分布、ボーズ・アインシュタイン分布について講義する。また、これらの応用として、半導体の統計力学についても述べる。

**電子物性** 2 単位  
Solid State Physics エレ 必修 5セメスター  
エネ・コミ・情報・応物・メデ・知能 選択

電子工学と関連する固体物理学の基礎知識修得を目指して講義する。内容は、結晶構造、結晶の結合力と種類、格子振動、固体の熱的性質、金属の自由電子論、結晶中の電子の運動（バンド理論）、半導体、絶縁体、磁性体、固体の光学的性質等である。

**電磁エネルギー変換 A** 2 単位  
Electromagnetic Energy Conversion エネ 必修 5セメスター  
コミ・エレ・情報・応物・メデ・知能 選択

電磁エネルギー変換の基礎理論と変圧器について述べる。

- 電磁エネルギー変換の原理（電磁エネルギー変換と電磁気学、電気-機械結合系の回路的性質（起電力の発生）と機械的性質（電磁力発生））
- 電気-機械結合系の理論（電気-機械結合系の解析、電気系と機械系の類推）
- 変圧器

**電子回路 A** 2 単位  
Electronic Circuit A コミ・エレ・メデ 必修 5セメスター  
エネ・情報・応物・知能 選択

本講義では電子情報分野で必須な電子回路の解析と設計に資するため、アナログ電子回路の基礎的知識と諸概念を学び、回路構成や機能に習熟することを目的とする。

講義内容は BJT, FET の構造と特性、微小信号モデル、等価回路、接地方法と基本增幅回路、各種增幅回路である。

**コミュニケーション工学 A** 2 単位  
Fundamentals of Electrical Communication A コミ 必修 5セメスター  
エネ・エレ・情報・応物・メデ・知能 選択

発展を続ける通信システムを理解する基礎学力を身に付けるために必要な通信技術の基礎を学ぶ。講義の主な内容は、信号の周波数スペクトル、信号伝送とひずみ、雑音、変調などであり、(1) 信号の周波数スペクトルの概念と伝送帯域幅、(2) 通信システムにおける雑音の影響、(3) アナログ変調およびディジタル変調などについての理解を目的としている。

**統計力学 A** 2 単位  
Statistical Mechanics A 応物 必修 5セメスター  
エネ・コミ・エレ・情報・知能・メデ 選択

統計力学 A および B では物性物理学の基礎となる平衡系の統計力学の講義を行う。A では熱力学の要点を説明したあとで、孤立した巨視的系のエントロピーおよび、一定温度の環境にある体系に対するカノニカル分布の概念を導入する。系の巨視的性質にもとづいてエネルギーや自由エネルギー等の巨視的物理量を計算する手法を講義する。応用例として、二状態系、振動子、理想気体、高分子、熱輻射等を扱う。

**計算機ソフトウェア工学** 2 単位  
Fundamentals of Computer Software 情報・知能 必修 5セメスター  
エネ・コミ・エレ・応物・メデ 選択

プログラム言語およびその処理系にかかる、プログラミング言語の文法と意味論、コンパイラの原理と構成、プログラミング言語論、プログラミング方法論などについて講述する。

|  |  |   |  |
|--|--|---|--|
| <b>プログラミング演習 B</b><br>Programming B  | 1 単位<br>情報・知能 必修 5セメスター<br>エネ・コミ・エレ・応物・メデ 選択 | <b>解析力学続論</b><br>Advanced Classical Mechanics         | 2 単位<br>選択 5セメスター                            |
| 現代的なプログラミング言語として、ML と Java を学ぶ。前半では、ML を使って関数型言語の基本を学習し、関数定義・パターンマッチング・多相データ型などについて演習を行う。後半では、Java の基礎であるオブジェクト指向の考え方を学び、GUI プログラミングやグラフィックス等を題材として、実際のプログラミングに関する演習を行なう。                |  |   |  |
| <b>量子力学 B</b><br>Quantum Mechanics B   | 2 単位<br>5セメスター<br>エネ・コミ・エレ・情報・メデ・知能 選択       | <b>量子力学 B</b><br>Quantum Mechanics B                  | 2 単位<br>応物 必修 5セメスター                         |
| 量子力学 A で学んだことを概観した後、さらに量子力学における諸問題について講義する。内容は、中心力ポテンシャルと水素原子、行列力学、角運動量、電子のスピン、定常状態の摂動論（縮退のない場合とある場合）、変分法、多粒子系の波動関数、波動関数の対称性とパウリの原理等である。次いで、結晶中の電子の振る舞いを理解するため、周期的ポテンシャル場中の電子の状態について述べる。 |  |   |  |
| <b>物性物理基礎論</b><br>Fundamentals of Solid State Physics  | 2 単位<br>選択 5セメスター                            | <b>人工知能</b><br>Artificial Intelligence                | 2 単位<br>知能 必修 5セメスター<br>エネ・コミ・エレ・応物・情報・メデ 選択 |
| 原子と固体内での電子の振る舞いについて、一電子原子、結晶格子、固体の原子論、固体の電子論を概観する。原子論は、結晶結合・構造、結晶による波の回折、格子振動と格子比熱・熱伝導を、電子論は、周期ポテンシャル中の電子状態について講義する。また、これらの講義内容と固体の電気的・磁気的性質の関係についても簡単に触れる。                              |  |   |  |
| <b>システムソフトウェア工学</b><br>System Software Engineering   | 2 単位<br>情報 必修 5セメスター<br>エネ・コミ・エレ・応物・メデ・知能 選択 | <b>情報論理学</b><br>Logic for Computer Science            | 2 単位<br>選択 5セメスター                            |
| システムソフトウェアの基本概念、構造、およびその機能を理解することを目的とする。   |  |   |  |
| システムソフトウェアとは、情報処理システムの基盤となるソフトウェア群である。本講義ではまず、デジタル計算機による情報処理の原理を概観した後、計算機ハードウェアを制御し情報処理システムの実現を可能にする基本ソフトウェア(OS)の構造と機能を学ぶ。それらを基礎に、分散システムや協調分散知識システムなどのより高度な情報処理システムの構造や構築技術などを論ずる。       |  |   |  |
| <b>コンピュータシミュレーション科学</b><br>Computer Simulation Science   | 2 単位<br>選択 5セメスター                            | <b>電子デバイス基礎</b><br>Fundamentals of Electronic Devices | 2 単位<br>選択 5セメスター                            |
| コンピュータ性能の向上に伴い、物理学に新たな方法論（計算物理学）が発展してきている。これは、大規模数値計算により複雑な現象を解析するだけでなく、計算機上でモデルをシミュレートすることによって、物質設計などの新しい可能性を見出そうとするもので、工学的応用も広い。   |  |   |  |
| 本講義では、コンピュータシミュレーション科学の基礎として、数値積分法、微分方程式の解法、行列の固有値計算などの数値計算法の基礎事項を習得する。  |  |   |  |

**生命システム情報学**

Life System Informatics

2 単位

選択 5セメスター

生命体の「設計図」であるゲノムが解読されたことにより、生物の構造・機能への理解が加速度的に深まりつつある。この授業においては、まず、DNA情報から生命的維持に必要な機能分子（タンパク）が合成されるしくみと医学的意義を解説する。さらに、ゲノム（DNA）やタンパク（アミノ酸配列）の解読方法、ならびに、そこで用いられている基本的な計算機的手法やアルゴリズムについて概説する。これにより、バイオインフォマティクスの基礎である生物学的概念と、基本的な処理技法を習得する。

**量子力学演習**

Exercises in Quantum Mechanics

1 単位

選択 5セメスター

量子力学の考え方を理解し実感するための基礎的な問題を扱う。具体的には、井戸型ポテンシャル、水素原子や調和振動子の電子状態、演算子の一般的性質や固有関数の完全性等について学んだ後、定常状態や非定常状態での摂動論や変分法の諸問題へ応用する。

**基礎磁気工学**

Fundamental Magnetics

2 単位

選択 5セメスター

電磁気学に立脚し、静止した電荷（電界）と移動する電荷（電流）の次に、新たに回転する電荷（スピinn）を位置付け、その集合体として磁性とその電気・情報的応用の基礎を理解する。

1. 電荷とスピinn
2. 電流と磁界
3. 物質の磁性
4. 高透磁率磁性材料・永久磁石材料
5. 薄膜磁性材料
6. スピントロニクス
7. 磁気デバイス解析の基礎
8. 計測技術の基礎
9. パワーマグネットィクス
10. 磁気センサ
11. 磁気記録と光磁気記録

**情報社会論**

Information and Society

2 単位

エネ・コミ・エレ・情報・メデ・知能 選択 5・7セメスター

今日の高度情報化社会において、コンピュータや情報通信ネットワークの全般的概念を理解し、社会や生活の中で、それらがどのように利用されているかを知り、効果的に活用するための方法を考える。

**情報化社会と職業**

Information and Society and Profession

2 単位

講義や実習を通して、情報化の進展が社会に及ぼす影響、情報モラルの必要性、情報セキュリティ管理のあり方、個人及び社会人として情報技術を社会の発展に役立てていくための方法や心構えなどについて考える。

**電気・通信・電子・情報工学実験 B**

Laboratory B

1 単位

エネ・コミ・エレ・情報・メデ・知能 必修 5セメスター

電気工学、通信工学、電子工学および情報工学における重要な学術の基礎を幅広く実験により体得する。直流回転機や高電圧などの電力工学の基礎から超音波工学の基礎、レーザや液晶デバイスなど光電子工学の基礎、さらにIC演算増幅器やマイクロプロセッサなど電子工学および計算機工学の基礎まで効果的な実験が用意されている。

**応用物理学実験 B**

Experiments of Applied Physics B

1 単位

応物 必修 5セメスター

応用物理学実験 A に引き続いて、応用物理学に関する研究を行うために、共通的に最低限知っておく必要のある実験に関する基礎的項目について学習する。各種機器の原理、測定法、データの取り方、解析方法等を修得するとともに、実験に対するセンスを養う。

**電気電子材料**

Electric and Magnetic Materials

2 単位

エネ 必修 6セメスター  
コミ・エレ・情報・応物・メデ・知能 選択

現代のエレクトロニクスを支えているのは、Solid State と呼ばれる固体材料である。現代の Device を支える広範な電気電子材料の基礎及び応用について学ぶ。

この授業では、種々の材料の基礎及びその応用原理の理解を目標とする。(1) 序論、(2) 技術磁化過程、(3) 各種磁性材料、(4) 導電材料、(5) 誘電体材料、(6) 有機材料、(7) 半導体材料

**プラズマ理工学**

Plasma Physics and Engineering

2 単位

選択 6セメスター

物質の第4の状態であるプラズマは学問的に興味あるばかりでなく、先端エレクトロニクス、新環境（磁気圏、宇宙空間）の探索、長期エネルギー源の開発（核融合）などにおいて、極めて重要である。本講義は、プラズマの基礎的性質の理解とプラズマ応用の基盤確立を目的としており、プラズマを記述する基本式、プラズマの特徴的振舞い、および核融合、学際領域等へのその他のプラズマ応用の基本的概念の把握を図るものである。

**電子回路 B**

Electronic Circuit B

2 単位

コミ・エレ 必修 6セメスター  
エネ・情報・応物・メデ・知能 選択

本科目では、電子回路 A に引き続き、線形、非線形アナログ電子回路、および集積回路を前提としたディジタル電子回路の基礎と設計法について理解することを目的とする。

その内容は次のとおりである。

演算増幅器とその応用、発振回路、ディジタル回路の基礎、バイポーラトランジスタ回路のスイッチング特性、MOS-FET のスイッチング特性

|   |  |  |  |
|---|--|--|--|
| <b>コミュニケーション工学B</b><br>Fundamentals of Electrical Communication B   | 2 単位<br>コミ 必修 6セメスター<br>エネ・エレ・情報・応物・メデ・知能 選択 | <b>半導体デバイス</b><br>Semiconductor Devices  | 2 単位<br>エレ・メデ 必修 6セメスター<br>エネ・コミ・情報・応物・知能 選択 |
| 1. 音情報<br>2. 画像情報<br>3. 無線通信<br>4. 移動通信<br>5. 光通信   |  | マイクロエレクトロニクスの中核に位置する半導体デバイスの基本的理解を図るために、(1) 半導体の電気伝導、(2) pn接合、(3) バイポーラトランジスタ及びMOSトランジスタを代表とする各種トランジスタ、(4) それらを集積化した半導体集積回路等について講義する。  |  |
| <b>熱学・統計力学B</b><br>Thermodynamics and Statistical Mechanics B   | 2 単位<br>選択 6セメスター                            | <b>応用物理計測学</b><br>Measurements in Applied Physics  | 2 単位<br>選択 6セメスター                            |
| 熱学・統計力学Aに引き続き平衡系の統計力学の講義を行う。Bで扱う内容は量子統計（フェルミ統計、ボース統計）と電子物性、ボース凝縮、ギブスの自由エネルギーと化学反応、相転移理論、熱と仕事等である。<br>様々な具体例をもとに自然現象が統計力学により如何に解明されるかを学び、応用力を養うことを目指す。                   |  | 信頼できる実験結果を得るための基礎となる事柄について学ぶ。最初に、測定装置の系統誤差や、データのばらつきとして現れる偶然誤差について理解する。次に、得られた結果をより正確に解釈するために必要となる、データ解析の代表的手法について学習していく。具体的には、平均値、標準偏差からスタートし、誤差の伝播、最少二乗法、t検定などを取り上げる。また、実験系の動作を最適化するために必要な制御の基礎について学ぶ。                   |  |
| <b>統計力学B</b><br>Statistical Mechanics B   | 2 単位<br>選択 6セメスター                            | <b>物性物理原論A</b><br>Solid State Physics A  | 2 単位<br>応物 必修 6セメスター<br>エネ・コミ・エレ・情報・知能・メデ 選択 |
| 統計力学Aに引き続き、平衡系の統計力学の講義を行う。Bで扱う内容はグランドカノニカル分布、量子統計（フェルミ統計・ボース統計）、電子物性、ボース・アインシュタイン凝縮、そして相転移の平均場理論等である。<br>統計力学による熱現象の記述方法を深く理解し、物性物理におけるさまざまな応用例を理解することを目指す。             |  | 物性物理学の基礎的な事項について講義する。具体的には、結晶構造、結晶による回折と逆格子、結晶結合、フォノン、絶縁体の熱的性質について講義する。  |  |
| <b>物性物理原論A演習</b><br>Exercises in Solid State Physics A  | 1 単位<br>選択 6セメスター                            | <b>数理最適化</b><br>Mathematical Optimization  | 2 単位<br>選択 6セメスター                            |
| 物性物理原論Aの講義内容にそって、基礎的問題から応用的具体例について練習問題を行い、講義内容の理解を確実にし、かつ応用力の養成を図る。   |  | 今日の社会では、様々な分野において数理最適化の技術が用いられている。数理最適化問題（数理計画問題）とは、与えられた評価尺度に関して最も良い解を求めるという問題であり、これを用いてシステム設計を行うのが数理最適化（数理計画法）である。数理最適化は工学全般において基本的な手法であり、電気エネルギー・情報処理・情報通信などの各種システム設計において必須の技術である。本授業では、様々な数理最適化問題とそれらの解法を習得することを目的とする。 |  |
| <b>電磁エネルギー変換B</b><br>Electrical Machinery   | 2 単位<br>選択 6セメスター                            | <b>光エレクトロニクス</b><br>Optoelectronics  | 2 単位<br>選択 6セメスター                            |
| 電磁エネルギー変換Aに引き続き、回転機の原理、理論、特性を詳しく述べる。<br>1. 直流機（直流機の基礎、直流モータの特性、制御）<br>2. 同期機I（同期発電機の基礎、等価回路、特性）<br>3. 同期機II（同期モータの基礎、特性、同期機の乱調と安定度）<br>4. 誘導機（誘導モータの基礎、等価回路、特性、始動と速度制御） |  | 1. 光学および光と物質の相互作用の基礎を学び、それを上台として光伝搬やレーザ発振現象の基本を理解する。<br>2. 上記の動作原理に基づいた光デバイスが、光通信をはじめとするフォトニクス分野で実際にどのように用いられているかについても学習する。  |  |

|   |  |   |                   |
|---|--|---|-------------------|
| <b>集積回路工学</b><br>Integrated Circuits Technology   | 2 単位<br>選択 6セメスター                            | <b>ネットワークコンピューティング</b><br>Network Computing   | 2 単位<br>選択 6セメスター |
| 集積回路は、ありとあらゆる情報機器に利用されていると共に、将来の知能情報システムや知能ロボット頭脳の重要な構成要素である。本講義では、集積回路の動作を学習し、集積システムの設計概念を理解することを目的とする。具体的には、CMOS 集積回路の基礎、速度評価、消費電力評価、レイアウト設計、回路シミュレーションによる動作解析、VLSI プロセッサやシステム LSI の構築技術の学習を通して、集積回路と知能システムへの応用の全体像の理解を深める。               |  | 情報通信ネットワークの基本となっているネットワークコンピューティングのアーキテクチャについて、物理レベルから論理レベルまで、さらに応用も含めて次の項目を中心に講義する。  |                   |
| <b>コミュニケーション符号理論</b><br>Communication Coding Theory   | 2 単位<br>選択 6セメスター                            | 1. ユビキタス情報社会とネットワーク<br>2. ネットワークアーキテクチャ<br>3. 応用層<br>4. トランスポート層<br>5. ネットワーク層<br>6. データリンク層<br>7. LAN<br>8. WAN<br>9. 物理層<br>10. 無線とモバイルネットワーク<br>11. マルチメディア通信<br>12. ネットワークセキュリティ<br>13. ネットワーク運用と管理 |                   |
| <b>材料・プロセス工学</b><br>Electronic Materials and Processing   | 2 単位<br>選択 6セメスター                            | <b>光波・電波伝送工学</b><br>Optical and Microwave Waveguides  | 2 単位<br>選択 6セメスター |
| デジタル通信システムでは通信路の雑音のために伝送誤りが発生するが、これを検出、訂正するために用いられるのが通信路符号化である。実際のシステムで用いられている符号化についての基礎を学ぶ。講義の主な内容は、通信路の誤り発生のモデル、ブロック符号と豊み込み符号などである。   |  | 情報通信、エネルギー伝送にとって重要な伝送路の基礎として、分布定数回路とその特性を表す行列、及び TEM 伝送路、金属導波管、誘電体伝送路について講義する。主な内容は次の通りである。   |                   |
| <b>コンピュータグラフィックス</b><br>Computer Graphics   | 2 単位<br>選択 6セメスター                            | <b>コンピュータグラフィックス</b><br>Computer Graphics   | 2 単位<br>選択 6セメスター |
| 半導体を中心とした電子材料の性質、物性、形成方法、評価技術に関する基礎を講義する。講義内容は、元素の性質から結晶構造と欠陥、薄膜の形成方法、不純物の導入、材料に関する諸現象、半導体プロセス技術の基礎、さらには電気・光・X 線を用いた材料の分析・評価技術に及ぶ。  |  | コンピュータグラフィックスは、本物らしい画像の生成という当初の目的は元より、現在では、ユーザインターフェースの構築やデータの可視化など、幅広い分野で用いられる基本的な技術となっている。本講義では、画像の表現方法、物体・カメラ・照明のモデル化方法、画像の生成方法などに関する講義・演習を通して、コンピュータグラフィックスの基礎的な概念の理解を図る。                           |                   |
| <b>数値コンピューティング</b><br>Numerical Analysis  | 2 単位<br>選択 6セメスター                            | <b>画像情報処理工学</b><br>Image Information Processing   | 2 単位<br>選択 6セメスター |
| 電子計算機による数値計算のための各種アルゴリズムとそれらの計算効率、誤差の解析について学習する。主な内容を下に列挙する。  |  | ディジタル画像は非常に多くの情報を含むメディアであり、画像情報処理は様々な分野のマルチメディア化に不可欠な技術である。本講義では人間の視覚系の基本特性について述べた後、コンピュータによる画像処理の基礎技術や画像認識法、圧縮法等について解説する。  |                   |
| 1. 数値の表現と数値計算の誤差<br>2. 連立1次方程式の解法<br>3. 非線形方程式の解法<br>4. 代数方程式の解法  | 5. 補間と近似<br>6. 数値積分<br>7. 微分方程式の解法<br>8. その他 |   |                   |
| <b>コンパイラ</b><br>Compiler  | 2 単位<br>選択 6セメスター                            | <b>データベース</b><br>Database   | 2 単位<br>選択 6セメスター |
| コンパイラの理論と技術、さらにそれらの基礎をなすアイデアの理解を主な目的とする。これらには、情報学を学ぶ者への本質的な示唆となりうる、計算機科学の典型的なアイデアや技術が多く含まれている。本授業では、コンパイラの役割と構造をプログラムの意味と機械の構造との関連から概観した後、構文解析からコード生成に至るコンパイラの各段階で用いられる理論やアルゴリズムを解説する。さらに、現在開発中の SML #コンパイラを題材にし、型推論などの先端的な技術やその実現例の解説も含める。 |  | ネットワークによる情報のユビキタス環境を実現するには、映像・音声を含むあらゆる情報のデータベース化が必要である。そのため本講義では、データベースの仕組みを理解し、データベース管理システムの利用手法を学習するとともにデータベースの基礎技術である情報ストレージシステムの学習を通してデータベースの設計・構築・運用に必要な知識を得る。                                    |                   |

**生体情報工学**  
Bioinformation Engineering

2単位  
選択 6セメスター

生体情報工学の目的は、生体情報処理の原理を解明し、その工学的応用を果たすことである。本講義では、分子生物学、細胞生物学、および神経科学の基礎知識を与えた上で、遺伝子、タンパク質、神経細胞、神経回路、および脳のそれぞれのレベルの機能を担うメカニズムを工学的な側面から説明する。また、それらが様々なシステム設計の指針ともなり得ることを示す。

**知覚感性工学**  
Sensitivity Engineering

2単位  
選択 6セメスター

視覚・聴覚・触覚・嗅覚・味覚などの知覚・認識に関する理解を深めるとともに、人との親和性が高く感性に迫るヒューマンインターフェースデバイス（映像を含め五感に関わる入出力技術）の基礎知識を修得する。感性を通して人とハードの関わり方を理解することより、人に優しい情報メディアの構築と今後のエレクトロニクス展開を考える機会とする。関連分野の最新トピックについても解説する。

**量子力学C**  
Quantum Mechanics C

2単位  
選択 6セメスター

「量子力学A・B」で学習した内容を簡単に復習し、さらに発展させる。取り上げる内容は角運動量及びスピノの性質、それらの合成規則、スピノの起源、多粒子系の性質、散乱問題等である。これらを基礎から説き起こし、その物理的意味を理解できるよう学習する。

**結晶解析学**  
Applied Crystallography

2単位  
選択 6セメスター

結晶の対称性に基づいた幾つかの分類法、晶系、プラベクラス、点群、および空間群について初步的な理解をする。結晶面と逆格子の関係、逆格子の規則的消滅、ラウエ関数の広がりと実格子の大きさの関係等を説明する。X線・中性子・電子線回折の原理を概説し、粉末試料を使った構造解析の原理から自動解析までを理解し、若干の例について演習する。

**統計力学演習**  
Exercises in Statistical Mechanics

1単位  
選択 6セメスター

本演習では、統計力学AおよびBにおける講義内容の理解を深めることを目的とする。基本的かつ典型的な問題を丁寧に解くことにより、熱力学・統計力学の考え方を習得し、応用物理学における実践的応用への基礎作りを行う。

**電気・通信・電子・情報工学実験C**  
Laboratory C エネ・コミ・エレ・情報・メデ・知能 必修 6セメスター

アンテナ・分布定数回路、光通信の基礎の2週テーマをはじめ、トランジスタ増幅器、変調・復調、ディジタル信号処理、制御系設計の基礎、コンピュータネットワーク、交流回転機、パワーエレクトロニクスの基礎、磁化プラズマ、超電導体、光電変換の各テーマの実験を通じて、電気・通信・電子・情報工学の基礎を学ぶとともに、実験手法、結果に対する考察法、レポートの書き方、口頭発表の方法等を習得する。

**応用物理学実験C**  
Experiments of Applied Physics C 応物 必修 6セメスター

応用物理学実験A、Bの知識を踏まえて、応用物理学研究において実際に汎用的に使われている物性測定法を中心各種実験を体験し、あわせて物理現象の内容の理解と実験研究レポートのまとめ方について訓練する。

**システム制御工学B**  
Control Systems Engineering B

2単位  
選択 7セメスター

システム制御工学Aの理解を前提として、より高度のシステム制御について講義する。まず、線形制御システムの基礎として、可制御性、可観測性と状態フィードバック等について解説する。ついで、ディジタル制御系の解析・設計法、記述関数法と位相面解析法等の非線形制御理論、相関関数とパワースペクトルなどランダム信号の解析法とその制御系設計への応用とについて解説する。

**生体電子計測**  
Bioelectronic Measurement

2単位  
選択 7セメスター

電子計測技術の基本となる微小電気信号の計測に関する基礎知識の修得を目指して、生体の微小電気信号の計測を対象に、電子工学的側面からの基本的事項について講義する。まず、生体電気現象の基礎について述べ、次に、生体の微小電気信号計測において注意すべき諸要因について説明する。特に、電気信号計測のための電極、計測上問題となる雑音、計測のための差動増幅器、外來雑音への対策などについて述べる。また、生体信号計測の応用例についても紹介する（ISFET、神経筋系の情報など）。

**パワーエレクトロニクス基礎**  
Fundamentals of Power Electronics

2単位  
選択 7セメスター

半導体デバイスによる電力やエネルギーの変換・制御に関わる技術分野をパワーエレクトロニクスという。ここでは以下の内容を中心に基礎理論と応用について解説する。

1. 電力変換・制御の基礎
2. 電力用半導体デバイス
3. 電力変換回路方式
4. 応用装置及びシステム

---

**高電圧エネルギー工学** 2単位  
High Voltage and Energy Engineering 選択 7セメスター

高電圧技術は電力エネルギーの送変電システムの基幹技術としてだけではなく、巨大な電磁エネルギーを利用した荷電粒子ビーム発生、高温・高密度プラズマ生成、超高速電磁加速、マイクロ波やレーザーさらにX線の発生など広範な応用技術を支える根幹となる工学である。一方で空気清浄器などの環境改善機器や光源等にも高電圧技術が活用され、その技術習得は電気技術に関わるものとして必須のものである。

講義では高電圧絶縁破壊現象、高電圧・大電流の発生法、測定法及び高電圧を取り扱う際の安全対策や様々な応用分野について概説する。

**電気エネルギー応用工学** 2単位  
Applied Power Engineering 選択 7セメスター

1. 照明工学（照明の基礎と応用）
2. 電熱工学（電熱の基礎と応用（電気炉、電気溶接、電気冷凍））
3. 電気化學（電池の基礎、進展する電池技術）
4. 電動力応用工学（電動力応用技術の基礎、電動力応用（ポンプ、エレベータ、電気鉄道））

**電気エネルギーシステム工学基礎** 2単位  
Electric Power Systems Engineering 選択 7セメスター

電力は現代社会の基盤を支える重要な役割を担っている。そのような電力を安定にかつ信頼高く輸送するための電力輸送技術と電力システムの制御と運用を講義する。

1. 電力システムの基本構成
2. 電気エネルギーの輸送特性
3. 電力システムの安定性
4. 電力システムの保護と過電圧
5. 電気エネルギーの直流送電と将来展望

---

**音響工学** 2単位  
Acoustics 選択 7セメスター

1. 1次元の波の伝搬・反射・透過・共振
2. 1次元の波動方程式：共役変数・特性インピーダンス・インピーダンス整合
3. 音波の波動方程式
4. 音響素子；音響管、集中定数素子、音響共振器とフィルタ
5. 発音体の振動：弦の振動、膜の振動、固体中の音波
6. 音波の放射：球面波、点音源、ピストン振動面からの放射、音場分布と指向性、ホイレンスの原理、時間反転法
7. 電気音響変換器：スピーカと受話器、マイクロホンと送波器
8. 超音波：超音波の発生と検出、超音波の応用

**電波法** 1単位  
The Radio Law エネ・コミ・エレ・情報・メデ・知能 選択 7セメスター  
and Regulations

電波は放送、防災無線、携帯電話等様々な分野で活用され、国民生活に不可欠なものとなっている。今後その役割は一層高まっていくことから、電波法等関係法令を体系的に解説する。

**ワイヤレス伝送工学** 2単位  
Wireless Transmission Engineering 選択 7セメスター

電波の工学的応用は非常に広く、無線通信から電波計測、エネルギー、医用など他分野に関連している。ここでは、無線通信、その他の電波応用のために必要な電波の性質、電波の放射、アンテナ、電波伝搬の基礎、およびこれらと移動通信、衛星通信、レーダなど各種電波応用との関連について述べる。

---

**パターン認識論** 2単位  
Pattern Recognition Theory 選択 7セメスター

音声・文字・画像を利用したマルチモーダルインターフェースは、電子辞書からスマートフォン、ロボット、ゲームなどさまざまな分野で利用されてきている。この開発に必要な基礎学問としてパターン認識論がある。本講座では距離を利用して認識法から始まって、線形識別関数、ニューラルネット、DP法、HMMなどの最新の方法までを具体例を示しながら講義する。

---

**物性物理原論B** 2単位  
Solid State Physics B 応物 必修 7セメスター  
エネ・コミ・エレ・情報・メデ・知能 選択

固体内の伝導電子の挙動について基礎的な取り扱い方を述べる。自由電子ガスの立場から金属の比熱や電気・熱伝導現象を扱い、周期場の影響によるエネルギー帶の形成とブロック関数、種々の金属のバンド構造を実験・理論の両面から概観する。これを基に、固体内電子の電気的・光学的・磁気的性質について講義する。

**物性物理原論B演習** 1単位  
Exercises in Solid State Physics B 選択 7セメスター

結晶構造に関する簡単な知識を前提にして、講義内容の理解を深める為に、より具体的な問題を扱う。数学・量子力学を復習した後、自由電子ガスの諸性質やその比熱、自由電子近似でのバンド構造と状態密度、強結合近似等を扱う。

|   |                   |  |   |
|---|-------------------|--|---|
| <b>物性物理原論C</b><br>Solid State Physics C   | 2 単位<br>選択 7セメスター | <b>物性材料学</b><br>Basic Materials Science                  | 2 単位<br>選択 7セメスター   |
| 外部から加えられた電場・磁場に対する物質の応答について学び、物質の具体的な物性物理現象の理解を深めることを目指とする。講義では、電気双極子、磁気双極子をもつ固体の電気的・磁気的性質、外場に対する応答、双極子の協力現象と相転移、強誘電体・強磁性体に代表される双極子の長距離秩序状態について述べる。   |                   |  | 材料科学の基礎知識の中から、特に重要なと思われる次の事項について学習し、必要に応じて演習する。講義項目は、核発生と核成長、Gibbsの相律、相平衡、2元系状態図、3元系状態図、ヒューム・ロザリーの法則、結晶中の欠陥、拡散、時効硬化、スピノーダル分解、電気化学的基礎およびセラミックス材料の基礎である。  |
|   |                   |  |   |
| <b>光物理工学</b><br>Applied Optical Physics   | 2 単位<br>選択 7セメスター | <b>低温物理工学</b><br>Low Temperature Physics                 | 2 単位<br>選択 7セメスター   |
| 光の本性、光と物質の相互作用、光の性質を利用した光学機器について、理解を深めることを目的とする。光の放射過程、この量子力学的な理解、レーザーの物理、固体のエネルギーバンドとこれがもたらす光物性について講義する。固体の量子構造を作ることにより得られる光学特性や、分光計測機器、光学デバイスについても解説する。   |                   |  | まず、物性物理実験に不可欠な低温技術（低温の生成と温度計測）の基礎的な原理と方法を概説し、次に、低温における際立った量子現象である超伝導について概説する。<br>1. 低温生成の基本原理と方法<br>2. 各種温度計の基本原理と計測方法<br>3. 超伝導の基本的性質と超伝導物質<br>4. 超伝導の現象論（Ginzburg-Landau の現象論等）<br>5. 超伝導の微視的理論（BCS 理論等）<br>6. 高温超伝導      |
|   |                   |  |   |
| <b>生体分子機械</b><br>Biological molecular machines  | 2 単位<br>選択 7セメスター | <b>集積回路設計演習</b><br>Exercise in Integrated Circuit Design | 2 単位<br>選択 7セメスター   |
| 生物はタンパク質分子からできた機械「生体分子機械」の働きによって、その生命活動を維持している。本講義では、生物が自らの身体を動かしたり、細胞内で物質を輸送したりするために利用している分子機械を取り上げる。その構造と機能について、研究の歴史（研究者の嗜み、計測技術の開発など）にも触れながら、生物物理学的観点から説明していく。                                      |                   |  | 電子回路をいかにして集積回路として実現するか、その設計技術に関して理解すると共に、実際の標準的設計手法を習得する事を目的とする。ハードウェア記述言語(HDL)を用いた自動設計と、回路シミュレーションとレイアウト設計からなるフルカスタム設計・検証技術について講義と CAD ツールを用いた演習を行う。集積回路設計の流れについて理解し、CAD を用いた集積回路の設計手法を習得することを目標とする。「集積回路工学」を履修しておくことを薦める。 |
|   |                   |  |   |
| <b>ウェブコンピューティング</b><br>Web Computing  | 2 単位<br>選択 7セメスター | <b>ロボット知能システム</b><br>Robot Intelligent System            | 2 単位<br>選択 7セメスター   |
| ウェブ（World Wide Web）の爆発的な普及によって社会の情報流通や経済活動が大きく変わったことはすでに誰の目にも明らかである。本講義では、ウェブ上を流通する情報の収集、検索、加工、マイニング等の情報処理技術について、テキスト情報の処理を中心に新しい話題を交えながら解説する。ウェブ情報処理を支える基本概念や基礎技術を理解し、ウェブにおける情報サービスの構築方法を概観することを目的とする。 |                   |  | 次世代の知能ロボットでは、外界の環境情報をセンサで読み取り、知能的処理を施した上で、アクチュエータを通して再びリアルワールド環境を自律的に制御していく。このようなロボットの頭脳となる知能処理の構成要素である、センシング、3次元計測、認識、予測・推定、プランニング、制御、学習、ロボット情報通信技術を理解する。また、未来情報社会において応用されるロボットシステムを開発するためのシステム統合技術についても修得することを目的とする。      |
|   |                   |  |   |
| <b>メディカルバイオセンシング</b><br>Medical Biosensing  | 2 単位<br>選択 7セメスター | <b>システム生理学</b><br>System Physiology                      | 2 単位<br>選択 7セメスター   |
| 臨床医療や生命科学研究において、電子工学を駆使したさまざまなセンシング技術が活用されている。この科目では、波動（X線、光、電磁波、超音波）や半導体デバイスを用いた以下のような計測法について概説する。<br>X線・CT、光生体計測、磁気生体計測・MRI、医用超音波イメージング、バイオセンサ  |                   |  | 生体は工学的なシステムとは全く異なる原理に基づいて構成されているように見える。しかしながら、その構造や機能の実現には工学的にみても一定の合理性があると考えられる部分が少なくない。この科目では、生体システムの構造について細胞レベルから概観するとともに、視覚や聴覚などの感覚系、運動系、自律神経系の生理学的なメカニズムについて説明する。これにより、生体システムを工学的に理解したり、働きかけたりする際に必要な生理学的基礎知識を得る。      |
|   |                   |  |   |

---

**電気・通信・電子・情報工学実験 D** 2 単位  
Laboratory D エネ・コミ・エレ・メデ・情報・知能 必修 7セメスター

本実験は、いくつかの研究室における短期研修として行われる。その内容は、電気、通信、電子、情報工学に関するもので、各研究室でなされている研究の一端に触れ、また相互に関連するいくつかの項目を履修することにより、研究活動の理解を助けることを目的として行われる。

**応用物理学実験 D** 2 単位  
Experiments of Applied Physics D 応物 必修 7セメスター

応用物理学実験 C に引き続いて、応用物理学研究において実際に汎用的に使われている物性測定法を中心に各種実験を体験し、あわせて物理現象の内容の理解と実験研究レポートのまとめ方について訓練する。

---

**応用物理学研修** 2 単位  
Training in Scientific Presentation 応物 必修 7・8セメスター

基本的な、あるいは最新の各種物理計測技術、試料作製技術などを例にとり調査、研究を行わせ、理解した結果を発表させる。

また、各学生の卒業研究に関して理解した結果及び研究結果についても発表させる。

これにより実際に応用物理学の基礎がどのように用いられているかを知るとともに、研究成果の発表技術と発表に対する議論の進め方の修得を目的とする。

**エネルギーインテリジェンスセミナー** 3 単位  
Energy Intelligence Seminar エネ 必修 7セメスター

卒業研修に関する研究内容の紹介、研究内容の紹介にもとづいた討論および同テーマに関連する代表的な、あるいは、最新の国内外の研究論文・参考書の内容紹介などの演習を行う。

---

**コミュニケーションネットワークセミナー** 3 単位  
Communications Network Seminar コミ 必修 7セメスター

卒業研修に関する研究内容の紹介、研究内容の紹介にもとづいた討論および同テーマに関連する代表的な、あるいは、最新の国内外の研究論文・参考書の内容紹介などの演習を行う。

**情報ナノエレクトロニクスセミナー** 3 単位  
Information Nanoelectronics Seminar エレ 必修 7セメスター

卒業研修に関する研究内容の紹介、研究内容の紹介にもとづいた討論および同テーマに関連する代表的な、あるいは、最新の国内外の研究論文・参考書の内容紹介などの演習を行う。

---

**応用物理学セミナー** 3 単位  
Applied Physics Seminar 応物 必修 7セメスター

卒業研修に関する研究内容の紹介、研究内容の紹介にもとづいた討論および同テーマに関連する代表的な、あるいは、最新の国内外の研究論文・参考書の内容紹介などの演習を行う。

**コンピュータサイエンスセミナー** 3 単位  
Computer Science Seminar 情報 必修 7セメスター

卒業研修に関する研究内容の紹介、研究内容の紹介にもとづいた討論および同テーマに関連する代表的な、あるいは、最新の国内外の研究論文・参考書の内容紹介などの演習を行う。

---

**知能コンピューティングセミナー** 3 単位  
Intelligent Computing Seminar 知能 必修 7セメスター

卒業研修に関する研究内容の紹介、研究内容の紹介にもとづいた討論および同テーマに関連する代表的な、あるいは、最新の国内外の研究論文・参考書の内容紹介などの演習を行う。

**メディカルバイオエレクトロニクスセミナー** 3 単位  
Medical Bioelectronics Seminar メデ 必修 7セメスター

卒業研修に関する研究内容の紹介、研究内容の紹介にもとづいた討論および同テーマに関連する代表的な、あるいは、最新の国内外の研究論文・参考書の内容紹介などの演習を行う。

**情報知能システム総合学卒業研修**

Thesis Research of Department of  
Information and Intelligent Systems

6 単位

必修 7・8セメスター

配属された講座において、指導教員の指導のもとに卒業研修をおこなう。

**電気法規・電気施設管理**

Regulations of エネ・コミ・エレ・情報・メデ・知能 選択 8セメスター  
Electric Utility Systems and Operational Rules for Electrical

電気・エネルギーの供給と需要について、歴史、経済、法律面等から検討を加え、その実状を把握し、今後の課題を認識する。

電気の安定供給と安全を確保するための法体系を知る。電気設備に関する技術基準の概要を知る。

**データコミュニケーション工学**  
Data Communication Engineering

2 単位

選択 8セメスター

1. データ通信と各種通信媒体

- 1) データ通信概要
- 2) 有線通信と無線通信
- 3) 光通信

2. データ伝送の基礎技術

- 1) 符号化技術
- 2) デジタル伝送技術
- 3) 変復調技術

3. コンピュータネットワークとマルチメディア

**情報知能システム総合学特別講義**

Special Lectures

選択

新分野、最近のトピックス等、最近の話題について講義をする。内容によって単位を与える。

**電気機器設計法**

Design of Power エネ・コミ・エレ・情報・メデ・知能 選択 8セメスター  
Electric Systems and Components

電気機器とその設計業務の範囲を広くとらえ、設計の位置付け、解析の手法、規格基準の適用法、汎用的基礎技術を概説する。システムコーディネーションの思想を活かした電気機器システムの構築法とシステムの考え方及び構成機器の設計手順、設計手法、評価手法について解説する。これによりシステム内の機器の役割、電気機器の設計の基礎的技術を修得し、手本の無い新しい機器やシステムが設計できる技術力を養成する。

2 単位

Introduction to Nuclear Engineering

選択 8セメスター

1. 目的

原子核工学の基礎項目・理論、それに基づく原子力エネルギー・システム（原子炉を中心、核融合炉や加速器駆動未臨界炉などを含む）の原理、構成、特徴について講述する。

2. 概要

原子核反応、中性子輸送・拡散方程式、連鎖反応と原子炉の動作原理、原子炉臨界方程式、時間動特性方程式について学習する。

3. 達成目的等

原子核工学の基礎事項・理論の習得、および原子力エネルギー・システムの動作原理、構成、特徴などの理解を図る。

**インターンシップ**

Internship

1または2 単位

選択

春季または夏季休業期間中に学外において実習を行う。

実習時間が2単位相当分（1日8時間勤務で80時間相当以上）であり、実習報告書が提出された場合に、学科教務委員会において認定する。

**学外見学**

Plant Visits

選択

3年次に学外見学を行う。仙台地区および主として関東地区的工場、その他の施設を見学する。



### **3. 化学・バイオ工学科**

(Department of Applied Chemistry, Chemical Engineering and Biomolecular Engineering)

応用化学コース・化学工学コース・バイオ工学コース  
(Applied Chemistry) (Chemical Engineering) (Biomolecular Engineering)

#### **授業科目表及び履修方法等**

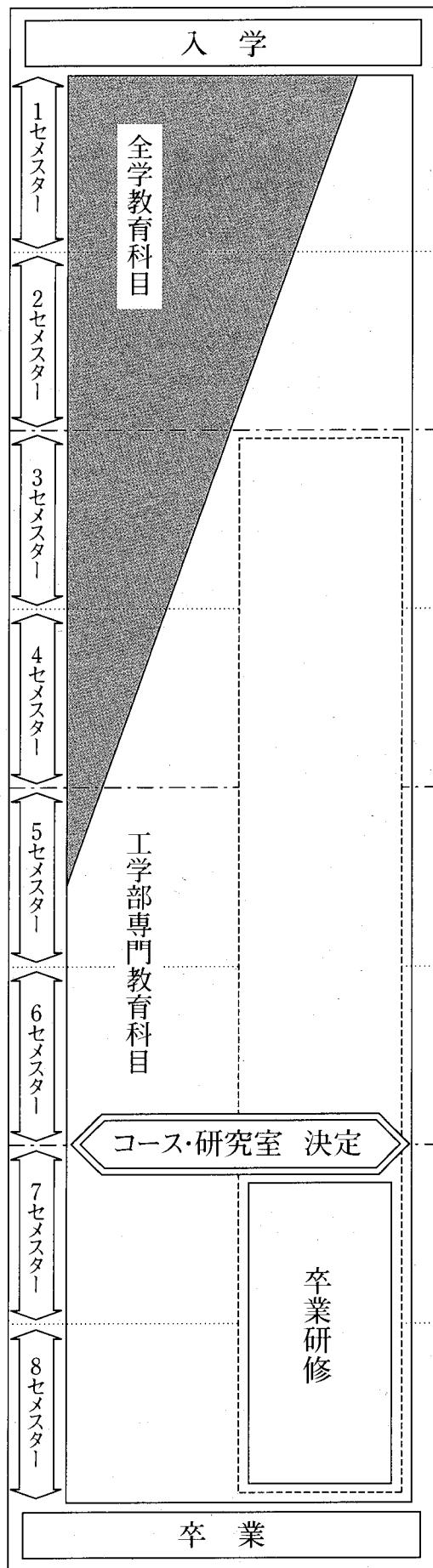
• 全学教育科目

• 専門教育科目

#### **専門教育科目授業要旨**

化学・  
バイオ  
工学科

## 化学・バイオ工学科 卒業までの履修過程



### 【卒業要件科目について】

- 全学教育科目：学生便覧53～55ページを参照
- 工学部専門教育科目：次ページ以降を参照

### 【セメスタークリア】

下記それぞれの時期に、必修科目の履修要件が設定されています。(詳細は後述。)

- 4セメスター終了時
- 6セメスター終了時

### 【コース別講義スタート】

- 4セメスターの講義科目よりコース別の履修が始まります。(履修方法などは、4月ガイダンス等にて説明します。)

### 【コース・研究室決定】

- 7セメスターに、修了コースならびに卒業研修を実施する研究室を決定します。

## 授業科目表および履修方法等

### 全学教育科目

| 類    | 群      | 科 目 名      | 単位数 | 開講セメスター   |     |     |     | 化学・バイオ工学科<br>履修方法<br>(詳細は後述)   |
|------|--------|------------|-----|-----------|-----|-----|-----|--------------------------------|
|      |        |            |     | 週当たり授業時間数 |     | 1年次 | 2年次 |                                |
|      |        |            |     | 1         | 2   | 3   | 4   |                                |
| 基幹科目 | 人間論    | 思想と倫理の世界   | 2   | * 2       |     |     |     | 選択必修<br>(左記の中から1科目2単位を修得すること。) |
|      |        | 文学の世界      | 2   | * 2       |     |     |     |                                |
|      |        | 言語表現の世界    | 2   | * 2       |     |     |     |                                |
|      |        | 芸術の世界      | 2   | * 2       |     |     |     |                                |
|      |        | 人間と文化      | 2   | * 2       |     |     |     |                                |
|      | 社会論    | 歴史と人間社会    | 2   | * 2       |     |     |     | 選択必修<br>(左記の中から1科目2単位を修得すること。) |
|      |        | 経済と社会      | 2   | * 2       |     |     |     |                                |
|      |        | 法・政治と社会    | 2   | * 2       |     |     |     |                                |
|      |        | 社会の構造      | 2   | * 2       |     |     |     |                                |
|      |        | ジェンダーと人間社会 | 2   | * 2       |     |     |     |                                |
| 展開科目 | 自然論    | 自然界の構造     | 2   | * 2       |     |     |     | 選択必修<br>(左記の中から1科目2単位を修得すること。) |
|      |        | 科学技術とエネルギー | 2   | * 2       |     |     |     |                                |
|      |        | 生命と自然      | 2   | * 2       |     |     |     |                                |
|      |        | 自然と環境      | 2   | * 2       |     |     |     |                                |
|      |        | 科学と情報      | 2   | * 2       |     |     |     |                                |
|      | 人文科学   | 論理学        | 2   |           |     | * 2 |     | 選択必修<br>(左記の中から1科目2単位を修得すること。) |
|      |        | 哲学・倫理学     | 2   |           |     | * 2 |     |                                |
|      |        | 文学         | 2   |           |     | * 2 |     |                                |
|      |        | 宗教学        | 2   |           |     | * 2 |     |                                |
|      |        | 教育学        | 2   |           |     | * 2 |     |                                |
| 展開科目 | 社会科学   | 歴史学        | 2   |           |     | * 2 |     | 選択必修<br>(左記の中から1科目2単位を修得すること。) |
|      |        | 言語学        | 2   |           |     | * 2 |     |                                |
|      |        | 社会学        | 2   |           |     | * 2 |     |                                |
|      |        | 心理学        | 2   |           |     | * 2 |     |                                |
|      |        | 法学         | 2   |           |     | * 2 |     |                                |
|      | 自然科学   | 日本国憲法      | 2   |           |     | * 2 |     | 選択必修<br>(左記の中から1科目2単位を修得すること。) |
|      |        | 政治学        | 2   |           |     | * 2 |     |                                |
|      |        | 経済学        | 2   |           |     | * 2 |     |                                |
|      |        | 文化人類学      | 2   |           |     | * 2 |     |                                |
|      |        | 人文地理学      | 2   |           |     | * 2 |     |                                |
| 展開科目 | 数学     | 解析学A       | 2   | 2         |     |     |     | 必修                             |
|      |        | 解析学B       | 2   |           | 2   |     |     | 必修                             |
|      |        | 解析学C       | 2   |           |     | 2   |     | 選択1                            |
|      |        | 解析学D       | 2   |           |     |     | 2   | 選択1                            |
|      |        | 線形代数学A     | 2   | 2         |     |     |     | 必修                             |
|      |        | 線形代数学B     | 2   |           | 2   |     |     | 選択1                            |
|      |        | 数理統計学      | 2   |           |     | 2   |     | 選択1                            |
|      | 物理学    | 物理学A       | 2   | 2         |     |     |     | 必修                             |
|      |        | 物理学B       | 2   |           | 2   |     |     | 選択1                            |
|      |        | 物理学C       | 2   |           |     | 2   |     | 必修                             |
|      |        | 物理学D       | 2   | 2         |     |     |     | 自由聴講科目                         |
| 展開科目 | 化学     | 化学A        | 2   | 2         |     |     |     | 必修                             |
|      |        | 化学B (※1)   | 2   |           | 2   |     |     | 必修                             |
|      |        | 化学C (※1)   | 2   |           | 2   |     |     | 選択1                            |
|      | 生物学    | 生命科学A      | 2   | 2         |     |     |     | 選択1                            |
|      |        | 生命科学B      | 2   |           | 2   |     |     | 選択1                            |
|      |        | 生命科学C      | 2   |           | 2   |     |     | 自由聴講科目                         |
|      | 宇宙地球科学 | 地球システム科学   | 2   |           | * 2 |     |     | 選択1                            |
|      |        | 地球物質科学     | 2   |           | * 2 |     |     | 選択1                            |
|      |        | 自然地理学      | 2   |           | * 2 |     |     | 自由聴講科目                         |
|      |        | 天文学        | 2   |           | * 2 |     |     | 自由聴講科目                         |
|      |        | 地球惑星物理学    | 2   |           | * 2 |     |     | 選択1                            |

化学・  
バイオ  
工学科

| 類    | 群                   | 科 目 名                      | 単位数 | 開講セメスター<br>週当たり授業時間数 |   |                    |   | 化学・バイオ工学科<br>履修方法<br>(詳細は後述)                             |  |
|------|---------------------|----------------------------|-----|----------------------|---|--------------------|---|--|--|
|      |                     |                            |     | 1年次                  |   | 2年次                |   |  |  |
|      |                     |                            |     | 1                    | 2 | 3                  | 4 |  |  |
| 総合科目 | 理科実験                | 自然科学総合実験(※2)               | 2   |                      | 4 |                    |   | 必修   |  |
|      | 総合科学                | 総合科目(※3)                   | 各2  | *2                   |   |                    |   | 選択2  |  |
|      | カレントトピックス科目<br>(※3) | カレントトピックス科目<br>(※3)        | 各2  | *2                   |   |                    |   |  |  |
|      | 現代学問論               | 現代学問論                      | 各2  | *2                   |   |                    |   |  |  |
| 共通科目 | 転換・少人数科目            | 基礎ゼミ                       | 2   | 2                    |   |                    |   | 選択2  |  |
|      | 英語                  | 英語A1                       | 1   | 2                    |   |                    |   | 必修<br><br><br><br><br><br><br><br><br>選択必修(履修方法を確認すること。) |  |
|      |                     | 英語A2                       | 1   |                      | 2 |                    |   |  |  |
|      |                     | 英語B1                       | 1   | 2                    |   |                    |   |  |  |
|      |                     | 英語B2                       | 1   |                      | 2 |                    |   |  |  |
|      |                     | 英語C1                       | 1   |                      |   | 2                  |   |  |  |
|      |                     | 英語C2                       | 1   |                      |   |                    | 2 |  |  |
|      |                     | Practical English Skills 1 | 1   |                      |   | 2                  |   |  |  |
|      |                     | Practical English Skills 2 | 1   |                      |   |                    | 2 |  |  |
|      | 外国語                 | 基礎ドイツ語I                    | 2   | 4                    |   |                    |   | 選択必修(左記の中から1つ<br>外國語を選択し、2科目4単位<br>を修得すること。)             |  |
|      |                     | 基礎ドイツ語II                   | 2   |                      | 4 |                    |   |  |  |
|      |                     | 基礎フランス語I                   | 2   | 4                    |   |                    |   |  |  |
|      |                     | 基礎フランス語II                  | 2   |                      | 4 |                    |   |  |  |
|      |                     | 基礎ロシア語I                    | 2   | 4                    |   |                    |   |  |  |
|      |                     | 基礎ロシア語II                   | 2   |                      | 4 |                    |   |  |  |
|      |                     | 基礎スペイン語I                   | 2   | 4                    |   |                    |   |  |  |
|      |                     | 基礎スペイン語II                  | 2   |                      | 4 |                    |   |  |  |
|      |                     | 基礎中国語I                     | 2   | 4                    |   |                    |   |  |  |
|      |                     | 基礎中国語II                    | 2   |                      | 4 |                    |   |  |  |
|      | 情報科目                | 基礎朝鮮語I                     | 2   | 4                    |   |                    |   | 選択必修(左記の中から1つ<br>外國語を選択し、2科目4単位<br>を修得すること。)             |  |
|      |                     | 基礎朝鮮語II                    | 2   |                      | 4 |                    |   |  |  |
|      |                     | 情報基礎A                      | 2   | 2                    |   |                    |   |  |  |
|      | 保健体育                | 情報基礎B                      | 2   | 2                    |   |                    |   | 必修   |  |
|      |                     | スポーツA                      | 1   |                      |   | 2                  |   | 必修   |  |
|      |                     | スポーツB                      | 1   |                      |   | 2                  |   | 自由聴講科目   |  |
|      | 留学生対象科目             | 体と健康                       | 2   |                      | 2 |                    |   | 選択2  |  |
|      | 留学生対象科目             | 日本語A～J                     | 各1  | *2                   |   | 外国人留学生のための授業科目である。 |   |  |  |

備考1：上記掲載の全学教育科目は、工学部学生が卒業要件を満たすために必要な授業科目を抜粋して掲載しています。上記掲載以外の全学教育科目は「自由聴講科目」として修得することが出来る場合があります。

備考2：「開講セメスター週当たり授業時間数」欄の\*印は、いずれか又はそれぞれのセメスターで開講することを示します。上記掲載される開講セメスターより前に他組に開講されるクラスで授業を履修する場合は、先取り履修となります。

※1 「化学B」および「化学C」は、指定(自組開講)するクラスにて履修をして下さい。

<参考>

B4TB 化学・バイオ工学科(工11・12組)は、第2セメスターに「化学B」「化学C」が自組開講となります。

※2 「自然科学総合実験」は、指定(自組開講)するクラスにて履修をして下さい。

<参考>

B4TB 化学・バイオ工学科(工11・12組)は、第2セメスターに自組開講となります。

※3 総合科学群の「総合科目」「カレントトピックス科目」の開設する授業科目は毎年定めます。全学教育科目の手引きを参照して下さい。

<履修方法（卒業に必要な全学教育科目の修得科目・単位数）>

| 区分   | 授業科目  |  | 修得方法・必要単位数   |
|------|---|--|--|
| 必修   | 解析学A, 解析学B, 線形代数学A<br>物理学A, 物理学C, 化学A, 化学B,<br>自然科学総合実験,<br>情報基礎B, スポーツA            |  | 左記14科目23単位を修得すること。   |
|      | 外国語   | 英語A 1, 英語A 2, 英語B 1, 英語B 2                             |  |
|      | (「人間論」群)  |  |  |
|      | (「社会論」群)  |  |  |
|      | (「自然論」群)  |  |  |
|      | (「人文科学」群)   |  |  |
|      | (「社会科学」群)   |  |  |
| 選択必修 | 英語C 1, 英語C 2  |  | 英語C 1と英語C 2<br>英語C 1とPractical English Skills 2<br>Practical English Skills 1と英語C 2<br>Practical English Skills 1とPractical English Skills 2 のいずれかの組み合わせで2単位を修得すること。 |
|      | 外国語   | Practical English Skills 1, Practical English Skills 2 |  |
|      | 「初修語」群（ドイツ語, フランス語, ロシア語, スペイン語, 中国語, 朝鮮語）  |  | 1外国語選択し, 2科目4単位修得すること。   |
| 選択1  | 解析学C, 解析学D, 線形代数学B, 数理統計学,<br>物理学B, 化学C, 生命科学A, 生命科学B,<br>地球システム科学, 地球物質科学, 地球惑星物理学 |  | 左記の科目の中から, 数学1科目2単位を含め, 8単位を修得すること。  |
| 選択2  | 「総合科目」, 「現代学問論」,<br>「カレントトピックス科目」,<br>基礎ゼミ, 体と健康                                    |  | 左記の科目の中から, 2単位を修得すること。   |

<外国人留学生の外国語履修について>

留学生対象科目群の授業科目は、外国人留学生が履修する科目で、次のとおりとします。

|        |  |   |   |
|--------|--|---|---|
| 外国語の履修 | (1) 日本人学生と同程度の日本語能力を有する場合 <sup>(*)</sup> | 日本人学生と同様な履修。ただし、初修語として母国語を選択することは出来ません。 |   |
|        | (2) それ以外の場合                              | 母国語が英語の場合                               | 日本語の科目から6単位、英語以外の外国語（ドイツ語、フランス語、ロシア語、スペイン語、中国語、朝鮮語）から4単位、計10単位を修得して下さい。 |
|        |  | 母国語が英語以外の場合                             | 日本語の科目から6単位、英語から4単位（英語A 1, 英語A 2, 英語B 1, 英語B 2）、計10単位を修得して下さい。          |

(\*) 履修登録前にクラス担任と相談のうえ、工学部・工学研究科教務課学部教務係窓口で手続きを行うこと。

<外国語技能検定試験等による単位認定について>

外国語技能検定試験（英検、TOEFL、TOEIC、仮検、独検など）において、所定の認定又は得点を得た者は、本学における外国語科目の履修とみなされ、単位が与えられます。この制度の詳細については、全学教育実施係へ照会して下さい。

化学  
バイオ  
工学科

## 専門教育科目

### (1) 授業科目表

| 開<br>講<br>学<br>科 | 科<br>目<br>名   | 履<br>修<br>セ<br>メ<br>ス<br>タ<br>ー | 週<br>あ<br>た<br>り<br>授<br>業<br>時<br>間<br>数 | 単<br>位<br>数 | 履<br>修<br>登<br>録<br>制<br>限<br>対<br>象<br>科<br>目 | 科<br>目<br>区<br>分 | コ<br>ー<br>ス      |             |                       | 履<br>修<br>方<br>法 |
|------------------|---------------|---------------------------------|---|-------------|--|------------------|------------------|-------------|-----------------------|------------------|
|                  |               |                                 |   |             |  |                  | 応<br>用<br>化<br>学 | 化<br>工<br>学 | バ<br>イ<br>オ<br>工<br>学 |                  |
| <b>(工学共通科目)</b>  |               |                                 |   |             |  |                  |                  |             |                       |                  |
| 工                | 数学物理学演習 I     | 1                               | 2   | 1           | ○  | 工学共通             | ◎                | ◎           | ◎                     |                  |
| 工                | 数学物理学演習 II    | 2                               | 2   | 1           | ○  | 工学共通             | ①                | ①           | ①                     |                  |
| 工                | 情報処理演習        | 2                               | 2   | 1           | ○  | 工学共通             | ◎                | ◎           | ◎                     |                  |
| 工                | 創造工学研修        | 2                               | 4   | 2           |  | 工学共通             | ①                | ①           | ①                     |                  |
| 工                | 工学倫理          | 5                               | 1   | 1           | ○  | 工学共通             | ◎                | ◎           | ◎                     |                  |
| 工                | 工学英語          | 7                               | 2   | 2           | ○  | 工学共通             | ①                | ①           | ①                     | 履修要件①を<br>参照のこと。 |
| 工                | 知的財産権入門       | 7                               | 1   | 1           | ○  | 工学共通             | ①                | ①           | ①                     |                  |
| 工                | 技術・社会システム論    | 7                               | 2   | 2           | ○  | 工学共通             | ①                | ①           | ①                     |                  |
| 工                | 生体医工学入門       | 7                               | 2   | 2           | ○  | 工学共通             | ①                | ①           | ①                     |                  |
| 工                | 機械工学概論        | 5or7                            | 2   | 2           | ○  | 工学共通             | ①                | ①           | ①                     |                  |
| 工                | 電子工学概論        | 5or7                            | 2   | 2           | ○  | 工学共通             | ①                | ①           | ①                     |                  |
| 工                | 材料理工学概論       | 5or7                            | 2   | 2           | ○  | 工学共通             | ①                | ①           | ①                     |                  |
| 工                | 環境工学概論        | 5or7                            | 2   | 2           | ○  | 工学共通             | ①                | ①           | ①                     |                  |
| 工                | 工業物理学概論       | 4or6                            | 2   | 2           | ○  | 工学共通             | ①                | ①           | ①                     |                  |
| 工                | 国際工学研修 I ~ IV |                                 |   | ...         |  | 工学共通             | ①                | ①           | ①                     |                  |
| 工                | 工学教育院特別講義     | 1年次                             |   |             |  | 工学共通             | ①                | ①           | ①                     |                  |
| <b>(学科専門科目)</b>  |               |                                 |   |             |  |                  |                  |             |                       |                  |
| 化                | 基礎物理化学        | 3                               | 2   | 2           | ○  | 必修               | ◎                | ◎           | ◎                     |                  |
| 化                | 基礎無機化学        | 3                               | 2   | 2           | ○  | 必修               | ◎                | ◎           | ◎                     |                  |
| 化                | 基礎有機化学        | 3                               | 2   | 2           | ○  | 必修               | ◎                | ◎           | ◎                     |                  |
| 化                | 反応有機化学        | 3                               | 2   | 2           | ○  | 必修               | ◎                | ◎           | ◎                     |                  |
| 化                | 化学工学基礎        | 3                               | 2   | 2           | ○  | 必修               | ◎                | ◎           | ◎                     |                  |
| 化                | 基礎生物化学        | 3                               | 2   | 2           | ○  | 必修               | ◎                | ◎           | ◎                     |                  |
| 化                | 応用量子化学        | 4                               | 2   | 2           | ○  | 必修               | ◎                | ◎           | ◎                     |                  |
| 化                | 移動現象論         | 4                               | 2   | 2           | ○  | 必修               | ◎                | ◎           | ◎                     |                  |
| 化                | プロセス工学基礎      | 4                               | 2   | 2           | ○  | 必修               | ◎                | ◎           | ◎                     |                  |
| 化                | 反応生物化学        | 4                               | 2   | 2           | ○  | 必修               | ◎                | ◎           | ◎                     |                  |

化学・  
バイオ  
工学科

| 開<br>講<br>学<br>科 | 科<br>目<br>名    | 履<br>修<br>セ<br>メ<br>ス<br>タ<br>ー | 週<br>あ<br>た<br>り<br>授<br>業<br>時<br>間<br>数 | 単<br>位<br>数 | 履<br>修<br>登<br>録<br>制<br>限<br>対<br>象<br>科<br>目 | 科<br>目<br>区<br>分 | コース              |             |                   | 履修方法<br>〔左記コース欄〕<br>◎印：必修科目<br>○印：選択科目 |
|------------------|----------------|---------------------------------|---|-------------|--|------------------|------------------|-------------|-------------------|--|
|                  |                |                                 |   |             |  |                  | 応<br>用<br>化<br>学 | 化<br>工<br>学 | バイ<br>オ<br>工<br>学 |  |
| 化                | 応用物理化学         | 4                               | 2   | 2           | ○  | コース選択            | (2)              | (2)         | ○                 | 履修要件(2)を<br>参照のこと。                     |
| 化                | 分析化学           | 4                               | 2   | 2           | ○  | コース選択            | (2)              | ○           | ○                 |  |
| 化                | 有機資源変換化学       | 4                               | 2   | 2           | ○  | コース選択            | (2)              | ○           | ○                 |  |
| 化                | 構造有機化学         | 4                               | 2   | 2           | ○  | コース選択            | (2)              | ○           | (2)               |  |
| 化                | 分離工学I          | 4                               | 2   | 2           | ○  | コース選択            | ○                | (2)         | (2)               |  |
| 化                | 界面電気化学         | 5                               | 2   | 2           | ○  | コース選択            | (2)              | ○           | ○                 |  |
| 化                | 生体情報化学         | 5                               | 2   | 2           | ○  | コース選択            | ○                | ○           | (2)               |  |
| 化                | 有機合成化学         | 5                               | 2   | 2           | ○  | コース選択            | (2)              | ○           | (2)               |  |
| 化                | 化学及び生物反応工学     | 5                               | 2   | 2           | ○  | コース選択            | ○                | (2)         | (2)               |  |
| 化                | エネルギー工学        | 5                               | 2   | 2           | ○  | コース選択            | ○                | (2)         | ○                 |  |
| 化                | 分離工学II         | 5                               | 2   | 2           | ○  | コース選択            | ○                | (2)         | ○                 |  |
| 化                | 生体機能化学         | 5                               | 2   | 2           | ○  | コース選択            | ○                | ○           | (2)               |  |
| 化                | 生物物理化学         | 6                               | 2   | 2           | ○  | コース選択            | ○                | ○           | (2)               |  |
| 化                | 環境プロセス化学       | 6                               | 2   | 2           | ○  | コース選択            | (2)              | (2)         | (2)               |  |
| 化                | 固体化学           | 6                               | 2   | 2           | ○  | コース選択            | (2)              | ○           | ○                 |  |
| 化                | 表面化学           | 6                               | 2   | 2           | ○  | コース選択            | (2)              | (2)         | ○                 |  |
| 化                | 高分子化学          | 6                               | 2   | 2           | ○  | コース選択            | (2)              | ○           | (2)               | 内容によっては、<br>単位を与える。                    |
| 化                | レオロジー工学        | 6                               | 2   | 2           | ○  | コース選択            | ○                | (2)         | ○                 |  |
| 化                | プロセス制御         | 6                               | 2   | 2           | ○  | コース選択            | ○                | (2)         | ○                 |  |
| 化                | 応用生物化学         | 6                               | 2   | 2           | ○  | コース選択            | ○                | ○           | (2)               |  |
| 化                | 材料の化学          | 7                               | 2   | 2           | ○  | コース選択            | (2)              | ○           | ○                 |  |
| 化                | 分離の科学と工学       | 7                               | 2   | 2           | ○  | コース選択            | ○                | (2)         | ○                 |  |
| 化                | バイオテクノロジー      | 7                               | 2   | 2           | ○  | コース選択            | ○                | ○           | (2)               |  |
| 化                | 化学・バイオ工学特別講義I  | 5・6                             |   |             | ○  | コース選択            | (2)              | (2)         | (2)               |  |
| 化                | 化学・バイオ工学特別講義II | 7・8                             |   |             | ○  | コース選択            | (2)              | (2)         | (2)               |  |
| 化                | 学外見学           | …                               | …   | 1           |  | その他              | ○                | ○           | ○                 |  |
| 化                | インターナシップ       |                                 |   |             |  | その他              | ○                | ○           | ○                 |  |
| 化                | 化学・バイオ工学演習A    | 5                               | 2   | 1           |  | 必修               | ◎                | ◎           | ◎                 |  |
| 化                | 化学・バイオ工学演習B    | 5                               | 2   | 1           |  | 必修               | ◎                | ◎           | ◎                 |  |

| 開<br>講<br>学<br>科 | 科<br>目<br>名   | 履<br>修<br>セ<br>メ<br>ス<br>タ<br>ー | 週<br>あ<br>た<br>り<br>授<br>業<br>時<br>間<br>数 | 単<br>位<br>数 | 履<br>修<br>登<br>録<br>制<br>限<br>対<br>象<br>科<br>目 | 科<br>目<br>区<br>分 | コ<br>ー<br>ス      |                  |                       | 履修方法                           |  |  |
|------------------|---------------|---------------------------------|---|-------------|--|------------------|------------------|------------------|-----------------------|--------------------------------|--|--|
|                  |               |                                 |   |             |  |                  | 応<br>用<br>化<br>学 | 化<br>学<br>工<br>学 | バ<br>イ<br>オ<br>工<br>学 | [左記コース欄]<br>◎印：必修科目<br>○印：選択科目 |  |  |
| 化                | 化学・バイオ工学演習C   |                                 | 6   | 4           | 2  |                  | 必修               | ◎                | ◎                     | ◎                              |  |  |
| 化                | 化学・バイオ工学実験A   |                                 | 5   | 12          | 4  |                  | 必修               | ◎                | ◎                     | ◎                              |  |  |
| 化                | 化学・バイオ工学実験B   |                                 | 6   | 12          | 4  |                  | 必修               | ◎                | ◎                     | ◎                              |  |  |
| 化                | 化学・バイオ工学研修    |                                 | 6   | 4           | 2  |                  | 必修               | ◎                | ◎                     | ◎                              |  |  |
| 化                | 化学・バイオ工学卒業研修A |                                 | 7   | 4           | 2  |                  | 必修               | ◎                | ◎                     | ◎                              |  |  |
| 化                | 化学・バイオ工学セミナー  |                                 | 7   | 2           | 1  |                  | 必修               | ◎                | ◎                     | ◎                              |  |  |
| 化                | 応用化学セミナー      |                                 | 8   | 2           | 1  | コース別<br>セミナー     | ③                |                  |                       |                                |  |  |
| 化                | 化学工学セミナー      |                                 | 8   | 2           | 1  | コース別<br>セミナー     |                  | ③                |                       |                                |  |  |
| 化                | バイオ工学セミナー     |                                 | 8   | 2           | 1  | コース別<br>セミナー     |                  |                  | ③                     |                                |  |  |
| 化                | 化学・バイオ工学卒業研修B |                                 | 7・8                                       | 10・10       | 10   |                  | 必修               | ◎                | ◎                     | ◎                              |  |  |

#### 履修要件

必修科目50単位（工学共通科目 3単位、化学・バイオ工学専門科目 47単位）

選択科目28単位以上履修、かつ修得のこと

『工学共通』科目 ①より選択1単位以上

『コース選択』科目 ②より選択6単位以上、かつ②+○の合計で26単位以上

応用化学コース ②13科目22単位 ○12科目24単位

化学工学コース ②12科目20単位 ○13科目26単位

バイオ工学コース ②13科目22単位 ○12科目24単位

『コース別セミナー』 ③より選択1科目1単位

#### (2) 卒業に要する最低修得単位数

|                  | 全 学 教 育 科 目 |             |             |                  |                  |                  |                  |                       |                  |             |                  | 専門教育科目 |                |                | 合<br>計 |       |
|------------------|-------------|-------------|-------------|------------------|------------------|------------------|------------------|-----------------------|------------------|-------------|------------------|--------|----------------|----------------|--------|-------|
|                  | 基幹科目        |             |             | 展開科目             |                  |                  | 共通科目             |                       |                  |             |                  | 小<br>計 | 工学<br>共通<br>科目 | 学科<br>専門<br>科目 |        |       |
|                  | 人<br>間<br>論 | 社<br>会<br>論 | 自<br>然<br>論 | 人<br>文<br>科<br>学 | 社<br>会<br>科<br>学 | 自<br>然<br>科<br>学 | 総<br>合<br>科<br>学 | 転<br>換<br>少<br>人<br>数 | 保<br>健<br>体<br>育 | 外<br>国<br>語 | 情<br>報<br>科<br>目 |        |                |                |        |       |
| 必<br>修<br>科<br>目 | 0           | 0           | 0           | 0                |                  | 16               | 0                | 0                     | 0                | 1           | 4                | 2      | 23             | 3              | 47     | 50 73 |
| 選<br>択<br>科<br>目 | 2           | 2           | 2           | 2                | 2                | 8<br>※a          |                  | 2                     |                  | 0           | 6                | 0      | 26             | 1              | 27     | 28 54 |
| 計                | 6           |             |             | 4                |                  | 24               | 2                |                       | 1                | 10          | 2                | 49     | 4              | 74             | 78 127 |       |

※a 数学2単位を含めて8単位を選択

**(3) 選択科目の履修方法**

化学・バイオ工学科には、応用化学コース、化学工学コース、バイオ工学コースがありますが、必修科目はこれら3コースに共通の化学・バイオ工学の基礎科目が相当します。選択科目は各コースとも全部を選択できるようになっています。

**(4) 化学・バイオ工学研修等の履修要件**

第4セメスター（2年後期）の終了時点において、以下の条件を満たしている者は5・6セメスター（3年次）における化学・バイオ工学実験A, B, 化学・バイオ工学演習A, B, Cならびに化学・バイオ工学研修を履修することができます。

- ①：自然科学と外国語を合わせて24単位以上を修得
- ②：基幹科目、展開科目、共通科目を合わせて35単位以上を修得
- ③：専門教育科目の必修科目14単位以上を修得

**(5) 化学・バイオ工学卒業研修A, Bの履修要件**

第6セメスター（3年後期）の終了時点において、以下の条件を満たしている者は、7・8セメスター（4年次）における化学・バイオ工学卒業研修A, Bならびに化学・バイオ工学セミナーならびに各コースのセミナーを履修することができます。

- ①：英語6単位を含む外国語10単位以上を修得（外国人留学生は、P55〈外国人留学生の外国語履修について〉を参照）
- ②：基幹科目、展開科目、共通科目を合わせて42単位以上を修得
- ③：学科専門科目のうち講義科目（履修登録制限対象科目）及び工学共通科目の単位を合わせて45単位以上を修得
- ④：必修である実験、演習、研修18単位（「情報処理演習」、「数学物理学演習Ⅰ」、「自然科学総合実験」、「化学・バイオ工学演習A, B, C」、「化学・バイオ工学実験A, B」、「化学・バイオ工学研修」）を修得

**(6) 早期卒業制度**

以下の要件を満足している者は、早期卒業制度により3年（あるいは3.5年）で卒業するための「化学・バイオ工学研修A, B」、「化学・バイオ工学セミナー」を履修することができます。なお、早期卒業認定は本制度の適用により化学・バイオ工学科の卒業要件を3年（あるいは3.5年）終了時に満足し、かつ通算での成績平均が80点以上であることを条件とします。本制度に関する問い合わせならびに適用希望者は学科長に申し出てください。

**(6)-1 3年早期卒業制度**

- ①：4セメスターの終了時において、それまでに修得した単位の成績のうち、評価がAA, A又は80点以上の科目的数が通算で5分の4以上であること。
- ②：第5、第6セメスターにおいて講義、実験、演習、卒業研修などが無理なく履修、かつ修得できること。

**(6)-2 3.5年早期卒業制度**

- ①：第5セメスターの終了時において、それまで修得した単位の成績のうち評価がAA, A又は80点以上の科目の数が通算で5分の4以上であること。
- ②：演習C、実験B、研修を除き、上記（5）の条件を満たしていること。

※：10月入学の学生の（5）、（6）に関する要件については学科長に問い合わせてください。

## (7) 授業要旨

|   |                   |   |                   |
|---|-------------------|---|-------------------|
| <b>基礎物理化学</b><br>Basic Physical Chemistry   | 2 単位<br>必修 3セメスター | <b>基礎無機化学</b><br>Basic Inorganic Chemistry  | 2 単位<br>必修 3セメスター |
| 仕事やエネルギー等の熱力学的諸量や熱力学諸法則の基礎概念を把握する。気体、液体、固体において、相変化をはじめとする諸現象に対する熱力学的な扱い方を学習し、工学的な理解を深める。また、熱力学を基礎とした物性や化学変化について、その解析法を修得し、さらには速度論との関係を学ぶ。   |                   |   |                   |
| <b>基礎有機化学</b><br>Basic Organic Chemistry  | 2 単位<br>必修 3セメスター | <b>反応有機化学</b><br>Organic Reactions          | 2 単位<br>必修 3セメスター |
| 有機電子論、量子化学、反応速度論などの基本原理を解説し、脂肪族有機化合物の分子構造、化学結合、立体化学、合成法、反応の基礎、性質などについて講義する。<br>1. 構造と性質            2. メタン<br>3. アルカン            4. 共役と共鳴<br>5. 分子軌道            6. 立体化学<br>7. ハロゲン化アルキル    8. アルコールとエーテル<br>9. 溶媒の役割<br>教科書：Morrison and Boyd "Organic Chemistry"<br>(6版) (和訳あり) |                   |   |                   |
| <b>化学工学基礎</b><br>Basic Chemical Engineering   | 2 単位<br>必修 3セメスター | <b>基礎生物化学</b><br>Basic Biological Chemistry | 2 単位<br>必修 3セメスター |
| 化学プロセスを対象として、化学工学熱力学、物質取扱、エネルギー取扱を考え、化学装置を設計するために何が必要となるかを講義する。また、化学装置の設計・解析を目的とした現象のモデル化についても学習する。   |                   |   |                   |
| <b>応用量子化学</b><br>Applied Quantum Chemistry  | 2 単位<br>必修 4セメスター | <b>移動現象論</b><br>Transport Phenomena         | 2 単位<br>必修 4セメスター |
| 多様な分子・固体中における結合における電子状態の取り扱いについて、量子論に基づいて理解する。量子論の要請を明確に述べ、摂動法や変分法という近似法を学習する。その後、実際の物質系の取り扱いを、摂動法と変分法の枠組みを活用しながら、明確に論じる。特に、摂動として与えられるポテンシャルや、変分法で用いられる試行関数について、初步的な近似から、実際に利用される量子化学計算における事例に至るまで、実例も交えながら、俯瞰的に理解することを目的とする。   |                   |   |                   |
| <b>プロセス工学基礎</b><br>Basic Process Engineering  | 2 単位<br>必修 4セメスター | <b>反応生物化学</b><br>Biological Reactions       | 2 単位<br>必修 4セメスター |
| 反応工学とプロセス制御の基礎事項について解説する。<br>1. 化学反応と反応器<br>2. 理想(回分、連続管型、連続槽型)反応器の設計<br>3. 複合反応の解析<br>4. プロセス制御の必要性とその概要<br>5. プロセスの動的モデルと解析   |                   |   |                   |
| 糖質、脂質の構造と機能および代謝について学習する。<br>1) 糖質<br>2) 脂質と生体膜<br>3) 解糖<br>4) クエン酸回路<br>5) その他の糖質代謝<br>教科書：ホートン 生化学 東京化学同人   |                   |   |                   |

**応用物理化学**  
Applied Physical Chemistry

2 単位  
選択 4セメスター

量子論に基づいた物質の取り扱いを行うことを目的とする。まずは、量子論や古典力学などのミクロ系の理論と、熱力学というマクロ系の理論とを併立させる、統計力学についての理解を深める。その後、量子論と統計力学とを駆使し、物質中の各種の量子論的現象について、観察手法と関連付けながら論じ、各種の分析・分光技術の量子論的基礎を構築する。なお、第四セメスターにて行われる、応用量子化学にて述べられる量子論に関する知識を前提として講義を進める。

**有機資源変換化学**  
Reaction Chemistry of Organic Resources

2 単位  
選択 4セメスター

石油、天然ガス、石炭、バイオマスなどの有機性資源を原料として、燃料や化学工業基幹原料が製造されている。これらの資源変換に関する化学反応、触媒、プロセスについて学ぶ。

参考書：多賀谷英幸他著「有機資源化学」朝倉書店  
菊地英一他著「新しい触媒化学」三共出版  
上松敬輔他著「触媒化学」朝倉書店

**分析化学**  
Analytical Chemistry

2 単位  
選択 4セメスター

分析化学は、様々な物質を同定し、定量する方法、すなわち化学分析法を提案する化学分野である。この授業では、①化学分析法が基盤とする、溶液内反応（酸塩基、酸化還元、錯体形成、沈殿・溶解）を定量的に扱う方法、②現在の化学分析法を構成する中核の一つとなっている、化学分光法、すなわち光・電磁波の吸収と放出を利用して物質の測定技術の基礎、の二点を学ぶ。

**分離工学 I**  
Separations Engineering I

2 単位  
選択 4セメスター

化学工学基礎で学んだ、化学工学熱力学、物質取扱い、エネルギー取扱い、移動速度に基づく化学装置の設計手法に関して、重要な単位操作（主として平衡分離操作；蒸留、抽出、晶析など）を講義し、それをとおして化学工学的考え方、設計手法の体系化を学習する。

**構造有機化学**  
Organic Chemistry

2 単位  
選択 4セメスター

有機化合物の構造と性質について解説し、アルデヒドとケトン、カルボン酸、カルボン酸誘導体、カルボアニオン、および $\alpha$ 、 $\beta$ -不飽和カルボニル化合物の構造と反応性の相関を考察する。

**生体情報化学**  
Bioinformation Chemistry

2 単位  
選択 5セメスター

生体分子の機能と物性を理解するための基礎物理化学、生体膜の物性と機能、細胞膜での物質輸送、細胞間シグナル伝達の分子機構、神経細胞系における情報処理と化学反応について学ぶ、また、細胞接着や細胞間相互作用についても学ぶ。

**界面電気化学**  
Interfacial Electrochemistry

2 単位  
選択 5セメスター

電気化学反応に関する基礎と関連する界面現象について学ぶ。電気化学反応とは、電極（固体）側にある電子の溶液側のイオン及び分子への電子移動過程を含む化学反応である、反応の起こる場である電極／溶液界面の電気二重層の構造、関連する界面現象、電子移動過程の平衡論、速度論について解説する。

**化学及び生物反応工学**  
Chemical and Bioreaction Engineering

2 単位  
選択 5セメスター

プロセス工学基礎の中の反応工学入門に引き続き、各種反応器とその設計・操作法を、化学反応と酵素反応、生物反応の場合について解説する。

1. 連続式反応器の滞在時間分布
2. 気体-固体反応装置の設計と操作
3. 気体-液体反応装置の設計と操作
4. 酵素および生物反応の速度論とバイオリアクターの設計
5. 烈殺菌の速度論と殺菌装置の設計
6. 生化学的廃水処理の速度論

**有機合成化学**  
Synthetic Organic Chemistry

2 単位  
選択 5セメスター

有機化合物の製造法は、炭素-炭素結合の形成と官能基の変換の組み合わせからなる。本講義の前半では、目的の構造をもつ芳香族化合物の合成法について学ぶ。後半では、有機合成反応において重要な地位を占める有機典型金属化学の基礎とそれを用いる合成反応について学ぶ。

**エネルギー工学**  
Energy Technology

2 単位  
選択 5セメスター

移動現象論に引き続き、工業装置の設計・解析の基礎となるエネルギーを扱う場合の化学工学的手法を概説する。

|                            |           |
|----------------------------|-----------|
| <b>分離工学 II</b>             | 2 単位      |
| Separations Engineering II | 選択 5セメスター |

化学工学基礎で学んだ化学装置の設計手法に基づき、重要な単位操作（吸収、分級、膜分離、攪拌、ろ過など）を講義し、それをとおして化学工学的考え方、設計手法の体系化を学習する。また、講義は英語で行う。

|                         |           |
|-------------------------|-----------|
| <b>生体機能化学</b>           | 2 単位      |
| Biofunctional Chemistry | 選択 5セメスター |

生体において行われる高機能な作用について、その分子機構や構造について学習する。特に生体内の“遺伝情報の流れ”に焦点をあてて解説し、遺伝子工学を基礎とした生体機能の利用についても論ずる。その主な内容は、

1. 核酸の合成
2. タンパク質の合成
3. DNA組換え技術遺伝子工学の基礎
4. 生体機能の利用

|                       |           |
|-----------------------|-----------|
| <b>生物物理化学</b>         | 2 単位      |
| Biophysical Chemistry | 選択 6セメスター |

生体エネルギー変換系の生物物理化学  
 1) 呼吸系電子伝達  
 2) 化学浸透機構  
 3) 酸化的リン酸化  
 4) 光エネルギーの受容  
 5) 光合成電子移動と光リン酸化  
 6) 光合成二酸化炭素固定経路  
 教科書：ホートン生化学 東京化学同人

|                                 |           |
|---------------------------------|-----------|
| <b>環境プロセス化学</b>                 | 2 単位      |
| Environmental Process Chemistry | 選択 6セメスター |

人間活動と地球環境との関係を、エネルギーや原料の製造プロセスと環境保全・浄化プロセスという視点で捉え、特に人間活動に伴って発生する多様でしかも大量の廃棄物、環境汚染物質のリサイクル・無害化プロセスについて化学的・工学的視点から学習することを目的とする。

|                       |           |
|-----------------------|-----------|
| <b>固体化学</b>           | 2 単位      |
| Solid State Chemistry | 選択 6セメスター |

無機物質を中心とした固体について化学結合論、結晶構造、電子構造等の知識に基づき電気的、磁気的、光学的、機械的や熱的性質など諸性質の発現機構について学び、固体材料の機能設計を行うまでの物質の基礎を理解する。

|                   |           |
|-------------------|-----------|
| <b>表面化学</b>       | 2 単位      |
| Surface Chemistry | 選択 6セメスター |

表面とは、気相、あるいは真空とバルク相が接する有限な厚さを有する領域と定義される。そこでは、しばしば物質の組成や構造の急激な変化だけでなく、化学結合状態の違いによる表面に特有の物性・機能の発現を伴う。本講義では、表面に特有の現象をいくつか紹介しながら、それらを理解するのに必要な物理化学の基礎について学習する。また、不均一触媒や光触媒に見られる固体表面の吸着構造とその上で起こる化学反応を理解するのに不可欠な表面の組成や構造、物性を調べる様々な分析手法の原理、および固体・液体表面を人工的に形成する真空蒸着技術についても併せて紹介し、理解を深めることを目的とする。

|                   |           |
|-------------------|-----------|
| <b>高分子化学</b>      | 2 単位      |
| Polymer Chemistry | 選択 6セメスター |

身の回りにある繊維、プラスチック、ゴム、そして生体高分子等の機能を有する高分子には、まだ分かっていない未知領域が無限にあると言つてよい。講義では、機能性高分子材料の化学構造と物性の関わりを分子レベルで理解することを目的とする。また、実際に巨大分子を合成する際に役立つ反応のロジックを有機化学の立場から解説する。

|                |           |
|----------------|-----------|
| <b>レオロジー工学</b> | 2 単位      |
| Rheology       | 選択 6セメスター |

反応、分離あるいは材料製造プロセスを設計するために、流体の流動特性についての知見が必要である。本講義は、流動特性の基本的概念を学ぶことを目的とし、均相および分散系流体のレオロジーを習得させる。

1. 流体の流動特性の分類
2. 流体の非ニュートン性と時間依存性
3. 分散体の流動特性
4. 粘弾性体のレオロジー特性

|                 |           |
|-----------------|-----------|
| <b>プロセス制御</b>   | 2 単位      |
| Process Control | 選択 6セメスター |

化学プロセスの制御システムを設計する際に必要となる制御理論の基礎知識を習得することを目的とする。内容としては、線形システムの動的挙動の解析、種々のフィードバック制御システムの設計法、最近のアドバンスト制御などについて、簡単な化学プロセスの例を用いて述べる。

|                              |           |
|------------------------------|-----------|
| <b>応用生物化学</b>                | 2 単位      |
| Applied Biological Chemistry | 選択 6セメスター |

生体内の物質代謝の概念を理解し、脂質代謝、タンパク質代謝、アミノ酸代謝、および空素サイクルなどの代謝とその代謝制御機構、生体のホメオスタシスと動的平衡の概念、および自然界の窒素循環などを習得する。また、微生物の機能を理解し、代謝制御機構から発展した発酵工学と化学工業とを比較しながら物質生産におけるバイオテクノロジーへの応用について講義する。

教科書：ホートン生化学 東京化学同人

化学・  
バイオ  
工学科

|  |                   |   |   |
|--|-------------------|---|---|
| <b>材料の化学</b><br>Chemistry of Materials   | 2 単位<br>選択 7セメスター | <b>分離の科学と工学</b><br>Separation Science and Engineering | 2 単位<br>選択 7セメスター   |
| プラスチックや繊維などの高分子材料や液晶などの機能性材料は、石油や天然ガスなどの貴重な炭素資源を分子変換して合成されている。本講義では、1) 石油化学、2) 有機合成化学、3) 高分子化学の分野に関する基礎的な化学を学習し、化学工業における有機材料の生産工程に関する理解を深めることを目的とする。   |                   |   | 多くの産業で多用されている分離プロセスに関して、物質収支ならびに物質移動理論に立脚した基礎的事項を使った応用法について、具体的な単位操作の事例を対象として講義する。事例プロセスとしては、蒸留、液体抽出、ガス吸収、晶析・結晶化、クロマトなど先端技術での適用例をとりあげる。 |
| 本講義は短期留学生プログラム科目になるので、講義は英語で行う。  |                   |   | 本講義は、短期留学生プログラム科目になるので、講義は英語で行う。  |
| <b>バイオテクノロジー</b><br>Biotechnology  | 2 単位<br>選択 7セメスター | <b>化学・バイオ工学特別講義 I</b><br>Special Lectures I           | 選択  |
| 生命の化学的基盤や仕組みについての知識を持たない時代から、人類は生命現象をさまざまなかたちで自らの生活や福祉に役立ててきた。生命についての化学的理解が深まった現在では、そのような技術に理論的裏づけが与えられ、幾多の新しい技術が生まれ、生命現象の工学的利用はますます高度化し、精緻なものとなっている。本講義では、遺伝子工学、蛋白質工学、生体機能有機化学分野におけるそのような事例を取り上げ、それらの理論的基盤について考察する。 |                   |   | 化学・バイオ工学に関連する学問および産業の進展に伴い、緊急に履修を望まれる重要事項に関する講義を行う。   |
| 本講義は、短期留学生プログラム科目になるので、講義は英語で行う。   |                   |   |   |
| <b>化学・バイオ工学特別講義 II</b><br>Special Lectures II  | 選択                | <b>学外見学</b><br>Plant Visits                           | 1 単位  |
| 化学・バイオ工学に関連する学問および産業の進展に伴い、緊急に履修を望まれる重要事項に関する講義を行う。  |                   |   | 学外の研究所・企業などの見学。内容によって単位を与える。  |
| <b>インターンシップ</b><br>Internship  |                   | <b>化学・バイオ工学演習 A</b><br>Exercises A                    | 1 単位<br>必修 5セメスター   |
| 学外の研究所・企業などで行う実習で、化学・バイオ工学の基礎または応用の習得を目的とする。内容によって単位を与える。  |                   |   | 量子化学、熱力学、溶液化学に関する演習を行う。   |
| <b>化学・バイオ工学演習 B</b><br>Exercises B   | 1 単位<br>必修 5セメスター | <b>化学・バイオ工学演習 C</b><br>Exercises C                    | 2 単位<br>必修 6セメスター   |
| 無機化学関連の構造化学、結合論および物性評価関連問題の演習。有機化学関連のスペクトルデータに基づく物質同定問題の演習。  |                   |   | 化学工学に関する講義で得られた知識をもとに、化学装置とプロセスの設計・運転に必要な事項として、数値計算法、化学工学基礎、反応工学、移動現象論および単位操作に関する演習を行う。   |

---

**化学・バイオ工学実験 A** 4 単位  
Laboratory Experiments A 必修 5セメスター

化学・バイオ工学の専門科目（無機、物理化学、有機、バイオ、化学工学）の講義の進捗にあわせて、講義により得られた知識をもとに基礎的な実験を行い、実験操作に習熟すると共に、実験中に観察される現象を注意深く観察し考察する方法を学ぶ。

**化学・バイオ工学実験 B** 4 単位  
Laboratory Experiments B 必修 6セメスター

化学・バイオ工学実験 A に引き続き、化学・バイオ工学の専門科目（無機、物理化学、有機、バイオ、化学工学）の講義の進捗にあわせて、講義により得られた知識をもとに基礎的な実験を行い、実験操作に習熟すると共に、実験中に観察される現象を注意深く観察し考察する方法を学ぶ。

---

**化学・バイオ工学研修** 2 単位  
Research Practice 必修 6セメスター

化学・バイオ工学に関して外国語で書かれた最近の学術論文を読み、その内容を発表会形式で紹介することを通じて、文献調査の方法、まとめた内容を的確に要約し定められた時間で発表することを学ぶと共に、関係する学問分野の最先端に触れる。

**化学・バイオ工学卒業研修 A** 2 単位  
Thesis Research A 必修 7セメスター

研究室に配属された後、各指導教官の指示に従って卒業研究を行うのに必要な学術文献を調査し、化学・バイオ工学研修と同様な形式で発表する。発表会は6月に実施される。

---

**化学・バイオ工学セミナー** 1 単位  
Seminars 必修 7セメスター

化学・バイオ工学卒業研修 A に関連して卒業研究に必要な基礎知識の修得を目的として、各指導教員の指導を受けながら行う文献調査および演習。

**応用化学セミナー** 1 単位  
Seminars in Applied Chemistry 選択 8セメスター

各講座が担当するセミナー、雑誌会等で構成される。卒業研究で行う研究に必要な基礎知識を得るばかりでなく、最新の学術文献の輪読や紹介などを通して発表や討論の仕方、必要な知識・情報を自ら取得する能力を養う。

---

**化学工学セミナー** 1 単位  
Seminars in Chemical Engineering 選択 8セメスター

各講座が担当するセミナー、雑誌会等で構成される。卒業研究で行う研究に必要な基礎知識を得るばかりでなく、最新の学術文献の輪読や紹介などを通して発表や討論の仕方、必要な知識・情報を自ら取得する能力を養う。

**バイオ工学セミナー** 1 単位  
Seminars in Biochemistry 選択 8セメスター

各講座が担当するセミナー、雑誌会等で構成される。卒業研究で行う研究に必要な基礎知識を得るばかりでなく、最新の学術文献の輪読や紹介などを通して発表や討論の仕方、必要な知識・情報を自ら取得する能力を養う。

---

**化学・バイオ工学卒業研修 B** 10単位  
Thesis Research B 必修 7・8セメスター

卒業研究。4年次のはじめに研究室に配属され、各教員の指導を受けながら一年間履修する。成果を卒業論文としてまとめると共に、学年末に化学・バイオ工学の教員、職員、学生の出席する発表会で発表する。

# 4. 材料科学総合学科

(Department of Materials Science and Engineering)

金属フロンティア工学コース  
(Metallurgy)

材料システム工学コース  
(Materials Processing)

知能デバイス材料学コース  
(Materials Science)

材料環境学コース  
(Ecomaterials Science)

## 授業科目表及び履修方法等

### ・全学教育科目

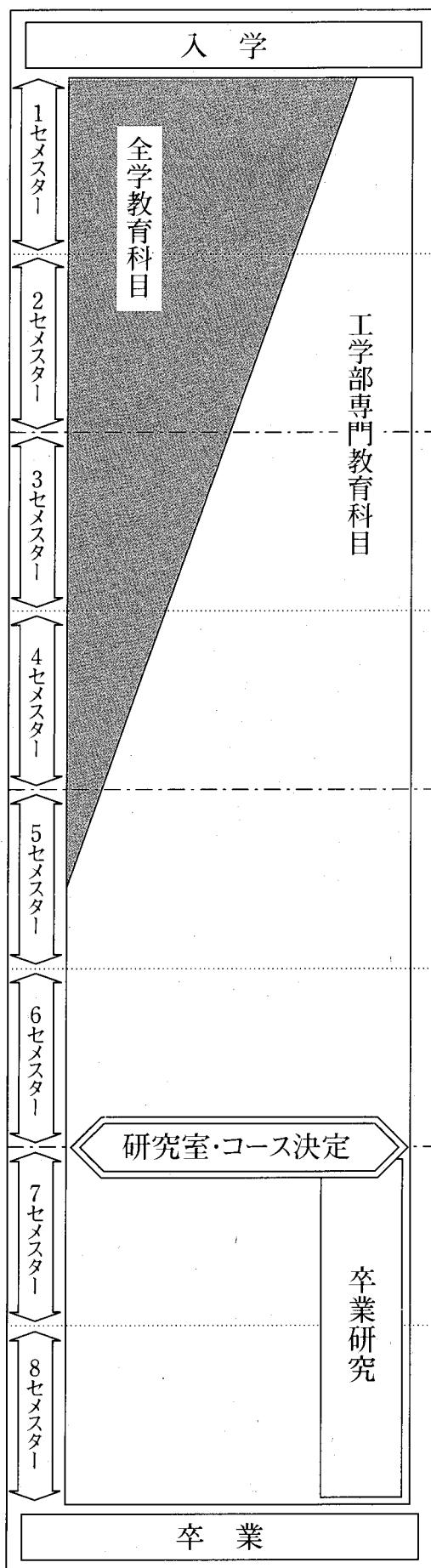
### ・専門教育科目

## 専門教育科目授業要旨

材料科学

総合学科

## 材料科学総合学科 卒業までの履修過程



### 【卒業要件科目について】

全学教育科目：学生便覧67～69ページを参照。  
工学部専門教育科目：次ページ以降を参照。

### 【セメスタークリアランス】

- 4セメスター終了時に材料科学総合学実験（5・6セメ）の履修要件を設けている。
  - 6セメスター終了時に材料科学総合学基盤研修（7・8セメ）及び材料科学総合学卒業研修（7・8セメ）の履修要件を設けている。
- （各履修要件の詳細は後述。）

### 【研究室及びコース決定】

- 材料科学総合学基盤研修及び材料科学総合学卒業研修の履修要件を満たした者は研究室へ配属し、配属された研究室が属するコースをもって所属コースとする。
- 研究室では研修等を行い、大学院進学を視野に入れ、工学の先端分野を探求していく必要・十分な学力が身に付けられるように研究指導を受ける。

## 授業科目表および履修方法等

### 全学教育科目

| 類                | 群      | 科 目 名      | 単位数 | 開講セメスター<br>週当たり授業時間数 |     | 材料科学総合学科<br>履修方法<br>(詳細は後述)  |  |
|------------------|--------|------------|-----|----------------------|-----|------------------------------|--|
|                  |        |            |     | 1年次                  |     |                              |  |
|                  |        |            |     | 1                    | 2   |                              |  |
| 基<br>幹<br>科<br>目 | 人間論    | 思想と倫理の世界   | 2   | * 2                  |     | 選択必修<br>(左記より1科目2単位を修得すること。) |  |
|                  |        | 文学の世界      | 2   | * 2                  |     |                              |  |
|                  |        | 言語表現の世界    | 2   | * 2                  |     |                              |  |
|                  |        | 芸術の世界      | 2   | * 2                  |     |                              |  |
|                  |        | 人間と文化      | 2   | * 2                  |     |                              |  |
| 基<br>幹<br>科<br>目 | 社会論    | 歴史と人間社会    | 2   | * 2                  |     | 選択必修<br>(左記より1科目2単位を修得すること。) |  |
|                  |        | 経済と社会      | 2   | * 2                  |     |                              |  |
|                  |        | 法・政治と社会    | 2   | * 2                  |     |                              |  |
|                  |        | 社会の構造      | 2   | * 2                  |     |                              |  |
|                  |        | ジェンダーと人間社会 | 2   | * 2                  |     |                              |  |
| 基<br>幹<br>科<br>目 | 自然論    | 自然界の構造     | 2   | * 2                  |     | 選択必修<br>(左記より1科目2単位を修得すること。) |  |
|                  |        | 科学技術とエネルギー | 2   | * 2                  |     |                              |  |
|                  |        | 生命と自然      | 2   | * 2                  |     |                              |  |
|                  |        | 自然と環境      | 2   | * 2                  |     |                              |  |
|                  |        | 科学と情報      | 2   | * 2                  |     |                              |  |
| 展<br>開<br>科<br>目 | 人文科学   | 論理学        | 2   |                      | * 2 | 選択1                          |  |
|                  |        | 哲学・倫理学     | 2   |                      | * 2 |                              |  |
|                  |        | 文学         | 2   |                      | * 2 |                              |  |
|                  |        | 宗教学        | 2   |                      | * 2 |                              |  |
|                  |        | 教育学        | 2   |                      | * 2 |                              |  |
|                  |        | 歴史学        | 2   |                      | * 2 |                              |  |
|                  |        | 言語学        | 2   |                      | * 2 |                              |  |
|                  | 社会科学   | 社会学        | 2   |                      | * 2 |                              |  |
|                  |        | 心理学        | 2   |                      | * 2 |                              |  |
|                  |        | 法学         | 2   |                      | * 2 |                              |  |
|                  |        | 日本国憲法      | 2   |                      | * 2 |                              |  |
|                  |        | 政治学        | 2   |                      | * 2 |                              |  |
|                  |        | 経済学        | 2   |                      | * 2 |                              |  |
|                  |        | 文化人類学      | 2   |                      | * 2 |                              |  |
| 展<br>開<br>科<br>目 | 数学     | 人文地理学      | 2   |                      | * 2 |                              |  |
|                  |        | 解析学A       | 2   | 2                    |     | 必修                           |  |
|                  |        | 解析学B       | 2   |                      | 2   |                              |  |
|                  |        | 解析学C       | 2   |                      |     |                              |  |
|                  |        | 解析学D       | 2   |                      |     |                              |  |
|                  |        | 線形代数学A     | 2   | 2                    |     |                              |  |
|                  |        | 線形代数学B     | 2   |                      | 2   |                              |  |
|                  | 自然科学   | 数理統計学      | 2   |                      |     | 選択2                          |  |
|                  |        | 物理学A       | 2   | 2                    |     |                              |  |
|                  |        | 物理学B       | 2   |                      | 2   |                              |  |
|                  |        | 物理学C       | 2   |                      |     |                              |  |
|                  |        | 物理学D       | 2   | 2                    |     |                              |  |
|                  |        | 化学A        | 2   | 2                    |     |                              |  |
|                  |        | 化学B (※1)   | 2   |                      | 2   |                              |  |
| 展<br>開<br>科<br>目 | 生物学    | 化学C (※1)   | 2   |                      |     | 選択3                          |  |
|                  |        | 生命科学A      | 2   | 2                    |     |                              |  |
|                  |        | 生命科学B      | 2   |                      | 2   |                              |  |
|                  |        | 生命科学C      | 2   | 2                    |     |                              |  |
|                  |        | 地球システム科学   | 2   |                      | * 2 |                              |  |
|                  |        | 地球物質科学     | 2   |                      | * 2 |                              |  |
|                  |        | 自然地理学      | 2   |                      | * 2 |                              |  |
|                  | 宇宙地球科学 | 天文学        | 2   |                      | * 2 | 選択3                          |  |
|                  |        | 地球惑星物理学    | 2   |                      | * 2 |                              |  |
|                  |        |            |     |                      |     |                              |  |

材料科学

総合学科

| 類  | 群   | 科 目 名                      | 単位数          | 開講セメスター<br>週当たり授業時間数 |   |     |   | 材料科学総合学科<br>履修方法<br>(詳細は後述)         |  |  |  |  |  |  |  |  |
|--|---|----------------------------|--------------|----------------------|---|-----|---|-------------------------------------|--|--|--|--|--|--|--|--|
|  |   |                            |              | 1年次                  |   | 2年次 |   |                                     |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |   |                            |              | 1                    | 2 | 3   | 4 |                                     |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 展開科目   | 自然科学  | 理科実験                       | 自然科学総合実験(※2) | 2                    |   | 4   |   | 必修                                  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  | 総合科学  | 総合科目                       | 総合科目(※3)     | 各2                   |   | *2  |   |                                     |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  | カレントトピックス科目   | カレントトピックス科目(※3)            |              | 各2                   |   | *2  |   | 選択3                                 |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  | 現代学問論   | 現代学問論                      |              | 各2                   |   | *2  |   |                                     |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 共通科目   | 転換・少人数科目  |                            | 基礎ゼミ         | 2                    | 2 |     |   | 選択3                                 |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  | 英語  | 英語A 1                      |              | 1                    | 2 |     |   |                                     |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |   | 英語A 2                      |              | 1                    |   | 2   |   |                                     |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |   | 英語B 1                      |              | 1                    | 2 |     |   |                                     |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |   | 英語B 2                      |              | 1                    |   | 2   |   |                                     |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |   | 英語C 1                      |              | 1                    |   |     | 2 |                                     |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |   | 英語C 2                      |              | 1                    |   |     | 2 | 選択必修(履修方法を確認すること。)                  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |   | Practical English Skills 1 |              | 1                    |   |     | 2 |                                     |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |   | Practical English Skills 2 |              | 1                    |   |     | 2 |                                     |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  | 外国語   | 基礎ドイツ語I                    |              | 2                    | 4 |     |   |                                     |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |   | 基礎ドイツ語II                   |              | 2                    |   | 4   |   |                                     |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |   | 基礎フランス語I                   |              | 2                    | 4 |     |   |                                     |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |   | 基礎フランス語II                  |              | 2                    |   | 4   |   |                                     |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |   | 基礎ロシア語I                    |              | 2                    | 4 |     |   |                                     |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |   | 基礎ロシア語II                   |              | 2                    |   | 4   |   |                                     |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |   | 基礎スペイン語I                   |              | 2                    | 4 |     |   | 選択必修(左記の中から1外国語を選択し、2科目4単位を修得すること。) |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |   | 基礎スペイン語II                  |              | 2                    |   | 4   |   |                                     |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |   | 基礎中国語I                     |              | 2                    | 4 |     |   |                                     |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |   | 基礎中国語II                    |              | 2                    |   | 4   |   |                                     |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  | 保健体育  | 基礎朝鮮語I                     |              | 2                    | 4 |     |   |                                     |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |   | 基礎朝鮮語II                    |              | 2                    |   | 4   |   |                                     |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |   |                            |              |                      |   |     |   |                                     |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 留学生対象科目  | 情報科目  |                            | 情報基礎A        | 2                    | 2 |     |   | 自由聴講科目                              |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |   |                            | 情報基礎B        | 2                    | 2 |     |   | 必修                                  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |   |                            |              |                      |   |     |   |                                     |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 備考1  | 上記掲載の全学教育科目は、工学部学生が卒業要件を満たすために必要な授業科目を抜粋して掲載しています。<br>上記掲載以外の全学教育科目は「自由聴講科目」として修得することが出来る場合があります。                                   |                            |              |                      |   |     |   |                                     |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  | 「開講セメスター週当たり授業時間数」欄の*印は、いずれか又はそれぞれのセメスターで開講することを示します。上記掲載される開講セメスターより前に他組に開講されるクラスで授業を履修する場合は先取り履修となります。                            |                            |              |                      |   |     |   |                                     |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  | ※1 「化学B」および「化学C」は、第2セメスターでは履修を指定(自組開講)するクラスの学生のみ履修できます。<br>履修を指定していないクラスの学生は、特別の履修許可が無い限り、第2セメスターにおいて他組履修により第3セメスター開講予定の科目を修得できません。 |                            |              |                      |   |     |   |                                     |  |  |  |  |  |  |  |  |
| <p>&lt;参考&gt;</p> <p>B 4 TB 材料科学総合学科(工13・14組)は、第2セメスターに「化学B」、第3セメスターに「化学C」が自組開講となります。</p>                            |   |                            |              |                      |   |     |   |                                     |  |  |  |  |  |  |  |  |
| <p>※2 「自然科学総合実験」は、指定(自組開講)するクラスにて履修をして下さい。</p> <p>&lt;参考&gt;</p> <p>B 4 TB 材料科学総合学科(工13・14組)は、第2セメスターに自組開講となります。</p> |   |                            |              |                      |   |     |   |                                     |  |  |  |  |  |  |  |  |
| <p>※3 総合科学群の「総合科目」、「カレントトピックス科目」に開設する授業科目は毎年定めます。全学教育科目の手引きを参照して下さい。</p>   |   |                            |              |                      |   |     |   |                                     |  |  |  |  |  |  |  |  |

【全学教育科目の履修方法について（B 4 TB）材料科学総合学科】

|      |  |  |   |  |
|------|--|--|---|--|
| 必修   | 解析学A, 解析学B, 線形代数学A<br>物理学A, 物理学B, 物理学C,<br>化学A, 化学B,<br>自然科学総合実験,<br>情報基礎B, スポーツA  |  | 左記15科目25単位  |  |
|      | 外国語 英語A 1, 英語A 2, 英語B 1, 英語B 2   |  |   |  |
| 選択必修 | （「人間論」群）   |  | 左記の各群において、それぞれ1科目2単位、計6単位修得すること。  |  |
|      | （「社会論」群）   |  |   |  |
|      | （「自然論」群）   |  |   |  |
| 選択必修 | 英語C 1, 英語C 2   |  | 英語C 1と英語C 2<br>英語C 1とPractical English Skills 2<br>Practical English Skills 1と英語C 2<br>Practical English Skills 1とPractical English Skills 2のいずれかの組み合わせで2単位を修得すること。 |  |
|      | 外国語 Practical English Skills 1, Practical English Skills 2   |  | 1外国語選択し、2科目4単位修得すること。   |  |
|      | 「初修語」群（ドイツ語、フランス語、ロシア語、スペイン語、中国語、朝鮮語）  |  |   |  |
| 選択1  | （「人文科学」群）、（「社会科学」群）  |  | 左記の各群の科目の中から、2科目4単位を修得すること。   |  |
| 選択2  | 解析学C, 線形代数学B,<br>数理統計学, 化学C  |  | 左記の科目の中から、4単位を修得すること。   |  |
| 選択3  | 解析学D, 物理学D, 生命科学A, 生命科学B,<br>生命科学C, 地球システム科学, 地球物質科学,<br>自然地理学, 天文学, 地球惑星物理学,<br>「総合科目」、「現代学問論」,<br>「カレントトピックス科目」,<br>基礎ゼミ, 体と健康 |  | 左記の科目の中から、4単位を修得すること。   |  |

【外国人留学生の外国語履修について】

留学生対象科目群の授業科目は、外国人留学生が履修する科目で、次のとおりとします。

|        |  |   |   |
|--------|--|---|---|
| 外国語の履修 | (1) 日本人学生と同程度の日本語能力を有する場合 <sup>(*)</sup> | 日本人学生と同様な履修。ただし、初修語として母国語を選択することは出来ません。 |   |
|        | (2) それ以外の場合                              | 母国語が英語の場合                               | 日本語の科目から6単位、英語以外の外国語（ドイツ語、フランス語、ロシア語、スペイン語、中国語、朝鮮語）から4単位、計10単位を修得して下さい。 |
|        |  | 母国語が英語以外の場合                             | 日本語の科目から6単位、英語から4単位（英語A 1, 英語A 2, 英語B 1, 英語B 2）、計10単位を修得して下さい。          |

(\*) 履修登録前にクラス担任と相談のうえ、工学部・工学研究科教務課学部教務係窓口で手続きを行うこと。

【外国語技能検定試験等による単位認定について】

外国語技能検定試験（英検、TOEFL、TOEIC、仏検、独検など）において、所定の認定又は得点を得た者は、本学における外国語科目の履修とみなされ、単位が与えられます。この制度の詳細については、全学教育実施係へ照会して下さい。

## 専門教育科目

### (1) 授業科目表

| 科<br>目<br>分<br>野 | 開<br>講<br>学<br>科 | 科<br>目<br>名   | 履<br>修<br>セ<br>メ<br>ス<br>タ<br>ー<br>1 | 週<br>あ<br>た<br>り<br>授<br>業<br>時<br>間<br>数 | 単<br>位<br>数 | 履<br>修<br>登<br>録<br>制<br>限<br>対<br>象<br>科<br>目 | 区<br>分 | コ<br>ー<br>ス                                    |   |                                      | 履修方法<br>(左記コース欄)                 |  |
|------------------|------------------|---------------|--------------------------------------|---|-------------|--|--------|--|---|--------------------------------------|----------------------------------|--|
|                  |                  |               |                                      |   |             |  |        | 金<br>属<br>フ<br>ロ<br>ン<br>テ<br>ィ<br>ア<br>工<br>学 | 知<br>能<br>デ<br>バ<br>イ<br>ス<br>材<br>料<br>学 | 材<br>料<br>シ<br>ス<br>テ<br>ム<br>工<br>学 |                                  |  |
| 材料の数学            | 工                | 数学物理学演習I      | 1                                    | 2   | 1           | ○  | 基礎     | ①  |   |                                      | 〔選択必修①〕<br>左記①の科目から30単位以上履修すること。 |  |
|                  | 工                | 数学物理学演習II     | 2                                    | 2   | 1           | ○  | 基礎     | ①  |   |                                      |                                  |  |
|                  | 材                | 工業数学 I        | 3                                    | 2   | 2           | ○  | 基礎     | ①  |   |                                      |                                  |  |
|                  | 材                | 工業数学 II       | 4                                    | 2   | 2           | ○  | 基礎     | ①  |   |                                      |                                  |  |
| 材料科学             | 材                | 材料学入門         | 3                                    | 2   | 2           | ○  | 基礎     | ①  |   |                                      |                                  |  |
|                  | 材                | 材料組織学         | 4                                    | 2   | 2           | ○  | 基礎     | ①  |   |                                      |                                  |  |
|                  | 材                | 材料強度学         | 4                                    | 2   | 2           | ○  | 基礎     | ①  |   |                                      |                                  |  |
| 材料の物理化学          | 材                | 材料物理化学        | 3                                    | 2   | 2           | ○  | 基礎     | ①  |   |                                      |                                  |  |
|                  | 材                | 溶液の物理化学       | 4                                    | 2   | 2           | ○  | 基礎     | ①  |   |                                      |                                  |  |
|                  | 材                | 材料電子化学        | 4                                    | 2   | 2           | ○  | 基礎     | ①  |   |                                      |                                  |  |
|                  | 材                | 材料反応速度論       | 5                                    | 2   | 2           | ○  | 基礎     | ①  |   |                                      |                                  |  |
|                  | 材                | 高分子・生体物質の物理化学 | 5                                    | 2   | 2           | ○  | 基礎     | ①  |   |                                      |                                  |  |
| 材料の物理学           | 材                | 解析力学          | 3                                    | 1   | 1           | ○  | 基礎     | ①  |   |                                      |                                  |  |
|                  | 材                | 電磁気学          | 3                                    | 2   | 2           | ○  | 基礎     | ①  |   |                                      |                                  |  |
|                  | 材                | 量子力学入門        | 3                                    | 2   | 2           | ○  | 基礎     | ①  |   |                                      |                                  |  |
|                  | 材                | 結晶回折学         | 4                                    | 1   | 1           | ○  | 基礎     | ①  |   |                                      |                                  |  |
|                  | 材                | 物性学基礎         | 4                                    | 1   | 1           | ○  | 基礎     | ①  |   |                                      |                                  |  |
|                  | 材                | 材料統計力学        | 4                                    | 2   | 2           | ○  | 基礎     | ①  |   |                                      |                                  |  |
|                  | 材                | 固体物性論         | 5                                    | 2   | 2           | ○  | 基礎     | ①  |   |                                      |                                  |  |
| 材料の力学            | 材                | 表面・界面の物理学     | 6                                    | 2   | 2           | ○  | 基礎     | ①  |   |                                      |                                  |  |
|                  | 材                | 材料力学          | 3                                    | 2   | 2           | ○  | 基礎     | ①  |   |                                      |                                  |  |
|                  | 材                | 伝熱・流体の力学      | 4                                    | 2   | 2           | ○  | 基礎     | ①  |   |                                      |                                  |  |
| 工<br>学           | 材                | 材料システム力学      | 5                                    | 2   | 2           | ○  | 基礎     | ①  |   |                                      |                                  |  |
|                  | 材                | 鉄鋼製鍊学         | 5                                    | 2   | 2           | ○  | 専門     | ②  |   |                                      | 〔選択必修②〕<br>左記②の科目から24単位以上履修すること。 |  |
|                  | 材                | 接合工学          | 5                                    | 2   | 2           | ○  | 専門     | ②  |   |                                      |                                  |  |
|                  | 材                | 環境材料プロセス学     | 5                                    | 2   | 2           | ○  | 専門     | ②  |   |                                      |                                  |  |
|                  | 材                | 移動現象論         | 6                                    | 2   | 2           | ○  | 専門     | ②  |   |                                      |                                  |  |
|                  | 材                | 塑性加工学         | 6                                    | 2   | 2           | ○  | 専門     | ②  |   |                                      |                                  |  |
|                  | 材                | 材料分析科学        | 5                                    | 2   | 2           | ○  | 専門     | ②  |   |                                      |                                  |  |
|                  | 材                | 素形材工学         | 5                                    | 2   | 2           | ○  | 専門     | ②  |   |                                      |                                  |  |
|                  | 材                | 材料解析学         | 6                                    | 1   | 1           | ○  | 専門     | ②  |   |                                      |                                  |  |
|                  | 材                | 材料計測評価学       | 6                                    | 2   | 2           | ○  | 専門     | ②  |   |                                      |                                  |  |
|                  | 材                | 非鉄金属製鍊学       | 6                                    | 2   | 2           | ○  | 専門     | ②  |   |                                      |                                  |  |
|                  | 材                | 構造材料学         | 6                                    | 2   | 2           | ○  | 専門     | ②  |   |                                      |                                  |  |

| 科<br>目<br>分<br>野 | 開<br>講<br>学<br>科 | 科<br>目<br>名                                | 履<br>修<br>セ<br>メ<br>ス<br>タ<br>ー | 週<br>あ<br>た<br>り<br>授<br>業<br>時<br>間<br>数 | 単<br>位<br>数 | 履<br>修<br>登<br>録<br>制<br>限<br>対<br>象<br>科<br>目 | 区<br>分   | コ<br>ー<br>ス                                    |   |                                      |                       | 履修方法<br>(左記コース欄) |  |
|------------------|------------------|--|---------------------------------|---|-------------|--|----------|--|---|--------------------------------------|-----------------------|------------------|--|
|                  |                  |  |                                 |   |             |  |          | 金<br>属<br>フ<br>ロ<br>ン<br>テ<br>ィ<br>ア<br>工<br>学 | 知<br>能<br>デ<br>バ<br>イ<br>ス<br>材<br>料<br>学 | 材<br>料<br>シ<br>ス<br>テ<br>ム<br>工<br>学 | 材<br>料<br>环<br>境<br>学 |                  |  |
| 材料工学             | 材                | 材料破壊力学                                     | 6                               | 1   | 1           | ○  | 専門       |  | ②   |                                      |                       |                  | [選択必修②]<br>左記②の科目から24単位以上履修すること。   |
|                  | 材                | 電子材料科学                                     | 6                               | 2   | 2           | ○  | 専門       |  | ②   |                                      |                       |                  |  |
|                  | 材                | 磁性材料科学                                     | 6                               | 2   | 2           | ○  | 専門       |  | ②   |                                      |                       |                  |  |
|                  | 材                | セラミックス材料学                                  | 6                               | 2   | 2           | ○  | 専門       |  | ②   |                                      |                       |                  |  |
|                  | 材                | 腐食・防食学                                     | 6                               | 1   | 1           | ○  | 専門       |  | ②   |                                      |                       |                  |  |
| 情報演習             | 工                | 情報処理演習                                     | 2                               | 2   | 1           | ○  | 情報       |  | ☆   |                                      |                       |                  |  |
|                  | 材                | コンピュータ演習                                   | 4                               | 2   | 1           |  | 情報       |  | ☆   |                                      |                       |                  |  |
| 学際科目I            | 材                | 基礎電気工学                                     | 3                               | 1   | 1           | ○  | 学際I      |  | ③   |                                      |                       |                  | [選択必修③]<br>左記③の科目から2単位以上履修すること。<br>特別講義の開講時期は5セメの初めにアナウンスする。   |
|                  | 工                | 電気工学実験                                     | 4                               | 3   | 1           |  | 学際I      |  | ③   |                                      |                       |                  |  |
|                  | 材                | 材料科学総合学特別講義 I                              | 5or6                            | …   | 1           | ○  | 学際I      |  | ③   |                                      |                       |                  |  |
| 学際科目II           | 工                | 工学倫理                                       | 5or7                            | 1   | 1           | ○  | 学際II     |  | ☆   |                                      |                       |                  | [選択必修④]<br>左記④の科目から5単位以上履修すること。<br>創造工学研修は1年次を対象とするが、状況によっては2年次での履修も認める。<br>＊1印：電子工学概論と工業物理学概論はどちらか一方を④と認める。<br>＊2印：教育職免許状取得希望届を提出した者に限り履修を認める。<br>※印：最大1単位まで卒業要件として認める。 |
|                  | 工                | 創造工学研修                                     | 2                               | 4   | 2           |  | 学際II     |  | ④   |                                      |                       |                  |  |
|                  | 工                | 機械工学概論                                     | 5or7                            | 2   | 2           | ○  | 学際II     |  | ④   |                                      |                       |                  |  |
|                  | 工                | 電子工学概論                                     | 5or7                            | 2   | 2           | ○  | 学際II     |  | ④*1                                       |                                      |                       |                  |  |
|                  | 工                | 工業化学概論                                     | 5or7                            | 2   | 2           | ○  | 学際II     |  | ④   |                                      |                       |                  |  |
|                  | 工                | 環境工学概論                                     | 5or7                            | 2   | 2           | ○  | 学際II     |  | ④   |                                      |                       |                  |  |
|                  | 工                | 生体医工学入門                                    | 7                               | 2   | 2           | ○  | 学際II     |  | ④   |                                      |                       |                  |  |
|                  | 工                | 知的財産権入門                                    | 5or7                            | 1   | 1           | ○  | 学際II     |  | ④   |                                      |                       |                  |  |
|                  | 工                | 工学英語                                       | 7                               | 2   | 2           |  | 学際II     |  | ④   |                                      |                       |                  |  |
|                  | 工                | 技術・社会システム論                                 | 7                               | 2   | 2           | ○  | 学際II     |  | ④   |                                      |                       |                  |  |
|                  | 工                | 生物工学概論                                     | 4or6                            | 2   | 2           |  | 学際II     |  | ④*2                                       |                                      |                       |                  |  |
|                  | 工                | 工業物理学概論                                    | 4or6                            | 2   | 2           |  | 学際II     |  | ④*1*2                                     |                                      |                       |                  |  |
|                  | 工                | 国際工学研修 I～IV                                | …                               | …   | ※           |  | 学際II     |  | ④   |                                      |                       |                  |  |
| 製図実験             | 材                | 材料学計画及び製図                                  | 4                               | 2   | 2           |  | 製図       |  | ☆   |                                      |                       |                  | 履修要件あり、詳細は末尾参照のこと。   |
|                  | 材                | 材料科学総合学実験                                  | 5・6                             | 9・9                                       | 6           |  | 実験       |  | ☆   |                                      |                       |                  |  |
| 研修               | 材                | 材料科学総合学基盤研修                                | 7・8                             | 2・2                                       | 2           |  | 基盤<br>研修 |  | ☆   |                                      |                       |                  | 履修要件あり、詳細は末尾参照のこと。   |
|                  | 材                | 材料科学総合学卒業研修                                | 7・8                             | 9・9                                       | 6           |  | 卒業<br>研修 |  | ☆   |                                      |                       |                  |  |
| その他              | 材                | 材料科学総合学特別講義 II                             | …                               | …   | …           |  |          |  |   |                                      |                       |                  | 内容により単位を与える。   |
|                  | 材                | マテリアルズサイエンス アンド エンジニアリングB                  | 5                               | 2   | 2           |  |          |  |   |                                      |                       |                  |  |
|                  | 材                | インターンシップ                                   | 5or6                            | …   | 2           |  |          |  |   |                                      |                       |                  | 内容により単位を与える。   |
|                  | 材                | Developing and Expressing Ideas in English | 6                               | 2   | 1           |  |          |  |   |                                      |                       |                  |  |
|                  | 材                | 工場見学                                       | …                               | …   | …           |  |          |  |   |                                      |                       |                  |  |
|                  | 工                | 国際工学研修 I～IV                                | …                               | …   | …           |  |          |  |   |                                      |                       |                  | 内容により単位を与える。   |
|                  | 工                | 工学教育院特別講義                                  | …                               | …   | …           |  |          |  |   |                                      |                       |                  | 内容により単位を与える。   |

(2) 卒業に要する最低修得単位数

|                | 全 学 教 育 科 目 |             |             |                  |                  |                  |                  |                                      |                  |             |                  | 専門教育科目 |                            |                  |  | 合<br>計 |        |
|----------------|-------------|-------------|-------------|------------------|------------------|------------------|------------------|--------------------------------------|------------------|-------------|------------------|--------|----------------------------|------------------|--|--------|--------|
|                | 基幹科目        |             |             | 展開科目             |                  |                  | 共通科目             |                                      |                  |             |                  | 小<br>計 | 工<br>学<br>基<br>本<br>科<br>目 | 学<br>科<br>科<br>目 | 口<br>短<br>期<br>留<br>学<br>生<br>入<br>学<br>手<br>冊 |        |        |
|                | 人<br>間<br>論 | 社<br>会<br>論 | 自<br>然<br>論 | 人<br>文<br>科<br>学 | 社<br>会<br>科<br>学 | 自<br>然<br>科<br>学 | 總<br>合<br>科<br>学 | 轉<br>換<br>・<br>少<br>人<br>數<br>科<br>目 | 保<br>健<br>体<br>育 | 外<br>國<br>語 | 情<br>報<br>科<br>目 |        |                            |                  |  |        |        |
| 必修<br>科目       | 0           | 0           | 0           | 0                | 0                | 18               | 0                | 0                                    | 1                | 4           | 0                | 2      | 25                         | 2                | 17   | 0      | 19 44  |
| 選択<br>必修<br>科目 | 2           | 2           | 2           | 4                |                  | 8                |                  |                                      | 2                | 4           | 0                | 24     | 61                         |                  |  | 61     | 85     |
| 計              | 6           |             |             | 43               |                  |                  |                  |                                      |                  |             |                  |        |                            |                  | 49   | 80     | 80 129 |

內 訳

| 全学教育科目             |  | 修得を要する授業科目、単位数等  |
|--------------------|--|--|
| 類                  | 群  |  |
| 基幹科目               | 人間論、社会論、自然論                                      | 人間論、社会論、自然論の3群から各2単位、計6単位以上  |
| 展開科目<br>及び<br>共通科目 | 人文科学、社会科学<br><br>自然科学、総合科学、<br>転換・少人数科目、<br>保健体育 | 人文科学及び社会科学の2群から4単位以上<br><br>26単位以上<br>必修科目18単位<br>解析学A, B, 物理学A, B, C, 線形代数学A, 化学A, B,<br>自然科学総合実験,<br>選択科目8単位<br>解析学C, 線形代数学B, 数理統計学, 化学Cから4単位以上<br>解析学D, 物理学D, 生命科学A, B, C, 地球システム科学, 地球物質<br>科学, 自然地理学, 天文学, 地球惑星物理学, 総合科目, カレントトピック<br>クス科目, 基礎ゼミ, 体と健康から4単位以上 |
| 共通科目               | 外国語<br><br>情報科目<br><br>保健体育                      | 10単位以上<br>必修科目4単位<br>英語A 1, 英語A 2, 英語B 1, 英語B 2<br>選択必修科目<br>英語C 1, 英語C 2, Practical English Skills 1, Practical English Skills 2,<br>より履修方法確認の上2単位選択必修<br>初修語基礎（ドイツ語, フランス語, ロシア語, スペイン語, 中国語, 朝<br>鮮語）から1外国語（I及びII）4単位選択必修<br><br>情報基礎B 2単位必修<br><br>スポーツA 1単位必修 |
| 材料科学総合学科 専門教育科目    |  | 必修科目19単位、選択科目61単位以上、計80単位以上<br>(詳細は、授業科目表のとおり)   |

(注) 材料科学総合学科以外の授業科目を、選択科目の卒業要件単位として認めることができます。

### (3) 材料科学総合学実験の履修要件

材料科学総合学実験を履修するためには、4セメスター終了時までに下記(a), (b)の要件を満たす必要があります。

- (a) 全学教育科目－自然科学総合実験2単位を含め、基幹科目4単位以上、展開科目18単位以上、共通科目8単位以上、総修得単位数が32単位以上であること。  
(b) 専門教育科目－15単位以上修得していること。

#### (4) 材料科学総合学基盤研修及び材料科学総合学卒業研修の履修要件・研究室配属

6セメスター終了時において、下記（a）、（b）の要件を満たしている者に基盤研修及び卒業研修の履修を認め、研究室への配属を行います。本系では、配属された研究室が属するコースをもって所属コースとします。

- （a）全学教育科目－基幹科目6単位以上、展開科目26単位以上、外国語8単位、情報科目2単位以上を含む44単位以上を修得していること。
- （b）専門教育科目－情報処理演習、コンピュータ演習、材料学計画及び製図の計4単位、選択科目61単位中46単位以上及び材料科学総合学実験全項目の75%以上を修得していること。
- （c）5セメスターあるいは6セメスターに本学で実施するTOEFL-ITP試験を受け、スコアを提出していること。

#### (5) 早期卒業制度

次の研究室配属条件及び成績基準を満たす場合は、早期卒業制度を適用します。

- ① 材料科学総合学実験の履修条件：3セメスター終了時において、次の両方の条件を満たしていること。

全学教育科目：卒業に必要なすべての全学教育科目的単位を修得していること。

専門教育科目：18単位以上を修得していること。

- ② 研究室配属条件：1年間の基盤研修及び卒業研修を必須とします。したがって、3年卒業は5セメスターから、3.5年卒業は6セメスターから研究室配属を行います。研究室配属の条件は、次のとおりです。

- （a）4セメスター終了時において、次の両方の要件を満たしている者に基盤研修、卒業研修の履修を認め、研究室への配属を行う。

全学教育科目：卒業に必要なすべての全学教育科目的単位を修得していること。

専門教育科目：コンピュータ演習、材料学計画及び製図の計3単位、選択科目61単位中41単位の計44単位以上、及び6セメスターで実施する材料科学総合学実験全項目を修得していること。

- （b）上記（a）の要件を4セメスター終了時に満たせず、5セメスター終了時に要件単位及び材料科学総合学実験全項目の90%以上を修得した者は、6セメスターから基盤研修、卒業研修の履修を認め、研究室への配属を行う。

- ③ 成績基準：卒業要件単位をすべて修得し、修得した全科目的成績が換算値平均で80点以上である者に対し、早期卒業を認めます。なお、材料科学総合学科の専門教育科目のうちから、基礎の科目は35単位以上修得していることが必要です。

## (6) 授業要旨

### 工業数学 I Advanced Engineering Mathematics I

本講義では、材料工学および一般工学を学ぶ際に必要不可欠な数学分野の中から、複素数、複素平面、等角写像、複素級数、複素関数の微分および積分、積分定理、ならびに実積分への応用の基礎について講義と演習を行う。演習では、解説した定理・公式の工学問題への具体的な応用として微分・積分演算やポテンシャル問題の解析方法などを学ぶ。

2 単位  
選択 3セメスター

### 工業数学 II Advanced Engineering Mathematics II

2 単位  
選択 4セメスター

本講義では、材料工学および一般工学を学ぶ際に必要不可欠な数学分野の中から、フーリエ級数・フーリエ積分、ラプラス変換およびベクトル解析の基礎について講義と演習を行う。演習では、解説した定理・公式の工学問題への具体的な応用として微分・積分演算や常微分方程式・偏微分方程式の解析方法などについて学ぶ。

### 材料学入門 Introduction to Materials Science and Engineering

我々の生活は、様々な材料によって支えられている。材料は構造物を形成する（例えば橋梁の鉄骨やパソコンのマグネシウムボディ等）、特殊な機能を発現させる（磁石や半導体等）など、用途に応じて千差万別の利用がなされている。そもそも材料はどのような方法で製造し、どのような原理で機能を発現させ、いかなる方法で製品化しているのだろうか。本講義では、材料の化学的、物理的、機械的性質に基づいて、天然資源から素材を製造する方法、材料の組成や組織を利用した諸特性の発現方法、実際に材料を用いる際のプロセッシングについて、その基礎と原理を概説し、材料科学の初等知識を学んで頂く。また、環境保全、安全・安心、知的財産権等と材料工学の関わりについて解説し、材料技術者が守るべき倫理についても解説する。

2 単位  
選択 3セメスター

### 材料組織学 Microstructures of Materials

2 単位  
選択 4セメスター

材料の諸特性は、その微視的構造—すなわち組織—に大きな影響を受ける。本講義では、固体材料中の組織について以下の基本的事項を解説する。

1. 相変化（融解・凝固、同素変態）
2. 多元系材料の構造（固溶体など）
3. 多元系状態図（液相線、共晶など）
4. 拡散（フィックの法則など）
5. 合金の凝固（核生成、凝固組織など）
6. 固相内の変態（析出、規則変態、マルテンサイト変態など）

### 材料強度学 Fundamental Aspects of Strength of Materials

物質の強さに関する種々の現象を、ミクロの立場から理解することを目的とし、次のことを学ぶ。1) 完全結晶の構造。2) 結晶格子欠陥。3) 固体の力学的応答と材料の強さ。4) 転位の性質。5) 転位の運動と単結晶の塑性変形、降伏。6) 多結晶体の塑性変形と結晶粒界の役割。7) 材料の強化機構。8) 材料の破壊機構。

2 単位  
選択 4セメスター

### 材料物理化学 Physical Chemistry for Materials

2 単位  
選択 3セメスター

材料を取り扱う場合の基礎となる物理化学に関して主に化学熱力学の立場から講義する。熱力学第1、2及び3法則を用いた物質の状態変化、化学反応に伴う物質、エンタルピー、エントロピー変化の取り扱いに加え、化学ポテンシャル、自由エネルギーを使用した化学平衡と反応の方向性、エリシガム図などについて学ぶ。

### 溶液の物理化学 Physical Chemistry of Solutions

2 単位  
選択 4セメスター

高温材料プロセスでは、液体金属、スラグ、溶融塩、半導体融体等の様々な液体が取り扱われる。これらのはほとんどは、多くの成分を含む溶液であり、その挙動を知る必要がある。そこで、熱力学の立場から、溶液の種類、溶液中の成分の部分モル量、活量、活量係数、移動現象等について講義する。また、高温融体の構造と物性について解説する。

### 材料電子化学 Electron Transfer Chemistry of Materials

2 単位  
選択 4セメスター

固体電極／電解質系においては、電極界面を通しての電子移行過程を伴う化学反応が生ずる。このような反応は電極反応と呼ばれ、エネルギー変換、物質変換および情報変換などにおいて重要な役割を果たしている。ここでは電極反応の基礎概念を学ぶと共に、演習を通して重要な式の使い方を習得する。主な内容は以下の通りである。

1. 電気化学ポテンシャル、2. 相と相の接触による電位差の発生、3. 電極反応の熱力学、4. 電極反応の速度論、5. 化学電池

### 材料反応速度論 Reaction Rate Process in Materials Engineering

2 単位  
選択 5セメスター

材料製造プロセスには一般に化学反応過程（化学過程）が含まれている。また化学反応には反応成分の輸送過程（物理過程）が含まれている。したがって材料製造プロセスを制御するためには、輸送現象と反応速度とが組み合わさった現象の解析方法を十分に理解しておく必要がある。本講義では、(1) 物質移動現象の基礎的事項、(2) 反応速度論の基礎的事項、(3) 均一反応速度論、(4) 不均一反応速度論、(5) 反応装置設計の基礎、について平易に解説する。

### 高分子・生体物質の物理化学 Physical Chemistry of Polymers and Biological Materials

2 単位  
選択 5セメスター

近年、人間や環境との関わりを重視した材料開発の視点が要求されている。環境、医療用、薬学、農業、生活産業への利用を考える際に、有機高分子のもつ基礎的性質に対する理解や生体物質の物理化学的理解が必要になる。ここでは、高分子・生体物質の構造と機能、分子間力、高分子溶液・高分子ゲル・コロイドの物理化学などについて解説する。

**解析力学**

Analytical Mechanics

1 単位

選択 3セメスター

古典力学では通常ニュートンの方程式を出発点とするが、より一般的な立場から同じ問題を観ることにより物理的本質を明らかにすることが可能である。本講義では、まず作用積分が極値をとるよう定式化されたオイラー・ラグランジュ方程式がニュートンの方程式と同等であることを述べ、次に時間と空間の一様性を要求することにより、エネルギー等の保存量が導出されることを説明する。また典型問題を解析力学の立場から簡潔に解くことにより、一般化の利点を強調する。最後にハミルトン形式とボアソン括弧を紹介し、量子力学および電磁気学との対応を述べる。

**量子力学入門**

Introduction to quantum mechanics

2 単位

選択 3セメスター

材料やその利用技術の開発において、原子・分子・電子の挙動を記述する量子力学がその基盤となる。本講義では、量子力学の基本原理を直観的かつ系統的に理解する力を養うことを目的として、粒子性と波動性、シュレーディンガーファンクション、不確定性原理と交換関係、状態の重ね合わせ、水素原子、トンネル効果などの基礎を演習を交えつつ学ぶ。

**電磁気学**

Electromagnetism

2 単位

選択 3セメスター

現代では様々な用途に応じ多様な機能を発現する電気・電子製品が開発され、私たちの社会生活を豊かにしている。本講義では、物理学、化学の基礎であり、技術開発の基礎となる電磁気学について理解することを目的とし、静電気、導体、誘電体、定常電流、電流と磁界、電磁誘導、磁性体、電磁波などについて解説する。

**物性学基礎**

Introduction to Solid State Physics

1 単位

選択 4セメスター

電子物性を利用した材料は私たちの日常生活を豊かにしている。今後も飛躍的な発展が期待される。本講義では、これら材料の多様な電子物性を理解するために必須の古典統計および量子統計の基礎を解説する。この中で、電子の振る舞いの統計力学的な取り扱いを応用例も含めて講義する。なお、本講義は次年度で講義される固体物性論の基礎として位置づけられる。

**結晶回折学**

Diffraction and Crystallography

1 単位

選択 4セメスター

結晶の分類を対象性という観点から説明する。特に、ブラベ格子、基本構造の概念を習得することに重点を置く。次に、波の干渉を散乱現象という立場から説明し、X線等を用いた回折による解析手法を学ぶ。

**固体物性論**

Solid State Physics for Materials Science

2 単位

選択 5セメスター

最近の電子および格子の性質を利用した多様な先端材料が日常生活を豊かにしている。前年度に講義される物性学基礎の知識を踏まえ、本講義ではこれらデバイスに用いられる電子および格子の性質を理解するために、格子振動、電子の自由電子的振舞い、金属および半導体の性質を解説する。

**材料統計力学**

Statistical Mechanics for Materials Scientists

2 単位

選択 4セメスター

本講義の目的は(1)材料組織学などの基礎となる熱力学を統計力学的見地から学ぶこと、(2)固体物理の基礎となる量子統計とその応用方法を理解することの2点である。そのため固有状態の概念および先駆的等確率の原理から出発し温度とエントロピーの概念を導き、必然的な結果として熱力学第2法則を得る。次にアンサンブルと分配関数の考え方方に立脚し、古典的にはボルツマン分布を量子統計の立場からポース・アインシュタインおよびフェルミ・ディラック分布関数を求める。これらの応用例として磁性、化学平衡、固体の振動、自由電子論等に触れる。

**表面・界面の物理学**

Surface and Interface Physics

2 単位

選択 6セメスター

近年多くの工業製品に固体や液体の表面・界面現象が利用されている。この講義では、表面・界面の物理について基礎的な解説を行う。取り上げるのは、表面の熱力学、表面張力、ぬれ、気体の吸着、表面の構造と電子状態、表面からの電子・原子・イオン・光放出、薄膜成長、及び固体の表面・界面に特有の分析法の基礎原理等について述べる。

**材料力学**

Mechanics of Materials

2 単位

選択 3セメスター

本講義は、機械・構造物の設計を合理的に行うため、部材が外力の作用を受ける場合の強さ、剛性、安定性に関する固体系力学の基礎的事項を学習するもので、次の内容からなる。1. 応力とひずみ、引張り・圧縮・せん断 2. 組合せ応力、3. 軸のねじり 4. はりの曲げ(せん断力と曲げモーメント、応力、変形)

教科書:「材料力学」加藤正名、阿部博之、坂真澄、倉茂道夫、伊藤耿一、進藤裕英共著(朝倉書店)

**伝熱・流体の力学**

Heat Transfer and Mechanics of Fluid

2 単位

選択 4セメスター

物質に熱や力を加えることは、材料および素材の製造に不可欠な基本プロセスの一つである。本講義では、材料製造プロセスや材料加工プロセスにおいて現れる熱の移動や流体の流れに関して、連続体モデルの立場から基本となる物理法則を解説するとともに、伝熱・流体の力学の解析的手法について、例題を用いながら具体的に解説する。

|  |                   |  |                   |
|--|-------------------|--|-------------------|
| <b>材料システム力学</b><br>Mechanics of Material Systems   | 2 単位<br>選択 5セメスター | <b>鉄鋼製鍊学</b><br>Ferrous Process Metallurgy | 2 単位<br>選択 5セメスター |
| 材料力学に引き続いて、コンピュータを用いた材料システム設計のための線形弾性論および複合材料力学の基礎的事項について解説する。主な内容は、1. 不静定はり 2. ひずみエネルギーとエネルギー法 3. 柱の圧縮 4. 応力と平衡方程式 5. 変形とひずみ 6. Hooke の法則と弾性基礎式 7. 弹性解析の基礎(応力・変形と数理解析) 8. 複合材料棒・平板の力学(弾性係数、強度、複合則、直交異方性板、積層板) 等である。 |                   |  |                   |

教科書：「線形弾性論の基礎」進藤裕英著（コロナ社）

|  |                   |   |                   |
|--|-------------------|---|-------------------|
| <b>接合工学</b><br>Welding and Joining Engineering   | 2 単位<br>選択 5セメスター | <b>環境材料プロセス学</b><br>Ecomaterial Process | 2 単位<br>選択 5セメスター |
| 宇宙ロケットから電子製品にいたる多くの工業製品は接合によって組み立てられており、接合プロセスは工業生産活動の重要な位置を占める。この授業では、材料から製品を製造するための材料加工プロセスにおける接合工学の基礎を理解することを目的として、接合方法の分類と原理、溶融接合、液相・固相接合、固相接合、組織と欠陥、熱変形と残留応力などについて解説する。 |                   |   |                   |

|   |                   |   |                   |
|---|-------------------|---|-------------------|
| <b>移動現象論</b><br>Transport Phenomena   | 2 単位<br>選択 6セメスター | <b>塑性加工学</b><br>Deformation Processing of Materials | 2 単位<br>選択 6セメスター |
| 移動現象は運動量移動(流体の流れ)、熱移動、物質移動からなり、材料製造プロセスの効率に関わる重要な現象である。本講ではこの現象に関する基礎的事項について解説する。主な内容は、1. プロセス内移動現象とその役割、2. 移動現象の基礎式と現象間の類似性、3. 次元解析と無次元数、4. 収支式と微分方程式、5. 流れ場における移動現象の解析。 |                   |   |                   |

|   |                   |   |                   |
|---|-------------------|---|-------------------|
| <b>材料分析科学</b><br>Analytical Science for Materials Research  | 2 単位<br>選択 5セメスター | <b>素形材工学</b><br>Material Forming Technology | 2 単位<br>選択 5セメスター |
| 材料開発・評価に必要な分析方法に関してその原理および応用を解説する。講義前半は、原子分光法をはじめとするスペクトロメトリの理解のために必要とされる、原子の電子構造とエネルギー準位、光・電子・イオンと物質の相互作用、励起・電離現象の基礎について説明する。講義後半は、現在最も広範に使用されているプラズマ発光分析法について装置、試料処理等を解説し、さらにイオン質量分析法や電子分光法に関するも言及する。 |                   |   |                   |

|  |                   |  |                   |
|--|-------------------|--|-------------------|
| <b>材料解析学</b><br>Microanalysis by Energetic Beams   | 1 単位<br>選択 6セメスター | <b>材料計測評価学</b><br>Materials Evaluation | 2 単位<br>選択 6セメスター |
| 透過電子顕微鏡ならびに走査電子顕微鏡による像形成の基本理論を学ぶとともに、X線エネルギー分散分光法(EDS)、X線波長分散分光法(WDS)による組成分析法の原理を学ぶ。さらに、オージェ電子分光(AES)、二次イオン質量分析(SIMS)、ラザフォード後方散乱法(RBS)などの深さ方向の組成分析法の原理についても学ぶ。 |                   |  |                   |

|   |                   |  |                     |
|---|-------------------|--|---------------------|
| <b>非鉄金属製鍊学</b><br>Non-ferrous Metallurgy  | 2 単位<br>選択 6セメスター | <b>構造材料学</b><br>Structural Materials   | 2 単位<br>選択 6セメスター   |
| 主要な工業材料である、銅、亜鉛、アルミニウム、チタン、シリコン、レアメタル等のいわゆる非鉄金属は、鉱石から様々な製鍊プロセスによって製造され、さらに精錬工程を経て実用材料となる。この様な製・精錬プロセスは緻密な熱力学的基礎の上に築かれている。そこで、これら個々の材料に特有なプロセスの実際を解説すると共に、それらを構成する種々の反応における熱力学的な特徴および解析法を講義する。                                       |                   |  |                     |
| <b>材料破壊力学</b><br>Fundamentals of Fracture Mechanics   | 1 単位<br>選択 6セメスター | <b>電子材料学</b><br>Electronics Materials  | 2 単位<br>選択 6セメスター   |
| 金属材料やセラミックスおよび溶接構造物の破壊強度を定量的に取り扱う方法として破壊力学の基礎を解説する。<br>1. 構造物中の欠陥および破損の様式<br>2. 線形弾性破壊力学<br>3. 破壊じん性値の評価法<br>4. 新素材と破壊力学  |                   |  |                     |
| <b>磁性材料学</b><br>Magnetic Materials  | 2 単位<br>選択 6セメスター | <b>セラミックス材料学</b><br>Ceramics Materials   | 2 単位<br>選択 6セメスター   |
| 私たちの身の回りには非常に多くの磁性材料が使われている。例えば、パソコンに欠かせないハードディスク、電力を送るために欠かせない電力用トランス、モータやスピーカに欠かせない永久磁石などはその一例である。本講義では磁性の本質を理解し、それがどのような材料やデバイスとなり社会に利用されているのかを理解することを目的としている。そのため、磁性をもたらす物理的な起源、様々な磁性（磁気的性質）とその特徴、およびいろいろな磁性材料とその応用について解説する。    |                   |  |                     |
| <b>腐食・防食学</b><br>Corrosion and Protection of Materials  | 1 単位<br>選択 6セメスター | <b>コンピュータ演習</b><br>Computer Programming Exercises                                | 1 単位<br>必修 4セメスター   |
| 腐食とは、材料が環境との間の化学的および電気化学的相互作用によって劣化し、本来の機能を失う現象である。腐食の現象や形態は多種多様であるが、その機構を理解した上で適切な防食対策を施すことで防止することができる。これは大きな経済効果をもたらすのみならず環境負荷の低減にも繋がる。ここでは腐食および防食の基礎知識を修得するために、以下の項目について学ぶ。<br>1. 腐食の電気化学的機構、2. 不働態、3. 腐食の現象と形態、4. 耐食材料、5. 防食方法。 |                   |  |                     |
| <b>基礎電気工学</b><br>Fundamentals of Electrical Engineering   | 1 単位<br>選択 3セメスター | <b>材料科学総合学特別講義 I</b><br>Special Lectures for Materials Science and Engineering I | 1 単位<br>選択 5・6セメスター |
| 種々の電気機器を利用する上で、また工学における各種物理・化学計測を行う上で必要となる電気工学の基礎知識を学ぶ。実体の見えない電気を扱うために、電気的な現象や効果を説明する基礎理論を学び、具体的な演習問題を解きながら、電気工学のイメージを把握し理論の使用法を身につける。  |                   |  |                     |

**材料学計画及び製図**

Engineering Materials Design and Drawings

2 単位

必修 4セメスター

機械設計および製図の基本的事項の習得を目的とする。はじめに、図学の基本を講義し、エンジニアに求められる図面の読み方・書き方を習得する。次に、機械要素の中でも比較的簡単な軸および軸継ぎ手と、応用として手巻きワインチを取り上げ、それぞれについて構造・強度設計の講義を行った後、材料力学の演習を兼ね、それぞれの設計演習とその製図を行う。CADについてもその概要についての知識を取得する。

**材料科学総合学基盤研修**

Seminar

2 単位

必修 7・8セメスター

本研修は各研究室が担当する講演会と、各自が外国語文献を読んで紹介する、いわゆる雑誌会とで構成される。これによって、発表や討論の方法および聴く態度を修得するとともに必要な工学倫理や人類への福祉などの知識・情報を自ら获取し、講演・論文の主旨や問題点を正しく把握する能力を養成し、コース研修で養うべき能力について理解する。

**材料科学総合学実験**

Materials Science and Engineering Laboratories

6 単位

必修 5・6セメスター

実験結果のまとめ方、結果の論理的考察、報告書の書き方および実験安全知識などについて講義し、材料に関する実験を通して、背景にある理論、原理を実践的に理解する。講義項目は安全教育および実験結果のまとめ方である。実験は、材料の物理化学、材料の性質、材料の製造および加工、材料の分析・解析法の項目について行う。

**材料科学総合学卒業研修**

Bachelor Thesis Research

6 単位

必修 7・8セメスター

**材料科学総合学卒業研修**

Bachelor Thesis Research

卒業研修は研究室で行う卒業研究であり、研究の背景・意義を理解し、実験、理論・数値解析等を各自が実際にに行うことを通じて、ある問題を明確あるいは解決しそれを更に発展させる手法を修得することを目的としている。

配属研究室は6セメスター終了後に決定され、研究課題は一般には指導教官が提示するものの中から選ばれる。研修成果は卒業論文としてまとめて提出し、発表する。

**材料科学総合学特別講義 II**

Special Lectures for Materials Science and Engineering II

単位

随時開催する特別講義である。内容によって単位を与える。

**マテリアルズサイエンス アンド エンジニアリング B**

2 単位

5セメスター

"Materials Science and Engineering B" is a half year class to learn the fundamentals of the "Materials Processing" based on the high temperature physical chemistry and process engineering. This class basically consists of three parts as thermodynamics for materials processing, ferrous and process metallurgy (ferrous and non-ferrous metallurgy), and electrochemistry in materials processing. Students can study fundamentals and latest topics in the area of materials processing and engineering. The grade of student will be evaluated with the score of home work, class participation, exercise during the class and the final examination.

**インターンシップ**

Internship

2 単位

5又は6セメスター

企業の生産現場あるいはそれに近い研究所に数週間滞在し、大学での講義や実験では得られない実践的な知識や技術を学ぶとともに、将来職業人として必要な工学倫理や人類への福祉など周辺知識を身につける。終了後にレポートを提出する。

**Developing and****Expressing Ideas in English**

1 単位

6セメスター

Improve all of your English skills and be a better communicator, a better listener, a faster reader and a better writer. We will use interesting and accessible TED talks presentations on topics of interest as homework material, and some interesting articles as well. Learn how to improve your reading speed and some other strategies for handling the TOEIC test and improving your score. Idea development and discussion skills will be given special attention.

Assessment will be based on a demonstrated improvement in ability in the coursework, and the ability to manipulate the content of the course in the test.

**工場見学**

Plant Visits

関東地区、中京地区、関西地区などの諸工場を見学する。

# 5. 建築・社会環境工学科

(Department of Civil Engineering and Architecture)

社会基盤デザインコース (Infrastructural Engineering)

水環境デザインコース (Water and Environmental Studies)

都市システム計画コース (Transportation and Urban Planning)

都市・建築デザインコース (Architectural Design)

都市・建築学コース (Architectural Engineering)

## 授業科目表及び履修方法等

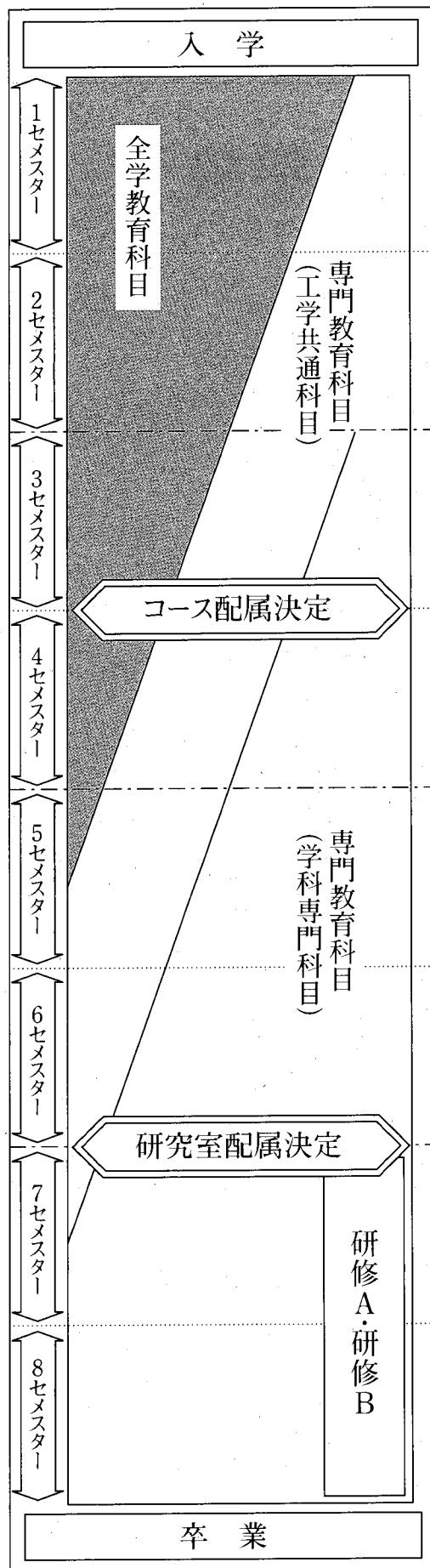
- 全学教育科目

- 専門教育科目

## 専門教育科目授業要旨

建築・  
社会環境  
工学科

## 建築・社会環境工学科 卒業までの履修過程



### 【卒業要件科目について】

全学教育科目：81～83ページを参照。

工学部専門教育科目：84～91ページを参照。

### 【コース配属条件】

- コース配属の条件を3セメスター終了時点で設けています。  
(詳細は後述。)

### 【コース配属決定】

- コース配属は学生の希望を基に、コース配属条件に含まれる全ての科目の成績及び取得総単位数を考慮して決定します。
- コース配属希望調書は3セメスター最初のガイダンス時に配布しますので、決められた期間内に希望調書を提出して下さい。
- コースごとに専門教育科目の卒業要件科目が異なりますので注意してください。
- 4セメスターの最初に配属されたコースごとにガイダンスを実施します。

### 【研究室配属条件】

- 研究室配属を受け、7セメスター以降の研修等を履修するための条件を6セメスターの終了時点で設けています。  
(詳細は後述)

### 【研究室配属決定】

- 具体的な研究室の配属方法はコースにより異なりますので、6セメスター中の掲示等に注意して下さい。

## 授業科目表および履修要件等

### 全学教育科目

| 類                  | 群    | 科 目 名      | 単位数 | 開講セメスター<br>週当たり授業時間数 |   |      |   | 建築・社会環境工学科<br>履修要件<br>(詳細は後述)            |  |
|--------------------|------|------------|-----|----------------------|---|------|---|--|--|
|                    |      |            |     | 1 年次                 |   | 2 年次 |   |  |  |
|                    |      |            |     | 1                    | 2 | 3    | 4 |  |  |
| 基<br>幹<br>科<br>目   | 人間論  | 思想と倫理の世界   | 2   | *                    | 2 |      |   | 選択必修<br>(左記の中から 1 科目 2 単位<br>以上を修得すること。) |  |
|                    |      | 文学の世界      | 2   | *                    | 2 |      |   |  |  |
|                    |      | 言語表現の世界    | 2   | *                    | 2 |      |   |  |  |
|                    |      | 芸術の世界      | 2   | *                    | 2 |      |   |  |  |
|                    |      | 人間と文化      | 2   | *                    | 2 |      |   |  |  |
|                    | 社会論  | 歴史と人間社会    | 2   | *                    | 2 |      |   | 選択必修<br>(左記の中から 1 科目 2 単位<br>以上を修得すること。) |  |
|                    |      | 経済と社会      | 2   | *                    | 2 |      |   |  |  |
|                    |      | 法・政治と社会    | 2   | *                    | 2 |      |   |  |  |
|                    |      | 社会の構造      | 2   | *                    | 2 |      |   |  |  |
|                    |      | ジェンダーと人間社会 | 2   | *                    | 2 |      |   |  |  |
| 展<br>開<br>科<br>目   | 自然論  | 自然界の構造     | 2   | *                    | 2 |      |   | 選択必修<br>(左記の中から 1 科目 2 単位<br>以上を修得すること。) |  |
|                    |      | 科学技術とエネルギー | 2   | *                    | 2 |      |   |  |  |
|                    |      | 生命と自然      | 2   | *                    | 2 |      |   |  |  |
|                    |      | 自然と環境      | 2   | *                    | 2 |      |   |  |  |
|                    |      | 科学と情報      | 2   | *                    | 2 |      |   |  |  |
|                    | 人文科学 | 論理学        | 2   |                      |   | *    | 2 | 選択必修<br>(左記の中から 1 科目 2 単位<br>以上を修得すること。) |  |
|                    |      | 哲学・倫理学     | 2   |                      |   | *    | 2 |  |  |
|                    |      | 文学         | 2   |                      |   | *    | 2 |  |  |
|                    |      | 宗教学        | 2   |                      |   | *    | 2 |  |  |
|                    |      | 教育学        | 2   |                      |   | *    | 2 |  |  |
| 自<br>然<br>科<br>学   | 社会科学 | 歴史学        | 2   |                      |   | *    | 2 | 選択必修<br>(左記の中から 1 科目 2 単位<br>以上を修得すること。) |  |
|                    |      | 言語学        | 2   |                      |   | *    | 2 |  |  |
|                    |      | 社会学        | 2   |                      |   | *    | 2 |  |  |
|                    |      | 心理学        | 2   |                      |   | *    | 2 |  |  |
|                    |      | 法学         | 2   |                      |   | *    | 2 |  |  |
|                    | 生物学  | 日本国憲法      | 2   |                      |   | *    | 2 | 選択必修<br>(左記の中から 1 科目 2 単位<br>以上を修得すること。) |  |
|                    |      | 政治学        | 2   |                      |   | *    | 2 |  |  |
|                    |      | 経済学        | 2   |                      |   | *    | 2 |  |  |
|                    |      | 文化人類学      | 2   |                      |   | *    | 2 |  |  |
|                    |      | 人文地理学      | 2   |                      |   | *    | 2 |  |  |
| 建築・<br>社会環境<br>工学科 |      |            |     |                      |   |      |   |  |  |

| 類       | 群                   | 科 目 名                      | 単位数 | 開講セメスター<br>週当たり授業時間数 |    |     |                        | 建築・社会環境工学科<br>履修要件<br>(詳細は後述)               |  |
|---------|---------------------|----------------------------|-----|----------------------|----|-----|------------------------|---|--|
|         |                     |                            |     | 1年次                  |    | 2年次 |                        |   |  |
|         |                     |                            |     | 1                    | 2  | 3   | 4                      |   |  |
| 展開科目    | 理科実験                | 自然科学総合実験(※2)               | 2   | 4                    |    |     |                        | 必修  |  |
|         | 総合科目                | 総合科目(※3)                   | 各2  |                      | *2 |     |                        | 選択2   |  |
|         | カレントトピックス科目<br>(※3) | カレントトピックス科目                | 各2  |                      | *2 |     |                        |   |  |
|         | 現代学問論               | 現代学問論                      | 各2  |                      | *2 |     |                        |   |  |
| 共通科目    | 転換・少人数科目            | 基礎ゼミ                       | 2   | 2                    |    |     |                        | 選択2   |  |
|         | 英語                  | 英語A1                       | 1   | 2                    |    |     |                        | 必修  |  |
|         |                     | 英語A2                       | 1   |                      | 2  |     |                        |   |  |
|         |                     | 英語B1                       | 1   | 2                    |    |     |                        | 選択必修(履修方法を確認すること。)                          |  |
|         |                     | 英語B2                       | 1   |                      | 2  |     |                        |   |  |
|         |                     | 英語C1                       | 1   |                      |    | 2   |                        |   |  |
|         |                     | 英語C2                       | 1   |                      |    |     | 2                      |   |  |
|         |                     | Practical English Skills 1 | 1   |                      |    | 2   |                        |   |  |
|         |                     | Practical English Skills 2 | 1   |                      |    |     | 2                      |   |  |
| 外国語     | 初修語                 | 基礎ドイツ語I                    | 2   | 4                    |    |     |                        | 選択必修(左記の中から1<br>外国語を選択し、2科目4単<br>位を修得すること。) |  |
|         |                     | 基礎ドイツ語II                   | 2   |                      | 4  |     |                        |   |  |
|         |                     | 基礎フランス語I                   | 2   | 4                    |    |     |                        |   |  |
|         |                     | 基礎フランス語II                  | 2   |                      | 4  |     |                        |   |  |
|         |                     | 基礎ロシア語I                    | 2   | 4                    |    |     |                        |   |  |
|         |                     | 基礎ロシア語II                   | 2   |                      | 4  |     |                        |   |  |
|         |                     | 基礎スペイン語I                   | 2   | 4                    |    |     |                        |   |  |
|         |                     | 基礎スペイン語II                  | 2   |                      | 4  |     |                        |   |  |
|         |                     | 基礎中国語I                     | 2   | 4                    |    |     |                        |   |  |
|         |                     | 基礎中国語II                    | 2   |                      | 4  |     |                        |   |  |
|         |                     | 基礎朝鮮語I                     | 2   | 4                    |    |     |                        |   |  |
|         |                     | 基礎朝鮮語II                    | 2   |                      | 4  |     |                        |   |  |
| 留学生対象科目 | 情報科目                | 情報基礎A                      | 2   | 2                    |    |     |                        | 自由聴講科目                                      |  |
|         |                     | 情報基礎B                      | 2   | 2                    |    |     |                        | 必修  |  |
|         |                     | 情報基礎C                      | 2   |                      | 2  |     |                        |   |  |
| 保健体育    | 保健体育                | スポーツA                      | 1   |                      | 2  |     |                        | 必修  |  |
|         |                     | スポーツB                      | 1   |                      | 2  |     |                        | 自由聴講科目                                      |  |
|         |                     | 体と健康                       | 2   |                      | 2  |     |                        | 選択2   |  |
| 留学生対象科目 | 日本語A～J              | 各1                         |     | *2                   |    |     | 外国人留学生のための授業科<br>目である。 |   |  |

備考1：上記掲載の全学教育科目は、工学部学生が卒業要件を満たすために必要な授業科目を抜粋して掲載しています。上記掲載以外の全学教育科目は「自由聴講科目」として修得することができる場合があります。

備考2：「開講セメスター週当たり授業時間数」欄の\*印は、いずれか又はそれぞれのセメスターで開講することを示します。上記掲載される開講セメスターより前に他組に開講されるクラスで授業を履修する場合は、先取り履修となります。

※1 「化学B」および「化学C」は、第2セメスターでは履修を指定(自組開講)するクラスの学生のみ履修できます。履修を指定していないクラスの学生は、特別の履修許可が無い限り、第2セメスターにおいて他組履修により第3セメスター開講予定の科目を修得できません。

<参考>

B 4 TB 建築・社会環境工学科(工15・16組)は、第2セメスターに「化学C」、第3セメスターに「化学B」が自組開講となります。

※2 「自然科学総合実験」は、指定(自組開講)するクラスにて履修をして下さい。

<参考>

B 4 TB 建築・社会環境工学科(工15・16組)は、第1セメスターに自組開講となります。  
(工15組は火曜日の履修クラス、工16組は金曜日の履修クラスとなります。)

※3 総合科学群の「総合科目」、「カレントトピックス科目」の開設する授業科目は毎年定めます。全学教育科目の手引きを参照して下さい。

<履修要件（卒業に必要な全学教育科目の修得科目・単位数）>

| 区分   | 授業科目  |  | 修得方法・必要単位数   |
|------|---|--|--|
| 必修   | 自然科学総合実験、情報基礎B<br>スポーツA、解析学A、線形代数学A、物理学A<br>外国語 英語A 1, 英語A 2, 英語B 1, 英語B 2  |  | 左記10科目15単位を修得すること。   |
|      | （「人間論」群）<br>（「社会論」群）<br>（「自然論」群）<br>（「人文科学」群）<br>（「社会科学」群）  |  | 左記の各群において、それぞれ1科目2単位以上、計10単位修得すること。<br>(上記10単位を超える修得単位は、「選択3」として扱う。)   |
| 選択必修 | 英語C 1, 英語C 2<br>外國語 Practical English Skills 1, Practical English Skills 2  |  | 英語C 1と英語C 2<br>英語C 1と Practical English Skills 2<br>Practical English Skills 1と英語C 2<br>Practical English Skills 1と Practical English Skills 2 のいずれかの組み合わせで2単位を修得すること。 |
|      | 「初修語」群（ドイツ語、フランス語、ロシア語、スペイン語、中国語、朝鮮語）   |  | 1外國語選択し、2科目4単位修得すること。  |
| 選択1  | （「数学」群）<br>解析学B、解析学C、解析学D、<br>線形代数学B、数理統計学、<br>（「物理学」群）<br>物理学B、物理学C、物理学D、<br>（「化学」群）<br>化学A、化学B、化学C、<br>（「生物学」群）<br>生命科学A、生命科学B、生命科学C、<br>（「宇宙地球科学」群）<br>地球システム科学、地球物質科学、自然地理学、<br>天文学、地球惑星物理学 |  | 左記の科目の中から、「数学」群より4単位以上、「物理学」群より2単位以上、「化学」群より2単位以上、合計8単位以上修得すること。<br>(上記8単位を超える修得単位および「生物学」群、「宇宙地球科学」群の修得単位は、「選択3」として扱う。)   |
| 選択2  | 「総合科目」、「カレントトピックス科目」、<br>「現代学問論」<br>基礎ゼミ、体と健康   |  | 左記の科目の中から、4単位以上を修得すること。(上記4単位を超える修得単位は、「選択3」として扱う。)  |
| 選択3  | 上記に記す履修しなければならない単位以外に、「選択必修」、「選択1」、「選択2」に示す科目の中から6単位を選択し修得すること。   |  |  |

<外国人留学生の外国語履修について>

留学生対象科目群の授業科目は、外国人留学生が履修する科目で、次のとおりとします。

|        |  |   |   |
|--------|--|---|---|
| 外国語の履修 | (1) 日本人学生と同程度の日本語能力を有する場合 <sup>(*)</sup> | 日本人学生と同様な履修。ただし、初修語として母国語を選択することは出来ません。 |   |
|        | (2) それ以外の場合                              | 母国語が英語の場合                               | 日本語の科目から6単位、英語以外の外国語（ドイツ語、フランス語、ロシア語、スペイン語、中国語、朝鮮語）から4単位、計10単位を修得して下さい。 |
|        |  | 母国語が英語以外の場合                             | 日本語の科目から6単位、英語から4単位（英語A 1, 英語A 2, 英語B 1, 英語B 2）、計10単位を修得して下さい。          |

(\*) 履修登録前にクラス担任と相談のうえ、工学部・工学研究科教務課学部教務係窓口で手続きを行うこと。

<外国語技能検定試験等による単位認定について>

外国語技能検定試験（英検、TOEFL、TOEIC、仏検、独検など）において、所定の認定又は得点を得た者は、本学における外国語科目の履修とみなされ、単位が与えられます。この制度の詳細については、全学教育実施係へ照会して下さい。

専門教育科目

(1) 授業科目表

| 開<br>講<br>学<br>科 | 科 目 名         | 履修セ<br>メス<br>タ<br>ー | 週<br>あ<br>た<br>り<br>時<br>間<br>数 | 単<br>位 | 履修登録制限<br>対象科<br>目 | 分<br>野                                | コ 一 ス               |                    |                     |                          | 履修要件<br><br>※履修要件の詳細は<br>「(2) 卒業に要する<br>最低取得単位数」<br>を参照のこと<br>【左記コース欄】<br>◎：必修<br>★：うち2単位を取得<br>すること<br>①～⑦：選択必修<br>○：選択科目<br>無印：任意聴講科目 |
|------------------|---------------|---------------------|---------------------------------|--------|--------------------|---------------------------------------|---------------------|--------------------|---------------------|--------------------------|---|
|                  |               |                     |                                 |        |                    |                                       | 社会基盤<br>デザイン<br>コース | 水環境<br>デザイン<br>コース | 都市シス<br>テム計画<br>コース | 都市・建<br>築デザ<br>インコ<br>ース |   |
| 工                | 数学物理学演習Ⅰ      | 1                   | 2                               | 1      | ○                  | 工<br>学<br>共<br>通<br>科<br>目            | ○                   | ○                  | ○                   | ○                        |   |
| 工                | 数学物理学演習Ⅱ      | 2                   | 2                               | 1      | ○                  |                                       | ○                   | ○                  | ○                   | ○                        |   |
| 工                | 情報処理演習        | 2                   | 2                               | 1      | ○                  |                                       | ○                   | ○                  | ○                   | ○                        |   |
| 工                | 創造工学研修        | 2                   | 4                               | 2      |                    |                                       | ○                   | ○                  | ○                   | ○                        |   |
| 建                | 基礎設計A         | 3                   | 6                               | 2      |                    |                                       | ★                   | ★                  | ★                   | ★                        | ★   |
| 建                | 基礎設計B         | 3                   | 6                               | 2      |                    |                                       | ★                   | ★                  | ★                   | ★                        | ★   |
| 建                | 空間創造の力学       | 3                   | 3                               | 3      | ○                  |                                       | ○                   | ○                  | ○                   | ○                        | ★基礎設計A、基礎設<br>計Bのうち2単位を<br>取得すること   |
| 建                | 環境学序説         | 3                   | 2                               | 2      | ○                  |                                       | ○                   | ○                  | ○                   | ○                        |   |
| 建                | シビックデザインの力学   | 3                   | 1                               | 1      | ○                  | 学<br>科<br>共<br>通<br>科<br>目            | ○                   | ○                  | ○                   | ○                        |   |
| 建                | 水環境創造のフロンティア  | 3                   | 1                               | 1      | ○                  |                                       | ○                   | ○                  | ○                   | ○                        |   |
| 建                | 都市と交通のシステム    | 3                   | 1                               | 1      | ○                  |                                       | ○                   | ○                  | ○                   | ○                        |   |
| 建                | 都市・建築デザイン     | 3                   | 1                               | 1      | ○                  |                                       | ○                   | ○                  | ○                   | ○                        |   |
| 建                | 都市・建築エンジニアリング | 3                   | 1                               | 1      | ○                  |                                       | ○                   | ○                  | ○                   | ○                        |   |
| 建                | 建築・社会環境工学演習   | 3                   | 2                               | 1      | ○                  |                                       | ○                   | ○                  | ○                   | ○                        |   |
| 建                | 近・現代建築史       | 3                   | 1                               | 1      | ○                  |                                       | ○                   | ○                  | ○                   | ○                        |   |
| 建                | 土木史           | 3                   | 1                               | 1      | ○                  |                                       | ○                   | ○                  | ○                   | ○                        |   |
| 建                | 建築・社会環境工学特別講義 |                     |                                 |        |                    |                                       | ○                   | ○                  | ○                   | ○                        |   |
| 建                | 応用線形代数学       | 4                   | 2                               | 2      | ○                  | 社会<br>環<br>境<br>工<br>学<br>共<br>通<br>A | ①                   | ①                  | ①                   |                          |   |
| 建                | 応用確率統計学       | 4                   | 2                               | 2      | ○                  |                                       | ①                   | ①                  | ①                   |                          |   |
| 建                | 応用解析学         | 5                   | 2                               | 2      | ○                  |                                       | ①                   | ①                  | ①                   |                          |   |
| 建                | コンクリート工学      | 5                   | 2                               | 2      | ○                  |                                       | ①                   | ①                  | ①                   |                          |   |
| 建                | 構造解析学及び同演習    | 4                   | 4                               | 3      | ○                  |                                       | ①                   | ①                  | ①                   |                          |   |
| 建                | 弾性体力学         | 4                   | 2                               | 2      | ○                  |                                       | ①                   | ①                  | ①                   |                          |   |
| 建                | 地盤工学A         | 5                   | 2                               | 2      | ○                  |                                       | ①                   | ①                  | ①                   |                          |   |
| 建                | 地盤工学B         | 6                   | 2                               | 2      | ○                  |                                       | ①                   | ①                  | ①                   |                          |   |
| 建                | 水理学A及び同演習     | 4                   | 4                               | 3      | ○                  |                                       | ①                   | ①                  | ①                   |                          |   |
| 建                | 水理学B及び同演習     | 5                   | 4                               | 3      | ○                  |                                       | ①                   | ①                  | ①                   |                          |   |
| 建                | 水質工学          | 4                   | 2                               | 2      | ○                  |                                       | ①                   | ①                  | ①                   |                          |   |
| 建                | 環境計画          | 5                   | 2                               | 2      | ○                  |                                       | ①                   | ①                  | ①                   |                          |   |
| 建                | 土木計画学         | 4                   | 2                               | 2      | ○                  |                                       | ①                   | ①                  | ①                   |                          |   |

| 開<br>講<br>学<br>科 | 科<br>目<br>名      | 履<br>修<br>セ<br>メ<br>ス<br>タ<br>ー<br>ト | 週<br>あ<br>た<br>り<br>時<br>間<br>数 | 単<br>位<br>数 | 履<br>修<br>登<br>録<br>制<br>限 | 対<br>象<br>科<br>目 | 分<br>野                                | コ<br>ー<br>ス |            |             | 履修要件 |
|------------------|------------------|--------------------------------------|---------------------------------|-------------|----------------------------|------------------|---------------------------------------|-------------|------------|-------------|------|
|                  |                  |                                      |                                 |             |                            |                  |                                       | 社会基盤デザインコース | 水環境デザインコース | 都市システム計画コース |      |
| 建                | 交通計画A            |                                      | 5                               | 2           | 2                          | ○                |                                       | ①           | ①          | ①           |      |
| 建                | 計画数理及び同演習        |                                      | 6                               | 4           | 3                          | ○                | 社会<br>環<br>境<br>通<br>工<br>學<br>A      | ①           | ①          | ①           |      |
| 建                | 社会環境工学実験         |                                      | 5                               | 3           | 1                          |                  |                                       | ○           | ○          | ○           |      |
| 建                | 測量学及び同実習         |                                      | 5                               | 4           | 2                          |                  |                                       | ○           | ○          | ○           |      |
| 建                | 工学倫理（建築・社会環境工学科） |                                      | 7                               | 1           | 1                          |                  |                                       | ○           | ○          | ○           |      |
| 建                | 景観・デザイン演習        |                                      | 4                               | 4           | 2                          | ○                |                                       | ②           | ②          | ②           |      |
| 建                | 応用情報処理演習A        |                                      | 4                               | 2           | 1                          | ○                | 社会<br>環<br>境<br>工<br>學<br>共<br>通<br>B | ②           | ②          | ②           |      |
| 建                | 応用情報処理演習B        |                                      | 5                               | 2           | 1                          | ○                |                                       | ②           | ②          | ②           |      |
| 建                | インターンシップA        |                                      | 5                               | 1           | 1                          |                  |                                       | ②           | ②          | ②           |      |
| 建                | 社会環境整備プロジェクト     |                                      | 5                               | 2           | 2                          | ○                |                                       | ②           | ②          | ②           |      |
| 建                | 学外見学             |                                      | 7                               | 1           | 1                          |                  |                                       | ②           | ②          | ②           |      |
| 建                | 計算力学及び同演習        |                                      | 5                               | 4           | 3                          | ○                |                                       | ②           | ○          | ○           |      |
| 建                | コンクリート構造工学       |                                      | 6                               | 2           | 2                          | ○                |                                       | ②           | ○          | ②           |      |
| 建                | 構造安定論            |                                      | 6                               | 2           | 2                          | ○                | 社会<br>基<br>盤<br>テ<br>ザ<br>イ<br>ン      | ②           | ○          | ○           |      |
| 建                | 耐震工学             |                                      | 6                               | 2           | 2                          | ○                |                                       | ②           | ○          | ○           |      |
| 建                | 橋梁と鋼構造           |                                      | 6                               | 2           | 2                          | ○                |                                       | ②           | ○          | ○           |      |
| 建                | 振動解析学            |                                      | 6                               | 2           | 2                          | ○                |                                       | ②           | ②          | ○           |      |
| 建                | 社会基盤デザイン演習I      |                                      | 6                               | 2           | 1                          | ○                |                                       | ○           | ○          | ○           |      |
| 建                | 社会基盤デザイン演習II     |                                      | 7                               | 4           | 2                          | ○                |                                       | ○           | ○          | ○           |      |
| 建                | 水道工学             |                                      | 5                               | 2           | 2                          | ○                |                                       | ○           | ②          | ○           |      |
| 建                | 基礎生態工学           |                                      | 6                               | 2           | 2                          | ○                |                                       | ○           | ②          | ②           |      |
| 建                | 環境保全工学           |                                      | 6                               | 2           | 2                          | ○                | 水<br>環<br>境<br>テ<br>ザ<br>イ<br>ン       | ○           | ②          | ○           |      |
| 建                | 地球環境学            |                                      | 5                               | 2           | 2                          | ○                |                                       | ②           | ②          | ○           |      |
| 建                | 陸水の運動学           |                                      | 6                               | 2           | 2                          | ○                |                                       | ○           | ②          | ○           |      |
| 建                | 沿岸海洋環境工学         |                                      | 6                               | 2           | 2                          | ○                |                                       | ○           | ②          | ○           |      |
| 建                | 水環境デザイン演習I       |                                      | 6                               | 2           | 1                          | ○                |                                       | ○           | ○          | ○           |      |
| 建                | 水環境デザイン演習II      |                                      | 7                               | 4           | 2                          | ○                |                                       | ○           | ○          | ○           |      |
| 建                | ミクロ経済学           |                                      | 5                               | 2           | 2                          | ○                | 都<br>市<br>シ<br>ス<br>ト<br>ム<br>論       | ○           | ○          | ②           |      |
| 建                | システムズ・アナリシス      |                                      | 5                               | 2           | 2                          | ○                |                                       | ○           | ○          | ②           |      |

建築・  
社会環境  
工学科

### 履修要件②

※この他に、工学共通科目の  
「工学英語（クラスA）」が  
選択必修②となっている  
コースがあるので注意すること

| 開<br>講<br>学<br>科 | 科<br>目<br>名  | 履<br>修<br>セ<br>メ<br>ス<br>タ<br>ー | 週<br>あ<br>た<br>り | 単<br>位 | 履<br>修<br>登<br>録<br>制<br>限 | 対<br>象<br>科<br>目 | 分<br>野   | コ<br>ー<br>ス |            |             | 履修要件  |
|------------------|--------------|---------------------------------|------------------|--------|----------------------------|------------------|----------|-------------|------------|-------------|-------|
|                  |              |                                 |                  |        |                            |                  |          | 社会基盤デザインコース | 水環境デザインコース | 都市システム計画コース |       |
| 建                | 交通計画B        |                                 | 6                | 2      | 2                          | ○                | 都市システム計画 | ○           | ○          | ②           |       |
| 建                | 都市計量解析       |                                 | 6                | 2      | 2                          | ○                | 都市システム計画 | ○           | ○          | ②           |       |
| 建                | 地域・都市計画      |                                 | 6                | 2      | 2                          | ○                | 都市システム計画 | ②           | ②          | ②           | 履修要件② |
| 建                | 都市システム計画演習Ⅰ  |                                 | 6                | 2      | 1                          | ○                | 都市システム計画 | ○           | ○          | ○           |       |
| 建                | 都市システム計画演習Ⅱ  |                                 | 7                | 4      | 2                          | ○                | 都市システム計画 | ○           | ○          | ○           |       |
| 建                | 建築設計AⅠ       |                                 | 4                | 6      | 2                          |                  | 建築設計     |             |            | ◎           | ◎     |
| 建                | 建築設計AⅡ       |                                 | 4                | 6      | 2                          |                  | 建築設計     |             |            | ◎           | ◎     |
| 建                | 建築計画基礎論      |                                 | 4                | 2      | 2                          | ○                | 建築設計     |             |            | ◎           | ◎     |
| 建                | 建築設計BⅠ       |                                 | 5                | 6      | 2                          |                  | 建築設計     |             |            | ◎           | ③     |
| 建                | 建築設計BⅡ       |                                 | 5                | 6      | 2                          |                  | 建築設計     |             |            | ◎           | ③     |
| 建                | 施設設計論        |                                 | 5                | 2      | 2                          | ○                | 建築設計     |             |            | ③           | ③     |
| 建                | アート演習        |                                 | 5                | 2      | 1                          | ○                | 建築設計     |             |            | ③           | ③     |
| 建                | 建築設計CⅠ       |                                 | 6                | 6      | 2                          |                  | 建築設計     |             |            | ◎           | ③     |
| 建                | 建築設計CⅡ       |                                 | 6                | 6      | 2                          |                  | 建築設計     |             |            | ◎           | ③     |
| 建                | 現代建築理論       |                                 | 6                | 2      | 2                          | ○                | 建築設計     |             |            | ③           | ○     |
| 建                | 建築職能論        |                                 | 6                | 1      | 1                          | ○                | 建築設計     |             |            | ③           | ③     |
| 建                | 建築設計D        |                                 | 7                | 6      | 2                          |                  | 建築設計     |             |            | ③           | ○     |
| 建                | プロジェクトマネジメント |                                 | 7                | 1      | 1                          | ○                | 建築設計     |             |            | ③           | ○     |
| 建                | 建築環境工学基礎     |                                 | 4                | 2      | 2                          | ○                | 建築環境     |             |            | ◎           | ◎     |
| 建                | 建築設備         |                                 | 4                | 2      | 2                          | ○                | 建築環境     |             |            | ◎           | ◎     |
| 建                | 建築熱・空気環境     |                                 | 5                | 3      | 3                          | ○                | 建築環境     |             |            | ④           | ④     |
| 建                | 建築音・光環境      |                                 | 5                | 2      | 2                          | ○                | 建築環境     |             |            | ④           | ④     |
| 建                | 都市環境工学       |                                 | 6                | 2      | 2                          | ○                | 建築環境     |             |            | ④           | ④     |
| 建                | 建築環境デザイン     |                                 | 7                | 1      | 1                          | ○                | 建築環境     |             |            | ④           | ④     |

建築・  
社会環境  
工学科

| 開<br>講<br>学<br>科 | 科<br>目<br>名     | 履<br>修<br>セ<br>メ<br>ス<br>タ<br>ー<br>1 | 週<br>あ<br>た<br>り<br>時<br>間<br>数 | 单<br>位<br>数 | 履<br>修<br>登<br>録<br>制<br>限<br>対<br>象<br>科<br>目 | 分<br>野 | コ<br>ー<br>ス |            | 都<br>市<br>・<br>建<br>築<br>学<br>科<br>ー<br>ス | 都<br>市<br>・<br>建<br>築<br>学<br>科<br>ー<br>ス | 履修要件  |
|------------------|-----------------|--------------------------------------|---------------------------------|-------------|--|--------|-------------|------------|---|---|-------|
|                  |                 |                                      |                                 |             |  |        | 社会基盤デザインコース | 水環境デザインコース |   |   |       |
| 建                | 建築構造の力学         | 4                                    | 3                               | 3           | ○  |        |             |            | ○   | ○   |       |
| 建                | 建築構造デザイン        | 4                                    | 2                               | 2           | ○  |        |             |            | ⑤   | ⑤   |       |
| 建                | 地盤と都市・建築        | 5                                    | 3                               | 3           | ○  |        |             |            | ⑤   | ⑤   |       |
| 建                | 建築鉄骨構造          | 5                                    | 3                               | 3           | ○  |        |             |            | ○   | ○   |       |
| 建                | 建築骨組解析          | 5                                    | 2                               | 2           | ○  |        |             |            | ○   | ⑤   |       |
| 建                | 地震と建築           | 5                                    | 2                               | 2           | ○  |        |             |            | ⑤   | ⑤   | 履修要件⑤ |
| 建                | 鉄筋コンクリート構造      | 6                                    | 3                               | 3           | ○  |        |             |            | ○   | ○   |       |
| 建                | 構造動力学           | 7                                    | 2                               | 2           | ○  |        |             |            | ○   | ⑤   |       |
| 建                | 鉄筋コンクリート構造の設計   | 7                                    | 2                               | 2           | ○  |        |             |            | ○   | ⑤   |       |
| 建                | 建築鉄骨構造の設計       | 6                                    | 2                               | 2           | ○  |        |             |            | ○   | ⑤   |       |
| 建                | 建築構造解析学         | 6                                    | 2                               | 2           | ○  |        |             |            | ⑤   | ⑤   |       |
| 建                | 建築材料基礎論         | 4                                    | 2                               | 2           | ○  |        |             |            | ○   | ○   |       |
| 建                | 建築材料学演習         | 5                                    | 4                               | 2           | ○  |        |             |            | ⑥   | ⑥   |       |
| 建                | 建築性能論           | 6                                    | 2                               | 2           | ○  |        |             |            | ⑥   | ⑥   | 履修要件⑥ |
| 建                | 建築施工            | 6                                    | 2                               | 2           | ○  |        |             |            | ○   | ○   |       |
| 建                | サステナブル・エンジニアリング | 6                                    | 2                               | 2           | ○  |        |             |            | ⑥   | ⑥   |       |
| 建                | 西洋建築史           | 4                                    | 2                               | 2           | ○  |        |             |            | ⑦   | ⑦   |       |
| 建                | 日本建築史           | 5                                    | 2                               | 2           | ○  |        |             |            | ○   | ○   |       |
| 建                | インターナシップB       | 5                                    | 4                               | 2           | ○  |        |             |            | ⑦   | ⑦   |       |
| 建                | 都市計画            | 5                                    | 2                               | 2           | ○  |        |             |            | ○   | ⑦   |       |
| 建                | 居住計画論           | 6                                    | 2                               | 2           | ○  |        |             |            | ⑦   | ⑦   |       |
| 建                | 防災・復興空間論        | 6                                    | 2                               | 2           | ○  |        |             |            | ⑦   | ⑦   | 履修要件⑦ |
| 建                | 雪と建築            | 6                                    | 1                               | 1           | ○  |        |             |            | ⑦   | ⑦   |       |
| 建                | 風と建築            | 6                                    | 1                               | 1           | ○  |        |             |            | ⑦   | ⑦   |       |
| 建                | 空間論             | 6                                    | 1                               | 1           | ○  |        |             |            | ⑦   | ⑦   |       |
| 建                | 建築法規            | 6                                    | 1                               | 1           | ○  |        |             |            | ○   | ○   |       |
| 建                | 建築統計解析          | 6                                    | 2                               | 2           | ○  |        |             |            | ⑦   | ⑦   |       |

| 開<br>講<br>学<br>科 | 科<br>目<br>名   | 履<br>修<br>セ<br>メ<br>ス<br>タ<br>ー | 週<br>あ<br>た<br>り | 単<br>位 | 履<br>修<br>登<br>録<br>制<br>限<br>対<br>象<br>科<br>目 | 分<br>野 | コ<br>ー<br>ス |            |             | 履修要件      |                                   |
|------------------|---------------|---------------------------------|------------------|--------|--|--------|-------------|------------|-------------|-----------|-----------------------------------|
|                  |               |                                 |                  |        |  |        | 社会基盤デザインコース | 水環境デザインコース | 都市システム計画コース | 都市・建築学コース |                                   |
| 工                | 工学倫理          | 5or7                            |                  | 1      | ○  |        |             | ○          | ○           | ○         | ※工学英語が、選択必修2となっているコースがあるので、注意すること |
| 工                | 工学英語          | 6                               | 2                | 2      | ○  |        | ②           | ②          | ②           | ○         | ○                                 |
| 工                | 知的財産権入門       | 7                               | 1                | 1      | ○  |        | ○           | ○          | ○           | ○         | ○                                 |
| 工                | 技術・社会システム論    | 7                               | 2                | 2      | ○  |        | ○           | ○          | ○           | ○         | ○                                 |
| 工                | 機械工学概論        | 7                               | 2                | 2      | ○  | 工学共通科目 | ○           | ○          | ○           | ○         | ○                                 |
| 工                | 電子工学概論        | 7                               | 2                | 2      | ○  |        | ○           | ○          | ○           | ○         | ○                                 |
| 工                | 工業化学概論        | 7                               | 2                | 2      | ○  |        | ○           | ○          | ○           | ○         | ○                                 |
| 工                | 材料理工学概論       | 7                               | 2                | 2      | ○  |        | ○           | ○          | ○           | ○         | ○                                 |
| 工                | 生体医工学入門       | 7                               | 2                | 2      | ○  |        | ○           | ○          | ○           | ○         | ○                                 |
| 工                | 国際工学研修 I ~ IV |                                 |                  | 0.5~2  |  |        | ○           | ○          | ○           | ○         | ※単位の認定ルールについては(注2)を参照のこと          |
| 工                | 工学教育院特別講義     |                                 |                  | 1~2    |  |        | ○           | ○          | ○           | ○         | ※受講及び単位の認定方法については(注3)を参照のこと       |
| 建                | 社会基盤デザイン研修A   | 7                               | 2                | 1      |  |        | ◎           |            |             |           |                                   |
| 建                | 社会基盤デザイン研修B   | 8                               | 12               | 6      |  |        | ◎           |            |             |           |                                   |
| 建                | 水環境デザイン研修A    | 7                               | 2                | 1      |  |        | ◎           |            |             |           |                                   |
| 建                | 水環境デザイン研修B    | 8                               | 12               | 6      |  |        | ◎           |            |             |           |                                   |
| 建                | 都市システム計画研修A   | 7                               | 2                | 1      |  |        | ◎           |            |             |           |                                   |
| 建                | 都市システム計画研修B   | 8                               | 12               | 6      |  |        | ◎           |            |             |           |                                   |
| 建                | 都市・建築デザイン研修A  | 7                               | 10               | 5      |  |        |             | ◎          |             |           | ※受講方法については(注4)を参照のこと              |
| 建                | 都市・建築デザイン研修B  | 8                               | 10               | 5      |  |        |             | ◎          |             |           | ※受講方法については(注4)を参照のこと              |
| 建                | 都市・建築学研修A     | 7                               | 10               | 5      |  |        |             |            | ◎           |           | ※受講方法については(注4)を参照のこと              |
| 建                | 都市・建築学研修B     | 8                               | 10               | 5      |  |        |             |            | ◎           |           | ※受講方法については(注4)を参照のこと              |

(注1) 工学英語は、以下のクラスに分かれて受講すること。  
 社会基盤デザイン、水環境デザイン及び都市システム計画の各コースはクラスA  
 都市・建築デザイン及び都市・建築学の各コースはクラスB

(注2) 「国際工学研修」の単位認定の基本ルールは以下のとおりとする。  
 • 授業の一部としてではなく、正課外において海外において活動した場合、事前・事後の学習等も加味し、単位を認定する。  
 • 正規科目として単位認定される科目については、当該専門科目のみの単位とする。  
 • 教務委員会から留学を認められた場合は、期間に応じ単位を認定する。  
 • 「国際工学研修 I ~ IV」のI ~ IV部分については、認定回数ごとに増えていく。最大4回とする。  
 • 単位数については、海外での活動期間により0.5~2単位を認定する。  
 • 協定校または本学が関係するプログラム以外は認めない。

(注3) 工学教育院特別講義は、全講義参加を推奨するが、履修登録をして単位認定が認められるのは2単位までとする。

(注4) 都市・建築デザイン研修A、B及び都市・建築学研修A、Bの履修について  
 研修Iでは研修AとBを通じて卒業論文、研修IIでは研修Aで卒業論文、研修Bで卒業設計、研修IIIでは研修A、Bを通じて卒業設計を履修すること。研修I、II、IIIのどれを何名受け入れるかは所属する研究室によって異なるので、研究室配属のガイダンスと指導に従うこと。

(2) 卒業に要する最低取得単位数

履修要件①～②による卒業に要する最低取得単位数（社会基盤デザイン、水環境デザイン、都市システム計画）

| 種別             | 履修要件  | 科目分野   | コース   |                       |  |
|----------------|-------|--|---|-----------------------|--|
|                |       |  | 社会基盤<br>デザイン                                      | 水環境デザイン               | 都市システム<br>計画   |
| 選択必修<br>科目     | 履修要件① | 社会環境工学共通A<br><br>※工学共通科目の<br>工学英語を含む         | 選択必修①34単位<br>から27単位以上                             | 選択必修①34単位<br>から27単位以上 | 選択必修①34単位<br>から24単位以上<br>但し、※に示す科目群から任意の<br>3科目群以上の取得を含むこと |
|                | 履修要件② | 社会環境工学共通B<br>社会基盤デザイン<br>水環境デザイン<br>都市システム計画 | 選択必修②27単位<br>から16単位以上                             | 選択必修②26単位<br>から16単位以上 | 選択必修②24単位<br>から14単位以上                                      |
| 選択必修科目と選択科目の合計 |       |  | 選択必修①、②の単位と選択科目○の単位を合わせて<br>合計で55単位以上となるように修得すること |                       |  |
| 必修科目           |       |  | 21単位  |                       |  |
| 専門教育科目合計       |       |  | 76単位  |                       |  |

※都市システム計画コースの科目群取得

一つの科目群を取得するとは、その科目群に含まれるすべての科目で単位を取得することを指します

| 科目群     | 科目                | 科目群     | 科目                             |
|---------|-------------------|---------|--------------------------------|
| 材料工学科目群 | コンクリート工学（2）       | 構造工学科目群 | 弾性体力学（2）、構造解析学及び同演習（3）         |
| 地盤工学科目群 | 地盤工学A（2）、地盤工学B（2） | 水理学科目群  | 水理学A及び同演習（3）、水理学B及び同演習（3）      |
| 環境学科目群  | 水質工学（2）、環境計画（2）   | 計画学科目群  | 土木計画学（2）、交通計画A（2）、計画数理及び同演習（3） |

括弧内の数字は単位数です。

履修要件③～⑦による卒業に要する最低取得単位数（都市・建築デザイン、都市・建築学）

| 種別                         | 履修要件     | 科目分野    | 学科共通科目の内、各履修方法の対象となる科目   | コース  |  |
|----------------------------|----------|---------|--|--|--|
|                            |          |         |  | 都市・建築デザイン  | 都市・建築学   |
| 必修<br>及び<br>選択<br>必修<br>科目 | 履修要件③    | 建築設計・計画 | 都市・建築デザイン  | 選択必修③、左記対象科目から合計5単位（ただし、学科共通科目の基礎設計Aを修得した場合は合計7単位） | 選択必修③、左記対象科目から合計3単位（ただし、学科共通科目の基礎設計Aを修得した場合は合計5単位） |
|                            | 履修要件④    | 建築環境・設備 | —  | 選択必修④から合計2単位                                       | 選択必修④から合計3単位                                       |
|                            | 履修要件⑤    | 建築構造    | 都市・建築エンジニアリング  | （選択科目としての修得は可能）                                    | 選択必修⑤、左記対象科目から合計1単位                                |
|                            | 履修要件⑥    | 建築生産    | —  | 選択必修⑥から合計1単位                                       | 選択必修⑥から合計3単位                                       |
|                            | 履修要件⑦    | 建築関連    | 建築・社会環境工学演習<br>シビックデザインの力学<br>水環境創造のフロンティア<br>都市と交通のシステム<br>近・現代建築史<br>土木史 | 選択必修⑦、左記対象科目から合計7単位（ただし、学科共通科目の基礎設計Aを修得した場合は合計5単位） | 選択必修⑦、左記対象科目から合計9単位（ただし、学科共通科目の基礎設計Aを修得した場合は合計7単位） |
|                            | 選択科目合計   |         |  | 選択必修科目③～⑦、<br>選択科目○から合計<br>23単位                    | 選択必修科目③～⑦、<br>選択科目○から合計<br>33単位以上                  |
|                            | 必修科目合計   |         |  | 53単位   | 43単位   |
|                            | 専門教育科目合計 |         |  | 76単位   | 76単位   |

なお、一級建築士、二級建築士、木造建築士試験の受験資格取得のための履修科目についてはp143 ⑩ 建築士（建築士法）を参照のこと。

卒業に関する最低取得単位数（総括）

|                     | 全学教育科目 |     |     |      |      |      |      |       |      |    |     |           |                                 | 専門教育科目                           |                                 |                |     | 合<br>計 |
|---------------------|--------|-----|-----|------|------|------|------|-------|------|----|-----|-----------|---------------------------------|----------------------------------|---------------------------------|----------------|-----|--------|
|                     | 基幹科目   |     |     | 展開科目 |      |      |      | 共通科目  |      |    |     | 小<br>計    | 対象科目                            | コース                              | 工学<br>共通<br>科目                  | 学科<br>専門<br>科目 |     |        |
|                     | 人間論    | 社会論 | 自然論 | 人文学科 | 社会科学 | 自然科学 | 総合科学 | 転換少人数 | 保健体育 | 英語 | 初修語 |           |                                 |                                  |                                 |                |     |        |
| 必修科目                | 0      | 0   | 0   | 0    | 0    | 8    | 0    | 0     | 1    | 4  | 0   | 2         | 15                              | 授業科目表の<br>★の科目のうち2単位及び<br>◎の科目全て | 社会基盤デザイン<br>水環境デザイン<br>都市システム計画 | 0              | 21  | 36     |
|                     |        |     |     |      |      |      |      |       |      |    |     |           |                                 |                                  | 都市・建築デザイン                       | 0              | 53  | 68     |
|                     |        |     |     |      |      |      |      |       |      |    |     |           |                                 |                                  | 都市・建築学                          | 0              | 43  | 58     |
| 選択科目<br>(選択必修科目を含む) | 2      | 2   | 2   | 2    | 2    | 12   |      |       | 2    | 4  | 0   | 28<br>+ 6 | 授業科目表の<br>選択必修①～⑦<br>及び選択科目○の科目 | 社会基盤デザイン<br>水環境デザイン<br>都市システム計画  | 55                              |                | 89  |        |
|                     |        |     |     |      |      |      |      |       |      |    |     |           |                                 | 都市・建築デザイン                        | 23                              | 57             |     |        |
|                     |        |     |     |      |      |      |      |       |      |    |     |           |                                 | 都市・建築学                           | 33                              | 67             |     |        |
|                     | 計      | (6) |     | (37) |      |      |      |       |      | 49 |     |           |                                 |                                  |                                 | 76             | 125 |        |

各コース指定外の授業科目についても、選択科目の卒業要件単位として認めることができます

\*印の6単位は、全学教育科目の履修要件の選択3を参照してください

### (3) 卒業までの履修、配属の流れ及びその他の要件等

建築・社会環境工学科の学生は、入学から3セメスターまでは、コースには属さず、建築・社会環境工学科の学生として一体となったカリキュラムで履修を進めます。

3セメスター終了時点で、以下に示すコース配属条件を満たしている学生を対象に、コースへの配属を行います。3セメスター最初のガイダンス時に、コース振り分けの手続き、必要書類、各コースの詳しい紹介を含んだ冊子を配布しますので、熟読してください。また、希望コースを決める上でも3セメスターの各科目は重要となりますので、3セメスターに開講される専門教育科目の積極的な履修を推奨します。コース配属条件を満たしていない学生は、コースには属さず、次年度のコース配属に向けて不足単位の充足を中心に履修し、修得することになります。

#### コース配属条件（授業科目表に記載した履修要件A、B）

- 履修要件A：基礎設計A及び基礎設計Bのうち2単位と、空間創造の力学（3単位）、環境学序説（2単位）を修得していること
- 履修要件B：学科共通科目の選択科目○から4単位以上修得していること
- コース配属の前年度までに、本学科の授業科目表で示した1, 2セメスター開講の全学教育科目及び専門教育科目の工学共通科目（数学物理学演習I, 数学物理学演習II, 情報処理演習, 創造工学研修）から36単位以上修得していること

コースへの配属は、学生の希望コースを基に、コース配属条件に含まれるすべての科目の成績及び修得総単位数を考慮して決定します。3セメスター中の決められた期間内にコース配属希望調書を出していない学生は、コース配属条件を満たしていてもコース配属の対象になりませんので、くれぐれもガイダンス時に配布した冊子、及び掲示等に注意してください。

なお、10月入学の学生については、履修計画について教務担当教員と相談すること。

4セメスターから、配属決定した各コースに分かれて、それぞれのカリキュラムに基づいて履修を進めます。コース毎のカリキュラムの履修の詳細については、4セメスターの最初に配属されたコース毎に、ガイダンスを実施しますので、必ず参加してください。

5セメスター以降に開講される専門教育科目は、コースに配属されていない学生が履修することはできません。次年度にむけて不足単位の充足を中心に履修し、修得することになります。

6セメスター終了時点で、コース毎に以下に示す研究室配属条件を満たしている学生を対象に、研究室への配属を行います。研究室配属条件を満たしていない学生は、原則的に研究室には属さずに、次年度の研究室配属にむけて不足単位の充足を中心に履修し、修得することになります。

### 研究室配属条件（研修A、B受講条件）

|                         |                                | コース                               |                          |                          |                          |                          |
|-------------------------|--------------------------------|-----------------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|
|                         |                                | 社会基盤<br>デザイン                      | 水環境デザイン                  | 都市システム<br>計画             | 都市・建築<br>デザイン            | 都市・建築学                   |
| 全学教育科目                  |                                | 卒業要件<br>49単位の内<br>45単位以上          | 卒業要件<br>49単位の内<br>47単位以上 | 卒業要件<br>49単位の内<br>41単位以上 | 卒業要件<br>49単位の内<br>41単位以上 | 卒業要件<br>49単位の内<br>41単位以上 |
| 専門<br>教育<br>科目          | 必修科目<br>★の科目のうち2単位<br>及び○の科目全て | 3セメスターから6セメスターに開講される必修科目（左記参照）すべて |                          |                          |                          |                          |
|                         |                                | 11単位                              | 11単位                     | 11単位                     | 43単位                     | 33単位                     |
| 選択必修科目①～⑦<br>及び選択科目○の合計 |                                | 46単位以上                            | 46単位以上                   | 46単位以上                   | 9単位以上                    | 19単位以上                   |

配属される研究室の決定方法及び配属対象となる研究室は、各コースにより異なりますので、6セメスター中の掲示等に注意してください。なおコースによっては、6セメスター中から仮配属する場合もありますので、研究室配属の詳細は所属コースのコース長に問い合わせてください。7セメスター以降は、配属された研究室で、当該研究室の専門分野を中心とした卒業研究等を通じて、より専門的な内容を修得していくことになります。8セメスター終了時点で、卒業要件を満たした学生は、卒業となります。

### (4) 専門科目の先取り履修

この便覧の2ページにある(4)履修登録単位数の制限の例外に該当する旨の通知を受けた学生で、専門科目の先取り履修を希望する学生は、先取り履修を希望する授業の担当教員に申し出をしてください。担当教員の了解が得られれば、原則として先取り履修を認めます。なお、早期卒業制度の適用を希望する学生は以下のとおりです。

### (5) 早期卒業制度

#### (1) 早期卒業制度の要件

上記の専門科目の先取り履修により、所属コースの卒業要件を満たし、かつ、修得した全科目の成績が優秀な学生は、3年及び3.5年の早期卒業制度を適用し、卒業を認めます。

#### (2) 早期卒業制度適用のための履修計画作成

早期卒業の適用を希望する学生は、必ず学科長に申し出てください。単位取得状況や、履修計画に無理がないこと等を勘案した上で、専門教育科目の先取り履修、及び研究室配属条件の緩和を認めることがあります。

## (6) 授業要旨

### 基礎設計 A

Fundamental Design A

2 単位

必修★ 3セメスター

設計の基本的な考え方および表現方法の基礎を習得するものである。人間と生活、地域、都市の現在に対する深い洞察のもとに豊かな都市・生活空間を創出する能力の基礎をつくることを目標とする。

具体的には、構造物を、実際に、紙、粘土等で、その挙動を体感しながら構築し、構造及び設計に対する感性を養うと共に、既存の構造物への理解を深めつつ、製図、模型表現の技能を高める課題を行う。詳細はシラバスやガイダンスによる。

★；基礎設計 A 及び基礎設計 B のうち 2 単位を必ず取得すること

### 空間創造の力学

Mechanics for Space Creation

3 単位

必修 3セメスター

人間は、生活に適合した空間や、生活を支えるいろいろな施設を造るために、多くの構成要素からなる構造物を建設する。

本講義では、構造設計の基礎となる力学の基礎知識をわかりやすく説明する。また、その理解を深めるために演習を行う。

### 基礎設計 B

Fundamental Design B

2 単位

必修★ 3セメスター

設計製図の考え方及び方法の基礎を課題を通して取得するものである。まず、日常生活の中に垣間見られる建築物のスケッチ、実際の建築物の図面のコピー、特徴的な建築物の作品研究などを通して建築設計の基礎的な技術を取得する。次に、居住空間をテーマに、模型製作を中心各自がイメージする小空間の設計を通して、空間への具体化を取得する。

★；基礎設計 A 及び基礎設計 B のうち 2 単位を必ず取得すること

### 環境学序説

Introduction to Environmental Science

2 単位

必修 3セメスター

生活環境から地域及び地球環境に至るまで、その現象、基礎原理を解説し、快適環境の実現、環境保全に関わる学問・技術の最先端を紹介する。それらを基に、建築学、土木工学と自然環境・社会環境との関連を理解する。

### シビックデザインの力学

Mechanics in Civic Design

1 単位

選択 3セメスター

社会基盤構造を設計するために必要な構造の力学・材料の力学、そしてそれを用いたデザインの手法を概説する。また、最先端の計算力学シミュレーションによる、コンピュータ支援デザインの現状と将来について紹介する。それを踏まえて、橋梁構造や岩盤や地盤中の構造の実際の問題点やそれに対処するための設計についてのトピックス、さらに地震国であるわが国では耐震設計や防災に関する問題点と対応する力学についてのトピックス、そして既設構造のメインテナンスについての力学問題について説明し、社会基盤構造デザインに必須の力学の概念を紹介する。

### 都市と交通のシステム

Urban and Transportation System Planning

1 単位

選択 3セメスター

目的：都市システム計画とは都市システムの計画と都市や地域のシステムティックな計画という二つの意味を持たした造語である。都市とは居住活動、商業活動、業務活動といった、人間の生活や経済活動そのものと、それをシステムティックに支える交通や上・下水道といったライフラインを包含する巨大なシステムである。その巨大なシステムを形成し、運用し、維持していく方法を調査・研究・計画していく学問を都市システム計画と呼んでいる。本講義では都市という巨大なシステムを様々な観点から考察すると共に、道路や鉄道・港湾・空港といった交通施設を例にとり、その計画の基本コンセプトを解説する。

### 都市・建築エンジニアリング

Building Engineering

1 単位

選択 3セメスター

住宅が抱えるエネルギー問題や健康問題のメカニズム及びその解決策、非住宅建築におけるサステナブル環境デザイン、ヒートアイランドに代表される都市気候問題や低炭素都市の実現に向けた取り組み、建築材料、建築デザインを実建築物として表現するための構造力学、建築物が受けける各種の外乱に対する安全性・居住性を確保するための技術など、都市・建築にまつわる技術について解説する。

### 水環境創造のフロンティア

Frontiers of Water and

Environmental Studies

1 単位

選択 3セメスター

水環境に関する基礎的知識をはじめ、都市・生活・産業の諸活動に関わる水と環境のシステムとその役割について学ぶ。水環境デザインコースの各分野の最先端の研究について事例を挙げて紹介し、その基本的考え方、方法および社会的位置づけ等を理解する。

### 都市・建築デザイン

Urban and Architectural Design

1 单位

選択 3セメスター

都市・建築デザインに関する考え方と方法についての基礎知識を学ぶ。実際の都市・建築空間をあらためて体験し、その空間を構成する原理—光の現象、空間の位相構成、空間を構成する要素、等ーを課題を通じて修得し、また建築の背後にいる複雑で多様な都市のシステムについて理解する。

### 建築・社会環境工学演習

(グループ A,B,C,D,E)

Exercises in Civil Engineering and

選択 3セメスター

Architecture (Group A, B, C, D, E)

各コースの専門性を理解し、それぞれのコースの専門科目を履修する際に必要とされる基礎的な能力や表現力を身につけるために、5つのコースから演習課題が提示される。A～Eまでの5つの課題グループがあり、具体的な演習課題については、シラバスやガイダンスによる。

### 近・現代建築史

History of Modern Architecture

1単位

選択 3セメスター

明治期を境に我が国の建築的様相は一変した。これらは欧米の影響によるものであり、これ以降の建築を我が国では近代建築と称している。しかしながら産業革命を契機に発達したヨーロッパでの近代建築と我が国のそれとは必ずしも同一に論じることはできない。本講では現代において多くの建築家に強い影響を与えているヨーロッパ近代建築の流れを主として概説し、また我が国の近代建築との相關関係について考える。さらに、現代の建築の潮流についても検討する。

### 建築・社会環境工学特別講義

Special Lectures for Civil Engineering and Architecture

随時開催。

内容により単位を与える。

### 土木史

History of Civil Engineering

1単位

選択 3セメスター

明治以降の土木に関する構造物や、実施された計画を中心に、その技術的発展やその背景、デザインやプランニングの思想、そしてそれをなしてきた人物に焦点をあて、講義を行う。本講義の目的は、このような歴史的な展開を理解することを通じて、技術や、デザインの現在を理解すること、さらに、優れた土木構造物をしたことといった、土木工学の基礎的教養の習得である。また、優れた偉業を残した人物の生き様を通じて、工学倫理の侧面も涵養することも目的としている。

### 応用確率統計学

Applied Probability Theory and Statistical Analysis

2単位

4セメスター

土木工学における確率的現象の分析の基礎となる確率論と統計学に関する講義を行う。確率的現象を数学的にモデル化し確率変数の性質を解明する確率論、確率論の応用で時間と共に変化する確率変数の挙動を分析する確率過程、ならびに、確率変数の実現値の観測を通して確率的現象が従うモデルの構造を推定する統計的推論・回帰分析について扱う。

- I. 確率論
- II. 確率過程入門（応用確率モデル）
- III. 統計的推論
- IV. 回帰分析

### コンクリート工学

Concrete Engineering

2単位

5セメスター

コンクリートの一般的な性質、コンクリート製造用各種材料に必要とされる品質やその試験方法、コンクリートの製造方法、構造物を作るためのコンクリートの施工方法等について学ぶ。また、使用材料の性質やコンクリートの製造・施工方法と、でき上がったコンクリートの性質との関係について理解することによって、設計条件に合った良いコンクリートを作るための、材料選択、配合設計、製造、施工等に対する知識を得る。

### 弾性体力学

Theory of Elasticity

2単位

4セメスター

土、岩、コンクリート、鋼など、土木工学が扱う固体材料すべてに対する力学の基礎を学ぶ。

- 力学モデルの構成
- コーシー応力テンソル
- 連続体における力のつもり合い式
- 対称テンソルの固有値と固有方向
- 座標変換とモール円
- 運動の記述
- 微少ひずみテンソルと微小回転テンソル
- 等方弾性体の構成則

### 応用線形代数学

Advanced Linear Algebra

2単位

4セメスター

目的：土木工学、建築学で必要とされる数理的処理の基礎となる線形代数の基礎的事項と、数々の数値解析の基礎概念である変分法を学ぶ。

概要：線形代数の基礎概念である線形空間の構造、基底、固有空間などを理解する。また、種々の数値解析法の基礎理論を理解する上で必要不可欠な変分法を習得する。

達成目標等：以下のようないわゆる能力を修得することを目標とする。

- 土木工学、建築学で必要とされる数理的処理の基礎となる線形代数の基礎概念を理解し、様々な問題におけるデータ処理や解析に応用できる。
- 変分法を理解し、それを基礎として種々の数値解析法の習得に役立てることができる。

### 応用解析学

Advanced Calculus

2単位

5セメスター

1. ベクトル値関数一階常微分方程式と固有値問題。
2. 一次元熱伝導方程式と固有関数による境界値初期値問題の解法。Fourier級数解析および関数の内積と直交性。
3. 一次元波动方程式と固有関数による境界値初期問題の解法。
4. 直角座標におけるポテンシャル方程式と固有関数による境界値問題の解法。
5. 極座標におけるポテンシャル方程式と固有関数による境界値問題の解法。
6. 円盤上の熱伝導境界値初期値問題（点対称）の固有関数による解法。

### 構造解析学及び同演習

Structural Mechanics and its Exercises

3単位

4セメスター

1. 安定・不安定、静定・不静定
2. 静定構造物の反力・断面力・影響線
3. 材料の応力一ひずみ関係、断面諸量
4. 構造力学における一般理論とその応用、重ね合せの原理、カスチリアノの定理、仮想仕事の原理、単位荷重法、最小仕事の原理、相反定理など
5. 不静定ばかりの反力・断面力・影響線
6. 3連モーメントの定理
7. たわみ角法

### 地盤工学A

Geotechnical Engineering A

2単位

5セメスター

地盤を構成する材料である土や岩石の種類と工学的性質およびその力学挙動について学ぶ。

1. 土の起源・成因、土の堆積環境
2. 粘土鉱物の種類と性質、土粒子の形と構造
3. 土の重さの表現、水中重量、有効応力原理
4. 土の工学的分類：土のコンシステンシー試験、塑性図
5. 土中の水の流れ：ダルシーの法則、透水試験、流線網
6. 透水試験、限界動水勾配
7. 土の圧密現象、圧密試験、圧密沈下解析、圧密促進工法

|  |                |  |                |
|--|----------------|--|----------------|
| <b>地盤工学B</b><br>Geotechnical Engineering B   | 2 単位<br>6セメスター | <b>水理学A及び同演習</b><br>Hydraulics A and its exercises   | 3 単位<br>4セメスター |
| 土のせん断強さを用いた構造物基礎の設計に係わる基本を学ぶ。  |                | 水理学・流体力学の入門編であり、流体運動に関する基本的観念と原理、特に、物質、運動量、エネルギーの保存則について、代数式を用いて解説する。また、開水路流、管路流の摩擦について述べ、静水力学についてもふれる。            |                |
| 1. 土のせん断強さ、応力経路、クーロンの破壊基準<br>2. 粘土のせん断強さ、砂のせん断強さ、液状化現象<br>3. 摩擦と土圧：ランキン土圧、静止／主働／受働土圧<br>4. 斜面の安定解析：円形すべり面法、地すべり<br>5. 基礎の支持力<br>6. 土質調査法   |                | 授業は2クラス編成で行い、1回目の授業は2時間の講義と2時間の演習からなる。   |                |
| <b>水理学B及び同演習</b><br>Hydraulics B and its Exercises   | 3 単位<br>5セメスター | <b>水質工学</b><br>Water Quality Engineering   | 2 単位<br>4セメスター |
| 管路および開水路の流れに関する学ぶ。これらの流れにおいて重要な摩擦の評価法を学び、管路系の流量や河川の水面形、局所流等の水理計算を学習し、演習する。また、水理実験結果の解析に必要な次元解析、相似律についてもふれる。  |                | 1. 水と環境<br>2. 水質汚濁<br>3. 水の自浄作用と水質指標<br>4. 有機汚濁指標<br>5. 富栄養化指標<br>6. 一般化指標<br>7. 有害物質の指標<br>8. 衛生学的指標<br>9. 各種水質基準 |                |
| <b>環境計画</b><br>Environmental Planning  | 2 単位<br>5セメスター | <b>土木計画学</b><br>Infrastructure Planning and Management   | 2 単位<br>4セメスター |
| 環境問題の現象とその原因・対策を考察し、環境保全・環境創造のための計画手法・管理手法の基礎を学ぶ。  |                | 本講義では、社会資本の整備・管理に関する制度について学ぶ。さらに、社会資本を合理的に整備していくために必要となる分析手法と評価手法について学ぶ。   |                |
| 1. 人間・環境系の理念：環境基本法と環境基本計画<br>2. 水環境の保全対策：水質汚濁の歴史と現状、汚濁物質との発生源・影響、水質規制<br>3. 大気環境の保全対策：大気汚染の発生機構と現状、地球温暖化対策、酸性雨問題等<br>4. 廃棄物対策：都市清掃と廃棄物計画、廃棄物処理方法、3Rと循環型社会<br>5. 環境管理手法：環境アセスメント、ライフサイクルアセスメント、環境効率性と環境マネジメントシステム、有害物質の管理と制御。 |                | 1. 社会資本とは？<br>2. 土木計画学とは？<br>3. 社会資本の整備・管理の制度<br>4. 社会資本の整備・管理の分析手法<br>5. 社会資本の整備・管理の評価手法                          |                |
| <b>交通計画A</b><br>Transportation Planning A  | 2 単位<br>5セメスター | <b>計画数理及び同演習</b><br>Mathematical Methods for Planning and its Exercises  | 3 単位<br>6セメスター |
| 交通計画および交通工学の基礎を習得することを目的とした内容を講義する。  |                | 土木計画学に必要な数理計画法について講義と演習を行う。  |                |
| 1. 交通システムの分類とその特性<br>2. 交通需要予測（4段階推定法の概要）<br>3. 交通調査（主な調査と調査手法）<br>4. 交通流の特性（流率－密度－速度の関係など）<br>5. 道路の交通容量と幾何構造（交通容量の算定基礎）<br>6. 交通制御の基礎（渋滞対策、信号制御など）   |                | 1. 線形計画法<br>2. 非線形計画法<br>3. 動的計画法<br>4. ネットワーク計画法<br>5. ゲーム理論  |                |
| <b>社会環境工学実験</b><br>Experiments in Civil and Environmental Engineering  | 1 単位<br>5セメスター | <b>測量学及び同実習</b><br>Surveying and its Field Practices   | 2 単位<br>5セメスター |
| 社会環境工学を学ぶにあたり必要な基礎的知識を得るために、コンクリート、土質、構造、水理、水質に関する実験を行う。   |                | 上木測量の基礎について講義を行い、学内において、測量機器の操作方法、各測量手法の基本手順を練習する。   |                |
|  |                | 次いで、学外の適当な場所において数日間の合宿を行い、指定された区域の地形図を作成する。実習は、いずれもグループ単位で作業する。  |                |

**工学倫理（建築・社会環境工学科）** 1単位  
Engineering Ethics 必修 7セメスター

本講義は、工学技術者としての倫理を考え、人類の安全、健康、福祉の向上と環境保全のために技術者としての社会的責任を自覚する能力を身につけることを目指す。

科学技術が現代社会を支えていると同時に、地球環境と人類の生存に重大な影響を与えることを認識し、工学技術者として必要な高い倫理観を習得する。また工学知識の複雑性、工学・社会システムの安全性とリスク、物作りの組織性を学習することによって、社会的責任の認知、自己の研鑽と向上の努力、社会利益のための情報公開、法令・契約の遵守など、技術者に求められる行動規範を学ぶ。

**応用情報処理演習A** 1単位  
Exercises in Applied Information Processing A  
4セメスター

現代の情報化社会において、情報を有効かつ安全に活用していくための基本的な知識、能力（情報literacy, Network literacy）を身に着けるとともに、プログラム作成やデータ処理の経験を通じて、高度な情報処理を行っための基本的な知識・能力を修得する。

- 1 ネットワークセキュリティ
- 2 アルゴリズムの基礎
- 3 プログラミング演習

**インターンシップA** 1単位  
Internship A 5セメスター

学外において、土木工事がどのように計画され、施工されるかを実習する。

**景観・デザイン演習** 2単位  
Exercises in Engineering Architecture and Urban Design 4セメスター

基本的なデザインの考え方を習得するとともに、その考えに基づき、社会基盤デザイン、水環境学、都市システム計画の各コースの専門分野での簡単な設計及び模型製作を取り組む。この演習は、各コースの専門科目の設計・計画における位置づけを理解することも目的である。

**応用情報処理演習B** 1単位  
Exercises in Applied Information Processing B  
5セメスター

応用情報処理演習Aをベースに、より規模の大きなプログラムを作成・保守する手法を学ぶ。合わせて、プロジェクトの進め方・マネジメントについて、グループによるプログラム開発を題材に演習する。

- 1 アルゴリズムとデータ構造
- 2 システムのモデル化とプログラムによる表現
- 3 プログラムのモジュール化と分割（自動）コンパイル
- 4 プログラムの保守・管理

**社会環境整備プロジェクト** 2単位  
Projects in Civil and Environmental Engineering  
5セメスター

目的：社会基盤施設やプロジェクトの企画立案の現状と今日的課題について学び、講義で習得した理論や技法がどのように現場に活かされるかについて考察すると同時に、土木工学技術への学識を深める。

概要：具体的には次のようになる。

発電工学：電力生産の概要、水力、火力及び原子力発電設備、電力系統と流通設備について講述する。

高速道路の施工：高速道路の概要及び道路上工、舗装、橋梁上下部工、道路トンネルの設計、施工概要について講述する。

港湾工学：港湾及び空港の計画、防波堤、岸壁・係留施設、滑走路の設計等について講述する。

**学外見学** 1単位  
Field Observation 7セメスター

土木関係の工事、工場を見学する。

**計算力学及び同演習** 3単位  
Computational Mechanics and its Exercises 5セメスター

目的：計算力学における代表的な解析手法である有限要素法を学習し、これを用いた構造解析技術と、解析結果を正しく評価するための知識を身に付ける。

概要：線形弾性体についての境界値問題とその有限要素法の定式化、構造解析手法としての特性を学ぶ。また、有限要素解析から得られる解の性質を正しく理解するために、コンピュータを用いた数値解析の演習を行う。

達成目標等：有限要素法の理論を習得するとともに、構造物の有限要素解析から得られる数値解に基づいて現象を正しく評価する能力を身に付ける。

**コンクリート構造工学** 2単位  
Engineering of Concrete Structures 6セメスター

コンクリートおよび鉄筋の力学的特性を理解すると共に、鉄筋とコンクリートが組み合わされた複合構造である鉄筋コンクリートの性質を理解する。また、鉄筋コンクリートに軸力、曲げ、せん断が作用した時の解析理論について、それぞれ学ぶと共に、鉄筋コンクリート構造の設計計算法、設計に際して考慮すべきその他の事項について会得する。さらにコンクリートに予め圧縮応力を導入したプレストレストコンクリートの原理について、鉄筋コンクリートの場合と比較しながら理解する。

**構造安定論** 2単位  
Structural Stability 6セメスター

本講義では、各種構造部材・構造物の座屈安定問題について、その理論的基礎から構造解析法までを学ぶ。

座屈・分岐を起こす代表例として、柱や板等を取りあげ、その座屈荷重や座屈モードを求める方法論を学ぶ。主要な項目の最後には演習を行う。

構造系の座屈安定問題を理解し、その安定化を行う能力を養成し、座屈荷重を求める方法論を習得する。あわせて、構造物の強度のメカニズムを理解し、設計を行う能力の基礎を習得する。

|   |                |   |                |
|---|----------------|---|----------------|
| <b>耐震工学</b><br>Earthquake Engineering   | 2 単位<br>6セメスター | <b>橋梁と鋼構造</b><br>Bridge Structures and Steel Structures   | 2 単位<br>6セメスター |
| コンクリート構造物などの基本的動特性、ならびに構造物の地震応答解析に関する基礎的な事柄を学ぶ。   |                | 橋梁構造を代表例として鋼構造の材料・構造設計の基礎を学ぶ。鋼の冶金的性質を知り、構造に必要な材料特性を考察し、寿命や維持管理について学ぶ。各種載荷状態ごとの強度発現のメカニズムと構造特性と、各種接合の特性とを知った上で、設計の背景にある力学を再認識する。その力学特性に基づき、材料・構造の限界状態と設計法の基礎を学び、主に橋梁上部工の設計を通してその考え方を身に付ける。                                   |                |
| 1. 構造物の地震被害<br>2. 地震動の性質<br>3. コンクリート構造物の基本的動特性<br>4. 鋼構造物の基本的動特性<br>5. 動的応答の数値解析の基礎<br>6. 我が国の中震設計基準   |                |   |                |
| <b>振動解析学</b><br>Structural Dynamics   | 2 単位<br>6セメスター | <b>社会基盤デザイン演習 I</b><br>Exercises in Infrastructural Engineering I   | 1 単位<br>6セメスター |
| 地盤や構造物の振動特性を理解しておくことは、土木構造物の耐震設計について考える際の基本となる。地盤や基礎・構造物のモデル化と運動方程式の定式化、運動方程式の解の導出と解の性質の吟味、結果と実構造物の挙動との対応を考えることにより、土木構造物の振動問題の解析について学ぶ。主な内容は、各種構造物のモデル化、減衰自由振動、強制振動、振動数応答関数、過度応答、固有振動数と固有モード、モード解析法、不規則振動である。   |                | 与えられた自然条件や社会条件の中で、ライフタイム内に被るさまざまな外的作用を考慮し、所要の性能を満足する構造の形を導き出す設計プロセスの習得を目的とする。この演習では、主に橋梁下部工を対象に、使用する材料の強度を自ら実験的に評価し、それを用いた部材の耐震性能や耐久性能が目標性能を満足することをコンクリート工学や構造解析学などで学んだ知識に基づき照査する。  |                |
| <b>社会基盤デザイン演習 II</b><br>Exercises in Infrastructural Engineering II   | 2 単位<br>7セメスター | <b>水道工学</b><br>Water Supply Engineering   | 2 単位<br>5セメスター |
| 社会基盤デザイン演習 I に続き、橋梁上部工を対象に、鋼やコンクリート橋を具現化するための設計プロセスを学ぶ。特に、本演習では、力学的に無理がなく、形状も美しく、かつ経済的な橋梁全体系のデザインのあり方を模索し、様々な価値軸のもとで最終的な設計案を導き出し、それを設計コンペにおいてプレゼンテーションする。   |                | 降水、森林、河川、湖沼、地下、海へと水の流れおよび水の循環に伴う水量と水質の変化を自然および人間の生活や生産活動とあわせて考察し、水の道工学のあり方について学ぶ。   |                |
| 社会基盤デザインコースで学んだ構造や材料の知識を有機的に融合する能力や、社会基盤に求められる価値を自ら創造する能力を身に付けることを目的とする。  |                | 1. 水の道工学とは / 健全な水循環の再構築に向けて<br>2. 水の環境、水資源と水利用<br>3. 水の輸送と質変換（降水、森林、河川、湖沼）<br>4. 水道計画、計画人口、使用水量、配水給水計画<br>5. 水道水質基準、リスク評価、リスク管理<br>6. 凝集、沈殿、ろ過、消毒<br>7. 高度処理（生物、オゾン、活性炭処理他）<br>8. 安全でおいしい水造りのための浄水システム構築<br>9. ライフラインとしての役割 |                |
| <b>基礎生態工学</b><br>Fundamentals of Ecology  | 2 単位<br>6セメスター | <b>環境保全工学</b><br>Environmental Protection Engineering   | 2 単位<br>6セメスター |
| 生態工学の基本原理である生態学の基礎および生態工学による環境修復の方法について講述する。  |                | 快適生活と都市環境衛生を支える都市基盤施設である下水道の役割、仕組み及び要素技術の基礎について学び、水質環境保全のための排水処理システムと技術の基本を理解する。  |                |
| 1. 生態系の概念<br>2. 生物の多様性<br>3. 生態系の構造<br>4. 生態系の機能<br>5. 水圈環境の生態系<br>6. 地圏環境の生態系  |                | 1. 水環境保全のあり方および下水道や浄化槽の役割<br>2. 下水道計画：都市排水システム、污水計画、雨水計画、浄化計画<br>3. 排水の物理的処理：スクリーン、沈殿、ろ過、膜分離<br>4. 排水の生物学的処理：好気性処理と嫌気性処理、浮遊生物法、生物膜法<br>5. 排水の化学的処理：化学酸化、消毒<br>6. 排水の高度処理、再生および再利用、健全な水循環<br>7. 汚泥の処理と有効利用：システム計画、減量化、資源化    |                |
| <b>地球環境学</b><br>Global Environmental Science and technology   | 2 単位<br>5セメスター | <b>陸水の運動学</b><br>Dynamics of Inland Water   | 2 単位<br>6セメスター |
| 地球環境問題群の概要を解説し、その全体像と相互関係を理解する。第1部では、温暖化、オゾン層破壊、酸性雨、森林破壊、砂漠化、生物多様性の減少、海洋汚染、有害廃棄物等の地球環境問題発生の諸要因とその構造的特徴を最新のデータから分析し、発生メカニズムとその相互作用を体系的に把握する。第2部では、上述のさまざまな地球環境問題群を貫く諸要因としての社会的・経済的問題を理解する。具体的には、人口、資源・エネルギー、食料・農業システム、水資源等の諸問題に関する最新データを解析しながら、地球環境問題の社会・経済的構造を包括的に理解する。さらに、地球の環境質の現状と将来を理解し、地球環境保全のための科学技術のあり方・対応を学ぶ。 |                | 本講義では、降水現象、河川・湖沼の流れ、地下水流などの仕組みを解説して陸水の運動の全貌を理解させるとともに、水質源開発、河川工学、治水計画の基礎知識を与えることを目的としている。   |                |

|  |                |   |                |
|--|----------------|---|----------------|
| <b>沿岸海洋環境工学</b><br>Coastal and Ocean Engineering   | 2 単位<br>6セメスター | <b>水環境デザイン演習 I</b><br>Exercises in Water and Environmental Studies I  | 1 単位<br>6セメスター |
| 目的：波の力学の基礎と海岸・海洋における防災・利用・環境について講述する。<br>概要：基礎編として、海岸・海洋における波の力学、応用編として、海岸浸食、海岸・海洋防災、海洋エネルギーの利用、地球環境について講述する。また、計5つ課題を課す。<br>達成目標等：教室での学習にとどまらず、現地踏査・演習を通して、問題設定・解決能力の向上を目標とする。  |                | 水環境に関する基礎的知識を応用する力を養うこと目的として、水質、水文、防災、水理に関する3つの演習課題に取り組む。それぞれの課題に必要な知識や定理についての講義とデータを取得するための実験を行い、グループディスカッションによりまとめた成果のプレゼンテーションを実施する。   |                |
| <b>水環境デザイン演習 II</b><br>Exercises in Water and Environmental Studies II   | 2 単位<br>7セメスター | <b>ミクロ経済学</b><br>Microeconomics   | 2 単位<br>5セメスター |
| 特定のフィールドを対象に水環境とそのデザインに関する調査研究を行い、調査計画、現地観測、解析、取りまとめ、報告に関する知識・経験を得る。   |                | 都市計画、交通計画等の計画を行うためには、経済社会全体を数理システムとしてみることが有用である。その見方の有力な一つとして、ミクロ経済学があげられる。本講義は、ミクロ経済学の基本的知識の把握および現実社会への応用ならびに分析能力の取得を目的とする。講義では、ミクロ経済学の基礎について説明すると共に、都市計画、交通計画の観点からのミクロ経済学的分析事例を解説する。  |                |
| <b>システムズ・アナリシス</b><br>Systems Analysis   | 2 単位<br>5セメスター | <b>交通計画B</b><br>Transportation Planning B   | 2 単位<br>6セメスター |
| 個別の分野・事象にとらわれないシステム論的な認識・発想法の基礎を学ぶ。そのため、様々なシステムに共通する一般的なシステムの表現、解析、計画の基礎的方法論を解説する。また、これを通じて、社会基盤・環境システムの計画・設計・施工に関連するより高度・広範囲な様々な知識体系の位置付け・関係・必要性を理解する。<br>1. システム論の概要<br>2. システム・モデリング<br>3. システムの数理的表現と解析<br>4. システムの計画・管理 |                | 交通計画Aの知識をベースに、交通計画・交通管理に際して必要とされる以下の基本理論・手法を学ぶ；<br>1. 交通計画の基本枠組み<br>2. 非集計行動モデル；基礎理論と交通への応用<br>3. 交通ネットワーク均衡分析<br>4. 交通ネットワークとプロジェクト評価<br>5. 道路交通現象の特性と測定法<br>6. 道路交通流の理論<br>7. 交通容量の設計；渋滞の実態と対策<br>8. 信号制御<br>9. 交通需要の管理策（TDM） |                |
| <b>都市計量解析</b><br>Urban Information Analysis  | 2 単位<br>6セメスター | <b>地域・都市計画</b><br>Regional and City Planning  | 2 単位<br>6セメスター |
| 本講義では、都市計画や地域計画の立案を行なう際に基礎となる情報を提供する都市計量解析について、その理論と解析手法について習得し、都市に関する応用分析に向けた基礎的素養を修得することを目的とする。<br>前半は、都市分析に用いられる地理空間情報のモデル化、および、その分析手法の基礎理論について解説する。後半は、都市計画の基礎的指標である人口や地価・土地利用の計量予測方法について解説する。                           |                | 本講義は前半において、都市や地域を形作ってきた制度について、その背景にある公共経済学的考え方や、歴史、思想から解説し、後半において、都市計画における基本となる、土地や社会資本について、地価の形成メカニズムや施設立地のメカニズムや土地利用と交通の関係、都市構造についての解説を行う。本講義は、都市と地域の計画に不可欠な施設や制度に関して、総合的に判断ができる基礎的素養を修得することが目的である。                           |                |
| <b>都市システム計画演習 I</b><br>Exercises in Urban Planning and Design I  | 1 単位<br>6セメスター | <b>都市システム計画演習 II</b><br>Exercises in Urban Planning and Design II   | 2 単位<br>7セメスター |
| 計画学の実践を理解するため、空間情報解析、交通プロジェクト評価、交通需要予測に関する演習を行う。   |                | 交通計画や都市計画を行うためには、現状を分析し、問題点を抽出し、その解決のための案を作成し、評価する必要がある。このような一連のプロセスについて実際の計画課題を通じて、都市システム計画の実践を学ぶ。なお、課題は、交通計画とその評価を重視した課題と、まちづくりやアーバンデザインを重視した課題の選択となる。  |                |

---

**建築設計 A I** 2 単位  
Architectural Design A I 4セメスター

模型やスケッチを使いながら三次元的に形態を操作し、それを建築空間に還元させる。

一方で、建築空間を設計する際に必須となる詳細部分の理解や構造的な理解を深めながら詳細図を描き、建築的な提案を行う。図面やプレゼンテーションボード、模型といった最終成果物の提出、及び教員に対する効果的なプレゼンテーションが求められる。

**建築設計 A II** 2 単位  
Architectural Design A II 4セメスター

建築空間のうち最も基本的なビルディングタイプである住宅を対象に、室内環境とエネルギーに配慮した設計を行う。三次元的な形態操作と身体スケールの理解、部位と部位の関係性や納まり、外部環境との調和などを意識しながら、オリジナリティあふれる建築を設計する。図面やプレゼンテーションボード、模型といった最終成果物の提出、及び教員に対する効果的なプレゼンテーションが求められる。

---

**建築計画基礎論** 2 単位  
Architectural Programming Fundamentals 4セメスター

社会変革のための重要な手法である計画行為の意義を了解し、その建築史的・社会的背景について習得する。さらには、その応用能力の涵養を図る。人間生活と建築空間との視点から進められてきた建築計画学の展開について概説する。また、実際における建築プロセスとそこでの計画フェーズの位置付けなどについても触れながら、生活の基本的空間である住居の問題についても実例を交えつつ解説する。

**建築設計 B I** 2 単位  
Architectural Design B I 5セメスター

中規模の施設を成立させる基本的なプログラムを理解し、その設計を行う。住宅等を対象とした建築設計 A に対して、建築設計 B I では、美術館、図書館、病院、学校など、不特定多数の人間が出入りする公共性の高いビルディングタイプを扱う。課題となる施設について様々な事例から学び、各自の問題意識に照らし合わせながら、独創的な空間をつくることをめざす。

---

**建築設計 B II** 2 単位  
Architectural Design B II 5セメスター

中規模の施設を考えるうえで重要なアプローチを理解し、その設計を行う。建築設計 B II では、課題を進める中で、社会的な視点、歴史的な視点、構造的な視点、設備的な視点など、様々な切り口が示される。決められたビルディングタイプを解くよりも、建築をめぐる諸問題を学び、自らその解決のための空間デザインやプログラムを提案することが求められる。

**施設計画論** 2 単位  
Architectural Programming for Regional Facilities 5セメスター

制度を視覚化する単位として、施設という枠組みが社会の成立に果たす役割は極めて大きい。それぞれの施設種が有する特性とその現代的課題を理解し、社会的プログラムを施設として具現化するための基礎的な力を身につける。

生活要求主体としての人間、手段としての空間、現象としての行為との間の関係を建物種別に分析していくことを通し、建築設計・計画の基礎的理論を習得する。

---

**アート演習** 1 単位  
Exercises in Art 5セメスター

静物や人体の素描を通じ、物に対する観察力を養うとともに、全体と部分、地と図の関係など造形上の諸問題について考えていく。

更に創作の一つのきっかけとして、平面における発想を立体へ転換させる作業を粘土によって試みる。

**建築設計 C I** 2 単位  
Architectural Design C I 6セメスター

大規模なスケールで空間の設計を行うことにより、敷地の性格をよく観察し、建築と都市を連続的にとらえるデザインの手法を養う。建設設計 A I , A II と B I , B II では、単体の施設を対象としたのに対し、建築設計 C I では、街区、地域、景観、都市、ランドスケープなど、環境の要素を組み込みながら、建築と建築の関係性も視野に入れる。場合によっては、複数の学生による共同設計も試みられる。

---

**建築設計 C II** 2 単位  
Architectural Design C II 6セメスター

都市空間・建築空間をデザインする際に必要となる、複雑な条件を統合しつつ創造的な場を創出する能力の獲得を目指とする。これまでの課題が規模別に設定されていたのに対し、建築設計 C II では都市・建築をとりまく現代的な課題に対する考え方を学ぶ。制度、交通、コミュニティ、環境、ランドスケープ等の幅広い課題に対し、建築実務に携わる外來講師の指導によって、社会的なリアリティをもった提案を行う。

**現代建築理論** 2 単位  
Contemporary Architectural Theory 6セメスター

現代の建築デザインを理解する上で必要な知識の習得を目的とする。近代から現代までの建築デザインの系譜をその背景となる建築理論を読み解きながら理解し、今日的な意義について考察する。

|  |        |  |        |
|--|--------|--|--------|
| <b>建築職能論</b><br>Architectural Profession   | 1 単位   | <b>建築設計 D</b><br>Architectural Design D  | 2 単位   |
| 建築を作り上げるために必要となる一般的な職能の構成等を概説する。建築家、エンジニア、施工者など特に重要な職能については、それぞれを具体的に説明する一方で、それらが基本的に有するべき倫理についても概説する。また、国際的な事例を紹介しながら、今後重要視されるであろう法工学について、共に考える端緒としたい。  | 6セメスター | 基礎設計、建築設計 A I , A II , B I , B II , C I , C II の履修を通じて修得した、様々な規模や機能を備える建築物の設計技術を前提に、より高度な設計能力を養うことを目指とする。第一線で活躍する建築家を招聘して行う特別な設計課題である。   | 7セメスター |
| <b>プロジェクトマネジメント</b><br>Project Management  | 1 単位   | <b>建築環境工学基礎</b><br>Building Environmental Engineering Fundamentals   | 2 単位   |
| 建設を伴う事業・企画の発生から終焉までの物象に、人・組織は種々のコミュニケーション形態をとりながらこれに関与し、もはや単純な「生産」という枠組みでは捉えにくくなりつつある。それらの新しい様態を把握する概念を学ぶ。建築においては、事業・企画の発生から建設完了そして建築物の終焉までの間に、人・組織はさまざまな連携・契約・コミュニケーションの形態をとりながらこれに関与し、もはや単純な建築生産という枠組みでは捉えにくくなりつつある。それらの新しい様態を把握する概念を学ぶ。 | 7セメスター | 建築環境工学は、安全・衛生的かつ快適な環境を効率よく実現することを目的に、建物の性能や設備を計画していく上で基礎となる学問である。本講では建築環境工学の各分野に共通する基礎的事項について学ぶとともに、建築環境工学が建築の設計にどのように関わっているかについて、実例を通して理解する。  | 4セメスター |
| <b>建築熱・空気環境</b><br>Building Thermal Environment and Indoor Air Quality   | 3 単位   | <b>建築音・光環境</b><br>Building Acoustic and Lighting   | 2 単位   |
| 本講義では、室内の熱環境・空気環境を計画するための基礎となる建物の換気、熱特性、湿気・結露の理論および計算法、健康・快適性の観点から要求される環境条件、それを実現するための建築・設備的手法、実現された環境を評価するための測定法について講義する。また、問題演習によって理解を深める。   | 5セメスター | 本講義では、建築音響と採光・照明に関わる基礎知識の習得を目的とする。音環境については、音の物理的性質とその記述方法を理解した上で、室内音響の評価と計画、騒音の評価と制御手法について学ぶ。同じく、光環境については、光の物理的性質とその記述方法について理解した上で、太陽光を用いた昼光照明、人工光源を用いた人工照明について学ぶ。                                       | 5セメスター |
| <b>都市環境工学</b><br>Urban Environmental Engineering   | 2 単位   | <b>建築設備</b><br>Building Mechanical and Electrical Engineering  | 2 単位   |
| 本講義では、都市化に伴う環境変化のメカニズムとこれにより生じる環境問題について理解し、良好な都市環境を実現するための基礎知識を習得する。すなわち、ヒートアイランドに代表される都市気候問題、地域の自然や気候の保有する環境ポテンシャルの評価とその利用、クリアマトラスを活用した都市環境計画、都市環境の計測手法、シミュレーション技術とその利用などについて学ぶ。  | 6セメスター | 本講義では、様々な室内環境や衛生、安全他、建築の機能を受け持つ、換気・空調・衛生・消火・電気など建築設備の概要を学ぶ。現代の建築に必要不可欠でありながら、壁や天井内に設置されて、一般には目にすることのないこれらのシステムについて学び、設備設計の基礎知識を習得すると共に、良好な建築を計画する上で不可欠な設備スペースや空間に実現される環境に対する実務的なセンスを身に付ける事を目的とする。        | 4セメスター |
| <b>建築環境デザイン</b><br>Building Environmental Design   | 1 単位   | <b>建築構造の力学</b><br>Structural Mechanics of Architectural Buildings  | 3 単位   |
| 近年、建築物の環境性能に対する社会の関心は高く、様々な建築環境デザイン手法や国際的な環境評価システムも開発されている。建築物の環境性能表示を義務付ける自治体も現れ、設計者自ら計画段階でプロジェクトの環境負荷を評価することが求められるようになりつつある。本講義では、建築物の環境デザイン、環境性能評価を行うための基礎的事項を解説するとともに、具体的設計事例を紹介し、環境負荷を削減するための様々な手法に対する学生の理解を促す。                       | 7セメスター | 現在、建築構造設計ではコンピュータを用いた構造解析により構造設計が行われている。本講義はコンピュータによる構造解析を修得するために必要な基礎を扱う。始めに、梁のたわみについてモールの定理を介して理解し、建物のフレーム解析法の基礎であるたわみ角法を学ぶ。その後、建物の形態と力の流れの関係や建物の力学的挙動を手計算により理解し、安全で芸術性や経済性を備えた建物を実現するための基本的な考え方を習得する。 | 4セメスター |

---

**地盤と都市・建築** 2 単位  
Geotechnical Earthquake Engineering 5セメスター

建築構造物は地盤に支えられており、構造物を建てる場合、敷地地盤についてよく知る必要がある。本講義ではまず、地域の地形・地質について解説するとともに、土の物理的・化学的性質や地盤内を伝播する応力・波動特性について基本的な知識を習得する。また、沈下など建物の地盤による障害や、構造物の耐震対策における地盤の影響について講義する。

**建築鉄骨構造** 3 単位  
Steel Structures 5セメスター

建築構造を構成する重要分野の一つである鋼構造について、建築学とのつながりを理解し、鋼構造の基本設計が可能となることを目的とし、毎回演習により理解力を高めるとともに作業所等も見学する。鋼構造の建築空間構成に果たす役割、材料としての鋼材の性質、空間構成の方法と設計の基礎となる変形・力の伝達と耐力、等を体系的に理解することを目指とする。

---

**建築骨組解析** 2 単位  
Building Frame Analysis 5セメスター

現代の建築構造設計ではマトリックス法を用いて応力解析が行われている。本講義はそのマトリックス法の理論について述べ、コンピュータを用いた演習を行い、建築骨組の応力性状を理解し、力学的センスを高めることが目的である。一方、手計算でも行える応力解析の略算法についても述べる。略算法は、骨組の応力の概要を簡単に捉えることができ、コンピュータの出力結果の妥当性を調べることに役立つ。

**建築構造デザイン** 2 単位  
Architectural Structure Design 4セメスター

建築構造デザインを理解し、設計に生かすために必要な知識の習得を目的とする。古代から現代までの様々な建築構造デザインの原理をそれぞれの時代の技術を背景しながら理解し、考察する。建築構造デザインの基本的な原理とその応用例について学習することで、形態や材料の特性を生かした構造デザインを創出する能力の確保を目指とする。

---

**地震と建築** 2 単位  
Earthquake Engineering in Building Structures 5セメスター

建物の耐震設計や都市防災は、地震工学における重要な問題の一つである。本講では地震動の性質や建物の振動特性について解説するとともに、過去の地震被害の特徴から地震動と建物被害との関係を学ぶ。また、耐震設計の基本的な考え方や地震リスク評価手法についても解説する。さらに、建物群で構成される都市の地震防災に関する諸問題を多様な側面から解説する。

**鉄筋コンクリート構造** 3 単位  
Reinforced Concrete Structures 6セメスター

鉄筋コンクリート構造は、圧縮に強いコンクリートと引張に強い鉄筋とを組み合わせた極めて合理的な構造形式であり、低層建築から超高層建築まで広く用いられている。講義では、材料の特性、構造の原理や特徴を解説し、主要な構造部材である梁、柱、耐震壁などの力学的性状を講義し、構造物として要求される性能とそれらの検証方法、過去の地震被害と耐震設計基準を説明し、鉄筋コンクリート造建築物の構造設計の基本的な考え方を習得する。

---

**構造動力学** 2 単位  
Dynamics of Structures 7セメスター

動的な外力に対する構造物の振動特性とその応答解析法を理解することを目的とする。主に地震動を受ける構造物の振動特性について解説するとともに、構造物や地盤の動的な応答解析法を学ぶ。構造物の動的な応答特性とその解析法を理解し、構造物の耐震設計はもとより、振動制御や地震被害軽減を思考するための基礎知識を習得することを目指とする。

**鉄筋コンクリート構造の設計** 2 単位  
Structural Design for Reinforced Concrete Structures 7セメスター

簡単な鉄筋コンクリート建築物について例題を設定して、構造計画、設計荷重の設定、応力解析、部材性能の検証および構造設計図書の作成など、具体的な構造設計の流れについて講義するとともに、演習を行う。それまでの講義で学習した荷重、材料、構造力学などの各分野の理論や建築法規の規定が、実際の建築物の構造設計で応用されているかを体系的に習得し、構造設計の基本的な考え方を理解する。

---

**建築鉄骨構造の設計** 2 単位  
Structural Design for Steel Buildings 6セメスター

建築法規、荷重、材料、構造力学などの各分野の理論や規定が、鉄骨構造建築物の構造設計にどのように応用されているかを講義し、構造設計に必要な基礎理論とその応用の修得を目指す。また、簡単な鉄骨構造建築物について、構造計画、荷重の設定、応力解析、部材性能の検証および構造設計図書の作成など、構造設計の手順について学ぶ。

**建築構造解析学** 2 単位  
Structural Analysis 6セメスター

近年、コンピュータの発達により大規模な構造物に対して、精度の高い数値解析が可能となり、設計段階で多様な構造要素の力学性状の検討が行われている。本講義では、コンピュータの使用を前提とした数値解析を行う上で、必要となるエネルギー原理や、離散化する際の原理となる変分原理、仮想仕事の原理による直接法について説明する。骨組構造を対象とし、これらを数理モデルに置き換えるための定式化や骨組の塑性化メカニズムについて学習する。

|   |                |  |                |
|---|----------------|--|----------------|
| <b>建築材料基礎論</b><br>Elements of Building Materials Science  | 2 単位<br>4セメスター | <b>建築材料学演習</b><br>Exercises in Building Materials  | 2 単位<br>5セメスター |
| 空間をより安全で快適、且つ機能的なものとするため、様々な材料と部材が組み合わされた使用される。   |                | 主要な建築構造材料であるコンクリート、木材及び金属材料の力学的性質と、幾つかの代表的な仕上げ材の質感・色合いなどの表面的性質について、その基本的特性と影響因子に関する学習を実験を通して行う。  |                |
| 本講義では、建築物に用いられる材料の特徴とそれら材料の基本特性について解説する。  |                |  |                |
| <b>建築性能論</b><br>Building Performance  | 2 単位<br>6セメスター | <b>建築施工</b><br>Building Construction Methods   | 2 単位<br>6セメスター |
| 建築物を構成する材料の役割を建築部位の機能を通して、建築の性能との関連で講述する建築性能論である。   |                | 建築構造・建築材料、建築施工工法、建築施工機材等の発達・多様化に伴い、高度な建築施工管理・品質管理技術が不可欠となっている。   |                |
| 先ず建築性能論成立の背景を建築生産過程を通して概観し、建築の機能と性能との関係、建築部位の性能と材料との関連及び主要な構法について詳述する。  |                | 建築生産の流れの中での施工の位置づけ、工事契約、建築施工計画、施工法の種類や特徴、材料の性質や扱い方等について述べる。機会があれば、建築施工現場の見学も行うこともある。   |                |
| <b>サステナブル・エンジニアリング</b><br>Sustainable Engineering   | 2 単位<br>6セメスター | <b>西洋建築史</b><br>History of European Architecture   | 2 単位<br>4セメスター |
| 本講義では、限りある資源を有効に活用し、極力少ない環境負荷で安全・健康・快適な建築空間、都市空間を実現するための基礎的事項を系統的に習得する。すなわち、省資源、省エネルギー、高耐久、長寿命を実現するための基礎事項と品質の高い環境を実現するための近年の研究の蓄積を学び、環境効率、資源利用効率の高い建築・都市を創造するために必要不可欠な知識を理解する。 |                | 古代から19世紀迄の西洋の建築の歴史を通観する。古代ではギリシャ・ローマの建築を中心に触れる。中世は、ロマネスクからゴシックへの様式展開を詳細に跡づけることを主眼とする。そして、近世はルネサンス近世マニエリズム・バロックの様式変遷の後を追い、形の変化の一種の普遍性を提示する。 |                |
| <b>日本建築史</b><br>History of Japanese Architecture  | 2 単位<br>5セメスター | <b>インターンシップB</b><br>Internship B   | 2 単位<br>5セメスター |
| 私たちをとりまく都市・建築は、どのようにつくられたか、意味を帯びてきたのか。この講義では、古代から近代以前における日本建築の歴史を考える。そのさい、建造物の意匠や空間、構造、さらにはそれらをつくりだした理念や社会背景など、様々な視点から多角的に、かつ東アジアとの文化的な対外交渉関係をふまえながら検討していく。                     |                | 学外における実習でありレポートを提出することにより単位が与えられる。実習現場、参加時期・期間などについては学生と教員が協議して決める。  |                |
| <b>居住計画論</b><br>Planning and Policy of Housing  | 2 単位<br>6セメスター | <b>都市計画</b><br>Urban Planning and Development  | 2 単位<br>5セメスター |
| 近代社会の中で発生した住宅問題の特質とその社会的解決を目指す住宅政策ならびに居住計画の理論と方法、また、現代社会の中での家族やライフスタイルの変化や居住環境に影響を与える様々な要因による居住形態の変化の意味および今後の居住状況の展望について講義する。   |                | 都市空間を制御するための理論、技術の習得とそれを成立させている社会的制度との関連を理解することを目的とする。   |                |
|   |                | 現代都市の土地利活用やその結果としての都市空間を建築学の立場から対象化し、都市の構造、機能、意味、計画技術に関する理論を講義する。  |                |

|  |                |   |                |
|--|----------------|---|----------------|
| <b>雪と建築</b><br>Architectural Engineering Snowy District  | 1 单位<br>6セメスター | <b>風と建築</b><br>Architectural Wind Engineering   | 1 单位<br>6セメスター |
| 建築物や都市空間と雪との関わりについて概説すると共に、過去の豪雪時に受けた雪害から学ぶべき教訓についても述べ、多雪地域に安全で快適な建築空間を実現してゆく為の考え方を講義する。   |                | 建築や都市と風との関わりを理解し、「風」に対して安全で快適な建築物や都市を設計するための基礎知識を会得することを目的とし、実例を交えながら講義する。  |                |
| 内容は、降雪機構、積雪の性質、雪害、豪雪時の建築被害、雪荷重の評価、雪国の建築設計、雪国の居住地計画、利害等である。   |                |   |                |
| <b>空間論</b><br>Space Understandings   | 1 単位<br>6セメスター | <b>建築法規</b><br>Building Code  | 1 単位<br>6セメスター |
| 建築の基本となる「空間」に対する理解を人間の認知、概念、行為、そして操作といったいくつかの側面から多角的に掘り下げることによって、建築人が具备すべき空間についての理解を得る。授業の前半は人間の空間認知のメカニズムとその科学の現状についての概説に費やされる。それを受けた後半は、実際の空間の例を挙げながら、行為や文化などとの関連について具体的に解説していくながら、空間を操作するための手法のいくつかについて紹介する。  |                | 建築物はその用途、規模等に関し、建築法規及び都市計画法・消防法などによる規定を受けている。また、建築士法等の資格に関する法規によっても規定されている。これらの法規の目的・内容について解説し、建築基準法、建築士法、都市計画法等の建築を取り巻く法規についてその考え方・体系・概要を理解する。   |                |
| <b>建築統計解析</b><br>Statistical Analysis in Architectural Research  | 2 単位<br>6セメスター | <b>社会基盤デザイン研修A</b><br>Infrastructural Engineering Studies A   | 1 単位<br>7セメスター |
| 現在、社会現象を統計的な目で見ることは現象把握の重要な方法として日常的なものになっており、建築研究諸分野、実務諸分野でも高度な統計解析は欠かせない。本講義では、社会現象、心理現象などの一侧面を、観測・実験・調査を通して数量的に表記し、それぞれの現象に潜む要因間の関係を統計学の手法を用いて分析する方法を学ぶ。確率・統計学の基礎概念、検定、回帰、多変量解析、社会統計など建築学諸分野でよく用いられるものを中心に、解析実習を行なながら習得する。                                   |                | 配属された各講座において、研究に当たって必要な情報収集や英文の研究論文の読解・解説・討議等の方法を学び、「社会基盤デザイン研修B」で遂行する研究に関わる基礎知識ならびに技能を身につけることを目的とする。   |                |
| <b>社会基盤デザイン研修B</b><br>Infrastructural Engineering Studies B  | 6 単位<br>8セメスター | 当該研究室の指導教員の指導のもとに、土木工学に関連した最新の文献を読み、理解した内容を総括して発表・討議を行う。また、各専門分野の研究を行うに当たって、そのため必要な情報収集や整理の方法ならびに英文論文等の読解力を養うとともに、研究方法（解析や実験方法）やプレゼンテーション技法を学ぶ。   |                |
| <b>水環境デザイン研修B</b><br>Water and Environmental Research  | 6 単位<br>8セメスター | <b>水環境デザイン研修A</b><br>Water and Environmental Studies  | 1 単位<br>7セメスター |
| 社会における社会基盤デザイン分野の課題を見出し、それを解決するための方策を企画して実際に研究を実施し、創造性ある成果をまとめ、発表・討議できる能力を身につける。指導教員が提示した研究テーマ等から各自が研究対象を選び、それに対して自らが調査・企画を立てた実験・計測・計算を実施して、問題解決のための何らかの知見を明らかにし、卒業論文としてまとめて提出し、その発表を行う。工学の標準的な研究プロセスを実体験することにより、現象のモデル化や問題解決手法を身につけ、具体的な問題解決能力と評価・発表能力を身につける。 |                | 水環境デザイン研修Bで行う研究レビューの一環として英語の論文を読み、その内容を発表する。  |                |
| <b>水環境デザイン研修B</b><br>Water and Environmental Research  | 6 単位<br>8セメスター | <b>都市システム計画研修A</b><br>Infrastructure Planning and Management Studies A  | 1 単位<br>7セメスター |
| <b>目的</b><br>選択した研究テーマに対して、自らが調査・実験企画を立て、それに基づく実験・実測・計算を通して問題解決の成果を出力・評価し、それを客観的に報告する。<br><b>概要</b><br>指導教員が提示した研究テーマ等から各自が研究対象を選び、各専門分野の研究を行う。指導教員や研究室のスタッフ・先輩と議論しながら、文献調査、実験・実測、数値シミュレーション等の適切な手法を用い、何らかの結論や提案を明らかにし、論文としてまとめて提出し、その発表を行う。                   |                | 目的：研究に当たって必要な情報収集や英文の研究論文の読解・解説・討議等の方法を学び、「都市システム計画研修B」で遂行する研究に関わる基礎知識ならびに技能を身につけることを目的とする。<br>概要：当該研究室の指導教員の指導のもとに、都市システム計画に関連した最新の文献を読み、理解した内容を総括して発表・討議を行う。また各専門分野の研究を行うに当たって、そのため必要な情報収集や整理の方法ならびに英文論文等の読解力を養うとともに、研究方法（解析や実験方法）やプレゼンテーション技法を学ぶ。<br>達成目標等：研究や調査に必要な基礎的な情報収集と英文の書籍の読解と説明についての基礎的な技術・能力を身に付ける。具体的には以下の項目を達成目標とする。<br>・文献内容を理解し、そのエッセンスの抽出・内容の要約ができる。<br>・論理的に思考し、批判し、記述し、発表し、討議する能力を修得する。 |                |

## 都市システム計画研修B

6 単位

Infrastructure Planning and Management Research

8セメスター

目的：社会における都市システム計画分野の課題を見出し、それを解決するための方策を企画して実際に研究を実施し、創造性ある成果をまとめ、発表・討議できる能力を身に付ける。

概要：指導教員が提示した研究テーマ等から各自が研究対象を選び、それに対して自らが調査・企画を立てた実験・計測・計算を実施して、問題解決のための何らかの知見を明らかにし、卒業論文としてまとめて提出し、その発表を行う

達成目標等：自己の標準的な研究プロセスを実体験することにより、現象のモデル化や問題解決手法を身に付け、具体的な問題解決能力と評価・発表能力を身に付ける。これは主導的立場でプロジェクトを推進する技術者や最先端の研究を行なう研究者としての基礎的な能力である。具体的な目標としては以下の項目が挙げられる

- ・自らが立てた計画に基づいて研究を進め、その成果を論文として完成させる
- ・研究の背景にある社会的意義を自認し、自らの研究成果をそれに照らして説明できる
- ・論理的思考・批判・記述能力や発表・討論の能力等の基礎的な技術を身に付ける
- ・修得した自然科学や工学および専門技術に関する知識を問題解決の道具として利用できる
- 以上を総合して、都市システム計画分野における諸問題を解決するためのプロセスを修得する

## 都市・建築デザイン研修B

5 単位

8セメスター

都市・建築デザイン研修AとBは、第7、第8セメスターを通して一体で運用するものとし、以下の3種類を設ける。なお、研修I～IIIの受け入れ人数は研究室ごとに異なるので、研究室配属のガイダンスと指導に従うこと。

研修I：研修A、Bを通して卒業論文に取り組む  
II：研修Aで卒業論文、研修Bで卒業設計に取り組む  
III：研修A、Bを通して卒業設計に取り組む

## 都市・建築デザイン研修A

5 単位

7セメスター

都市・建築デザイン研修AとBは、第7、第8セメスターを通して一体で運用するものとし、以下の3種類を設ける。なお、研修I～IIIの受け入れ人数は研究室ごとに異なるので、研究室配属のガイダンスと指導に従うこと。

研修I：研修A、Bを通して卒業論文に取り組む

II：研修Aで卒業論文、研修Bで卒業設計に取り組む

III：研修A、Bを通して卒業設計に取り組む

## 都市・建築学研修A

5 单位

7セメスター

都市・建築学研修AとBは、第7、第8セメスターを通して一体で運用するものとし、以下の2種類を設ける。なお、研修I、IIの受け入れ人数は研究室ごとに異なるので、研究室配属のガイダンスと指導に従うこと。

研修I：研修A、Bを通して卒業論文に取り組む

II：研修Aで卒業論文、研修Bで卒業設計に取り組む

## 都市・建築学研修B

5 単位

8セメスター

都市・建築学研修AとBは、第7、第8セメスターを通して一体で運用するものとし、以下の2種類を設ける。なお、研修I、IIの受け入れ人数は研究室ごとに異なるので、研究室配属のガイダンスと指導に従うこと。

研修I：研修A、Bを通して卒業論文に取り組む  
II：研修Aで卒業論文、研修Bで卒業設計に取り組む

## 防災・復興空間論

2 単位

Urban Safety and Post-disaster Recovery Planning

6セメスター

災害に対応するために造られてきた国内外の都市・建築空間の事例学習を通じて、都市防災を軽減するための空間計画および災害後の都市復興計画を習得する。第1部「都市と災害」では、都市とは何か、そして都市と災害の関係について焦点を当てる。第2部「災害に対応した都市・建築空間」では、災害に対応した都市・建築空間について具体的な事例を紹介しながら、その体系を展開していく。第3部「都市の未来を見据えて」では今後の都市に焦点を当て、現在抱えている地球温暖化の問題を取り上げ、総括する。

## 6. 工学共通科目

工学共通科目は、工学部の複数の学科に開講される、基礎的な専門教育科目です。

### (1) 授業科目表

| 授業科目       | 週あたり授業時間数                              | 単位数 | 履修セメスター    |              |           |          |            | 履修方法     |
|------------|--|-----|------------|--------------|-----------|----------|------------|----------|
|            |  |     | 機械知能・航空工学科 | 情報知能システム総合学科 | 化学・バイオ工学科 | 材料科学総合学科 | 建築・社会環境工学科 |          |
| 数学物理学演習Ⅰ   | 2                                      | 1   |            |              | 1         |          |            |          |
| 数学物理学演習Ⅱ   | 2                                      | 1   |            |              | 2         |          |            |          |
| 情報処理演習     | 2                                      | 1   |            |              | 2         |          |            |          |
| 創造工学研修     | 4                                      | 2   |            |              | 2         |          |            |          |
| 電気工学実験     | 3                                      | 1   | 4          |              |           | 4        |            |          |
| 工学倫理       | 1                                      | 1   | 7          | 5or7         | 5         | 5or7     | 5or7       |          |
| 工学英語       | 2                                      | 2   | 7          | 7            | 7         | 7        | 6          |          |
| 知的財産権入門    | 1                                      | 1   | 7          | 7            | 7         | 5or7     | 7          |          |
| 技術・社会システム論 | 2                                      | 2   | 7          | 7            | 7         | 7        | 7          |          |
| 生体医工学入門    | 2                                      | 2   | 7          | 7            | 7         | 7        | 7          |          |
| 工業線形代数学    | 2                                      | 2   |            |              |           |          |            |          |
| 機械工学概論     | 2                                      | 2   |            | 5or7         | 5or7      | 5or7     | 7          |          |
| 電子工学概論     | 2                                      | 2   | 7          |              | 5or7      | 5or7     | 7          |          |
| 工業化学概論     | 2                                      | 2   | 7          | 5or7         |           | 5or7     | 7          |          |
| 工業物理学概論    | 2                                      | 2   | 4or6       | 4or6         | 4or6      | 4or6     | 4or6       |          |
| 生物工学概論     | 2                                      | 2   |            |              |           | 4or6     |            |          |
| 材料理工学概論    | 2                                      | 2   | 7          | 5or7         | 5or7      |          | 7          |          |
| 環境工学概論     | 2                                      | 2   | 7          | 5or7         | 5or7      | 5or7     |            |          |
| 国際工学研修Ⅰ～Ⅳ  |  | ※   |            |              |           |          |            | ※P107 参照 |
| 工学教育院特別講義  | 授業は複数開講される。講義の内容、単位数、開講セメスターは毎年確認すること。 |     |            |              |           |          |            |          |

工学共通科目の履修方法は、各学科の授業科目表を参照すること。

(所属する学科により「履修セメスター」および「卒業要件としての科目の扱い(必修・選択・自由聴講)」が異なるので注意すること。)

## (2) 履修方法

履修方法及び単位の扱い（必修、選択の別）は、各学科の専門教育科目的ページに記載のとおりです。なお、学科として開講している工学英語は、当該学科所属学生の履修を優先します。

## (3) 授業要旨

|   |                  |  |   |
|---|------------------|--|---|
| <b>数学物理学演習 I</b><br>Exercises in Calculus and Physics I   | 1 単位<br>1セメスター   | <b>数学物理学演習 II</b><br>Exercises in Calculus and Physics II    | 1 単位<br>2セメスター  |
| 工学部に入学した直後の1年次学生が、高校で学習した数学と物理の内容を踏まえて、大学で学習する数学（微積分学）と物理学について、実際に手を動かして問題を解くことにより学習し、数学と物理学がどのように密接に関係があるかを実感し、かつ数学と物理学の計算力や応用力を身につける。   |                  |  | 数学物理学演習 I に続き、工学部1年次学生が、大学で学習する数学と物理学について、実際に手を動かして問題を解くことにより学習し、数学と物理学がどのように密接に関係があるかを実感し、かつ数学と物理学の計算力や応用力を身につける。  |
| 学習する内容は、微分、積分、級数、偏微分、重積分、ベクトル場の微分と積分、常微分方程式、運動の法則、仕事とエネルギーなどである。  |                  |  | 学習する内容は、ベクトル場の積分定理、微分方程式の演算子法、フーリエ解析、運動量と角運動量、振動、運動座標系、質点系の力学、剛体の力学、流体力学、弾性体の力学、波動などである。  |
| <b>情報処理演習</b><br>Practice of Information Processing   | 1 単位<br>2セメスター   | <b>創造工学研修</b><br>Team-based Engineering Design Course        | 2 単位<br>2セメスター  |
| 応用的なプログラミングの実習を通じて、アルゴリズムの設計法を修得し、データ構造、数値計算の基礎、プログラミング作法などを学ぶ。さらに、アプリケーションなど、情報システムのより高度な活用法と処理技法を修得する。  |                  |  | 学生自らの意思と発想により、与えられた課題あるいは自ら設定した課題について着想力と想像力を駆使して問題解決の道筋を模索し、実現するための方法、手段を学ぶものであり、特にその過程を重要視している。<br>教官の指導助言のもと、グループ研修の「コミュニケーション」、「チームワーク」「発見」「創造」の喜びを味わうことのできる絶好の機会である。本研修は学生の所属系によらずに課題の選択ができることになっており、幅広い知識の習得の場でもある。北京科技大学（中国）との共同実施テーマもある。多数の学生の概修を期待している。<br>※原則として入学日から3年目以降は履修できません。 |
| <b>電気工学実験（機械知能・航空工学科）</b><br>Electrical Engineering Laboratory  | 1 単位<br>4セメスター   | <b>電気工学実験（材料科学総合学科）</b><br>Electrical Engineering Laboratory | 1 単位<br>選択 4セメスター   |
| 電気、情報に関する工学分野の中から、機械・知能系に関係する基礎的事項を取りあげ、理解を深めるための実験とシミュレーションを行う。<br>1. 電気回路の周波数特性<br>2. 電気回路の過渡現象<br>3. 太陽電池<br>4. トランジスタ回路<br>5. スイッチングレギュレータ<br>6. 演算増幅器<br>7. 論理回路<br>8. 回路シミュレーション<br>9. LabVIEWによるデジタルサンプリング実験 |                  |  | 電気、情報に関する工学分野の中から、基礎的な事項を取りあげ、理解を深めるための実験とシミュレーションを行う。<br>1. 電気回路の周波数特性<br>2. 電気回路の過渡現象<br>3. 太陽電池<br>4. トランジスタ回路<br>5. スイッチングレギュレータ<br>6. 演算増幅器<br>7. 論理回路<br>8. 回路シミュレーション<br>9. LabVIEWによるデジタルサンプリング実験   |
| <b>工学倫理</b><br>Engineering Ethics   | 1 単位<br>5・7セメスター | <b>工学倫理（情報知能システム総合学科）</b><br>Engineering Ethics              | 1 単位<br>5・7セメスター  |
| 工学的解決法の社会および地球環境に及ぼす効果、価値に関する理解や責任など、工学に関わる者として社会に対する責任を自覚する能力を身につけることを目指す。   |                  |  | 厳しい国際競争にさらされている電気・電子・物理工学関連産業を支える技術者には、特に国際人としての厳格な倫理的行動が求められている。誠意のある行動と倫理的行動とは違う。日本技術士会のまとめた倫理規定には7つの原則と9つの義務が挙げられている。倫理規定は技術者の倫理的行動と企業の商業生産活動とが矛盾する場合も想定している。また、大災害（リスク）に見舞われた場合の対処様式・計画について、ISO基準が定められているので、その内容についても学ぶ。本学科の学生は本学科開講の「工学倫理」を履修すること。                                       |

|  |  |  |                 |
|--|--|--|-----------------|
| <b>工学倫理（化学・バイオ工学科）</b><br>Engineering Ethics   | 1単位<br>5セメスター  | <b>工学英語（機械知能・航空工学科）</b><br>Engineering Communication in Technology | 2単位<br>7セメスター   |
| 科学技術は、新しい「価値」を生み、社会と環境に正負両面で大きな影響を与える。「価値」を創出する技術を実践する「行為者」である技術者は、社会の「安全・健康・福利」を最優先することが求められている。本科目では、技術者がその職務を遂行する上で、必要な「新しい時代の倫理」について考察する。21世紀の技術者に求められる倫理的な能力は、事故や不祥事を起こさないための「予防倫理」だけでなく、人類が直面する課題の解決を含む「志向倫理」であることについて論考する。加えて、技術者が直面する可能性のある種々の倫理的問題を、具体的な事例を通して検討する。また、それらの問題を分析し、倫理的に推論する方法について学ぶ。  | 今 の国際社会で常識になりつつある英語の重要性を理解し、特に工学分野で実践的に活用できる英語のコミュニケーション力、英語の表現力を身に付けることを目的とした講義である。具体的には、少人数のクラスを編成し、プレゼンテーションの基礎を講義しながら、受講生は、Nature, Science の記事、あるいは専門分野の雑誌の論文、また、自分の研究テーマについて10分間位のプレゼンテーションを2回ぐらい仕上げて、発表・質疑応答を行う。その発表について教員がアドバイスを与える。講義は全て英語で行う。 |  |                 |
| <b>工学英語（情報知能システム総合学科）</b><br>Engineering Communication in Technology   | 2単位<br>7セメスター  | <b>工学英語（化学・バイオ工学科）</b><br>Engineering Communication in Technology  | 2単位<br>7セメスター   |
| 本講義は、国際的に通用する技術者・研究者が有すべき英語によるライティング能力の基礎を身につけることを目標とする。具体的には、主に科学技術系雑誌に掲載された英語を題材に、英文ライティングにおけるパラグラフ構造を理解し、参加者各自がパラグラフ・ライティングを行うことで、最終的にはエッセイを書き上げるレベルまでに到達することを期待する。同時に、自らが最も興味を持っている工学分野のトピックスを分かりやすく伝えるための英語による技術的表現能力も併せて養う。評価は出席及び提出課題（英文エッセイ）で行う。   | 国際的に通用する技術者・研究者が有すべき基礎英語能力を身につけるために、化学関連の会議や著書、Web, Nature, Science News 等で汎用される専門用語の発音や表現法を理解し、化学技術の説明、解説などを英文で作成できるような練習をする。また、国際会議におけるプレゼンテーションや論文作成のための基礎的表現法、Lincoln-Douglas 討論形式を用いて討論の仕方を学ぶ。  |  |                 |
| <b>工学英語（材料科学総合学科）</b><br>English Communication in Technology 選択  | 2単位<br>7セメスター  | <b>工学英語（建築・社会環境工学科）</b><br>Engineering Communication in Technology | 2単位<br>6セメスター   |
| All researchers need to present their research results in English. This is an entirely student-centred class. The students are actively involved in learning. By completing the coursework and practicing the presentations in groups, students gradually build the necessary skills to make very impressive academic presentations in English. Close attention will be paid to the use of academic logic, and the development of ideas in visual presentations. Good performance skills are important in research life and in business situations. The skills taught in this class are essential for all 4 Material Science students. | 国際的に通用する技術者・研究者が有すべき英語による自己表現能力・研究調査事項の効果的プレゼンテーション能力及び他人のプレゼンテーションに対する適切な議論能力を身につけるために、主に新聞・雑誌掲載の時事英語に基づくプレゼンテーションとそれに対するディスカッションのやり方を学ぶ。それと同時に自らが最も興味を持っている工学分野のトピックスを、素人を相手に英語で説明しながら質問に応え、英語による技術的表現能力を養う。   |  |                 |
| <b>知的財産権入門</b><br>Introduction to Intellectual Property Right  | 1単位<br>5・7セメスター  | <b>技術・社会システム論</b><br>Technology in Social Systems                  | 2単位<br>7セメスター   |
| 講義では、特許権だけではなくて、最近のインターネットの発達やバイオテクノロジーの進歩に伴って注目を集めている知的財産権全般について解説する。講師は、欧米での実務経験豊富な実務家、弁護士、弁理士が、具体的な事例を交えて行うため、受講者は現代の企業の技術開発戦略に知的財産権がどのように反映されているかを、法律の基礎知識がなくとも理解できる。  | 技術・社会システムの定義を理解して、イノベーションを誘発するための研究開発の必要性、マネジメント手法、効果の検証法を理解する。<br>さらに、産業革命以降の技術開発の変遷を理解し、社会における技術の役割と将来への洞察力を養う。  |  |                 |
| <b>生体医工学入門</b><br>Introduction to Biomedical Engineering   | 2単位<br>7セメスター  | <b>工業線形代数学</b><br>Linear Algebra Method (Industry)                 | 2単位<br>4・6セメスター |
| 生体医工学は、工学的技術を医学領域の問題に適用し、医学・医療、福祉の発展・改善に寄与するための学問である。本講義では、まず、身体の各器官の構造及び機能を概述する。次に、近代医療現場で使用されている、種々の診断・治療装置の開発過程、基本原理、装置の概要および具体的な使用例についてオムニバス形式で講述する。   | 行列やその性質、線形空間、逆行列、固有値などの基礎概念を学ぶ。<br>• 線形空間 / • 逆行列 / • 内積<br>• 行列の基本変形 / • 連立一次方程式の解法<br>• ベクトル空間の基底および次元<br>• 固有値と固有ベクトル / • 行列の対角化<br>• 線形代数の工業分野への応用   |  |                 |

**機械工学概論**

Introduction to Mechanical Engineering

2 単位

5・7セメスター

機械工学は力学を基礎とした学問体系であるが、近年電気工学、化学工学、生物学、医学などの学際領域の学問体系も発達してきている。本講義では、機械工学の基礎となる流体力学、熱力学、材料力学、メカトロニクスの専門科目の内容とそれらの応用について概説する。

**電子工学概論**

Introduction to Electrical Engineering

2 単位

5・7セメスター

電気・電子・通信・情報工学に関して、技術者が修得しておくべき基礎的事項を概説し、さらに最新のトピックスについて講義する。

1. 電力システムとエネルギー変換
2. 半導体集積回路と超微細加工技術
3. 医用超音波工学とライフサイエンス
4. マルチメディアと通信方式

**工業化学概論**

Introduction to Industrial Chemistry

2 単位

5・7セメスター

化学とは、物質変換の原理を探求する学問であり、この原理の工学的応用を目的とする広義の学問体系が工業化学である。本講義では技術者が基礎知識として修得しておくべき工業化学の主要項目を体系的に概説する。

1. 有機化学反応とその応用
2. 無機化学および物理化学の基礎と応用
3. 化学工学の基礎とその応用

**工業物理学概論**

Introduction to Engineering Physics

2 単位

4・6セメスター

力学や電磁気、波動工学など基礎物理学に関する概説と、これをもとにした電子工学、磁気工学、電波工学、プラズマ物理学など種々の応用分野などについて具体的な例をあげて概説し、一般的物理学から幅広い応用分野について知識を修得する。

**生物工学概論**

Introduction to bioengineering

2 単位

4・6セメスター

生物学を構成する基本的な事項について、人間社会のテクノロジーとのつながりをふくめて概説する。

1. 生体を作る分子
2. 細胞の構造と機能、生理
3. 感覚・運動と機械工学
4. 細胞工学とバイオテクノロジー
5. タンパク質工学
6. 遺伝子工学
7. 生態学の概念
8. 生物と物質循環
9. 生物多様性の重要性

**材料理工学概論**

Introduction to Materials Science

2 単位

選択 5・7セメスター

人類の文化は金属材料を使用することになってから急速に発展した。しかし金属の実体とは何かということを知っている人は意外に少ない。

本講義では、金属の製造原理と方法、純金属や合金の結晶構造、強度やねばさの発現機構と組織との関係、欠陥と変形機構の関係、熱処理による機械的性質の変化などを、材料科学分野で広く使用されている、状態図などを利用して平易に解説する。

**環境工学概論**

Introduction to Environmental Engineering

2 単位

5・7セメスター

生活環境、地域環境、地球環境にみられる現象と法則性、自然と人間との関わり合いを概説するとともに、環境の保全及び修復技術、循環と共生を優先した工学のあり方等について解説する。

**国際工学研修 I ~ IV**

「国際工学研修 I ~ IV」は、事前・事後指導を伴う海外留学（協定校または本学が関係する留学プログラム）により単位認定される科目です。認定される単位は、海外での活動期間により以下のようになっています。卒業要件単位に算入されるかどうかは、学科によって異なりますので、学科ごとの履修方法を確認してください。単位認定の方法など、詳細については掲示等により周知します。

・留学期間 10日未満は、0.5単位

・留学期間 10日以上3ヶ月未満は、1単位

**工学教育院特別講義「生命・自然の驚異」**

1 単位

6・8セメスター

地球は、われわれ人類を含む生命に満ちている。生命は、地球の歴史の初期に誕生し、現在みるような多様性を獲得した。この目が眩むような多様性を理解するためには、それがどのようにして実現したか、すなわち、縦軸としての進化の視点が欠かせない。一方、現在ある生物の中で、とくに我々ヒトは、諸君が究めようとする工学の対象であり、その成り立ちと働きを理解することは横軸としての工学に不可欠である。もとより生物学は爆発的な進歩を続けており、本講義で、そのすべてを網羅することは不可能であるが、われわれ工学者に興味深いトピックスをとりあげて、工学的視点を交えながら議論する。

**工学教育院特別講義「トップリーダー特別講義」**

1 単位

5・6セメスター

国の一環として、地球規模の課題（環境・エネルギー・物質資源・安全等）への取組みによる持続可能社会の実現、（少子高齢化の下での）真に豊かな成熟社会創造、日本を世界から尊敬され誇りを持てる国にすることを支えて世界のトップリーダーになる人材の育成を目指し、世界が直面する課題・情勢を俯瞰・理解する機会を提供し、強い問題意識・広い視野・長期展望を涵養するため、現在世界で活躍するトップリーダーに講義をいただく。

---

工学教育院特別講義「デザインとエンジニアリング」 1単位  
2セミスター

担当教員がすぐれたデザインの事例を数多く紹介しつつ、それはなぜすぐれたデザインだと見えるのか、を解説する。同時に、どのようにしてそのデザインは生まれたのか、その技術的背景についても言及し、工学部の初学者に、これから学んでいく工学関連の諸技術の実践的活用のゴー ル像の一端を示し、学習の動機付けを図る。

---

## ● 修学関連事項

### 1. 学生の窓口案内等

工学部学生の各種手続きは、1～4セメスターは主に川内北キャンパスの各窓口で、5セメスター以降は工学部キャンパスの工学部教務課又は各学科事務室で行うことになります。

それぞれの窓口の取扱い内容は次のとおりです。

| 区分               | 担当窓口・場所                           |                                 | 時期                        | 備考                              |                               |
|------------------|-----------------------------------|---------------------------------|---------------------------|---------------------------------|-------------------------------|
|                  | 1～4セメスター                          | 5セメスター以降                        |                           |                                 |                               |
| 学籍関係             | 学生証<br>(再発行)                      | 工学部教務課<br>学生支援係                 | 随時                        | 113ページ参照                        |                               |
|                  | 身上変更届<br>(改姓、転籍等)                 | 川内北キャンパス<br>支援企画係               | 〃                         | 〃                               |                               |
|                  | 保護者変更届                            |                                 | 〃                         | 〃                               |                               |
|                  | 住所変更届                             | 工学部教務課<br>学生支援係及び各学科事務室         | 〃                         | 〃                               |                               |
| 授業・試験関係          | 休学・退学・復学<br>留学・転学科・転学部            | 工学部教務課学部教務係                     | 〃                         | 113～4ページ参照                      |                               |
|                  | 授業時間割表                            | 川内北キャンパス<br>全学教育実施係<br>(全学教育科目) | 各学科事務室<br>(3セメ～8セメ)       | 4月                              | 学科ごとの履修ガイダンスに必ず出席すること。        |
|                  | 履修登録手続き                           | 教務情報システム(Web画面より登録)             | 奇数セメスター 4月<br>偶数セメスター 10月 | 110ページ参照                        |                               |
|                  | 成績確認                              | 教務情報システム(Web画面より確認)             | 4月、10月                    | 110～1ページ参照                      |                               |
|                  | 追試験願                              | 川内北キャンパス<br>全学教育実施係<br>(全学教育科目) | 各学科事務室                    | 随時                              |                               |
| 授業料・奨学生金関係       | 修学指導                              | 工学部各学科                          | 随時                        |                                 |                               |
|                  | 授業料                               | 川内北キャンパス<br>経理係                 | 工学部経理課<br>経理係             | 11座引き落とし<br>前期分 4月中<br>後期分 10月中 | 新入生の前期分は、5月中に口座引き落としされます。     |
|                  | 授業料免除願書、同微収納<br>予願書、同月割分納願書       | 川内北キャンパス<br>経済支援室               |                           | 奇数セメスター 3月<br>偶数セメスター 9月        |                               |
| 保健衛生             | 日本学生支援機構、地方公<br>共団体及び民間団体奨学生<br>金 | 川内北キャンパス<br>経済支援室               | 工学部教務課<br>学生支援係           | 随時                              | 募集・推薦・採用・異動・継<br>続・返還等・その他手続き |
|                  | 健康診断証明書                           | 保健管理センター<br>(川内北キャンパス内)         |                           |                                 |                               |
| 学校教育研究災害<br>傷害保険 | 学生支援課 生活支援係<br>(郵便振り込みによる)        |                                 | 4月                        | 入学時に加入                          |                               |

| 区分     |         | 担当窓口・場所                |                         | 時期   | 備考  |
|--------|---------|------------------------|-------------------------|------|---|
|        |         | 1~4セメスター               | 5セメスター以降                |      |   |
| 施設の利用  | 講義室使用願  | 川内北キャンパス<br>活動支援係      | 工学部教務課<br>学部教務係及び各学科事務室 | 随時   |   |
|        | 厚生施設使用願 | 川内北キャンパス<br>生活支援係      | 工学部教務課<br>学生支援係         |      |   |
| その他    |         | 在学証明書<br>学割証           | 川内北キャンパス<br>管理棟(自動発行機)  | 即時交付 | } 学生証使用 全キャンパス設置<br>自動発行機使用可<br>4年次の該当者のみ、学生証使用 |
|        |         | 卒業見込証明書                |                         |      |   |
| その他    |         | 通学証明書                  | 川内北キャンパス<br>経済支援係       | 随時交付 |   |
|        |         | 学生団体旅行申込書              | 川内北キャンパス<br>支援企画係       |      |   |
| 成績証明書等 |         | 川内北キャンパス<br>管理棟(自動発行機) | 工学部中央棟1F・3F<br>(自動発行機)  | 即時交付 | 卒業後は、工学部教務課<br>学部教務係                            |
| 学友会費   |         | (郵便振込みによる)             |                         | 4月   | 入学時に加入  |
| 青葉工業会費 |         | (郵便振込みによる)             |                         |      |   |

- ・学生生活全般及びその他のことで助言を求める場合は、その内容に応じてクラス担任・副担任、教務委員、所属学科事務室、教務課各係、学生相談所などに申し出ることができます。
- ・教務課、各学科事務室の教務担当の電話番号（市外局番022）

|              |          |            |                   |
|--------------|----------|------------|-------------------|
| 学部教務係        | 795-5818 | 化学・バイオ工学科  | 795-7205          |
| 大学院教務係       | 795-5820 | 材料科学総合学科   | 795-7373          |
| 学生支援係        | 795-5822 | 建築・社会環境工学科 | 795-7489          |
| 機械知能・航空工学科   | 795-7030 |            |                   |
| 情報知能システム総合学科 |          |            | 795-7185・795-7980 |

## 2. 掲示

学生に対する大学からの意思の伝達や諸連絡の事項は、原則として掲示によって周知されます。これらの事項は、工学部中央棟掲示板、学務情報システムお知らせ機能及び川内北キャンパス掲示板（全学教育に関するもの）のほか、各学科、関係研究所等の掲示板に掲示されるので、日常的にこれらの掲示を見る習慣をつけることが大切です。

特に工学部中央棟掲示板、学務情報システムお知らせ機能及び川内北キャンパス教務用掲示板に掲示された事項は、工学部の全学生に周知されたものとして取り扱われますので、見落としのないように常に心がけてください。

### 3. 履修登録・成績確認

#### (1) 履修登録

各セメスターにおける授業履修は、卒業要件等を十分考慮しながら計画を立てることが必要です。

履修登録は、そのセメスターにおいて履修しようとする全ての授業科目を行って下さい。(通年で開講する授業科目は、その授業開始のセメスターに履修登録をして下さい。)

既に履修し合格した授業科目を再度履修登録すること及び同一名称の授業科目同じセメスターに重複して登録することはできません。

入学後、4セメスター終了までの履修手続きについては、全学教育実施係(川内北キャンパス管理棟2F)より掲示・連絡が行われますので、その指示に従い履修手続きをして下さい。

5セメスター以降の履修手続きについては、工学部教務課学部教務係(工学部中央棟3F)より各学科掲示板に掲示・連絡が行われますので、その指示に従い履修手続きをして下さい。

<全学教育科目的履修にかかる留意事項>

- 履修する授業科目を“Webによる履修登録”により登録して下さい。
- “他組履修”や“授業において履修カードの配布があった科目”については、必ず履修カードを授業担当教員に提出して下さい。
- 履修登録手続きが不備だと単位が認定されないので、確実に履修登録手続きを行って下さい。
- 履修手続きにかかる詳細事項については、「全学教育科目履修の手引」を参照して下さい。

<工学部専門教育科目的履修にかかる留意事項>

- “授業担当教員への履修カードの提出”は不要です。(1・2セメスターの「数学物理学演習Ⅰ・Ⅱ」、2セメスターの「情報処理演習」は履修カードを提出して下さい。)
- 履修指定クラス以外のクラスの授業を受ける場合は、必ず授業担当教員の承諾を得て下さい。
- 履修する授業科目を“Webによる履修登録”により登録して下さい。
- 授業担当教員が履修者を的確に把握するためにも、履修登録は確実に行って下さい。
- “Webによる履修登録”的手続き期間および“履修確認修正期間”は各学科掲示板等に別途掲示により周知します。

#### (2) 成績の確認

各セメスターの履修結果は、成績が登録され次第、履修登録を行ったWeb画面で隨時確認することができます。掲示により指示される成績確認期間には必ず履修した科目の成績を確認して下さい。

各成績の評価基準は、下記のとおりです。

| 成績評価 | 全学教育科目<br>成績評価基準<br>(点数の目安)           | 工学部専門教育科目<br>成績評価基準 | 合否区分 | 備考 |
|------|---------------------------------------|---------------------|------|----|
| A A  | 成績が特に優秀であるもの<br>(90点～100点)            | 成績「90～100点」のもの      | 合格   |    |
| A    | 成績が優秀であるもの<br>(80点～89点)               | 成績「80～89点」のもの       | 合格   |    |
| B    | 成績が良好であるもの<br>(70点～79点)               | 成績「70～79点」のもの       | 合格   |    |
| C    | 成績が可であるもの<br>(60点～69点)                | 成績「60～69点」のもの       | 合格   |    |
| D    | 成績が不可であるもの<br>又は履修を放棄したもの<br>(0点～59点) | 成績「0～59点」のもの        | 不合格  |    |
| E    | 所定の手続きをして履修登録を取消したもの                  |                     | 一    |    |

|   |                      |     |                           |
|---|----------------------|-----|---------------------------|
| 合 | 「合格」                 | 合格  | 「合格」「不合格」による成績評価の場合に適用する。 |
| 不 | 「不合格」                | 不合格 |                           |
| E | 所定の手続きをして履修登録を取消したもの | 一   |                           |

### (3) 成績評価への不服申立て

(2) により確認した成績評価に疑義が生じた場合は、「説明請求」「不服申立て」を行うことができます。

#### 工学部専門教育科目 成績評価への説明請求、不服申立ての取扱要項

##### <成績評価にかかる説明請求>

工学部専門教育科目にかかる成績評価の基準および評価方法については、シラバスに記載するものとし、成績発表が行われ次第、原則として2週間以内に、授業担当教員に成績評価について説明を求めることができる。

なお、この期間内に申し出ないことに対して正当な理由がある場合には、成績発表が行われてから1年以内の成績保存期間に限り説明を求めることができる。

##### <不服申し立て>

授業担当教員より成績評価にかかる説明を受けたが、その説明によってもなお成績評価に不服申し立てを行なうことができる。

##### <不服申し立て手続き>

- 下記窓口に必要書類を作成し提出すること。
  - 【窓口】工学部・工学研究科教務課学部教務係（工学部中央棟3階）
  - 【必要提出書類】「成績評価にかかる申立書」（別紙1）

##### <審査委員会>

- 工学部長に不服の申立があった場合、工学部長は工学部教務委員会へ審査委員会の設置を要請する。
- 審査委員会は、工学部教務委員会委員長或いは副委員長を委員長とし、委員長の指名する工学部教務委員会委員若干名により構成する。

##### <審査>

- 審査委員会は、工学部長より付議された成績評価にかかる不服申立てについて、不服申立ての内容が妥当であるか否か審査し、不服申立ての内容が妥当と判断する場合は、適正な成績評価を明示して回答する。
- 審査委員会は、授業担当教員へ成績評価にかかる資料の提出を求め、また必要に応じて審査委員会にて説明を求める場合がある。
- 審査委員会は、必要に応じて申立者へ審査委員会にて申立書記載事項の説明等を求める場合がある。

##### <審査結果>

- 審査委員会委員長は、審査結果を工学部長に答申（別紙2）として報告する。
- 工学部長は、審査委員会から報告された答申を申立者へ回答する。なお、申立者の申立内容が妥当と判断された場合には、工学部長は審査委員会が答申する成績に修正する。

平成 年 月 日

庄学部長 殿

庄学部長 殿

平成 年 月 日

## 成績評価に関する申立書

私は、下記の授業科目の成績評価について授業担当教員より説明をいたしましたが、納得することができません。

つきましては、私の成績評価について審査のうえ、その結果をお知らせ願います。

|   |  |      |   |
|---|--|------|---|
| 学籍番号  |  | 氏名   | 印 |
| 連絡先<br>(TEL)<br>(Email)                                   |  |      |   |
| 授業科目名   |  | 担当教員 |   |
| 成績評価への説明を受けた日：平成 年 月 日                                    |  |      |   |
| 不服申立て内容及び理由<br>(授業出席状況、レポート提出状況、定期試験受験状況をできるだけ詳細に記載すること。) |  |      |   |
| <p>（記入欄）</p> <p>（記入欄）</p> <p>（記入欄）</p> <p>（記入欄）</p>       |  |      |   |

## 教務課使用欄

|          |  |           |
|----------|--|-----------|
| ①申立書受理日  |  | 備考欄       |
| ②審査会開催日  |  | 成績訂正（無）   |
| ③審査会答申領日 |  | 有 成績訂正処理日 |
| ④回答（連絡）日 |  |           |

庄学部長 殿

審査委員会

委員長 印  
委員 印  
委員 印

答申

当審査委員会へ付議されましたことについて、次の審査結果のとおり回答いたします。

|   |  |      |  |
|---|--|------|--|
| 学籍番号  |  | 氏名   |  |
| 授業科目名   |  | 担当教員 |  |
| 審査結果  |  |      |  |
| 1 審査の結果、成績評価にかかる不服申立ての内容は妥当であると認められ、次に記す成績への訂正が妥当と判断します。<br>審査委員会が妥当と評価する成績 点・合・否・ノ（履修放棄） |  |      |  |
| 2 審査の結果、成績評価にかかる不服申立ての内容は妥当であると認められず、授業担当教員の成績評価は適切に行われたと判断します。                           |  |      |  |
| 審査内容  |  |      |  |
| <p>（記入欄）</p> <p>（記入欄）</p> <p>（記入欄）</p> <p>（記入欄）</p>                                       |  |      |  |

※本回答書の記載事項はそのまま申立者へ開示されます。

## (4) 修学指導

標準的な修得単位数を下まわる者には、学科ごとに教務委員等が履修指導を行います。なお、大幅に下まわる場合には、保護者等にも通知することがあります。

## (5) 専門教育科目の試験、成績評価等

(1) 科目試験は、学科ごとに、通常の授業期間又は補講期間に実施します。

(2) やむをえない理由により、科目試験を受けることができなかった者は、追試験を受けることができます。

(3) 科目試験又は追試験に合格しなかった者に対しては、学科の判断により、再試験を行うことがあります。

(4) 成績の評価は、100点満点で、60点以上が合格です。

(5) 履修結果確認のための成績開示は、点数等を次のとおり読み替えて表示します。

100点～90点=A A, 89点～80点=A, 79点～70点=B, 69点～60点=C,

59点～0点=D, 合格=合, 不合格=不, 履修取消し=E

(6) 成績証明書の「評価・成績」欄には、点数等を(5)のとおり読み替えて表示します。なお、成績証明書には、59点以下の点数、不合格及び履修取消しの科目については記載しません。

## 4. 学籍

### (1) 学生証と学籍番号

#### ① 学生証について

学生証は、あなたが東北大学の学生であることを証明する大切な身分証明書です。常に学生証を携帯し、各窓口などで本学教職員及びその他の者からの要求があるときは、提示しなければなりません。また、学生証はIDカードを兼ねており、証明書自動発行機、図書館などの利用にも必要となります。

#### ② 学生証の紛失について

落としたり他人に貸したりした学生証が悪用されると、あなたになりすまして学生ローンなどで借金をしたり、各種の学生割引を利用されたりなど、あなたの知らないうちに損害を受けることにもなりかねません。本学及びあなたが迷惑をこうむることになりますから、特に注意してください。

また、紛失した場合は、すぐに、写真（半身脱帽たて4cm、横3cm）を添えて、再交付の手続きを行ってください。

#### ③ 学生証の返却について

再交付を受けてから、前の学生証を見つかった場合や、卒業・修了時、または退学・除籍などにより学籍を失った（学生の身分がなくなった）場合には返却してください。

#### ④ 学籍番号について

学籍番号は入学時に個人別に定め、在学期間中は変更しません。

### (2) 身上事項

本籍地、氏名及び保証人に変更が生じたときは、その都度、届け出が必要です。

この届け出がない場合は、諸証明書等はすべて、変更前のものが記載されることになります。

### (3) 住所届

#### ① 現住所、帰省先、保護者等住所を変更したときは、届け出が必要です。

#### ② 届け出がないと、急を要する連絡ができないことになります。

### (4) 休学、復学、退学の願い出

#### ① 手続

休学、退学を願い出るときは、教務課から用紙を入手後、所属学科事務室を経由して、指導教員（研究室所属学生のみ）、教務委員及び学科長の了承を得てください。これらの願い出には、保証人等の連署を必要とします。

理由欄には、「一身上の都合」などとはせず具体的に記入してください。記載された内容は、審査以外に使用（公表）されることはありません。

#### ② 休学願

a. 休学できる期間は、3か月以上1年以内です。

病気の場合は医師作成の診断書（病名等が外部に漏れることはありません）、留学の場合は受け入れ先の許可書の写し、経済的事情の場合は保護者等からの添書等、原則として事情が分かる書類を添付してください。

休学願は、修学上止むを得ない事情であると認められる場合に受理されます。なお、審査の結果によっては許可されないことがあります（東北大学学部通則第18条）。

- b. 休学は、教務課学部教務係への提出日以前にさかのぼって許可することはできませんので、休学期間については事前に同係に相談してください。休学許可書は、学科長会議で承認された後に郵送します。
- c. 休学期間内にその理由が解消したときは、「復学願」を提出して復学することができます。なお、病気で休学している場合は、復学可能であることが明記された診断書を添付してください。
- d. 休学期間が満了し復学する場合は、休学期間が満了する以前に、「復学届」を提出してください。
- e. 休学期間が引き続き3か月以上の場合は、その期間は在学期間に算入されません。また、休学は通常して2年を超えることができません。ただし、特別の事情がある場合には、願い出により修業年限と同年数までその延長を許可することができます。

### ③ 退学願

- a. 都合により退学する場合は、理由を記入した「退学願」を提出してください。
- b. 退学年月日は、「退学願」が受理された日以前にさかのぼることはできません。
- c. 「退学願」を提出する際には、提出する日の属する期の分までの授業料を納付しておくことが必要です。3月31日付けで退学しようとする場合は、後期分の授業料が納付され、3月末日までに「退学願」が受理される必要があります。4月以降の願い出は、新たな授業料納付義務が生じます。

## (5) 転学科・転学部、他大学受験等

- ① 転学科は、所定の条件が満たされたときに2セメスター以降に出願を受付け、審査の上3セメスター以降の転学科を許可します。出願時期は、前セメスターの12月1日～12月28日或いは、6月20日～7月15日とします。
- ② 転学部、他大学受験等をしようとする場合は、教務課に相談するとともに、事前にクラス担任、教務委員等に相談してください。

## 5. 留 学

本学では、海外の大学と学術交流協定を締結し、積極的に交流を進めています。協定校への留学及び留学計画については、工学部国際交流室（工学部中央棟2階）、工学部教務課大学院教務係（工学部中央棟3階）又は教育・学生支援部留学生課（川内キャンパス、電話022-795-7820）に問い合わせてください。

留学が内定した場合は、工学部教務課学部教務係で「留学願」の手続きをしてください。

なお、留学して得た修学の成果を審査のうえ、本学部において修得した単位として認めることができます。

(1) 交流協定校一覧（平成25年12月現在）

大 学 間 學 術 交 流 協 定 校

| 国・地域名  | 学術交流協定締結校名        |
|--------|-------------------|
| アジア地域  | インド工科大学ボンベイ校      |
|        | インド科学大学           |
|        | アジア工科大学院          |
|        | スラナリーワーク大学        |
|        | キングモンクット工科大学ラカバン校 |
|        | チュラロンコーン大学        |
|        | タマサート大学           |
|        | チェンマイ大学           |
|        | キンモンクット工科大学トンブリ校  |
|        | シンガポール国立大学        |
| シンドネシア | インドネシア大学          |
|        | ガジャマダ大学           |
|        | バンドン工科大学          |
|        | ボゴール農科大学          |
|        | 全北大学校             |
| 韓国     | ソウル大学校            |
|        | 光州科学技術院           |
|        | 釜慶大学校             |
|        | 浦項工科大学校           |
|        | 韓国科学技術院           |
|        | 忠南大学校             |
|        | 慶北大学校             |
|        | 嶺南大学校             |
|        | 東義大学校             |
|        | 朝鮮大学校             |
| モンゴル   | 高麗大学校             |
|        | 国立昌原大学校           |
|        | 西江大学校             |
|        | 延世大学校             |
|        | 釜山大学校             |
|        | 国立公州大学校           |
|        | 中央大学校             |
|        | 慶熙大学校             |
|        | 成均館大学校            |
|        | 国民大学校             |
| ベトナム   | モンゴル科学アカデミー       |
|        | モンゴル科学技術大学        |
|        | ベトナム国立大学ハノイ校      |
|        | 貿易大学              |
|        | 東北大學              |
|        | 中国科学技术大学          |
|        | 清华大学              |
|        | 南京大学              |
|        | 北京大学              |
|        | 吉林大学              |
| 中国     | 浙江大学              |
|        | 復旦大学              |
|        | 武汉理工大学            |
|        | 重庆大学              |
|        | 同济大学              |
|        | 中国海洋大学            |
|        | 北京科技大学            |
|        | 南京航空航天大学          |
|        | 厦门大学              |
|        | 華中科技大学            |
|        | 西安交通大学            |
|        | 華東師範大学            |
|        | 北京航空航天大学          |
|        | 蘭州大学              |
|        | 天津大学              |
|        | 大连理工大学            |
|        | 揚州大学              |
|        | 中国社会科学院           |
|        | 東南大学              |
|        | 上海交通大学            |
|        | 北京工业大学            |
| 台湾     | 北京郵電大学            |
|        | 香港科技大学            |
|        | 上海海洋大学            |
|        | 中国地质大学（武汉）        |
|        | 香港城市大学            |
|        | 東北財經大学            |
|        | 国立台湾大学            |
|        | 国立台湾海洋大学          |
|        | 国立中正大学            |
|        | 国立成功大学            |
| 中近東地域  | 国立交通大学            |
|        | 国立中興大学            |
|        | 国立清華大学            |
|        | 国立政治大学            |
|        | トルコ               |
| アフリカ地域 | イスタンブール工科大学       |
|        | モロッコ              |
|        | ムハンマド5世大学アグダル     |
| 太平洋地域  | 南アフリカ             |
|        | クワズールー・ナタール大学     |
|        | シドニー大学            |
|        | オーストラリア           |
| 北米地域   | ニューサウスウェールズ大学     |
|        | オーストラリア国立大学       |
| 北米地域   | ニュージーランド          |
|        | オークランド大学          |
| 北米地域   | カナダ               |
|        | オタワ大学             |

| 国・地域名  | 学術交流協定締結校名  |
|--------|---|
| 北米地域   | ヘンシルバニア州立大学   |
|        | カリヨン大学（10校）   |
|        | バークレー校  |
|        | デビス校  |
|        | アーヴィング校   |
|        | ロサンゼルス校   |
|        | マーセド校   |
|        | リバーサイド校   |
|        | サンディエゴ校   |
|        | サンフランシスコ校   |
| アメリカ   | サンタバーバラ校  |
|        | サンタクララ校   |
|        | ワシントン大学（シアトル）   |
|        | ハーデュー大学   |
|        | アラスカ大学  |
|        | コロラド鉱山大学  |
|        | シラキュース大学  |
|        | 国際教育協会（IIE）メンバー校は次頁参照   |
|        | テンブル大学  |
|        | ハーバード大学   |
| 中南米地域  | テキサスA&M大学   |
|        | ハワイ大学マノア校   |
|        | 保健社会福祉省国立衛生研究所  |
|        | ヘネズエラ   |
|        | シモン・ボリバル大学  |
|        | アルト大学（旧：ヘルシンキ工科大学）  |
|        | オウル大学   |
|        | タンペレ工科大学  |
|        | ウーメオ大学  |
|        | 王立工科大学  |
| イギリス   | ウプサラ大学  |
|        | ストックホルム大学   |
|        | チャルマース工科大学  |
|        | インペリアル・カレッジ・ロンドン  |
|        | ロンドン大学（The London School of Economics and Political Science）        |
|        | ロンドン大学（The School of Oriental and African Studies）                  |
|        | ノッtinghamガム大学   |
|        | ヨーク大学   |
|        | シェフィールド大学   |
|        | ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン（UCL）  |
| オランダ   | ヘルギー原子力研究センター   |
|        | グローリングデン大学  |
|        | アーヘン工科大学  |
|        | ドルトムント大学  |
|        | ザールラント大学  |
|        | ダルムシュタット工科大学  |
|        | ゲッティンゲン大学   |
|        | ドレスデン工科大学   |
|        | ヘルリン工科大学  |
|        | ミュンヘン工科大学   |
| ドイツ    | カールスルーエ工科大学   |
|        | カイザースラウテルン工科大学  |
|        | ハイデルベルク大学   |
|        | ヨハネスグーテンベルク大学   |
|        | ドイツ航空宇宙センター   |
|        | ハーナー大学  |
|        | ケムニッツ工科大学   |
|        | ビール・マリー・キュリー大学  |
|        | レンヌ第2大学   |
|        | グルノーブル大学  |
| フランス   | ストラスブール大学   |
|        | レンヌ第1大学   |
|        | The Global Education for European Engineers and Entrepreneurs (GE4) |
|        | 国立応用科学院リヨン校   |
|        | ボルドー第1大学  |
|        | 国立中央理工学校（Ecole Centrale）5校  |
|        | リール校  |
|        | リヨン校  |
|        | マルセイユ校  |
|        | ナント校  |
| イタリア   | パリ校   |
|        | アルピ鉱山大学   |
|        | リヨン政治学院   |
|        | リヨン高等師範学校   |
|        | エコール・ポリテクニク   |
|        | リヨン第2大学   |
|        | コンピエヌ工科大学   |
|        | サンティエンヌ国立高等鉱山学校   |
|        | ボルドー工科大学  |
|        | リヨン大学   |
| オーストリア | ローマ大学「ラ・サヒエンツァ」   |
|        | フィレンツェ大学  |
|        | トリノ工科大学   |
|        | ナボリ大学   |
|        | ペローナ大学  |
|        | ミラノ工科大学   |
|        | ウィーン大学  |
|        | スイス連邦工科大学ローザンヌ校   |
|        | スイス連邦工科大学チューリッヒ校  |
|        | ボーランド科学アカデミー・触媒表面化学研究所  |
| スペイン   | スペイン大学  |
|        | モスクワ国立大学  |
|        | ノボシビルスク国立大学   |
|        | ロシア科学アカデミー・極東支部   |
|        | ニジェゴロド国立大学  |
|        | 極東連邦大学  |
|        | ウクライナ国立工業大学（キエフ工科大学）  |
| NIS 地域 | ロシア   |
|        | モスクワ国立大学  |
|        | ノボシビルスク国立大学   |
|        | ロシア科学アカデミー・極東支部   |
|        | ニジェゴロド国立大学  |
| ウクライナ  | ウクライナ   |
|        | ウクライナ国立工業大学（キエフ工科大学）  |

## 工学部・工学研究科の部局間学術交流協定校

| 国・地域名 | 学術交流協定締結校名                       | 国際教育協会（IIE）                                   |
|-------|----------------------------------|---|
| アジア地域 | インド<br>ブネ国立化学研究所<br>パンダン工科大学     | • Binghamton University, SUNY                 |
|       | インドネシア科学院                        | • Boise State University                      |
|       | セフル・ノーヘンバー工科大学                   | • Case Western Reserve University             |
|       | バジャジャラン大学数学・自然科学部                | • City College of New York                    |
|       | シンガポール<br>ナンヤン工科大学工学部            | • Clemson University                          |
|       | プリンス・オブ・ソンクラー大学工学部               | • Drexel University                           |
|       | タイ<br>泰日工業大学                     | • Embry-Riddle Aeronautical University        |
|       | フィリピン<br>ミンダナオ州立大学イリガン工科校        | • Franklin W. Olin College of Engineering     |
|       | ベトナム<br>水資源大学                    | • Georgia Institute of Technology             |
|       | ベトナム科学技術アカデミー・材料科学研究所            | • Illinois Institute of Technology            |
|       | ハノイ工科大学                          | • Lehigh University                           |
|       | ベトナム国家大学ホーチミン市・理工大学              | • Louisiana State University                  |
|       | 韓国<br>釜慶大学校（旧：釜山水産大学校）           | • Mississippi State University                |
|       | ソウル大学校工科大学                       | • Missouri University of Science & Technology |
|       | 慶北大学校工科大学                        | • New Jersey Institute of Technology          |
|       | 延世大学校工科大学                        | • Northeastern University                     |
|       | 嶺南大学校工科大学                        | • Northern Arizona University                 |
|       | 忠南大学校工科大学                        | • Oregon State University                     |
|       | 漢陽大学校工科大学および大学院                  | • Polytechnic Institute of NYU                |
|       | 全南大学校工科大学                        | • Rensselaer Polytechnic Institute            |
|       | 建国大学校大学院、工学部、建築学部、情報通信学部、生命環境科学部 | • Rose-Hulman Institute of Technology         |
|       | 台湾<br>国立彰化師範大学理学院                | • Santa Clara University                      |
|       | 台湾工業技術研究院苗栗分院                    | • Texas Tech University                       |
|       | 中国<br>東北大（旧：東北工学院）               | • University at Buffalo, SUNY                 |
|       | ハルビン工業大学                         | • University of Arizona                       |
|       | 西安電子科技大学                         | • University of Colorado, Boulder             |
|       | 大連理工大学研究生院                       | • University of Connecticut                   |
|       | 中国科学院化学研究所                       | • University of Illinois, Urbana-Champaign    |
|       | 河北連合大学                           | • University of Maryland                      |
|       | 電子科技大学                           | • University of Michigan                      |
|       | 華東理工大学 機械・動力工学部                  | • University of Pittsburgh                    |
|       | イギリス<br>マン彻スター大学物理工学部機械・航空・土木工学科 | • University of Tennessee, Knoxville          |
|       | イタリア<br>ローマ大学「ラ・サビエンツァ」情報工学部     | • University of the Pacific                   |
|       | スイス<br>スイス連邦工科大学ローザンヌ校           | • University of Tulsa                         |
|       | スウェーデン<br>王立工科大学                 | • University of Wisconsin, Madison            |
|       | スロベニア<br>リュブリナ大学工学系4学部           |   |
|       | チェコ<br>VSB-オストラバ工科大学             |   |
|       | デンマーク<br>デンマーク工科大学               |   |
|       | オールボー大学通信基盤研究センター                |   |
|       | 欧洲地域<br>アーヘン工科大学機械工学部、鉱山冶金・地球科学部 |   |
|       | ハンブルグ・ハールブルグ工科大学                 |   |
|       | ドイツ<br>フライブルグ大学マイクロシステム技術研究所     |   |
|       | エルランゲン大学工学部                      |   |
|       | レーベンスブルク大学物理学部                   |   |
|       | ショットカットガルト大学エネルギー技術・プロセス工学・生物工学部 |   |
|       | フィンランド<br>トルク応用科学大学電気通信・eビジネス学部  |   |
|       | メス大学                             |   |
|       | IFMA大学工学部                        |   |
|       | フランス<br>国立応用科学院トゥールーズ校           |   |
|       | 国立モンペリエ高等建築大学                    |   |
|       | 国立ボルドー高等電気情報通信大学                 |   |
|       | トロイ工科大学                          |   |
|       | ベルサイユ大学                          |   |
|       | ベルギー<br>ブリュッセル自由大学建築学部           |   |
| 太平洋地域 | オーストラリア<br>グリフィス大学工学・情報学部        |   |
| 中近東地域 | イラン<br>シラズ大学工学部                  |   |
| 南米地域  | チリ<br>アタカマ大学                     |   |
|       | コンセプシオン大学                        |   |
| 北米地域  | メキシコ<br>メキシコ国立工科大学               |   |
|       | イリノイ大学工学部・バイオアクティクス研究所           |   |
|       | ワイオミング大学工学部                      |   |
|       | ニューヨーク市立大学シティカレッジ工学部             |   |

## (2) 応募資格

応募資格は、次の全てを満たす者とします。

- ① 本学（部局間協定校への留学の場合は、本学部・本研究科）の学部学生又は大学院学生で、学業、人物ともに優秀な者
- ② 専門分野に関し、派遣先大学において教育を受けるに十分な語学能力がある者
- ③ 留学期間終了後、本学に戻り学業を継続する者

## (3) 派遣期間

1年以内を原則とします。なお、派遣大学によって派遣期間が異なります。

## (4) 募集時期

派遣予定年の前年の10月頃に募集しますので、掲示に注意してください。

## (5) 留学経費

渡航費、滞在費等は自己負担となります。

派遣先大学では検定料、入學料及び授業料は協定に基づき徴収されません。

ただし、一部の大学については徴収されますので、教務課に確認してください。

## (6) 奨学金

- ① 日本学生支援機構の海外留学支援制度に基づく奨学金支給対象者には、次のとおり奨学金が支給されます。

- 奨学金：月額6～10万円（地域による）
- 採用人数：本学全体で最大76名
- 支給期間：12ヶ月以内

- ② 工学部・工学研究科国際交流促進奨学金

- 奨学金：月額5万円
- 採用人数：10名
- 支給期間：10ヶ月以内

- ③ その他の奨学金

短期留学推進制度（派遣）に基づく派遣留学以外に、各種奨学団体等による奨学金制度を利用することができるきます。募集は隨時学内掲示で行います。

## (7) 留学中の本学における学籍上の身分

大学間及び部局間協定校への留学は、派遣留学生の所属学部・研究科の認定により、学籍上原則として「留学」の身分によるものとします。派遣先大学で修得した単位の認定、本学における在学年数、授業料等の取り扱いについては、教務課で説明を受けてください。

## (8) ダブルディグリー及び共同教育プログラム

本学においては、グローバル化社会をリードする次世代の人材育成のために、フランス及び中国のトップにランクされる高等教育機関をパートナーとする、修士レベルのダブルディグリープログラムがあります。

このプログラムに参加すると大学院前期課程修了時において本学の学位と、それぞれの協定校における学位が修得できる制度です。

- 詳細については、工学部・工学研究科国際交流室（022-795-7996）及び教育・学生支援部留学生課（川内キャンパス、022-795-7820）にお問い合わせください。

- 申請時期

その都度、掲示板、東北大学及び工学部・工学研究科ホームページでお知らせします。

## (9) その他

派遣先大学では、TOEFL (Test of English Foreign Language) の成績に最低基準を設定していることがあります。特に、欧米の派遣先大学は、入学許可の条件として、550点 (CBT : 213点) 以上とすることが多いので、各自志望大学の入学許可条件を確認してください。

大学院学生で、アメリカ合衆国の大学の大学院課程に入学を希望する場合は、GRE (Graduate Record Examinations) の受験が義務づけられています。

## 6. 短期留学生受入プログラム授業科目の履修

本学は、学部2～3年次程度の外国に在籍する外国人留学生を対象とした短期留学生受入プログラ (Junior Year Program in English) を実施しており、授業は英語で行われています。工学部には、特別聴講学生として40名程度が在籍していますが、留学等を希望する日本人学生で、英語の授業に慣れておきたい場合には、下記のような授業を聴講することが出来ます。ただし、受講には授業担当教員の了承が必要です。詳細は、教務課学部教務係に照会してください。

2012～2013 短期留学生受入プログラム授業科目 (※)

Mechanics of Materials/Materials Science and Engineering A/Materials Science and Engineering B/System Dynamics/Computer Software Engineering/Fundamentals of Computer Engineering/Electricity and Magnetism A/Electricity and Magnetism B/Introductory Quantum Mechanics/Basics computer Systems/Chemistry of Materials/Biotechnology/Separation Science and Engineering/Environmental Chemistry and Engineering/Geological Environment and Earthquake Disaster

※ 工学部教員実施科目のみを記載していますが、他学部教員担当の短プロ授業を受講することも可能です。

## 7. 学生による授業評価

本学部では、自己点検・自己評価の一環として、平成7年度から「学生による授業評価」を実施しています。工学部の専門教育科目の内、評価になじまない一部の実験・実習科目などを除く全ての授業を対象にしており、各セスメーターの終わり頃に実施しますので、積極的に参加することを希望します。

評価用紙は教員別に集計され、結果を授業担当教員に開示するとともに、その内容について専門委員会が分析を行い、工学部の授業改善のために活用されます。集計した全科目平均値、分布、分析等は工学部ホームページにて公表しています。

また、2年次以上の学生を対象に、1月中～下旬にかけて、工学部のカリキュラム、施設・設備に関するアンケートを実施しており、その集計結果を参考にして改善の検討が行われます。

## 8. 各種単位の認定

### (1) 1年次入学者の既修得単位認定

本学部1年次学生として入学を許可された者で、本学、他の大学又は短期大学（外国を含む。）を卒業した者又は中途退学した者のうち、当該大学等において修得した授業科目については、申請に基づき審査の上、本学部において修得したものと認めることができます。

対象は全学教育科目及び専門教育科目であり、次の(2)の単位数と合せて60単位までです。具体的な事項は入学時にお知らせしますが、学修成果の適切な評価のため、申請の際には既修得単位に関する成績証明書、授業内容が明記されたシラバスなどの添付を必要とします。審査は当該科目担当教員が行い、認定は工学部教務委員会が行います。

#### (2) 本学入学後に修得した他の大学等における学修成果の認定

本学入学後、卒業するまでに他の大学等において修得した成果は、申請に基づき審査の上、本学部において修得したものと認めることができます。

審査は各学科の関係教員が行いますが、学修成果の適切な評価のため、申請の際には、修得科目に関する成績証明書、授業内容が明記された詳細なシラバスなどの添付を必要とします。

手続きに関する詳細は、工学部教務課学部教務係へ照会して下さい。

#### (3) 編入学者の既修得単位認定

本学部に編入学を許可された者は、全学教育の授業科目を履修して必要な単位数を修得したものとみなします。また、専門教育科目については、申請に基づき審査の上、20単位までを本学部において修得したものと認めることができます。(東北大学学部通則12条)

専門教育科目の既修得単位認定審査は各学科の担当教員が行いますが、本学部の専門教育科目に相当する教育内容であることが確認できるよう、申請時には既修得単位に関する成績証明書、授業内容が明記された詳細なシラバスなどの添付を必要とします。なお、本学部を卒業した編入学者については、授業科目、単位及び成績評価を、そのまま認定することができます。

#### (4) 外国語技能検定試験（英検、TOEFL、TOEIC、独検、仮検）等による単位認定

本学部入学前又は入学後に、外国語技能検定試験等において所定の認定又は得点を得た者は、申請に基づき審査の上、本学部において外国語の単位を修得したものと認めることができます。(東北大学学部通則第26条の6・第26条の7)

対象は全学教育科目の英語2単位まで、英語以外の初修語4単位までであり、外国語科目担当教員が審査し、工学部教務委員会が認定します。

手続きに関する詳細は、全学教育実施係へ照会して下さい。

### 9. 教職免許・各種資格

#### (1) 教育職員免許状の取得について

##### ① 教員職員免許状について

学校教育法第一条に定める中学校、高等学校などの各学校の教員となるためには、教育職員免許法に定める所定の単位を修得し、各都道府県の教育委員会から授与される教育職員免許状を取得する必要があります。

##### ② 教育職員免許状の種類

教育職員免許法に定める免許状には、普通免許状、特別免許状及び臨時免許状があります。

普通免許状は、学校（中等教育学校を除く。）の種類ごとの教諭の免許状、養護教諭の免許状及び栄養教諭の免許状とし、それぞれ専修免許状、一種免許状及び二種免許状（高等学校教諭の免許状にあっては、専修免許状及び一種免許状）に区分されています。また、中学校及び高等学校の教員の普通免許状及び臨時免許状は、教科毎に授与するものとされています。

本学では、中学校一種免許状、中学校専修免許状、高等学校一種免許状、高等学校専修免許状を取得することができます。

##### ③ 免許状の取得方法

普通免許状は、教育職員免許法に定める基礎資格を有し、かつ、大学若しくは文部科学大臣の指定する養護教諭養成機関において規定の単位を修得した者が都道府県の教育委員会へ申請することによって授与されます。

基礎資格とは、一種免許状においては、学士の学位を有することであり、専修免許状においては、修士の学位を有することです。

なお、中学校教諭の普通免許状を取得する場合は、授与要件として社会福祉施設及び特別支援学校での「介護等の体験」が必要となります。

#### ④取得できる免許状の種類及び教科

本学部で取得できる免許状は別表1のとおりです。これ以外の免許状については、他学部・他研究科開講の授業科目を履修することで取得することができますので、当該学部・研究科の学生便覧をご覧の上、学部教務係で相談してください。

なお、修業年限である4年間に、各学科の卒業要件とあわせて、教職免許状に係る必要科目をすべて修得するには、努力が必要です。一学年次より、履修計画をしっかりと立てて臨んでください。

#### ⑤基礎資格及び最低修得単位数

本学部で免許状を取得するための基礎資格及び最低修得単位数は別表2のとおりです。下記単位のほか、教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目の単位の修得が必要です。詳しくは「⑨. 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目」を確認してください。

#### ⑥一種免許状取得までのプロセスは別表3のとおりです。

#### ⑦教科に関する科目

本学部で免許状を取得するための教科に関する科目の単位及び履修方法は別表4のとおりです。

#### ⑧教職に関する科目

本学部で免許状を取得するための教職に関する科目の単位及び履修方法は別表5のとおりです。

#### ⑨教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

教育職員免許法別表第一備考第四号に規定する教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目の単位及び履修方法は別表6のとおりです。

#### ⑩教育職員免許状の中請について

教育職員免許状は、大学が発行するものではなく、都道府県の教育委員会への申請に基づき授与されるものです。ただし、在学中の者の免許状については、本学で宮城県教育委員会に一括して申請を行っており、申請手続きを行った者は、学位記授与式の日に免許状を受け取ることができます。なお、この申請手続きについては、11月頃に掲示等でお知らせします。

#### ⑪教員免許更新制について

平成19年6月の改正教育職員免許法の成立により、平成21年4月1日から教員免許更新制が導入されることになりました。

教員免許更新制の基本的なポイントは次のとおりです。

- (1) 更新制の目的は、その時々で教員として必要な資質能力が保持されるよう、定期的に最新の知識技能を身に付けることで、教員が自信と誇りを持って教壇に立ち、社会の尊敬と信頼を得ることを目指すものです。
- (2) 平成21年4月1日以降に授与される教員免許状には10年間の有効期間が付されることになり、更新のためには、免許状の失效前の2年間で30時間以上の免許状更新講習（文部科学大臣の認定を受けて大学などが開設する、最新の知識技能の修得を目的とする講習。）の受講・修了が必要となります。

⑫その他

他大学卒業者及び他学部出身者は、当該出身大学等において修得した単位が、取得しようとする当該免許状に該当する場合もあるので、学力に関する証明書を持参してください。また、現職教員又は教員の経験等がある場合には、修得する授業科目あるいは適用法令が異なってくることがありますので、学部教務係で確認してください。

別表1 各学科で取得することができる免許状の種類（A表）

| 学 科          | 中学校教諭一種免許状 | 高等学校教諭一種免許状 |
|--------------|------------|-------------|
| 機械知能・航空工学科   | 数学、理科      | 数学、理科、工業    |
| 情報知能システム総合学科 | 数学、理科      | 数学、理科、工業、情報 |
| 化学・バイオ工学科    | 理科         | 理科          |
| 材料科学総合学科     | 理科         | 理科          |
| 建築・社会環境工学科   | 理科         | 理科、工業       |

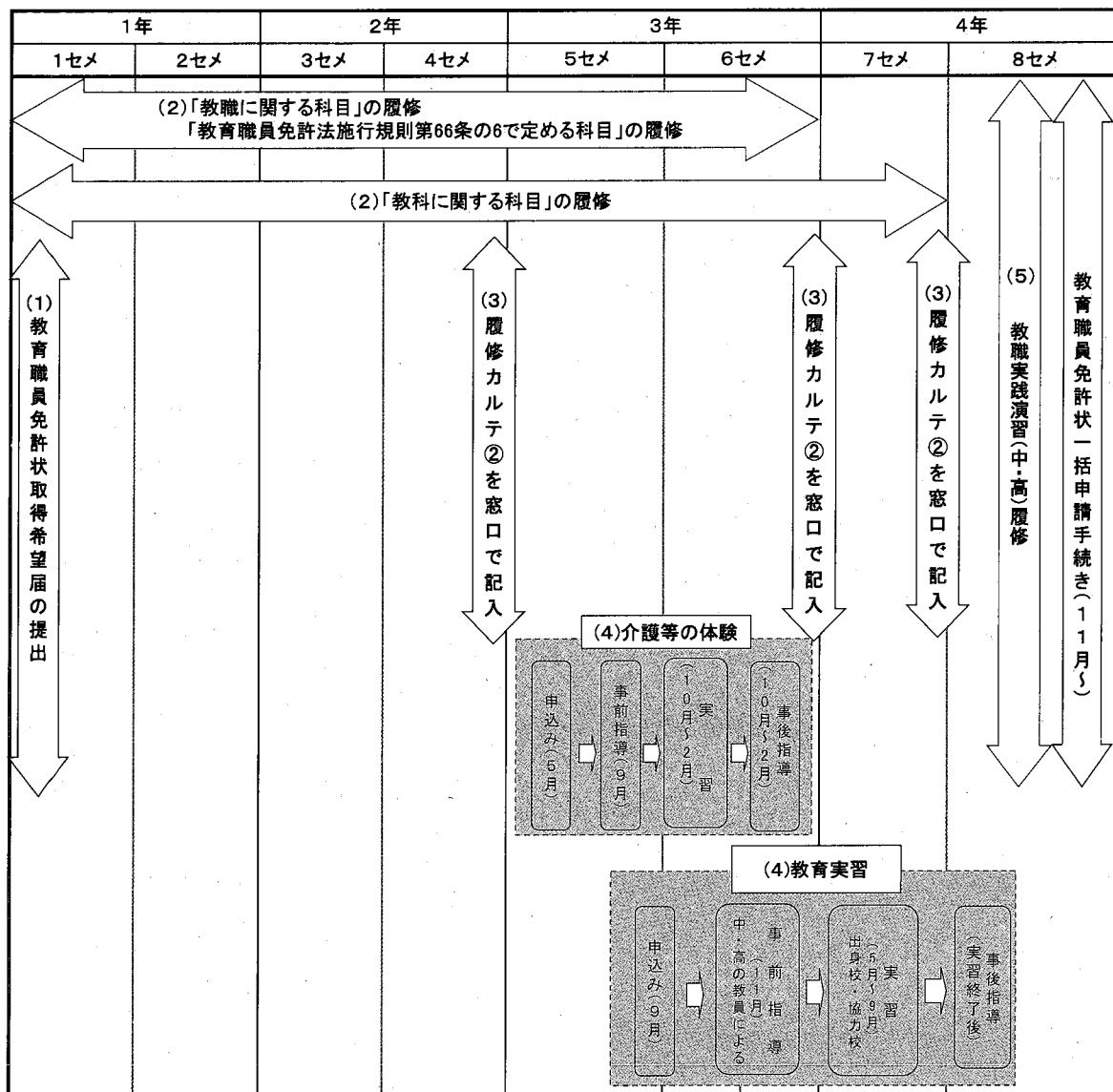
別表2 免許状の種類と所要資格（B表）

| 免 許 状 の 種 類 |       | 基礎資格        | 大学において修得することを必要とする最低取得単位 |          |              |
|-------------|-------|-------------|--------------------------|----------|--------------|
|             |       |             | 教科に関するもの                 | 教職に関するもの | 教科又は教職に関するもの |
| 中学校教諭       | 一種免許状 | 学上の学位を有すること | 20                       | 31       | 8            |
| 高等学校教諭      | 一種免許状 | 学士の学位を有すること | 20                       | 27 (23)  | 12 (16)      |

注 (1) 本学部において各免許状を取得しようとする者は、(B表)に掲げる最低修得単位数を修得しなければならない。なお、( )内の数字は、教育職員免許法に定める単位数である。

(2) 高等学校の工業の免許状を取得する場合には、当分の間、教職に関する専門教育科目の単位の半数までを、「教科に関する専門教育科目」の単位で替えることができる。

別表3 一種免許状取得までのプロセス



(1)教育職員免許状取得希望届の提出

免許状の取得を希望する学生は、第1セメスタの授業履修前までに教務係に、「教育職員免許状取得希望届」を提出し、学校種及び教科を届けてください。希望届を提出した学生について「履修カルテ」の作成を行います。「履修カルテ」が作成されていない学生は、「教職実践演習(中・高)」を履修することはできません。

(2)「教科に関する科目」「教職に関する科目」及び「教育職員免許法施行規則第66条の6で定める科目」の履修

免許状毎に定められている「教科に関する科目」及び「教職に関する科目」を履修してください。ただし、「教育実習」及び「教育実践演習(中・高)」には、履修資格が定められており、少なくとも3年次修了までには「教育実習」及び「教職実践演習(中・高)」を除く全ての「教職に関する科目」を修得しておく必要があります。また、卒業に必要な単位に含まれない科目もありますので、1年次より計画的な履修を心がけてください。なお、「教科に関する科目」及び「教職に関する科目」以外に、「教育職員免許法施行規則第66条の6で定める科目」も履修する必要があります。

(3)履修カルテ②<自己評価シート>の記入について

教職実践演習(中・高)の履修及び教職指導の際に必要となりますので、2年次・3年次の各年度末及び教職実践演習履修の直前に、教務係の窓口で「履修カルテ②<自己評価シート>」を受領し、自分で評価を記入し返却してください。記入を怠った場合は、教育職員免許状の取得を放棄したものとして取り扱うことがあります。

(4)「教育実習」と「介護等体験」について

・教育実習は、仙台市内及び近辺の協力校又は本人の出身校等において行います。

・教育実習の参加資格は4年次の学部学生及び大学院学生で、原則として「教職に関する科目」のうち第二欄、第三欄、及び第四欄に掲げる科目の単位を修得した者。また、科目等履修生については、本学出身者で、実習校等の内諾を得ている者に限ります。

・中学校教諭又は高等学校教諭の免許状を取得しようとする場合は、中学校又は高等学校において、中学校教諭の免許状は3週間、高等学校教諭の免許状は2週間の教育実習を行わなければなりません。また、中学校教諭及び高等学校教諭の両方の免許状を取得しようとする場合は、中学校又は高等学校で3週間の教育実習を行ってください。なお、中学校教諭の免許状を取得しようとする場合は、特別支援学校及び社会福祉施設等で「介護等の体験」を行わなければなりません。

・教育実習及び介護等の体験を行う者は、必ず事前指導を受講しなければなりません。

・教育実習及び介護等の体験の時期、又は学生の実習校(施設等)の配属については、掲示等でお知らせします。

(5)「教職実践演習(中・高)」について

平成20年度の教育職員免許法施行規則の改正により、平成22年度以降の新入生の「教職に関する科目」として、「教職実践演習(中・高)」が新設されました。本科目は、免許状の取得を希望する者の「教職に関する科目」及び「教科に関する科目」の履修状況を踏まえ、教員として必要な知識技能を修得したことを確認するために4年次後期に集中講義で開設されるものです。このため、「教職実践演習(中・高)」の履修前(7セメスタ)までに、「教育実習」を終了し、「教育実習」及び「教職実践演習」を除く免許状取得に必要な全ての単位を修得した者にのみ履修が認められます。ただし、「教科に関する科目」については、卒業までに不足単位の修得が可能であると確認できた場合のみ、履修を認めることがあります。「教職に関する科目」については、前期中に不足単位の履修登録が確認できた場合のみ、履修を認めることがあります。

別表4 教科に関する専門教育科目と単位 (C表)

## ○理 科

| 免許法上の科目              | 対応する開設科目  |                       |                              | 最低修得単位数 |      |
|----------------------|---|-----------------------|------------------------------|---------|------|
|                      | 授業科目  | 単位                    | 開設区分等                        | 中学校     | 高等学校 |
| 物理 学                 | ◎工業物理学概論<br>その他各学科で開設する専門教育科目<br>(別表4-1の①)                              | 2<br>—                | 工学部<br>工学部                   | 1       | 1    |
| 化 学 学                | ◎工業化学概論<br>(化学・バイオ工学科を除く)<br>その他各学科で開設する専門教育科目<br>(別表4-1の②)             | 2<br>—                | 工学部<br>工学部                   | 1       | 1    |
| 生 物 学                | ◎生物工学概論<br>その他各学科で開設する専門教育科目<br>(別表4-1の③)                               | 2<br>—                | 工学部<br>工学部                   | 1       | 1    |
| 地 学                  | 地球システム科学<br>◎地球物質科学<br>天文学<br>地球惑星物理学<br>その他各学科で開設する専門教育科目<br>(別表4-1の④) | 2<br>2<br>2<br>2<br>— | 全学教育科目<br>〃<br>〃<br>〃<br>工学部 | 1       | 1    |
| 物理学実験 (コンピュータ活用を含む。) | 基礎物理学実験<br>その他各学科で開設する専門教育科目<br>(別表4-1の⑤)                               | 1<br>—                | 理学部<br>工学部                   | 1       |      |
| 化学実験 (コンピュータ活用を含む。)  | 工業化学実験<br>化学・バイオ工学科で開設する専門教育科目<br>(別表4-1の⑥)                             | 1<br>—                | 工学部<br>工学部                   | 1       | 1    |
| 生物学実験 (コンピュータ活用を含む。) | 基礎生物学実験   | 1                     | 理学部                          | 1       |      |
| 地学実験 (コンピュータ活用を含む。)  | 基礎地学実験  | 1                     | 理学部                          | 1       |      |
| 合 計                  |   |                       |                              | 20      | 20   |

注 (1) 各科目それぞれ1単位以上計20単位を修得すること。

(2) ◎は必修科目である。

(3) その他各学科で開設する専門教育科目の単位修得については、別表4-1を参照すること。

(4) 「工業物理学概論」の履修に際しては、全学教育科目の「物理学A, B及びC」を事前に修得していることが望ましい。

(5) 「工業化学概論」の履修に際しては、全学教育科目の「化学A, B及びC」を事前に修得していることが望ましい。なお、機械知能・航空工学科及び建築・社会環境工学科の教育職員免許取得希望学生で、特別な事情により「工業化学概論」を5セメスターに履修する必要がある場合は、特別履修科目の届出を行い、提出書類の備考欄には“教育職員免許取得のため”と明記すること。

(6) 「生物工学概論」の履修に際しては、全学教育科目の「生命科学A」を事前に修得していることが望ましい。

(7) 「工業化学実験」の履修に際しては、化学・バイオ工学科の専門科目の「基礎物理化学及び基礎無機化学」を事前に修得していること。

また、選択する実験課題によっては、全学教育科目の「化学C」を事前に修得している必要がある。

詳細については、学生便覧の授業要旨に記載してあるので、履修希望者は必ず内容を確認しておくこと。

なお、「工業化学実験」の履修希望者は4セメスター末に、所属する学科の教務委員に申し出ること。

(8) 「材料科学総合実験」については、1単位のみを「物理学実験」の単位として認定する。

(9) 「化学・バイオ工学実験A」については、1単位のみを「化学実験」の単位として認定する。

## ○ 数 学

| 免許法上の科目   | 対応する開設科目   |                       |                              | 最低修得単位数 |      |
|-----------|--|-----------------------|------------------------------|---------|------|
|           | 授業科目   | 単位                    | 開設区分等                        | 中学校     | 高等学校 |
| 代数学       | ◎工業線形代数学<br>その他各学科で<br>開設する専門教育科目<br>(別表4-2の①)                         | 2<br>—                | 工学部<br>工学部                   | 1       | 1    |
| 幾何学       | 数学物理学演習Ⅰ} 機械・知能航空工<br>数学物理学演習Ⅱ} 学科は必修<br>◎幾何学概論                        | 1<br>1<br>2           | 工学部<br>〃<br>〃                | 1       | 1    |
| 解析学       | ◎解析学A<br>◎解析学B<br>◎解析学C<br>◎解析学D<br>その他各学科で<br>開設する専門教育科目<br>(別表4-2の②) | 2<br>2<br>2<br>2<br>— | 全学教育科目<br>〃<br>〃<br>〃<br>工学部 | 1       | 1    |
| 「確率論・統計学」 | ◎数理統計学<br>その他各学科で<br>開設する専門教育科目<br>(別表4-2の③)                           | 2<br>—                | 全学教育科目<br>工学部                | 1       | 1    |
| コンピュータ    | その他各学科で<br>開設する専門教育科目<br>(別表4-2の④)                                     | —                     | 工学部                          | 1       | 1    |
| 合 计       |  |                       |                              | 20      | 20   |

注1 各科目それぞれ1単位以上計20単位を修得すること。

2 ◎印は必修科目である。

## ○ 情 報

| 免許法上の科目                   | 対応する開設科目   |                            |                              | 最低修得単位数 |  |
|---------------------------|--|----------------------------|------------------------------|---------|--|
|                           | 授業科目   | 単位                         | 開設区分等                        | 高等 学 校  |  |
| 情報社会及び情報倫理                | ◎情報社会論<br>知的財産権入門  | 2<br>1                     | 工学部<br>〃                     | 1       |  |
| コンピュータ及び情報処理<br>(実習を含む。)  | ◎アルゴリズムとデータ構造<br>システム制御工学A<br>計算機ソフトウェア工学<br>電気計測学<br>デジタルコンピューティング<br>◎集積回路工学 | 2<br>2<br>2<br>2<br>2<br>2 | 工学部<br>〃<br>〃<br>〃<br>〃<br>〃 | 1       |  |
| 情報システム(実習を含む。)            | ◎計算機学<br>◎システムソフトウェア工学<br>◎システム制御工学B   | 2<br>2<br>2                | 工学部<br>〃<br>〃                | 1       |  |
| 情報通信ネットワーク<br>(実習を含む。)    | ◎ネットワークコンピューティング<br>◎データコミュニケーション工学<br>コミュニケーション工学A                            | 2<br>2<br>2                | 工学部<br>〃<br>〃                | 1       |  |
| マルチメディア表現及び技術<br>(実習を含む。) | プログラミング演習A<br>プログラミング演習B<br>◎パターン認識論<br>デジタル信号処理<br>集積回路設計演習                   | 2<br>1<br>2<br>2<br>2      | 工学部<br>〃<br>〃<br>〃<br>〃      | 1       |  |
| 情報と職業                     | ◎情報化社会と職業<br>コミュニケーション工学B  | 2<br>2                     | 工学部<br>〃                     | 1       |  |
| 合 计                       |  |                            |                              | 20      |  |

注1 各科目それぞれ1単位以上計20単位を修得すること。

2 ◎印は必修科目である。

○ 工 業

| 免許法上の科目 | 対応する開設科目   |    |           | 最低修得単位数<br>高等学校 |
|---------|------------|----|-----------|-----------------|
|         | 授業科目       | 単位 | 開設区分等     |                 |
| 工業の関係科目 | 別表4-3の授業科目 | 一  | 工学部       | 16              |
| 職業指導    | 職業指導       | 4  | 工学部(集中講義) | 4               |
| 合 計     |            |    |           | 20              |

注 その他各学科で開設する専門教育科目の単位修得については、別表4-3を参照すること。

○ 工学部が共通科目として開講している教職関係授業科目表及び開講予定表

(1) 授業科目名

| 授業科目   | 単位 | 履修方法      |
|--------|----|-----------|
| 幾何学概論  | 2  | 集中講義      |
| 職業指導   | 4  | 集中講義      |
| 工業科教育法 | 4  | 集中講義      |
| 情報科教育法 | 4  | 通常講義と集中講義 |
| 工業化学実験 | 1  | 通常授業(実験)  |

注 上記の単位は、卒業に要する単位には含まれない。

(2) 開講予定表

| 授業科目   | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度 |
|--------|------|------|------|------|
| 幾何学概論  | ○    |      | ○    |      |
| 職業指導   |      |      |      |      |
| 工業科教育法 | ○    |      |      |      |
| 情報科教育法 |      |      |      |      |

教育職員免許状取得希望届等により受講予定者を確認の上、決定する。

## ・授業要旨

|  |  |   |                   |
|--|--|---|-------------------|
| <b>幾何学概論</b><br>Geometry   | 2 単位<br>5・7 セメスター  | <b>職業指導</b><br>Vocational Guidance  | 4 単位<br>5・7 セメスター |
| • 講義題目「空間内の滑らかな曲線、曲面」<br>1. ベクトル空間とベクトル方程式について<br>2. 平面曲線、空間曲面について<br>3. 空間内の滑らかな曲面について<br>いろいろな例をあげて、幾何学的基本事項を講義する。   |  | 学校における職業指導は進路指導の一環として行われる計画的、組織的な教育活動であり、教育活動全体で行うものである。しかしその理念にもかかわらず、就職・進学の「出口指導」に終わってしまっている場合が多い。本授業では、職業・進路指導の歴史と理念、教育活動上の位置づけ、実践的諸問題について講義する。<br>1. 職業・進路指導の歴史<br>2. 職業・進路指導の意義<br>3. 職業・進路指導の教育課程上の位置づけ<br>4. 職業・進路指導の分野と方法<br>5. 職業・進路指導の実践（中学校）<br>6. 職業・進路指導の実践（高校）<br>7. 職業・進路指導の課題   |                   |
| <b>工業科教育法</b><br>Teaching Method (Industry)  | 4 単位<br>5・7 セメスター  | <b>情報科教育法</b><br>Teaching Method (Information)  | 4 単位<br>5・7 セメスター |
| 1 工業教育の意義と役割<br>(1)技術教育<br>(2)後期中等技術教育<br>2 工業教育史<br>(1)欧米諸国と日本<br>(2)戦後日本の工業教育  | 3 教育課程<br>(1)学習指導要領<br>(2)教育課程の編成<br>(3)教科書<br>4 工業基礎<br>(1)学習指導法<br>(2)教材研究 | 1. 目的<br>高等学校における情報教育の狙いを理解し、必履修科目「情報」の授業を行うのに必要な知識を習得する。さらにこれをふまえ、教科「情報」の教材設計ができるようになる。<br>2. 概要<br>最初に「情報」が必履修科目として設置されるにいたった経緯から、その理念を理解する。そこを起点として学習指導要領・学習評価（絶対評価）・学習指導案の書き方などの、いわゆる授業者としての基礎知識を学ぶ。さらにこれを基礎として普通教科「情報」の話題の中からいくつかのトピックを選び、高校生に指導することを前提に教材を設計し、授業の準備を模擬的に行う。<br>3. 達成目標等<br>普通教科「情報」のねらい並びに授業実施に必要な基礎知識を理解し、授業を設計し、教材が開発できる。 |                   |
| <b>工業化学実験</b><br>Industrial Chemistry Laboratory   | 1 単位<br>5・7 セメスター  |   |                   |
| 化学に関する基本的な実験操作に習熟すると共に、現象を注意深く観察し考察する能力を修得する。また、コンピューターを使った数値計算について実習する。具体的には、下記の課題1～9の中から3つを選択して履修する。なお、本科目を履修するためには、事前に化学・ハイオウ学科の専門科目「基礎物理化学」および「基礎無機化学」を修得している必要がある。また、課題8、9を選択する場合は、これらに加えて、全学教育科目「化学C」を修得している必要がある。ただし、材料科学総合学科の学生は、「基礎物理化学」に代えて自学科の専門科目「材料物理化学」および「材料反応速度論」を、「基礎無機化学」に代えて「材料物理化学」、「結晶回析学」および「材料電子化学」を修得していくよい。<br>1. 定位差滴定法：リン酸の酸解離平衡定数と未知試料の混合比の決定<br>2. 分配係数と吸着：カルボン酸の水-ベンゼン二相系における分配係数の測定、および活性炭への吸着量の測定と吸着機構の考察<br>3. 化学平衡と速度：SO <sub>2</sub> 酸化触媒の調製と酸化反応の転化率および平衡定数の測定<br>4. 原子スペクトル、蛍光、紫外吸収：単体の輝線スペクトル、および芳香族化合物の蛍光、励起スペクトルの測定、紫外吸収スペクトルによるアセチルアセトンの互変異性の観察<br>5. 固体のキャラクタリゼーション：フラックス法による単結晶の育成、比重瓶法による単結晶の密度測定、走査型電子顕微鏡（SEM）による結晶表面観察、粉末X線回折法による結晶構造の解析<br>6. 気液平衡：Othmer蒸留装置による気液平衡の測定、精留塔の理論段数の決定<br>7. 化学数値計算<br>8. アルドール縮合とカニツィアロ反応<br>9. 脱水反応によるエステルの合成と Grignard 反応 |  |   |                   |

別表4-1 平成25年度教科に関する科目一覧表（平成25年4月入学者用）

| 機械知能・航空工学科 |               | 単位 | 情報知能システム総合学科 |           | 単位              | 材料科学総合学科 |            | 単位             |
|------------|---------------|----|--------------|-----------|-----------------|----------|------------|----------------|
| ①物理学       | ◎力学           | 2  | ①物理学         | 物性物理原論C   | 2               | ②化学      | ◎材料物理化学    | 2              |
|            | ◎流体力学I        | 2  |              | 物性物理計測学   | 2               |          | ◎材料電子化学    | 2              |
|            | 材料力学I         | 2  |              | 物性材料学     | 2               |          | 鉄鋼製鍊学      | 2              |
|            | 電磁気学I         | 2  |              | ②化学       | 結晶解析学           | 2        | 材料分析科学     | 2              |
|            | 電磁気学II        | 2  |              | ③生物学      | 生命システム情報学       | 2        | 溶液の物理化学    | 2              |
|            | 量子力学          | 2  |              |           | 生体情報工学          | 2        | 材料反応速度論    | 2              |
|            | 熱力学           | 2  |              |           | 生体電子計測          | 2        | 移動現象論      | 2              |
|            | 固体物理学         | 2  |              |           | 生体分子機械          | 2        | ③生物学       | ◎高分子・生体物質の物理化学 |
|            | バイオロボットシステム入門 | 2  |              | ⑤物理学実験    | 電気通信・電子・情報工学実験A | 1        |            | 材料計測評価学        |
| ②化学        | ◎溶液化学         | 2  |              |           | 応用物理学実験A        | 1        | ④地学        | ◎環境材料プロセス学     |
|            | ◎反応速度論        | 2  |              |           |                 |          |            |                |
|            | ◎界面物理化学       | 2  | 化学・バイオ工学科    |           | 単位              | ⑤物理学実験   | 材料科学総合学実験  |                |
|            | 放射化学          | 2  | ①物理学         | 応用物理化学    | 2               |          | 建築・社会環境工学科 |                |
|            | 化学エネルギー変換工学   | 2  |              | 応用量子化学    | 2               |          | ①物理学       | 空間創造の力学        |
| ③生物学       | ◎環境生物学        | 2  | ②化学          | ◎基礎無機化学   | 2               |          |            | ◎弾性体力学         |
|            | 生体医工学入門       | 2  |              | ◎基礎有機化学   | 2               |          |            | ◎水理学A及び同演習     |
| ④地学        | エネルギー環境入門     | 2  |              | ◎基礎物理化学   | 2               |          |            | 振動解析学          |
|            | 地図移動現象論       | 2  |              | 反応有機化学    | 2               |          |            | 構造力学           |
|            | ジオメカニクス       | 2  |              | 化学工学基礎    | 2               |          |            | 建築構造の力学        |
|            | 環境地盤工学        | 2  |              | 移動現象論     | 2               | ②化学      | 水質工学       | 2              |
| ⑤物理学実験     | 機械知能・航空実験I    | 1  |              | プロセス工学基礎  | 2               |          | 水道工学       | 2              |
|            | 情報知能システム総合学科  |    |              | 界面電気化学    | 2               |          | 環境保全工学     | 2              |
| ①物理学       | 電磁気学基礎論       | 2  | ③生物学         | 固体化学      | 2               | ③生物学     | 基礎生態工学     | 2              |
|            | 電磁気学I         | 2  |              | 高分子化学     | 2               |          | ④地学        | 地球環境学          |
|            | 電気回路学I        | 2  |              | プロセス制御    | 2               |          |            | 地盤と都市・建築       |
|            | 電気回路学II       | 2  |              | ◎基礎生物化学   | 2               | ⑤物理学実験   | 地盤と建築      | 2              |
|            | 解析力学          | 2  |              | 生物物理化学    | 2               |          | 建築材料学演習    | 1              |
|            | 量子力学A         | 2  |              | 生体機能化学    | 2               |          | 社会環境工学実験   | 1              |
|            | 電子回路A         | 2  |              | ◎反応生物化学   | 2               |          |            |                |
|            | 量子力学B         | 2  | ④地学          | 有機資源変換化学  | 2               |          |            |                |
|            | 物性物理基礎論       | 2  |              | ⑥化学実験     | 1               |          |            |                |
|            | 電磁エネルギー変換A    | 2  | 材料科学総合学科     |           | 単位              |          |            |                |
|            | 電子物性          | 2  | ①物理学         | ◎電磁気学     | 2               |          |            |                |
|            | 電子デバイス基礎      | 2  |              | 表面・界面の物理学 | 2               |          |            |                |
|            | 電磁エネルギー変換B    | 2  |              | ◎量子力学入門   | 2               |          |            |                |
|            | 量子力学演習        | 1  |              | 物性学基礎     | 1               |          |            |                |
|            | 熱力学・統計力学A     | 2  |              | 結晶回折学     | 1               |          |            |                |
|            | 物理数学演習        | 1  |              | 固体物性論     | 2               |          |            |                |
|            | 電磁気学II        | 2  |              | 伝熱・流体の力学  | 2               |          |            |                |
|            | 熱力学・統計力学B     | 2  |              | 材料学入門     | 2               |          |            |                |
|            | 統計力学演習        | 1  |              | 材料組織学     | 2               |          |            |                |
|            | 物性物理原論A演習     | 1  |              | 材料強度学     | 2               |          |            |                |
|            | 物性物理原論B       | 2  |              | 材料統計力学    | 2               |          |            |                |
|            | 物性物理原論B演習     | 1  |              |           |                 |          |            |                |

注) ◎は必修科目です。

別表4-2

| 機械知能・航空工学科   |                  | 単位 |
|--------------|------------------|----|
| ①代数学         | ◎数学Ⅰ             | 2  |
|              | ◎数学Ⅱ             | 2  |
| ②解析学         | ◎数理解析学           | 2  |
|              | 数値流体力学           | 2  |
|              | 弾性力学             | 2  |
| ③確率論・統計学     | 計算力学             | 2  |
| ④コンピュータ      | ◎情報科学基礎論         | 2  |
|              | コンピュータ実習         | 1  |
|              | 計算機工学            | 2  |
|              | 計算機ソフトウェア工学      | 2  |
|              | フォートラン演習         | 1  |
| 情報知能システム総合学科 |                  | 単位 |
| ①代数学         | ◎情報数学            | 2  |
|              | ◎数学演習            | 1  |
|              | 解析力学統論           | 2  |
|              | 空気力学             | 2  |
| ②解析学         | ◎応用数学A           | 2  |
|              | 応用数学B            | 2  |
|              | ◎電気回路学基礎論        | 2  |
|              | 数値コンピューティング      | 2  |
| ③確率論・統計学     | 数理最適化            | 2  |
|              | メカノブティクス         | 2  |
|              | 信号処理工学           | 2  |
|              | オートマトン・言語理論      | 2  |
|              | 情報論理学            | 2  |
|              | 人工知能             | 2  |
| ④コンピュータ      | コンピュータシミュレーション科学 | 2  |

別表4-3

| 機械知能・航空工学科      |    | 単位           | 情報知能システム工学科 |              | 単位 | 建築・社会環境工学科   |    | 単位           |    |
|-----------------|----|--------------|-------------|--------------|----|--------------|----|--------------|----|
| 機構システム学         | 2  | 電波法          | 1           | 建築設計C I      | 2  | 建築設計C II     | 2  | 建築設計C III    | 2  |
| システムダイナミクスI     | 2  | 量子力学C        | 2           | 建築設計D        | 2  | 建築環境工学基礎     | 2  | 建築環境工学概論     | 2  |
| 材料力学II          | 2  | 材料理工学概論      | 2           | 建築熱・空気環境     | 3  | 建築職能論        | 1  | 建築音・光環境      | 2  |
| 材料科学            | 2  | 光物理工学        | 2           | 建築設備         | 2  | 建築構造解析学      | 2  | 建築構造基礎       | 2  |
| システム工学          | 2  | 低温物理工学       | 2           | 建築環境デザイン     | 1  | 建築鉄骨構造       | 3  | 建築構造設計       | 2  |
| 流体力学II          | 2  | 環境工学概論       | 2           | 建築構造基礎論      | 2  | 建築骨組解析       | 2  | 建築骨組基礎       | 2  |
| 伝熱学I            | 2  | 応用物理学実験B     | 1           | 建築骨組基礎論      | 2  | 建築構造デザイン     | 2  | 建築構造基礎       | 2  |
| 計測工学            | 2  | 応用物理学実験C     | 2           | 建築構造基礎       | 2  | 建築構造基礎       | 2  | 建築構造基礎       | 2  |
| 制御工学I           | 2  | 応用物理学研修      | 2           | 建築構造基礎       | 2  | 建築構造基礎       | 2  | 建築構造基礎       | 2  |
| 材料機能設計学         | 2  | 建築・社会環境工学科   | 単位          | 建築・社会環境工学科   | 単位 | 建築・社会環境工学科   | 単位 | 建築・社会環境工学科   | 単位 |
| 創成学             | 2  | ◎環境工学序説      | 2           | ◎環境工学序説      | 2  | ◎環境工学序説      | 2  | ◎環境工学序説      | 2  |
| メカトロニクス         | 2  | 応用線形代数学      | 2           | 応用線形代数学      | 2  | 応用線形代数学      | 2  | 応用線形代数学      | 2  |
| 電子デバイス          | 2  | 応用確率統計学      | 2           | 応用確率統計学      | 2  | 応用確率統計学      | 2  | 応用確率統計学      | 2  |
| ◎計画及び製図I        | 1  | 応用情報処理演習A    | 1           | 応用情報処理演習A    | 1  | 応用情報処理演習A    | 1  | 応用情報処理演習A    | 1  |
| 機械工作実習          | 1  | 景観・デザイン演習    | 2           | 景観・デザイン演習    | 2  | 景観・デザイン演習    | 2  | 景観・デザイン演習    | 2  |
| 伝熱学II           | 2  | 構造解析学及び同演習   | 3           | 構造解析学及び同演習   | 3  | 構造解析学及び同演習   | 3  | 構造解析学及び同演習   | 3  |
| 破壊力学            | 2  | コンクリート工学     | 2           | コンクリート工学     | 2  | コンクリート工学     | 2  | コンクリート工学     | 2  |
| トライボロジー         | 2  | 土木計画学        | 2           | 土木計画学        | 2  | 土木計画学        | 2  | 土木計画学        | 2  |
| 機械設計工学          | 2  | 測量学及び同実習     | 2           | 測量学及び同実習     | 2  | 測量学及び同実習     | 2  | 測量学及び同実習     | 2  |
| 制御工学II          | 2  | 社会環境整備プロジェクト | 2           | 社会環境整備プロジェクト | 2  | 社会環境整備プロジェクト | 2  | 社会環境整備プロジェクト | 2  |
| ロボット工学          | 2  | 応用解析学        | 2           | 応用解析学        | 2  | 応用解析学        | 2  | 応用解析学        | 2  |
| デジタル回路          | 2  | 応用情報処理演習B    | 1           | 応用情報処理演習B    | 1  | 応用情報処理演習B    | 1  | 応用情報処理演習B    | 1  |
| 計画及び製図II        | 1  | 地盤工学A        | 2           | 地盤工学A        | 2  | 地盤工学A        | 2  | 地盤工学A        | 2  |
| 空気力学            | 2  | 水理学B及び同演習    | 3           | 水理学B及び同演習    | 3  | 水理学B及び同演習    | 3  | 水理学B及び同演習    | 3  |
| エネルギーシステム工学     | 2  | 環境計画         | 2           | 環境計画         | 2  | 環境計画         | 2  | 環境計画         | 2  |
| 構造力学            | 2  | 計算力学及び同演習    | 3           | 計算力学及び同演習    | 3  | 計算力学及び同演習    | 3  | 計算力学及び同演習    | 3  |
| 精密加工学           | 2  | コンクリート構造工学   | 2           | コンクリート構造工学   | 2  | コンクリート構造工学   | 2  | コンクリート構造工学   | 2  |
| 材料強度学           | 2  | 微小機械加工学      | 2           | 微小機械加工学      | 2  | 微小機械加工学      | 2  | 微小機械加工学      | 2  |
| 微小機械加工学         | 2  | システムズ・アナリシス  | 2           | システムズ・アナリシス  | 2  | システムズ・アナリシス  | 2  | システムズ・アナリシス  | 2  |
| システムダイナミクスII    | 2  | 計画数理及び同演習    | 3           | 計画数理及び同演習    | 3  | 計画数理及び同演習    | 3  | 計画数理及び同演習    | 3  |
| コンピュータビジョン      | 2  | 構造安定論        | 2           | 構造安定論        | 2  | 構造安定論        | 2  | 構造安定論        | 2  |
| メカノブティクス        | 2  | 耐震工学         | 2           | 耐震工学         | 2  | 耐震工学         | 2  | 耐震工学         | 2  |
| 信号処理工学          | 2  | 橋梁と鋼構造       | 2           | 橋梁と鋼構造       | 2  | 橋梁と鋼構造       | 2  | 橋梁と鋼構造       | 2  |
| 情報知能システム総合学科    | 単位 | 電気エネルギー発生工学  | 2           | 地盤工学B        | 2  | 地盤工学B        | 2  | 地盤工学B        | 2  |
| ◎電気エネルギー発生工学    | 2  | プラズマ理工学      | 2           | 社会基盤デザイン演習I  | 1  | 社会基盤デザイン演習I  | 1  | 社会基盤デザイン演習I  | 1  |
| 光波・電波伝送工学       | 2  | 光波・電波伝送工学    | 2           | 陸水の運動学       | 2  | 陸水の運動学       | 2  | 陸水の運動学       | 2  |
| 電気電子材料          | 2  | 電気電子材料       | 2           | 沿岸海洋環境工学     | 2  | 沿岸海洋環境工学     | 2  | 沿岸海洋環境工学     | 2  |
| 材料・プロセス工学       | 2  | 材料・プロセス工学    | 2           | 水環境デザイン演習I   | 1  | 水環境デザイン演習I   | 1  | 水環境デザイン演習I   | 1  |
| ◎半導体デバイス        | 2  | 交通計画B        | 2           | 交通計画B        | 2  | 交通計画B        | 2  | 交通計画B        | 2  |
| 光エレクトロニクス       | 2  | 地域・都市計画      | 2           | 地域・都市計画      | 2  | 地域・都市計划      | 2  | 地域・都市計划      | 2  |
| 電気エネルギーシステム工学基礎 | 2  | 都市計量解析       | 2           | 都市計量解析       | 2  | 都市計量解析       | 2  | 都市計量解析       | 2  |
| 高電圧エネルギー工学      | 2  | 都市システム計画演習I  | 1           | 都市システム計画演習I  | 1  | 都市システム計画演習I  | 1  | 都市システム計画演習I  | 1  |
| パワー・エレクトロニクス基礎  | 2  | 社会基盤デザイン演習II | 2           | 社会基盤デザイン演習II | 2  | 社会基盤デザイン演習II | 2  | 社会基盤デザイン演習II | 2  |
| 原子核工学           | 2  | 水環境デザイン演習II  | 2           | 水環境デザイン演習II  | 2  | 水環境デザイン演習II  | 2  | 水環境デザイン演習II  | 2  |
| ワイヤレス伝送工学       | 2  | 都市システム計画演習II | 2           | 都市システム計画演習II | 2  | 都市システム計画演習II | 2  | 都市システム計画演習II | 2  |
| 音響工学            | 2  | 建築設計A I      | 2           | 建築設計A I      | 2  | 建築設計A I      | 2  | 建築設計A I      | 2  |
| 表面物性            | 2  | 建築設計A II     | 2           | 建築設計A II     | 2  | 建築設計A II     | 2  | 建築設計A II     | 2  |
| 電気エネルギー応用工学     | 2  | 建築計画基礎論      | 2           | 建築計画基礎論      | 2  | 建築計画基礎論      | 2  | 建築計画基礎論      | 2  |
| 電気機器設計法         | 2  | 建築設計B I      | 2           | 建築設計B I      | 2  | 建築設計B I      | 2  | 建築設計B I      | 2  |
| 電気法規・電気施設管理     | 2  | 建築設計B II     | 2           | 建築設計B II     | 2  | 建築設計B II     | 2  | 建築設計B II     | 2  |
|                 |    | 施設計画論        | 2           | 施設計画論        | 2  | 施設計画論        | 2  | 施設計画論        | 2  |

注) ◎は必修科目です。

別表5 教職に関する科目

本学部で免許状を取得するための教職に関する科目の単位及び履修方法は次のとおりです。

| 施工規則において規定されている科目の内容         |   | 本学において開講する授業科目と単位   |                       |                      |  |
|------------------------------|---|---|-----------------------|----------------------|--|
| 施工規則第6条に定める教職に関する科目          | 左項の各科目に含めることが必要な事項  | 授業科目  | 最低修得<br>必修            | 選択                   | 開設部局等  |
| 第2欄<br>教職の意義等に関する科目          | 教職の意義及び教員の役割<br>教員の職務内容(研修、服務及び身分保障等を含む。)<br>進路選択に資する各種の機会の提供等  | 教職論   | 2                     |                      | 全学教育   |
| 第3欄<br>教育の基礎理論に関する科目         | 教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想<br>幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程(障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。)<br>教育に関する社会的、制度的又は経営的事項 | 教育原理Ⅰ<br>教育学概論<br>教育心理学Ⅰ<br>学習・発達論<br>教育原論Ⅱ<br>教育制度論  | 2<br>2<br>2<br>2      | 2<br>2               | 全学教育<br>教育学部<br>全学教育<br>教育学部<br>全学教育<br>教育学部   |
| 第4欄<br>教育課程及び指導法に関する科目       | 教育課程の意義及び編成の方法<br><br>各教科の指導法<br><br>道徳の指導法<br><br>特別活動の指導法<br><br>教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)           | 教育課程論<br>教育課程総論<br><br>国語科教育論Ⅰ<br>国語科教育論Ⅱ<br>社会科教育論Ⅰ<br>社会科教育論Ⅱ<br>地理歴史科教育法Ⅰ<br>地理歴史科教育法Ⅱ<br>公民科教育論<br>数学科教育法Ⅰ<br>数学科教育法Ⅱ<br>理科教育法Ⅰ<br>理科教育法Ⅱ<br>情報科教育法<br>農業科教育法Ⅰ<br>農業科教育法Ⅱ<br>工業科教育法<br>水産科教育法Ⅰ<br>水産科教育法Ⅱ<br>英語科教育論Ⅰ<br>英語科教育論Ⅱ<br>ドイツ語科教育法Ⅰ<br>ドイツ語科教育法Ⅱ<br>ドイツ語科教育法Ⅲ<br>ドイツ語科教育法Ⅳ<br>フランス語科教育法Ⅰ<br>フランス語科教育法Ⅱ<br>フランス語科教育法Ⅲ<br>フランス語科教育法Ⅳ<br>宗教科教育法Ⅰ<br>宗教科教育法Ⅱ<br>宗教科教育法Ⅲ<br>宗教科教育法Ⅳ<br><br>道徳教育の研究<br>人間関係論<br>教育実践論講義Ⅰ<br>教育の方法と技術<br>教育方法・技術論<br><br>相談心理学Ⅰ<br>相談心理学Ⅱ<br>教育相談<br><br>教育実習(中)<br>教育実習(高) | 2<br>2<br>4<br>2<br>2 | 2<br>2<br>各学部<br>各学部 | 全学教育<br>教育学部<br>全学教育<br>教育学部<br>中免のみ<br>全学教育<br>教育学部<br>全学教育<br>教育学部<br>全学教育<br>全学教育<br>教育学部<br>中免のみ<br>事前事後指導1<br>单位含む<br>高免のみ<br>事前事後指導1<br>单位含む |
| 第5欄<br>生徒指導、教育相談及び進路指導に関する科目 | 生徒指導の理論及び方法<br>教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法<br>進路指導理論及び方法   |   |                       |                      |  |
| 第6欄<br>教育実習                  |   | 教育実習(中)<br>教育実習(高)  | 5<br>3                | 教育学部<br>教育学部         | 中免のみ<br>事前事後指導1<br>单位含む<br>高免のみ<br>事前事後指導1<br>单位含む   |
| 合計                           |   | 教職実践演習(中・高)   | 2                     | 全学教育                 |  |
|                              |   | 合計  | 中31<br>高27            |                      |  |

備考

- 1 開設科目の名称は、変更されることがある。
- 2 上記以外の教職に関する科目については、必要に応じ当該学部において開設する。
- 3 教職実践演習(中・高)以外の全学教育において開設する科目は、1、2年次在籍中に履修することが望ましい。
- 4 各学部及び教育学部において開設する科目は、開設学部以外の学生も履修することができる。
- 5 「教育実習」は、関係各学部の協力により、教育学部において実施する。
- 6 「教職実践演習」は、関係各学部・研究科等の協力により、全学教育において実施する。
- 7 「教育実習」及び「教職実践演習」は、第2欄、第3欄、第4欄に掲げる科目を修得した者にのみ履修を認める。

別表6 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

教育職員免許法別表第一備考第四号に規定する教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目の単位及び履修方法は次のとおりです。

| 免許法施行規則に定める科目区分 | 本学で開設する授業科目                | 単位数 |    | 開設学部等 | 履修方法                                 | 備考 |
|-----------------|----------------------------|-----|----|-------|--------------------------------------|----|
|                 |                            | 必修  | 選択 |       |                                      |    |
| 日本国憲法           | 日本国憲法                      | 2   |    | 全学教育  |                                      |    |
| 体育              | スポーツA                      |     | 1  | 全学教育  | 2単位以上選択必修                            |    |
|                 | スポーツB                      |     | 1  | 全学教育  |                                      |    |
|                 | 体と健康                       |     | 2  | 全学教育  |                                      |    |
| 外国語コミュニケーション    | 英語A 1                      |     | 1  | 全学教育  | 2単位以上選択必修<br>英語A 1～英語B 2は、卒業に必要な必修科目 |    |
|                 | 英語A 2                      |     | 1  | 全学教育  |                                      |    |
|                 | 英語B 1                      |     | 1  | 全学教育  |                                      |    |
|                 | 英語B 2                      |     | 1  | 全学教育  |                                      |    |
|                 | 英語C 1                      |     | 1  | 全学教育  |                                      |    |
|                 | 英語C 2                      |     | 1  | 全学教育  |                                      |    |
|                 | Practical English Skills 1 |     | 1  | 全学教育  |                                      |    |
|                 | Practical English Skills 2 |     | 1  | 全学教育  |                                      |    |
|                 | 基礎ドイツ語I                    |     | 2  | 全学教育  |                                      |    |
|                 | 基礎ドイツ語II                   |     | 2  | 全学教育  |                                      |    |
|                 | 基礎フランス語I                   |     | 2  | 全学教育  |                                      |    |
|                 | 基礎フランス語II                  |     | 2  | 全学教育  |                                      |    |
|                 | 基礎ロシア語I                    |     | 2  | 全学教育  |                                      |    |
|                 | 基礎ロシア語II                   |     | 2  | 全学教育  |                                      |    |
|                 | 基礎スペイン語I                   |     | 2  | 全学教育  |                                      |    |
|                 | 基礎スペイン語II                  |     | 2  | 全学教育  |                                      |    |
|                 | 基礎中国語I                     |     | 2  | 全学教育  |                                      |    |
|                 | 基礎中国語II                    |     | 2  | 全学教育  |                                      |    |
| 情報機器の操作         | 基礎朝鮮語I                     |     | 2  | 全学教育  | 2単位以上選択必修                            |    |
|                 | 基礎朝鮮語II                    |     | 2  | 全学教育  |                                      |    |
|                 | 情報基礎A                      |     | 2  | 全学教育  |                                      |    |
|                 | 情報基礎B                      |     | 2  | 全学教育  |                                      |    |
|                 | 人文情報処理                     |     | 2  | 文学部   |                                      |    |
|                 | 情報理学入門                     |     | 2  | 理学部   |                                      |    |
|                 | 情報理学I                      |     | 2  | 理学部   |                                      |    |
|                 | 情報理学II                     |     | 2  | 理学部   |                                      |    |
|                 | 計算機数学A                     |     | 2  | 理学部   |                                      |    |
|                 | 計算機数学B                     |     | 2  | 理学部   |                                      |    |

**教職免許状チェックシート（平成25年度入学者用）**

学科名 \_\_\_\_\_

学籍番号 \_\_\_\_\_ 氏名 \_\_\_\_\_

免許状の種類 中学校教諭一種・高等学校教諭一種

教 科 理科・数学・工業・情報

**① 教職に関する科目（授業科目の◎印は、必須科目です）**

|     | 教職に関する科目              | 各科目に含めることができる必要事項  | 左記に対応する開設科目  |  |  | 最低修得単位<br>中  | 修得<br>単位数   |
|-----|-----------------------|--|--|--|--|--|---|
|     |                       |  | チェック欄  | 授業科目   | 単位数  |  |   |
| 第2欄 | 教職の意義等に関する科目          | 教職の意義及び教員の役割<br>教員の職務内容（研修、服務及び身分保障等を含む。）<br>進路選択に資する各種の機会の提供等   | <input type="checkbox"/>   | ◎教職論   | 2  | 2  | 2   |
| 第3欄 | 教育の基礎理論に関する科目         | 教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想<br>幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程、（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。）<br>教育に関する社会的、制度的又は経営的事項 | <input type="checkbox"/><br><input type="checkbox"/>   | ◎教育原理Ⅰ<br>教育学概論  | 2<br>2   | 2  | 2   |
|     |                       |  | <input type="checkbox"/><br><input type="checkbox"/>   | ◎教育心理学Ⅰ<br>学習・発達論  | 2<br>2   | 2  | 2   |
|     |                       |  | <input type="checkbox"/><br><input type="checkbox"/>   | ◎教育原理Ⅱ<br>教育制度論  | 2<br>2   | 2  | 2   |
| 第4欄 | 教育課程及び指導法に関する科目       | 教育課程の意義及び編成の方法<br>各教科の指導法<br>道徳の指導法（2単位以上・中学のみ）<br>特別活動の指導法<br>教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）                | <input type="checkbox"/><br><input type="checkbox"/> | ◎教育課程論<br>教育課程総論<br>数学科教育法Ⅰ<br>数学科教育法Ⅱ<br>理科教育法Ⅰ<br>理科教育法Ⅱ<br>情報科教育法<br>工業科教育法<br>道徳教育の研究<br>◎人間関係論<br>教育実践論講義Ⅰ<br>◎教育の方法と技術<br>教育方法・技術論 | 2<br>2<br>4<br>4<br>4<br>4<br>4<br>4<br>2<br>2<br>2<br>2<br>2<br>2<br>2<br>2<br>2<br>2<br>2<br>2 | 2<br>—<br>4<br>—<br>2<br>2<br>—<br>2<br>2<br>2<br>2<br>2<br>2<br>2<br>2<br>2<br>2<br>2 | 2<br>—<br>4<br>—<br>2<br>2<br>2<br>2<br>2<br>2<br>2<br>2<br>2<br>2<br>2<br>2<br>2<br>2<br>2 |
|     | 生徒指導、教育相談及び進路指導に関する科目 | 生徒指導の理論及び方法<br>教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法<br>進路指導論理及び方法  | <input type="checkbox"/><br><input type="checkbox"/><br><input type="checkbox"/>   | ◎相談心理学Ⅰ<br>◎相談心理学Ⅱ<br>教育相談   | 2<br>2<br>2  | 4  | 4   |
| 第5欄 | 教育演習                  |  | <input type="checkbox"/><br><input type="checkbox"/>   | 教育実習（中）<br>教育実習（高）   | 5<br>3   | 5  | 3   |
| 第6欄 | 教職実践演習                |  | <input type="checkbox"/>   | 教職実践演習（中・高）  | 2  | 2  | 2   |
| 計   |                       |  |  |  | 31   | 27   |   |

**◆文部科学省令で定める修得しなければならない科目**

| 科目区分         | 授業科目  | 単位数                               | 最低修得単位 | 修得単位 |
|--------------|---|-----------------------------------|--------|------|
| 日本国憲法        | <input type="checkbox"/> 日本国憲法  | 2                                 | 2      |      |
| 体育           | <input type="checkbox"/> スポーツA<br><input type="checkbox"/> スポーツB<br><input type="checkbox"/> 体と健康   | 1<br>1<br>2                       | 2      |      |
| 外国語コミュニケーション | <input type="checkbox"/> 英語 A 1<br><input type="checkbox"/> 英語 A 2<br><input type="checkbox"/> 英語 B 1<br><input type="checkbox"/> 英語 B 2<br><input type="checkbox"/> 英語 C 1<br><input type="checkbox"/> 英語 C 2<br><input type="checkbox"/> その他別表6外国語コミュニケーション科目<br>(P130参照) | 1<br>1<br>1<br>1<br>1<br>1<br>( ) | 2      |      |
| 情報機器の操作      | <input type="checkbox"/> 情報基礎A<br><input type="checkbox"/> 情報基礎B<br><input type="checkbox"/> その他別表6情報機器の操作<br>(P130参照)  | 2<br>2<br>( )                     | 2      |      |

②教科に関する科目(理科) [取得できる学科: 工学部全学科]

| 免許法上の科目 | チェック欄            | 対応する開設科目   |                  | 最低修得単位数 | 修得単位数 |
|---------|------------------|--|------------------|---------|-------|
|         |                  | 授業科目   | 単位               |         |       |
| 物理学     | □                | ◎ 工業物理学概論<br>その他各学科で開設する専門教育科目<br>(別表I-1の1)                              | 2                | 1       | 1     |
| 化学      | □                | ◎ 工業化学概論<br>(化学・バイオ工学科を除く)<br>その他各学科で開設する専門教育科目<br>(別表I-1の2)             | 2                | 1       | 1     |
| 生物学     | □                | ◎ 生物工学概論<br>その他各学科で開設する専門教育科目<br>(別表I-1の3)                               | 2                | 1       | 1     |
| 地学      | □<br>□<br>□<br>□ | 地球システム科学<br>◎ 地球物質科学<br>天文学<br>地球惑星物理学<br>その他各学科で開設する専門教育科目<br>(別表I-1の4) | 2<br>2<br>2<br>2 | 1       | 1     |
| 物理学実験   | □                | 基礎物理学実験<br>その他各学科で開設する専門教育科目<br>(別表I-1の5)                                | 1                | 1       |       |
| 化学実験    | □                | 工業化学実験<br>(化学・バイオ工学科を除く。化学・バイオ工学科は別表I-1の6)                               | 1                | 1       |       |
| 生物学実験   | □                | 基礎生物学実験  | 1                | 1       |       |
| 地学実験    | □                | 基礎地学実験   | 1                | 1       |       |
| 合 計     |                  |  |                  | 20      | 20    |

別表4-1

| 機械知能・航空工学科   | 情報知能システム総合学科  | 化学・バイオ工学科  | 材料科学総合学科  | 建築・社会環境工学科  |
|--|---|--|---|---|
| (1) 物理学  | (1) 物理学   | (1) 物理学  | (1) 物理学   | (1) 物理学   |
| □ 力学 ◎<br>□ 流体力学 ◎<br>□ 材料力学 I<br>□ 電磁気学 I<br>□ 電磁気学 II<br>□ 量子力学<br>□ 热力学<br>□ 固体物理学<br>□ バイオロボットシステム入門 | □ 電磁気学基礎論<br>□ 電磁気学 I<br>□ 電気回路学 I<br>□ 電気回路学 II<br>□ 解析力学<br>□ 量子力学 A<br>□ 電子回路 A<br>□ 量子力学 B<br>□ 物性物理基礎論<br>□ 電磁エネルギー変換 A<br>□ 電子物性<br>□ 電子デバイス基礎<br>□ 電磁エネルギー変換 B | □ 応用物理化学<br>□ 応用量子化学   | □ 電磁気学 ◎<br>□ 表面・界面の物理学<br>□ 量子力学入門 ◎<br>□ 物性学基礎<br>□ 結晶回折学<br>□ 固体物性論<br>□ 伝熱・流体の力学<br>□ 材料学入門<br>□ 材料組織学<br>□ 材料強度学<br>□ 材料統計力学 | □ 空間創造の力学<br>□ 弹性体力学 ◎<br>□ 水理学 A 及び同演習 ◎<br>□ 振動解析学<br>□ 構造力学<br>□ 建築構造の力学 |
| 計  | 計   | 計  | 計   | 計   |
| (2) 化学   | (2) 化学  | (2) 化学   | (2) 化学  | (2) 化学  |
| □ 溶液化学 ◎<br>□ 反応速度論 ◎<br>□ 界面物理化学 ◎<br>□ 放射化学<br>□ 化学エネルギー変換工学   | □ 热力学・統計力学 A<br>□ 物理化学演習<br>□ 電磁気学 II<br>□ 統計力学 B<br>□ 統計力学演習<br>□ 物性物理原論 A 演習<br>□ 物性物理原論 B<br>□ 物性物理原論 C<br>□ 物性物理計測学<br>□ 物性材料学                                    | □ 基礎無機化学 ◎<br>□ 基礎有機化学 ◎<br>□ 基礎物理化学 ◎<br>□ 反応有機化学<br>□ 化学工学基礎<br>□ 移動現象論<br>□ プロセス工学基礎<br>□ 界面電気化学<br>□ 固体化学<br>□ 高分子化学<br>□ プロセス制御 | □ 材料物理化学 ◎<br>□ 材料電子化学 ◎<br>□ 鉄鋼製鍊學<br>□ 材料分析科学<br>□ 溶液の物理化学<br>□ 材料反応速度論<br>□ 移動現象論  | □ 水質工学<br>□ 水道工学<br>□ 環境保全工学  |
| 計  | 計   | 計  | 計   | 計   |
| (3) 生物学  | (3) 生物学   | (3) 生物学  | (3) 生物学   | (3) 生物学   |
| □ 環境生物学 ◎<br>□ 生体医工学入門   | □ 結晶解析学   | □ 基礎生物化学 ◎<br>□ 生物体物理化学<br>□ 生体機能化学<br>□ 反応生物化学 ◎  | □ 高分子・生体物質の物理化学<br>□ 材料計測評価学  | □ 基礎生態工学  |
| 計  | 計   | 計  | 計   | 計   |
| (4) 地学   | (4) 地学  | (4) 地学   | (4) 地学  | (4) 地学  |
| □ エネルギー環境入門<br>□ 地盤移動現象論<br>□ ジオメカニクス<br>□ 環境地質工学  | □ 生命システム情報学<br>□ 生体情報工学<br>□ 生体電子計測<br>□ 生体分子機械   | □ 有機資源変換化学   | □ 環境材料プロセス学 ◎   | □ 地球環境学<br>□ 地盤と都市・建築<br>□ 地震と建築  |
| 計  | 計   | 計  | 計   | 計   |
| (5) 物理学実験  | (5) 物理学実験   | (6) 化学実験   | (5) 物理学実験   | (5) 物理学実験   |
| □ 機械知能航空実験 I   | □ 真空・温度・電子・微弱信号実験 A<br>□ 応用物理学実験 A  | □ 化学・バイオ工学科実験 A<br>□ 応用物理学実験 A   | □ 材料科学総合学実験   | □ 建築材料科学演習<br>□ 社会環境工学科実験   |
| 計  | 計   | 計  | 計   | 計   |

\* 授業科目名の◎は、必修科目です。

③教科に関する科目（数学）〔取得できる学科：機械知能・航空工学科、情報知能システム総合学科〕

| 免許法上の科目 | 左記に対応する開設科目  |  |                  | 最低修得単位 | 修得単位数 |
|---------|--|--|------------------|--------|-------|
|         | チェック欄  | 授業科目   | 単位数              |        |       |
| 中       | 高  |  |                  |        |       |
| 代数学     | <input type="checkbox"/>   | ◎工業線形代数学<br>その他各学科で開設する専門科目（別表4-2の①）                           | 2                | 1      | 1     |
| 幾何学     | <input type="checkbox"/><br><input type="checkbox"/><br><input type="checkbox"/>                             | 数学物理学演習Ⅰ<br>数学物理学演習Ⅱ<br>◎幾何学概論                                 | 1<br>1<br>2      | 1      | 1     |
| 解析学     | <input type="checkbox"/><br><input type="checkbox"/><br><input type="checkbox"/><br><input type="checkbox"/> | ◎解析学A<br>◎解析学B<br>◎解析学C<br>◎解析学D<br>その他各学科で開設する専門教育科目（別表4-2の②） | 2<br>2<br>2<br>2 | 1      | 1     |
| 確率論・統計学 | <input type="checkbox"/>   | ◎数理統計学<br>その他各学科で開設する専門教育科目（別表4-2の③）                           | 2                | 1      | 1     |
| コンピュータ  |  | その他各学科で開設する専門教育科目（別表4-2の④）                                     |                  | 1      | 1     |
| 合計      |  |  |                  | 20     | 20    |

※ 授業科目の◎印は必修科目です。

別表4-2

| 機械知能・航空工学科  |             |   | 情報知能システム総合学科  |             |   |                       |
|---|-------------|---|---|-------------|---|-----------------------|
| ①代数学  |             | ③ 確率論・統計学   | ①代数学  |             | ③ 確率論・統計学   |                       |
| <input type="checkbox"/> 数学I◎<br><input type="checkbox"/> 数学II◎                                     | 2<br>2      | <input type="checkbox"/> 計算力学   | <input type="checkbox"/> 情報数学◎<br><input type="checkbox"/> 数学演習◎<br><input type="checkbox"/> 解析力学統論     | 2<br>1<br>2 | <input type="checkbox"/> 数値コンピューティング<br><input type="checkbox"/> 数理最適化  | 2<br>2                |
| 計   |             | 計   | 計   |             | 計   |                       |
| ②解析学  |             | ④ コンピュータ  | ②解析学  |             | ④ コンピュータ  |                       |
| <input type="checkbox"/> 数理解析学◎<br><input type="checkbox"/> 数値流体力学<br><input type="checkbox"/> 弾性力学 | 2<br>2<br>2 | <input type="checkbox"/> 情報科学基礎論◎<br><input type="checkbox"/> コンピュータ実習<br><input type="checkbox"/> 計算機工学<br><input type="checkbox"/> 計算機ソフトウェア工学<br><input type="checkbox"/> フォートラン演習 | <input type="checkbox"/> 応用数学A◎<br><input type="checkbox"/> 応用数学B<br><input type="checkbox"/> 電気回路学基礎論◎ | 2<br>2<br>2 | <input type="checkbox"/> 情報処理演習◎<br><input type="checkbox"/> オートクン・言語理論<br><input type="checkbox"/> 情報論理学<br><input type="checkbox"/> 人工知能<br><input type="checkbox"/> コンピュータシミュレーション科学 | 1<br>2<br>2<br>2<br>2 |
| 計   |             | 計   | 計   |             | 計   |                       |

※ 授業科目の◎印は必修科目です。

④教科に関する科目（情報）〔取得できる学科：情報知能システム総合学科〕

| 免許法上の科目                   | 左記に対応する開設科目  |  |                            | 最低修得単位 | 修得単位数 |
|---------------------------|--|--|----------------------------|--------|-------|
|                           | チェック欄  | 授業科目   | 単位数                        |        |       |
| 中                         | 高等学校   | 高  |                            |        |       |
| 情報社会及び情報倫理                | <input type="checkbox"/><br><input type="checkbox"/>   | ◎情報社会論<br>知的財産権入門  | 2<br>1                     | 1      |       |
| コンピュータ及び情報処理<br>(実習を含む。)  | <input type="checkbox"/><br><input type="checkbox"/><br><input type="checkbox"/><br><input type="checkbox"/><br><input type="checkbox"/> | ◎アルゴリズムとデータ構造<br>システム制御工学A<br>計算機ソフトウェア工学<br>電気計測学<br>デジタルコンピューティング<br>◎集積回路工学 | 2<br>2<br>2<br>2<br>2<br>2 | 1      |       |
| 情報システム（実習を含む。）            | <input type="checkbox"/><br><input type="checkbox"/><br><input type="checkbox"/>   | ◎計算機学<br>◎システムソフトウェア工学<br>◎システム制御工学B   | 2<br>2<br>2                | 1      |       |
| 情報通信ネットワーク<br>(実習を含む。)    | <input type="checkbox"/><br><input type="checkbox"/><br><input type="checkbox"/>   | ◎ネットワークコンピューティング<br>◎データコミュニケーション工学<br>コミュニケーション工学A                            | 2<br>2<br>2                | 1      |       |
| マルチメディア表現及び技術<br>(実習を含む。) | <input type="checkbox"/><br><input type="checkbox"/><br><input type="checkbox"/><br><input type="checkbox"/><br><input type="checkbox"/> | プログラミング演習A<br>プログラミング演習B<br>◎パターン認識<br>デジタル信号処理<br>集積回路設計演習                    | 2<br>1<br>2<br>2<br>2      | 1      |       |
| 情報と職業                     | <input type="checkbox"/><br><input type="checkbox"/>   | ◎情報化社会と職業<br>コミュニケーション工学B  | 2<br>2                     | 1      |       |
| 合計                        |  |  |                            | 20     |       |

※ 授業科目の◎印は必修科目です。

## ⑤教科に関する科目（工業）

[取得できる学科：機械知能・航空工学科、情報知能システム総合学科、建築・社会環境工学科]

| 免許法上の科目 | 左記に対応する開設科目              |            |     | 最低修得単位 | 修得単位数 |
|---------|--------------------------|------------|-----|--------|-------|
|         | チェック欄                    | 授業科目       | 単位数 |        |       |
| 工業の関係科目 |                          | 別表4-3の授業科目 | —   | 16     |       |
| 職業指導    | <input type="checkbox"/> | 職業指導       | 4   | 4      |       |
| 合計      |                          |            |     | 20     |       |

別表4-3

| 機械知能・航空工学科   | 単位 | 情報知能システム総合学科   | 単位 | 建築・社会環境工学科    | 単位 | 建築・社会環境工学科       | 単位 |
|--------------|----|----------------|----|---------------|----|------------------|----|
| □機構システム      | 2  | □電気エネルギー発生工学   | 2  | □環境学序説 ◎      | 2  | □建築設計B I         | 2  |
| □機械力学I       | 2  | □プラズマ理工学       | 2  | □応用線形代数学      | 2  | □建築設計B II        | 2  |
| □材料力学II      | 2  | □光波・電波伝送工学     | 2  | □応用確率統計学      | 2  | □施設設計論           | 2  |
| □材料科学        | 2  | □電気電子材料        | 2  | □応用情報処理演習A    | 1  | □建築設計C I         | 2  |
| □システム工学      | 2  | □材料・プロセス工学     | 2  | □景観・デザイン演習    | 2  | □建築設計C II        | 2  |
| □流体力学II      | 2  | □半導体デバイス ◎     | 2  | □構造解析学及び同演習   | 3  | □現代建築理論          | 2  |
| □伝熱学I        | 2  | □光エレクトロニクス     | 2  | □コンクリート工学     | 2  | □建築職能論           | 1  |
| □計測工学        | 2  | □電気エネルギー技術基礎   | 2  | □土木計画学        | 2  | □建築設計D           | 2  |
| □制御工学I       | 2  | □高電圧エネルギー工学    | 2  | □測量学及び同実習     | 2  | □プロジェクトマネジメント    | 1  |
| □材料機能設計学     | 2  | □ハーフエレクトロニクス基礎 | 2  | □社会環境整備プロジェクト | 2  | □建築環境工学基礎        | 2  |
| □創成学         | 2  | □原子核工学         | 2  | □応用解析学        | 2  | □建築熱・空気環境        | 3  |
| □メカトロニクス     | 2  | □ワイヤレス伝送工学     | 2  | □応用情報処理演習B    | 1  | □建築音・光環境         | 2  |
| □電子デバイス      | 2  | □音響工学          | 2  | □地盤工学A        | 2  | □都市環境工学          | 2  |
| □計画及び製図I ◎   | 1  | □表面物性          | 2  | □水理学B及び同演習    | 3  | □建築設備            | 2  |
| □機械工作実習      | 1  | □電気エネルギー応用工学   | 2  | □環境計画         | 2  | □建築環境デザイン        | 1  |
| □伝熱学II       | 2  | □電気機器設計法       | 2  | □計算力学及び同演習    | 3  | □建築構造解析学         | 2  |
| □破壊力学        | 2  | □電気法規・電気施設管理   | 2  | □コンクリート構造工学   | 2  | □建築鉄骨構造          | 3  |
| □トライボロジー     | 2  | □電波法           | 1  | □交通計画A        | 2  | □建築骨組解析          | 2  |
| □機械設計工学      | 2  | □量子力学C         | 2  | □システムズ・アナリシス  | 2  | □建築構造デザイン        | 2  |
| □制御工学II      | 2  | □材料理工学概論       | 2  | □計画数理及び同演習    | 3  | □鉄筋コンクリート構造      | 3  |
| □ロボット工学      | 2  | □機械工学概論        | 2  | □構造安定論        | 2  | □鋼構造工事           | 2  |
| □デジタル回路      | 2  | □光物理工学         | 2  | □耐震工学         | 2  | □建築鉄骨構造の設計       | 2  |
| □計画及び製図II    | 1  | □低温物理学         | 2  | □橋梁と鋼構造       | 2  | □建築材料基礎論         | 2  |
| □空気力学        | 2  | □環境工学概論        | 2  | □地盤工学B        | 2  | □建築性能論           | 2  |
| □エネルギーシステム工学 | 2  | □応用物理学実験B      | 1  | □社会基盤デザイン演習I  | 1  | □建築施工            | 2  |
| □構造力学        | 2  | □応用物理学実験C      | 2  | □陸水の運動学       | 2  | □サステナブル・エンジニアリング | 2  |
| □精密加工学       | 2  | □応用物理学研修       | 2  | □沿岸海岸環境工学     | 2  | □近・現代建築史         | 1  |
| □材料強度学       | 2  |                |    | □水環境デザイン演習I   | 1  | □日本建築史           | 2  |
| □微小機械加工学     | 2  |                |    | □交通計画B        | 2  | □居住計画論           | 2  |
| □機械力学II      | 2  |                |    | □地域・都市計画      | 2  | □都市計画            | 2  |
| □バイオエレクトロニクス | 2  |                |    | □都市計量解析       | 2  | □雪と建築            | 1  |
| □メカノフティクス    | 2  |                |    | □都市システム計画演習I  | 1  | □風と建築            | 1  |
| □信号処理工学      | 2  |                |    | □社会基盤デザイン演習II | 2  | □空間論             | 1  |
|              |    |                |    | □水環境デザイン演習II  | 2  | □建築法規            | 1  |
|              |    |                |    | □都市システム計画演習II | 2  | □建築統計解析          | 2  |
| 計            |    | 計              |    | □建築設計A I      | 2  |                  |    |
| 計            |    | 計              |    | □建築設計A II     | 2  |                  |    |
| 計            |    | 計              |    | □建築計画基礎論      | 2  |                  |    |

※ 授業科目の◎印は必修科目です。

## ⑥所要資格確認表

| 免許状の種類           | 大学において修得を必要とする最低修得単位 |          |              |
|------------------|----------------------|----------|--------------|
|                  | 教科に関するもの             | 教職に関するもの | 教科又は教職に関するもの |
| 中学校教諭第一種（教科名： ）  | 20                   | 31       | 8            |
| 高等学校教諭第一種（教科名： ） | 20                   | 27 (23)  | 12 (16)      |

|                        |             |     |
|------------------------|-------------|-----|
| 教育職員免許法66条の6の6の科目      | 各2単位、計8単位修得 | 済・未 |
| 介護等の体験（中学校教諭免許希望者のみ必修） | 介護等の体験を終了   | 済・未 |

## 《参考》

### 専修免許状の取得について

学校教育法第一条に定める中学校、高等学校などの各学校の教員となるためには、教育職員免許法に定める所定の単位を修得し、各都道府県の教育委員会から授与される教育職員免許状を取得する必要があります。

ここでは、取得しようとする専修免許状と同教科の一種免許状を有する者及び授与を受けることができる者が、専修免許状を取得する場合の所要資格などについて説明します。

なお、一種免許状を取得していない者で、新たに専修免許状を取得しようとする者は、教育職員免許法に定める科目を修得しなければなりません。その所要資格などについては、出身大学（学部）での既修得単位及び教育職員免許法の改正等に伴い個々に修得科目（単位）が異なると思われますので所属する研究科（教育部）の教務係に相談してください。

#### 1. 取得できる免許状の種類及び教科

工学研究科で取得できる免許状は別表（1）のとおりです。

#### 2. 基礎資格及び最低修得単位数

工学研究科で免許状を取得するための基礎資格及び最低修得単位数は別表（2）のとおりです。

#### 3. 教科に関する科目

工学研究科で免許状を取得するための教科に関する科目の単位及び履修方法は別表（1）及び（2）のとおりです。

#### 4. 教育職員免許状の申請について

教育職員免許状は、大学が発行するものではなく、都道府県の教育委員会への申請に基づき授与されるものです。ただし、在学中の者の免許状については、本学で宮城県教育委員会に一括して申請を行っており、申請手続きを行った者は、学位記授与式の日に免許状を受け取ることができます。なお、この申請手続きについては、11月頃に掲示等でお知らせします。

#### 5. 教員免許更新制について

平成19年6月の改正教育職員免許法の成立により、平成21年4月1日から教員免許更新制が導入されることになりました。

教員免許更新制の基本的なポイントは次のとおりです。

- (1) 更新制の目的は、その時々で教員として必要な資質能力が保持されるよう、定期的に最新の知識技能を身に付けることで、教員が自信と誇りを持って教壇に立ち、社会の尊敬と信頼を得ることを目指すものです。
- (2) 平成21年4月1日以降に授与される教員免許状には10年間の有効期間が付されることになり、更新のためには、免許状の失効前の2年間で30時間以上の免許状更新講習（文部科学大臣の認定を受けて大学などが開設する、最新の知識技能の修得を目的とする講習。）の受講・修了が必要となります。

《別表》

平成25年度東北大学大学院工学研究科前期2年の課程入学者が取得できる専修免許状

本研究科において取得できる教職員免許状（教科）は、以下のとおりです。

(1) 免許状の種類及び教科

| 免許状の種類<br>専攻  | 中学校教諭専修免許状 | 高等学校教諭専修免許状 |
|---|------------|-------------|
| 機械システムデザイン工学専攻<br>ナノメカニクス専攻<br>航空宇宙工学専攻                           |            | 工業          |
| 量子エネルギー工学専攻   |            | 理科          |
| 電気エネルギー・システム専攻<br>通信工学専攻<br>電子工学専攻<br>応用物理学専攻<br>応用化学専攻<br>化学工学専攻 |            | 工業          |
| バイオ工学専攻   |            | 理科          |
| 金属フロンティア工学専攻<br>知能デバイス材料学専攻                                       |            | 工業          |
| 材料システム工学専攻  | 理科         | 理科          |
| 土木工学専攻<br>都市・建築学専攻  |            | 工業          |
| 技術社会システム専攻  |            |             |
| バイオロボティクス専攻   | 理科         | 理科          |

※既に取得した一種免許状の教科と、在籍する専攻で取得可能な専修免許状の教科が異なる場合は、原則として専修免許状を取得することはできません。

(2) 専修免許状の所要資格

| 免許状の種類 | 所要資格  | 基礎資格        | 大学・大学院において履修することを必要とする最低単位数 |          |                                 |
|--------|-------|-------------|-----------------------------|----------|---------------------------------|
|        |       |             | 教科に関する科目                    | 教職に関する科目 | 教科又は教職に関する科目                    |
| 中学校教諭  | 専修免許状 | 修士の資格を有すること | 20                          | 31       | 32<br>(うち24単位は大学院の課程において履修すること) |
|        | 一種免許状 | 学士の資格を有すること | 20                          | 31       | 8                               |
| 高等学校教諭 | 専修免許状 | 修士の資格を有すること | 20                          | 23       | 40<br>(うち24単位は大学院の課程において履修すること) |
|        | 一種免許状 | 学士の資格を有すること | 20                          | 23       | 16                              |

## (2) 各種資格

### ① 技術士国家試験（技術士法）

JABEE認定プログラム修了者については第一次試験は免除され、登録により技術士補になります。

#### 1. 技術士第一次試験の実施について

(1) 技術士第一次試験は、機械部門から原子力・放射線部門まで20の技術部門ごとに実施し、技術士となるのに必要な科学技術全般にわたる基礎的学識及び技術士法第四章の規定の遵守に関する適性並びに技術士補となるのに必要な技術部門についての専門的学識を有するか否かを判定し得るよう実施する。

(2) 試験は、基礎科目、適性科目、共通科目及び専門科目の4科目について行う。

出題に当たって、基礎科目については科学技術全般にわたる基礎知識（設計・計画に関するもの、情報・論理に関するもの、解析に関するもの、材料・化学・バイオに関するもの、技術関連）について、適性科目については技術士法第四章（技術士等の義務）の規定の遵守に関する適性について、共通科目については技術士補として必要な共通的基礎知識について、専門科目については技術士補として必要な当該技術部門に係る基礎知識及び専門知識について問うよう配慮する。

試験の程度は、共通科目については4年制大学の自然科学系学部の教養教育程度、基礎科目及び専門科目については、同学部の専門教育程度とする。

(3) 基礎科目、適性科目、共通科目及び専門科目を通して、問題作成、採点、合否判定等に関する基本的な方針や考え方を統一するよう配慮する。

なお、専門科目の問題作成に当たっては、教育課程におけるカリキュラムの推移に配慮するものとする。

#### 2. 技術士第一次試験の試験方法

##### ① 試験の方法

①試験は筆記により行い、全科目1式とする。

②試験の問題の種類及び解答時間は、次の通りとする。

| 問題の種類                                     | 解答時間 |
|---|------|
| I 基礎科目<br>科学技術全般にわたる基礎知識を問う問題             | 1時間  |
| II 適性科目<br>技術士法第四章の規定の遵守に関する適性を問う問題       | 1時間  |
| III 共通科目（2科目選択）<br>技術士補として必要な共通的基礎知識を問う問題 | 2時間  |
| IV 専門科目<br>当該技術部門に係る基礎知識及び専門知識を問う問題       | 2時間  |

③受験者が解答するに当たっては、計算尺、電子式卓上計算機（プログラム機能がないものに限る。）等の使用は認めることができるが、ノート、書籍類等の使用は禁止する。

##### ② 配点

①基礎科目 15点満点

②適性科目 15点満点

③共通科目 40点満点

2科目選択で1科目 20点

④専門科目 50点満点

**② 労働安全コンサルタント（労働安全衛生法）**

工学部卒業者で、5年以上産業安全の実務経験がある者は、受験資格が得られます。

**③ 特級・一級ボイラー技士（ボイラー及び圧力容器安全規則）**

機械知能・航空工学科の卒業者で、在学中ボイラーに関する単位を修得し、卒業後、ボイラーの取扱いについて2年以上の実施（修習）を経た者は、特級ボイラー技士試験を受験できます。

機械知能・航空工学科の卒業者で、在学中ボイラーに関する単位を修得し、卒業後ボイラーの取扱いについて1年以上の実施（修習）を経た者は、一級ボイラー技士試験を受験できます。

**④ 無線従事者（無線従事者規則）**

情報知能システム総合学科のエネルギーインテリジェンスコース、コミュニケーションネットワークコース、情報ナノエレクトロニクスコース、コンピュータサイエンスコース、知能コンピューティングコース、メディカルバイオエレクトロニクスコースの卒業者で、在学中に所定の科目の単位を取得した者は、第1級陸上特殊無線技士及び第3級海上特殊無線技士の免許を取得することができます。また、所定の科目の単位を取得した者は、卒業から3年に限り、無線従事者（第1級陸上無線技術士）国家試験のうち、「無線工学の基礎」の試験が免除されます。

**第1級陸上特殊無線技士免許取得に必要な科目（無線従事者規則）**

| 科 目                     | 該当授業科目  | 単位数         | 備 考 |
|-------------------------|---|-------------|-----|
| 無線機器学その他無線機器学に関する科目     | コミュニケーション工学A<br>コミュニケーション工学B<br>ワイヤレス伝送工学       | 2<br>2<br>2 |     |
| 電磁波工学その他空中線及び電波伝搬に関する科目 | ワイヤレス伝送工学                                       | 2           |     |
| 電子計測その他無線測定に関する科目       | 電気計測学<br>電気・通信・電子・情報工学実験 A<br>電気・通信・電子・情報工学実験 B | 2<br>1<br>1 |     |
| 電波法規その他電波法令に関する科目       | 電波法   | 1           |     |

**第3級海上特殊無線技士免許取得に必要な科目（無線従事者規則）**

| 科 目                     | 該当授業科目                                    | 単位数         | 備 考 |
|-------------------------|---|-------------|-----|
| 無線機器学その他無線機器学に関する科目     | コミュニケーション工学A<br>コミュニケーション工学B<br>ワイヤレス伝送工学 | 2<br>2<br>2 |     |
| 電磁波工学その他空中線及び電波伝搬に関する科目 | ワイヤレス伝送工学                                 | 2           |     |
| 電波法規その他電波法令に関する科目       | 電波法                                       | 1           |     |

無線従事者国家試験（無線従事者規則）

| 科 目                               | 該当授業科目  | 単位数                                  | 備 考           |
|-----------------------------------|---|--------------------------------------|---------------|
| 数 学<br>14 単 位 以 上                 | 解析学A<br>解析学B<br>解析学C<br>数学物理学演習Ⅰ・Ⅱ<br>応用数学A<br>応用数学B<br>線形代数学A<br>数理統計学               | 2<br>2<br>2<br>2<br>2<br>2<br>2<br>2 | 無 線 工 学 の 基 礎 |
| 物 理<br>7 単 位 以 上                  | 物理学A<br>物理学B<br>物理学C<br>自然科学総合実験<br>解析力学<br>電子物性                                      | 2<br>2<br>2<br>2<br>2<br>2           |               |
| 電 気 磁 気 学<br>8 単 位 以 上            | 電磁気学基礎論<br>電磁気学I<br>電磁気学II<br>電磁エネルギー変換A<br>電磁エネルギー変換B<br>光波・電波伝送工学<br>ワイヤレス伝送工学      | 2<br>2<br>2<br>2<br>2<br>2<br>2      |               |
| 半導体及び電子管<br>並びに電子回路の<br>基礎 6 単位以上 | 電子回路A<br>電子回路B<br>電子デバイス基礎<br>半導体デバイス   | 2<br>2<br>2<br>2                     |               |
| 電 気 回 路<br>8 単 位 以 上              | 電気回路学基礎論<br>電気回路学I<br>電気回路学II<br>システム制御工学A<br>システム制御工学B<br>ディジタルコンピューティング             | 2<br>2<br>2<br>2<br>2<br>2           |               |
| 電 気 磁 気 測 定<br>180 時 間 以 上        | 電気計測学<br>電気・通信・電子・情報工学実験A<br>電気・通信・電子・情報工学実験B<br>電気・通信・電子・情報工学実験C<br>電気・通信・電子・情報工学実験D | 2<br>1<br>1<br>2<br>2                |               |
| 法 規                               | 電波法   | 1                                    |               |
| 無 線 工 学 A<br>1 単 位 以 上            | コミュニケーション工学A<br>コミュニケーション工学B  | 2<br>2                               |               |
| 無 線 工 学 B                         | ワイヤレス伝送工学   | 2                                    |               |

⑤ 電気主任技術者（平成25年度入学者）

情報知能システム総合学科のエネルギーインテリジェンスコース、コミュニケーションネットワークコース、情報ナノエレクトロニクスコース、コンピュータサイエンスコース、知能コンピューティングコース、メディカルバイオエレクトロニクスコースを履修した卒業者で、在学中に次の科目の単位を修得し、卒業後5万ボルト以上の電気工作物の工事、維持又は運用の経験が5年以上ある場合は第1種電気主任技術者、1万ボルト以上の電気工作物の工事、維持又は運用の経験が3年以上ある場合は第2種電気主任技術者、500ボルト以上の電気工作物の工事、維持又は運用の経験が1年以上ある場合は第3種電気主任技術者免許状取得の資格が得られます。

| 科 目 区 分  | 授 業 内 容            | 該 当 科 目 名            | 単位数             | 備 考                                |
|--|--------------------|----------------------|-----------------|------------------------------------|
| 1. 電気電子理論<br><br>電気工学又は電子工学等の基礎に関するもの<br><br>19単位以上取得<br>(内◎科目が10単位以上であること)          | ◎ 科目<br>電磁気学       | 電磁気学基礎論              | 2               |                                    |
|  |                    | 電磁気学Ⅰ                | 2               |                                    |
|  |                    | 電気回路理論               | 2               | 合計8単位以上修得すること。                     |
|  |                    | 電気回路学基礎論             | 2               |                                    |
|  |                    | 電気回路学Ⅰ               | 2               |                                    |
|  | ◎ 科目<br>電気計測又は電子計測 | 電気回路学Ⅱ               | 2               |                                    |
|  |                    | 電気計測学                | 2               | 修得すること。                            |
|  |                    | 小 計                  | 12              |                                    |
|  |                    | 電子回路A                | 2               |                                    |
|  |                    | 電子回路B                | 2               |                                    |
| 2. 電力発生輸送<br><br>発電、変電、送電、配電及び電気材料並びに電気法規に関するもの<br><br>10単位以上取得<br>(内◎科目が6単位以上であること) | ◎ 科目<br>電子工学       | 電子デバイス基礎             | 2               | 上記の修得単位との合計が、19単位以上になるように履修すること。   |
|  |                    | 半導体デバイス              | 2               |                                    |
|  |                    | 生体電子計測               | 2               |                                    |
|  |                    | 電子物性                 | 2               |                                    |
|  |                    | 電磁気学Ⅱ                | 2               |                                    |
|  | ◎ 科目<br>電気電子物性     | 小 計                  | 14              |                                    |
|  |                    | 発電工学又は発電用原動機に関するもの   | 電気エネルギー発生工学     | 2 修得すること。                          |
|  |                    | 変電工学<br>送電工学<br>配電工学 | 電気エネルギーシステム工学基礎 | 2 修得すること。                          |
|  |                    | 電気法規<br>電気施設管理       | 電気法規・電気施設管理     | 2 修得すること。                          |
|  |                    | 電気材料                 | 電気電子材料          | 2 修得すること。                          |
|  | ◎ 科目<br>高電圧工学      | 小 計                  | 8               |                                    |
|  |                    | 発電工学又は発電用原動機に関するもの   | 原子核工学           | 2 上記の修得単位との合計が、10単位以上になるように履修すること。 |
|  |                    | 電気材料                 | 材料・プロセス工学       | 2                                  |
|  |                    | 高電圧工学                | 高電圧エネルギー工学      | 2                                  |
|  |                    | 小 計                  | 6               |                                    |

| 科 目 区 分  | 授 業 内 容                        | 該 当 科 目 名         | 単位数 | 備 考                              |
|--|--------------------------------|-------------------|-----|----------------------------------|
| 3. 電気利用等<br><br>電気及び電子機器、自動制御、電気エネルギー利用並びに情報伝送処理に関するもの<br><br>12単位以上取得<br>(内◎科目が6単位以上あること) | ◎ 科 目<br>電気機器学                 | 電磁エネルギー変換A        | 2   | 2単位以上修得すること。                     |
|  |                                | 電磁エネルギー変換B        | 2   |                                  |
|  | ○ 科 目<br>パワーエレクトロニクス           | パワーエレクトロニクス基礎     | 2   | 修得すること。                          |
|  |                                | 自動制御又は制御工学        | 2   | 修得すること。                          |
|  |                                | 小 計               | 8   |                                  |
|  | ○ 科 目<br>電動機応用、照明、電熱<br>電気化学変換 | 電気エネルギー応用工学       | 2   | 上記の修得単位との合計が、12単位以上になるように履修すること。 |
|  |                                | 自動制御又は制御工学        | 2   |                                  |
|  |                                | 電気加工（放電応用を含む）     | 2   |                                  |
|  |                                | 情報伝送及び処理          | 2   |                                  |
|  |                                | 小 計               | 8   |                                  |
| 4. 実験・実習<br><br>電気工学若しくは電子工学実験又は電気工学若しくは電子工学実習に関するもの<br><br>6単位以上取得                        | ◎ 科 目<br>電気基礎実験                | 電気・通信・電子・情報工学実験 A | 1   | 修得すること。                          |
|  |                                | 電気・通信・電子・情報工学実験 B | 1   |                                  |
|  | ○ 科 目<br>電気応用実験                | 電気・通信・電子・情報工学実験 C | 2   |                                  |
|  |                                | 電気・通信・電子・情報工学実験 D | 2   |                                  |
|  |                                | 小 計               | 6   |                                  |
|  |                                |                   |     |                                  |
| 5. 設計・製図<br><br>電気及び電子機器設計又は電気及び電子機器製図に関するもの<br><br>2単位以上取得                                | ○ 科 目<br>電気機器設計                | 電気機器設計法           | 2   | 修得すること。                          |
|  |                                | 小 計               | 2   |                                  |
|  |                                | 合 計               | 64  |                                  |

#### ⑥ 電気工事士国家試験（電気工事士法）

情報知能システム総合学科のエネルギーインテリジェンスコース、コミュニケーションネットワークコース、情報ナノエレクトロニクスコース、コンピュータサイエンスコース、知能コンピューティングコース、メディカルバイオエレクトロニクスコースを履修した卒業者で、在学中に電気理論、電気計測、電気機器、電気材料、送配電、製図及び電気法規に関する所定の単位を修得した者は、電気工事士試験のうち、筆記試験が免除されます。（履修授業科目及び修得単位については、電気主任技術者の該当授業科目を参照）

⑦ 電気通信主任技術者（電気通信事業法）

情報知能システム総合学科のエネルギーインテリジェンスコース、コミュニケーションネットワークコース、情報ナノエレクトロニクスコース、コンピュータサイエンスコース、知能コンピューティングコース、メディカルバイオエレクトロニクスコースの卒業者で、在学中に次の科目を修得した者は、電気通信主任技術者試験（第1種伝送交換主任技術者、第2種伝送交換主任技術者、線路主任技術者）のうち「電気通信システム」の試験が免除されます。

| 科 目                                | 該 当 授 業 科 目      | 単位数 | 備 考                      |
|------------------------------------|------------------|-----|--------------------------|
| 数学                                 | 数学物理学演習Ⅰ・Ⅱ       | 2   |                          |
|                                    | 応用数学A            | 2   | 左記授業科目から2科目以上履修すること。     |
|                                    | 応用数学B            | 2   |                          |
|                                    | 数値コンピューティング      | 2   |                          |
| 物理学                                | 解析力学             | 2   |                          |
|                                    | 量子力学A            | 2   | 左記授業科目から2科目以上履修すること。     |
|                                    | 電子物性             | 2   |                          |
|                                    | 量子力学B            | 2   |                          |
| 電磁気学                               | 電磁気学基礎論          | 2   |                          |
|                                    | 電磁気学Ⅰ            | 2   | 左記授業科目から2科目以上履修すること。     |
|                                    | 電磁気学Ⅱ            | 2   |                          |
|                                    | 電気回路学基礎論         | 2   |                          |
| 電気回路                               | 電気回路学Ⅰ           | 2   | 左記授業科目から2科目以上履修すること。     |
|                                    | 電気回路学Ⅱ           | 2   |                          |
|                                    | 電子回路A            | 2   |                          |
| 電子回路                               | 電子回路B            | 2   |                          |
|                                    | デジタル回路           | 2   |                          |
| 情報工学                               | 計算機学             | 2   |                          |
| 電気計測                               | 電気計測学            | 2   |                          |
|                                    | 電気・通信・電子・情報工学実験A | 1   |                          |
|                                    | 電気・通信・電子・情報工学実験B | 1   |                          |
| 伝送線路工学                             | 光波・電波伝送工学        | 2   |                          |
| 交換工学                               | ネットワークコンピューティング  | 2   | 左記科目の中から区分毎に1科目以上履修すること。 |
| 電気通信システム                           | コミュニケーション工学A     | 2   |                          |
|                                    | コミュニケーション工学B     | 2   |                          |
| 注 備考欄に指示のない科目は、該当する授業科目をすべて履修すること。 |                  |     |                          |

### ⑧ 危険物取扱者（消防法）

化学・バイオ工学科、材料科学総合学科卒業者は、甲種危険物取扱者試験を受験できます。

### ⑨ 測量士（測量法）

建築・社会環境工学科のうち、社会基盤デザインコース、水環境デザインコース、都市システム計画コース卒業者で、卒業後1年以上測量に関する実務に従事した者は、願い出により測量士の資格を受けることができます。

建築・社会環境工学科のうち、社会基盤デザインコース、水環境デザインコース、都市システム計画コース卒業者は、願い出により測量上補の資格を受けることができます。

### ⑩ 建築士（建築士法）

建築・社会環境工学科のうち、都市・建築デザインコース、都市・建築学コース卒業者で、下記の受験資格要件を満たした者は各種該当する建築士試験を受験することができます。

#### 建築士の受験資格要件（都市・建築デザインコース、都市・建築学コース）

一級、二級建築士及び木造建築士の受験資格を得るために、「履修方法③～⑦による卒業に要する最低取得単位数」に加え、それぞれ下表の指示に従い科目を履修しなければなりません。

なお、一級建築士の受験資格を得るために、上記の他に卒業後に最低2年間の建築設計実務の経験も必要となります。

| コース    | 一級・木造建築士の受験資格要件  |
|--------|--|
| 都市・建築学 | 「基礎設計B」、「建築設計BⅠ」、「建築設計BⅡ」、「建築設計CⅠ」、「建築設計CⅡ」、「建築設計D」の中から1単位以上 |

| コース       | 一級建築士の受験資格要件  |
|-----------|---|
| 都市・建築デザイン | 「都市・建築デザイン」、「西洋建築史」、「施設計画論」、「現代建築理論」、「近・現代建築史」、「居住計画論」、「空間論」の中から3単位以上 |
| 都市・建築学    | 「都市・建築デザイン」、「西洋建築史」、「施設計画論」、「現代建築理論」、「近・現代建築史」、「居住計画論」、「空間論」の中から3単位以上 |
|           | 「基礎設計B」、「建築設計BⅠ」、「建築設計BⅡ」、「建築設計CⅠ」、「建築設計CⅡ」、「建築設計D」の中から3単位以上          |

### ⑪ 国家公務員採用総合職

「工学」分野の募集が行われており、いずれも2月上旬、募集要項が発表されます。

## 10. 学都仙台単位互換ネットワーク

仙台圏の21の国立、公立、私立の大学及び短期大学（以下「大学」という。）は、大学間の交流と協力を推進し、大学教育の活性化と充実に資するとともに、意欲ある学生に対して多様な学習機会を提供することを目的として、平成13年度から、各大学の学生が他の大学の授業科目を履修し、単位の修得ができるよう協定を締結しました。

この制度により、他の大学の提供科目を受講する学生（単位互換学生（特別聴講学生））は、当該大学の学生に準じて扱われます。なお、検定料、入学期料、授業料を徴収されることはありません。

各大学が提供する授業科目、シラバス等は、各大学から送付があり次第お知らせしますので、受講を希望する場合は、教務課学部教務係に申し出てください。願い出に基づき、教育上有益であると認められる場合には、受講が許可されます。また、他の大学で取得した単位は、各学科の審査により、本学部で修得した単位として認定されることがあります。

## 11. インターンシップ

インターンシップは、一般的には学生が自らの将来やキャリアに関連した実習・研修的な就業体験をすることをいいます。学生から社会人への円滑な移行が必要であること、次代を担う学生の職業人としての成長を社会全体で支援しようということから、日本においてもその導入が図られつつあります。

実施の時期は、授業に支障の少ない春季又は夏季休業中に行われることが多い、実施の期間は、1週間程度から数か月に及ぶものもあります。また、各種報酬や手当のある場合やない場合など、実施形態も多様です。

本学部では、以前から正規の授業科目として「学外実習」等を行っていましたが、主体的な職業選択と専門能力向上のための多様な機会を学生に提供することをより明確にして、インターンシップと改称するようになりました。

正規の授業科目としてインターンシップを行う場合には、単位の認定が伴うことから、大学側と受け入れる側との研修内容の打合せ、参加学生と受入先とのマッチング、事前・事後研修等が行われます。受け入れる側には、研修プログラムの作成、担当者の配置などをお願いすることになるため、積極的な意識をもって参加することが必要です。

正規の授業とは別に、労働省等が実施する職場体験実習講座、各企業等が任意に募集するインターンシップなどもありますが、必ず指導教員等の了承を得て参加してください。

また、海外企業研修については、日本国際学生技術研修協会（イアエステ iaeste@bekkoame.ne.jp）、欧洲語学・企業内研修（バルカヌス・プログラム eujapan@eu-japan.gr.jp）等がありますが、応募希望者は早めに準備することが必要です。

なお、国内におけるインターンシップ中に生じた損害賠償を補償する、「インターンシップ・教職資格活動等賠償責任保険」（川内北キャンパス管理棟1階の生活支援係で受付）がありますので、必要に応じて加入してください。

## 12. 日本技術者教育認定制度

近年、技術の成果が人類や社会に及ぼす影響が深化し広域化している状況から、技術者には、その影響を洞察し、責任をもって技術を推進する自立的行動者であることが求められるようになっています。また、技術者の活躍の場が急速に国際化していることから、国際的に通用する技術者資格が必要な状況になっています。

このような背景に立って、平成11年11月に「日本技術者教育認定機構（JABEE）」が設立され、工学系の高等教育機関について教育プログラムを評価し認定する「日本技術者教育認定制度」が施行されることになりました。平成12年度からプログラムの試行審査が行われ、平成14年度には化学・バイオ工学科と材料科学総合学科の教育プログラムが認定され、現在も認定中（ともに平成24年度に再認定受審済）であります。なお、他の系・学科については、プログラムの審査に向けて現在検討を進めているところであります。

JABEE 認定の主旨は、教育プログラムの質を保証し、アウトプットとしての修了生の品質保証を行うこと、特に世界に通用する質の保証をできるということであります。そのため、JABEE は1989年にアメリカ、イギリス、カナダ、オーストラリア、ニュージーランド及びアイルランドの各国の技術者教育認定組織が認定した4年生大学における技術者教育プログラムの実質的同等性を認めた国際相互承認協定（ワシントン・コード）への加盟を目指し、平成17年8月に加盟が認められました。つまり、JABEE 修了生は、技術業に就くた

めに必要な教育を受けた者として国際的な保証を得たことになります。

さらに修了生のメリットとして、認定されたプログラムの卒業生は技術士国家試験の1次試験が免除になります。つまり、JABEE 認定プログラム修了者は、「修習技術者（社団法人 日本技術士会に登録を行えば技術士補）」として実務の修習を行うことにより技術士第二次試験を受験することができ、技術士業務の補助を行いながら技術上になるための修習を積むことができます。

JABEE のプログラム認定は、当該プログラムが設定した目標が JABEE の定める次の基準を満たしているかどうかについて、自己点検書と実地訪問により審査が行われます。

化学・バイオ工学科及び材料科学総合学科のカリキュラムはこれらの基準を満たしているとの認定を受けております。

## 基準1 学習・教育到達目標の設定と公開

- (1) プログラムが育成しようとする自立した技術者像が定められていること。この技術者像は、プログラムの伝統、資源及び修了生の活躍分野等が考慮されたものであり、社会の要求や学生の要望にも配慮されたものであること。さらに、その技術者像が広く学内外に公開され、また、当該プログラムに関わる教員及び学生に周知されていること。
- (2) プログラムが育成しようとする自立した技術者像に照らして、プログラム修了時点の修了生が確実に身につけておくべき知識・能力として学習・教育到達目標が設定されていること。この学習・教育到達目標は、下記の (a) ~ (i) の各内容を具体化したものであり、かつ、その水準も含めて設定されていること。さらに、この学習・教育到達目標が広く学内外に公開され、また、当該プログラムに関わる教員及び学生に周知されていること。なお、学習・教育到達目標を設定する際には、(a) ~ (i) に関して個別基準に定める事項が考慮されていること。
- (a) 地球的視点から多面的に物事を考える能力とその素養
  - (b) 技術が社会や自然に及ぼす影響や効果、及び技術者が社会に対して負っている責任に関する理解
  - (c) 数学及び自然科学に関する知識とそれらを応用する能力
  - (d) 該当分野において必要とされる専門的知識とそれらを応用する能力
  - (e) 種々の科学、技術及び情報を活用して社会の要求を解決するためのデザイン能力
  - (f) 論理的な記述力、口頭発表力、討議等のコミュニケーション能力
  - (g) 自主的、継続的に学習する能力
  - (h) 与えられた制約の下で計画的に仕事を進め、まとめる能力
  - (i) チームで仕事をするための能力

## 基準2 教育手段

### 2.1 教育課程の設計

- (1) 学生がプログラムの学習・教育到達目標を達成できるように、教育課程（カリキュラム）が設計され、当該プログラムに関わる教員及び学生に開示されていること。また、カリキュラムでは、各科目とプログラムの学習・教育到達目標との対応関係が明確に示されていること。なお、標準修了年限及び教育内容については、個別基準に定める事項を満たすこと。
- (2) カリキュラムの設計に基づいて、科目の授業計画書（シラバス）が作成され、当該プログラムに関わる教員及び学生に開示されていること。シラバスでは、それぞれの科目ごとに、カリキュラム中での位置付けが明らかにされ、その科目の教育内容・方法、到達目標、成績の評価方法・評価基準が示されていること。また、シラバスあるいはその関連文書によって、授業時間が示されていること。

### 2.2 学習・教育の実施

- (1) シラバスに基づいて教育が行われていること。

- (2) 学生の主体的な学習を促し、十分な自己学習時間を確保するための取り組みが行われていること。
- (3) 学生自身にもプログラムの学習・教育到達目標に対する自己自身の達成状況を継続的に点検させ、それを学習に反映させていること。

### 13. 学習等達成度記録簿制度

学習等達成度記録簿は、名前のとおり学習などの達成度を記録するもので、これを活用することで、学習の歩みや現在の到達状況、次に取り組むべきもの（目標）を把握できる効果があります。結果、みなさん個々の目的意識が明確化され、意欲と目的をもって授業などに取り組むことができるでしょう。

また、学習等達成度記録簿制度とは、学習等達成度記録簿に記載した事柄について、アドバイザー教員との面談を年2回、履修登録期間に行う制度であり、履修前に的確なアドバイスを受けることにより、相乗的な効果を期待しているものです。

「学務情報システム（<https://tohoku.ac.jp/>）」は、学習等達成度記録簿をWeb化し、また、電子掲示板や休講情報、学内各システムのリンク集などのみなさんが必要とするサービスを一つの入り口で提供することによって、きめ細やかなサポートを行うことを可能としています。

| 設問                        | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 卒業/修了時 |
|---------------------------|----|----|----|----|--------|
| 工学に関する基礎知識（物理・化学・数学情報など）* |    |    |    |    |        |
| 各工学分野の基礎知識*               |    |    |    |    |        |
| 課題を見つける能力*                |    |    |    |    |        |
| 課題を正確に理解する                |    |    |    |    |        |